

業 務 概 要

2008

福島県県北保健福祉事務所

はじめに

急速な少子高齢社会が進行する中、生活習慣病や心の病等の増加による疾病構造の変化に対応するため、介護保険法の改正、障害者自立支援法の制定さらには医療制度改革が行われるなど、保健・医療・福祉を取り巻く環境は大きく変化しております。

当事務所では、このような変化に対応し、「県民誰もが生涯にわたり健康で幸せに暮らせる社会の実現」を基本理念として、第4次福島県社会福祉計画「うつくしま福祉プラン」及び第5次福島県医療計画の着実な推進を基本として、市町村をはじめ関係機関と連携しながら、各施策の展開に積極的に取り組んでいるところです。

また、住民の生命・健康の安全を脅かす健康危機への迅速かつ適切な対応が重要な課題となっている中、これらに対する地域拠点として、健康危機管理機能の充実を更に図ってまいりたいと考えております。

本書は、県北地域の保健・医療・福祉を取り巻く現状や課題を踏まえ、当事務所の平成20年度の事業計画と平成19年度の事業実績などを、具体的な指標を示しながら取りまとめております。

各方面の方々に御活用いただければ幸いです。

今後とも、私ども保健福祉行政の推進に御理解と御協力を賜りますようお願いいたします。

平成20年 5月

福島県県北保健福祉事務所長 今野 金裕

目 次

第1章 県北保健福祉事務所の概要

I 沿革	1
II 地域の概況	2
III 事務所の概況	4

第2章 平成20年度事業計画

I 平成20年度県北保健福祉事務所事業計画体系	6
II 平成20年度基本方針及び重点施策	9
III 平成20年度事業計画	12
IV 平成20年度事業計画（重点事業・詳細内容再掲）	41
V 平成20年度県北保健福祉事務所年間行事	57

第3章 平成19年度事業実績

1 快適で健やかな生活の実現

(1) 安全な水の確保	59
(2) 食品等の安全性の確保	60
(3) 安全で衛生的な環境の確保	64
(4) 人にやさしいまちづくりの推進	68
(5) 安心して暮らせる住環境の整備促進	68
(6) 安全で快適な生活環境の整備推進	68
(7) 人と動物の共生の推進	69

2 生涯にわたる健康づくりの推進

(1) 「健康ふくしま21」県民健康づくり運動の推進	72
(2) 生活習慣病予防の推進	73
(3) 成人保健・職域保健の推進	74
(4) こころの健康づくり	75
(5) 歯科保健の推進	75
(6) 難病対策の推進	75
(7) 感染症対策の推進	78
(8) 結核対策の推進	80
(9) 薬物乱用の防止	83

3 健康を支える医療の充実

(1) 医療提供体制の整備	85
(2) 歯科医療提供体制の整備	85
(3) 医療機関の整備	85
(4) 救急医療体制の充実	86
(5) 災害時医療体制の充実	86
(6) へき地医療の確保	86
(7) 移植医療の推進	86
(8) 緩和ケアの推進	87
(9) 医薬分業の適正な推進	87
(10) 医薬品等の適切な使用、安全性の確保	87
(11) 献血者の確保	89
(12) 国民健康保険制度及び老人医療制度の安定的な運営の推進	90

4 誰もが安心して暮らせる福祉社会の推進

(1) 地域福祉の総合的・計画的推進	91
(2) とともに生きるこころの醸成	91
(3) 権利擁護の推進	91
(4) 民間福祉サービスの育成・振興	91
(5) 県民の福祉活動への支援・参加促進	91
(6) 保護援助を必要とする女性への支援	92
(7) 生活援助を必要とする人への支援	93

5 妊娠・出産・子育て・子育てを支える社会の推進

(1) 母子保健医療施策の推進	94
(2) 学校保健の推進	98
(3) 小児医療体制の充実	98
(4) 子育て支援環境づくりの推進	98
(5) 子育て家庭への支援	99
(6) 子育てと仕事の両立支援	100
(7) 子どもの健全育成の推進	101
(8) 子どもの豊かな心づくり	101
(9) 子どもの権利擁護の推進	101

6 高齢者が心豊かに暮らせる社会の推進

(1) 生きがいづくりと社会参加の促進	103
(2) 健康づくり・介護予防の推進	103
(3) 在宅医療・介護の充実	104
(4) 施設医療・介護の充実	104
(5) 認知症高齢者の総合的支援	104
(6) 介護保険制度の円滑な運営	105

7 障がい者が自立し社会参加できる社会の推進

(1) ノーマライゼーション理念の普及・啓発の促進	107
(2) 総合療育体制の推進	107
(3) 教育の充実	107
(4) 雇用と就労の促進	108
(5) 自立の支援と社会参加の促進	108
(6) 人権への配慮と医療の確保	109
(7) 在宅福祉サービスの充実	110

8 保健・医療・福祉のさらなる推進

(1) 健康危機管理の体制整備	114
(2) 情報ネットワークの構築	114
(3) サービス総合化のシステムの確保	115
(4) 地域リハビリテーションの推進	116
(5) 保健・医療・福祉における研修の推進	116
(6) 保健・医療・福祉の人材の確保と資質の向上	118

第4章 資料編

I 生活衛生	119
II 健康づくり	123
III 医療施設	125
IV 薬事	128
V 民生委員・児童委員	130
VI 生活保護	131
VII 児童福祉	137
VIII 高齢者保健福祉	141
IX 障がい者保健福祉	147
X 人口動態	150
XI 調査研究	155

第 1 章

県北保健福祉事務所の概要

I 沿革

平成14年4月、社会福祉事務所と保健所の組織を統合し、保健福祉事務所を開設した。

現在、「総務企画部（総務課・地域支援課）」「健康福祉部（保健福祉課・生活保護課・健康増進課）」「生活衛生部（医療薬事課・衛生推進課）」の3部7課体制で、保健・医療・福祉の総合的な施策を展開している。

■県北社会福祉事務所

昭和26年 3月	社会福祉事業法制定
昭和26年10月	信夫・伊達・安達の郡単位にそれぞれの名を付した3カ所の福祉事務所設置
昭和30年	二本松市福祉事務所発足
昭和44年	行政機構改革により、福島社会福祉事務所を設置し、出張所として伊達福祉事務所と安達福祉事務所が置かれた。
昭和48年	機構改革により、福祉事務所から生活保護現業職員が社会福祉事務所に配置替えとなる。
平成 6年 4月	行政機構改革により、伊達福祉事務所と安達福祉事務所に福祉相談コーナーのみを残し福祉事務所が廃止され、県北社会福祉事務所に名称変更
平成14年 4月	社会福祉事務所と保健所の組織統合により、県北保健福祉事務所となる。

■県北保健所

(旧福島保健所)

昭和19年10月	福島市中町48番地に設置
昭和23年 7月	福島市御山町48番地に移転
昭和38年 8月	福島市御山町48番1号に新築移転
平成 5年12月	福島市御山町8番30号に新築移転
平成 9年 3月	地域保健法施行に伴い保健所の再編統合により廃止

(旧保原保健所)

昭和24年 2月	保原保健所開設
昭和25年12月	保原町字古川四32-1に新築移転
昭和57年 3月	保原町大字大泉字大地内101番地に新築移転
平成 9年 3月	地域保健法施行に伴い保健所の再編統合により廃止

(旧二本松保健所)

昭和19年10月	二本松保健所開設
昭和25年 4月	二本松市鷹匠町1の53に新築移転
昭和55年 3月	二本松市若宮2丁目69番地に新築移転
平成 9年 3月	地域保健法施行に伴い保健所の再編統合により廃止

(県北保健所)

平成 9年 4月	地域保健法施行に伴い保健所再編により、福島・保原・二本松保健所が統合され、福島市御山町8番30号に新たに「県北保健所」を設置
----------	--

■県北保健福祉事務所 (県北保健所)

平成14年 4月	社会福祉事務所と保健所の組織統合により、県北保健福祉事務所となる。
平成16年 4月	検査機能を衛生研究所へ一元化
平成19年 3月	中央相談所福島相談室の廃止

II 地域の概況

県北保健福祉事務所の管轄区域は、福島市、二本松市、伊達市、本宮市、伊達郡（4町）、安達郡（1村）の4市4町1村からなる。

本地域は、県の北部に位置し、東に阿武隈山地、西に奥羽山脈が南北に走り、その中央を阿武隈川が北に流れている。その面積は1,753.42平方kmで県土の12.8%を、また人口は平成19年6月1日現在で505,861人で県全体の24.4%を占めている。

交通網については、福島市を中心として東北自動車道、東北新幹線、山形新幹線などの高速交通網をはじめ、JR東北本線、JR奥羽本線、国道4号、国道13号で宮城県や山形県、首都圏と接続されている。

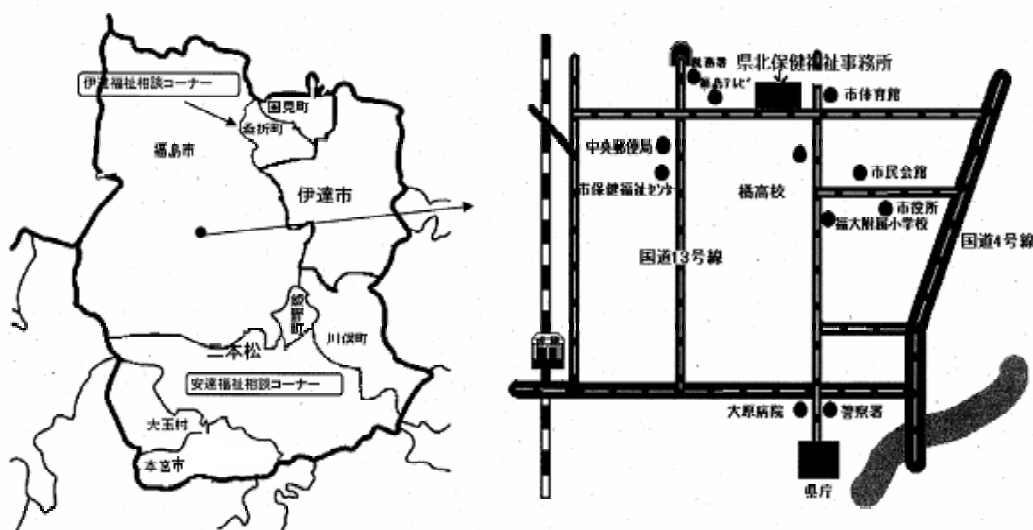
福島市は、本地域の中核都市として多様な雇用機会と高次の都市機能をもち、特に第3次産業は卸、小売業、サービス業などを中心に高い集積を誇っており、製造業、電気、機械、食料品等の業種を中心に、内陸型工業の拠点が形成されている。また、福島市の北西部から西部にかけては、飯坂温泉や土湯温泉などがあり、温泉保養地区でもある。

二本松市は、平成17年12月1日に安達町、岩代町、東和町と合併した。安達地区の核として周辺町村に雇用機会を提供するなど、地域拠点機能を有している。また、城下町としての景観も保っており、近くには岳温泉やスキー場などの行楽施設も豊富にあり、多様な観光資源を有している。

伊達市は、平成18年1月1日に伊達町、梁川町、保原町、霊山町、月舘町の5町が合併し新たな市として誕生した。桑折町、国見町を含めた伊達地域は、もも、なし、りんごなどが多く栽培され、福島市とともに全国有数の果樹産地を形成している。また、ニット・絹・繊維織物などの地場産業の振興を図っている。

本宮市は、平成19年1月1日に本宮町、白沢村が合併し、県内13番目の市として誕生した。国道4号線沿いに位置する本宮市、大玉村は県中地域に隣接し、生活・生産両面にわたり郡山市との交流が深く、その直接的な影響を受けながら、また地理的優位性から工場や事業所の立地をみている。

なお、平成20年7月1日において福島市と飯野町が合併予定となっている。



▼管内市町村の概況

(平成20年4月1日現在)

地 域	世帯数	人 口	構 成 比			
			年少人口	生産年齢人口	老年人口	
			0～14歳	15～64歳	65歳以上	75歳以上
福島市	109,994	287,809	14.3	63.5	22.2	10.9
二本松市	18,658	61,356	13.6	60.7	25.6	14.0
伊達市	20,940	67,303	13.5	59.6	26.9	14.2
本宮市	9,450	31,616	15.3	62.2	22.5	12.0
伊達郡	14,505	46,075	12.3	58.1	29.5	16.0
桑折町	4,090	13,163	12.4	58.4	29.2	16.1
国見町	3,235	10,392	12.5	59.0	28.5	14.8
川俣町	5,341	16,261	11.9	57.4	30.5	17.1
飯野町	1,839	6,259	12.7	57.9	29.4	15.3
安達郡	2,218	8,453	14.4	63.0	22.6	13.2
大玉村	2,218	8,453	14.4	63.0	22.6	13.2
県北管内	175,765	502,612	14.0	62.0	23.9	12.3
福島県	722,282	2,057,199	14.2	61.7	24.0	12.5

(「福島県の推計人口」県情報統計領域)

III 事務所の概況

(1) 庁舎の概要

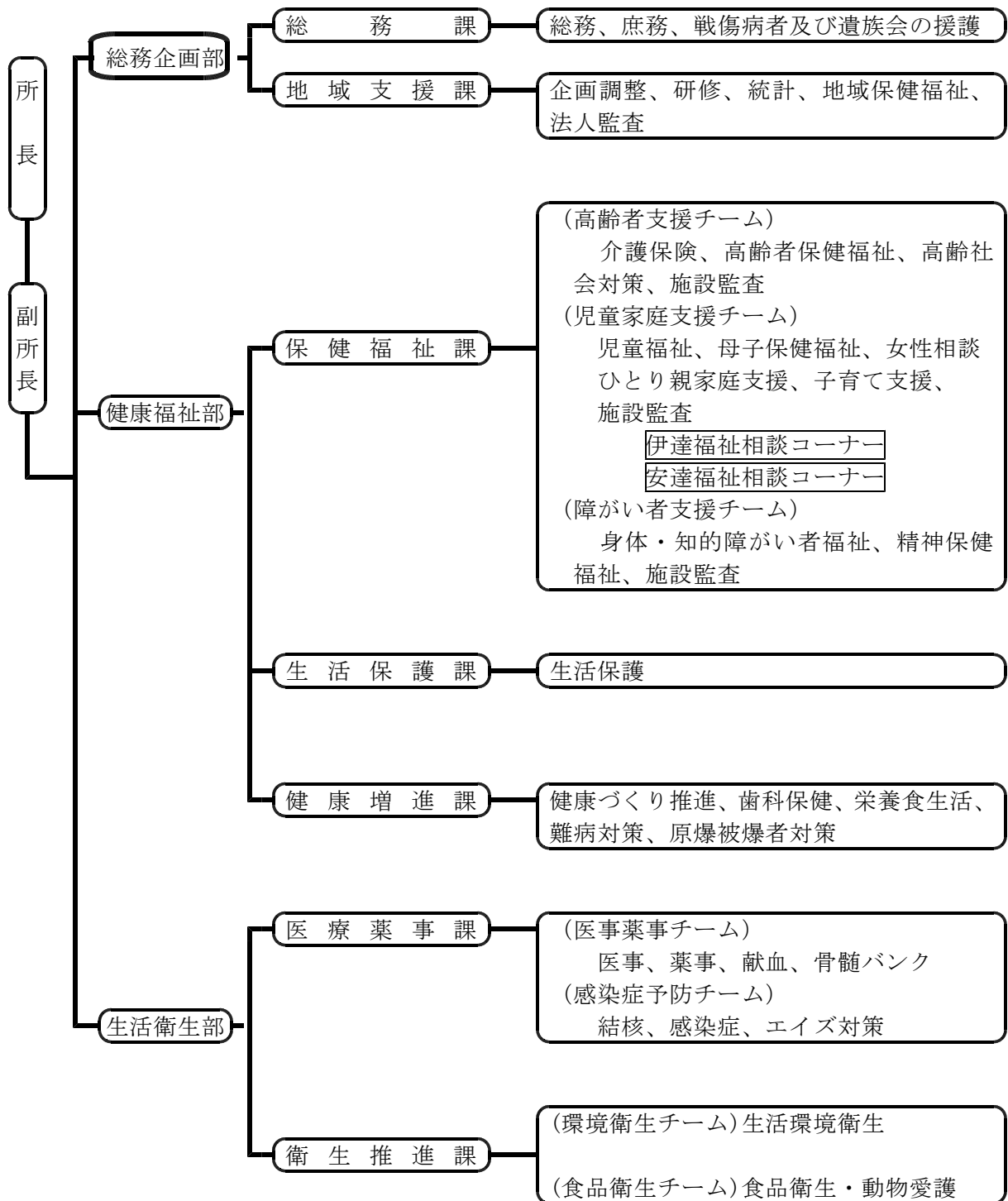
庁舎の名称	福島県保健衛生合同庁舎
入所する機関名	県北保健福祉事務所・県北保健所・精神保健福祉センター・衛生研究所試験検査課
住所	福島市御山町8番30号
敷地面積	3,376.44㎡
建物面積	庁舎 4,137.5㎡ (県北保健福祉事務所・県北保健所 1～4階 3,323.7㎡) (衛生研究所試験検査課 4階の一部) (精神保健福祉センター 5階の一部 813.8㎡) その他 140.4㎡

(2) 職種の配置状況

	所長・副所長	総務企画部	健康福祉部	生活衛生部	計
行政職(事務)	1(1)	11	17(1)	1	30(2)
技術職	1	3	16(1)	29	49(1)
医師	1			1	2
保健師		3	13(1)	4	20(1)
栄養士			2		2
放射線技師				1	1
歯科衛生士			1		1
臨床検査技師				1	1
獣医師				4	4
薬剤師				10	10
農芸化学				4	4
化学				4	4
心理判定員					
技能労務職員		1		1(1)	2(1)
運転手		1			1
技能員				1(1)	1(1)
専門員		1	3	1	5
小計	2(1)	16	36(2)	32(1)	86(4)
嘱託			7(3)	1	8(3)
運転手・技能員				1	1
家庭相談員					
女性相談員			1(1)		1(1)
母子自立支援員			4(2)		4(2)
母子福祉協力員			2		2
合計	2(1)	16	43(5)	33(1)	94(7)

() は兼務内書き

(3) 組織及び主な業務



第 2 章

平成 2 0 年度事業計画

東北保健福祉事務所
平成20年度事業

1 快適で健やかな生活の実現	(1)安全な水の確保	①水道施設等の衛生指導事業
	(2)食品等の安全性の確保	①食品営業許可指導事業 ②食品安全対策事業(※)
	(3)安全で衛生的な環境の確保	①生活衛生関係営業に係る指導事業 ②レジオネラ菌の検査事業 ③特定建築物、建築物清掃業等の県知事登録業に係る指導事業 ④遊泳用プール衛生対策事業 ⑤理美容衛生確保対策事業 ⑥墓地・納骨堂及び火葬場の指導事業 ⑦温泉対策事業 ⑧家庭用品の衛生対策事業 ⑨住居衛生対策事業 ⑩そ族昆虫等相談事業 ⑪東北地区衛生組織連合会等の支援
	(4)人にやさしいまちづくりの推進	①やさしいまちづくり推進事業 ②やさしいまちづくり支援事業
	(5)安心して暮らせる住環境の整備促進	①高齢者にやさしい住まいづくり助成事業
	(6)安全で快適な生活環境の整備促進	①相談事業
	(7)人と動物の共生の推進	①動物管理対策事業 ②動物愛護管理事業
2 生涯にわたる健康づくりの推進	(1)「健康ふくしま21」県民健康づくり運動の推進	①市町村健康増進計画の策定支援並びに推進の支援事業 ②栄養改善事業 ③「健康ふくしま21計画」推進地区組織育成支援事業 ④「健康ふくしま21計画」推進食環境整備事業 ⑤食育の普及啓発
	(2)生活習慣病予防の推進	①喫煙対策事業 ②特定給食施設管理事業
	(3)成人保健・職域保健の推進	①生活習慣病予防普及啓発事業(※)
	(4)こころの健康づくり	①こころの健康・自殺予防対策事業(※) ②自死遺族への相談支援事業(※)
	(5)歯科保健の推進	①市町村歯科保健強化推進事業 ②ヘルシークア推進事業 ③ヘルシークアライフ8020推進事業 ④歯周疾患予防支援事業
	(6)難病対策の推進	①特定疾患治療研究事業 ②難病在宅療養者支援体制整備事業 ③難病患者等居宅生活支援事業 ④遅延性意識障がい者治療研究事業 ⑤先天性血液凝固因子障害等治療研究事業 ⑥原爆被爆者援護対策事業
	(7)感染症対策の推進	①予防接種普及事業 ②感染症予防対策 ③感染症発生動向調査事業 ④エイズ等予防対策事業 ⑤肝炎治療特別促進事業
	(8)結核対策の推進	①結核医療事業 ②結核患者支援事業 ③感染症診査協議会の実施 ④結核予防事業
	(9)薬物乱用の防止	①薬物乱用撲滅事業
3 健康を支える医療の充実	(1)医療提供体制の整備	①医療相談事業
	(2)歯科医療提供体制の整備	①訪問歯科診療事業(本庁が実施主体)
	(3)医療機関の整備	①医療機関立入検査事業 ②医療安全確保推進事業(※)
	(4)救急医療体制の充実	①東北地域救急医療対策協議会の開催 ②東北地域メディカルコントロール協議会の開催
	(5)災害時医療体制の充実	①災害時医薬品等の備蓄 ②災害医療関係機関等との連携強化
	(6)へき地医療の確保	(該当地域がないため事業は記載しない)
	(7)移植医療の推進	①骨髄ドナー登録推進事業
	(8)在宅緩和ケアの推進	①在宅緩和ケア推進事業
	(9)医療分業の適正な推進	①医薬分業推進事業
	(10)医薬品等の適切な使用、安全性の確保	①医薬品等取締事業(※) ②医薬品等許認可事業 ③毒物劇物危害防止対策事業
	(11)献血者の確保	①献血推進事業
	(12)国民健康保険制度及び老人医療制度の安定的な運営の推進	①後期高齢者医療技術的助言等事業

4 誰もが安心して暮らせる福祉社会の推進

(1) 地域福祉の総合的・計画的推進	①市町村地域福祉計画の策定支援及び県地域福祉支援計画策定推進事業
(2) ともに生きるこころの醸成	①ノーマライゼーションの育成・強化 ②市町村社会福祉協議会の機能強化
(3) 権利擁護の推進	①社会福祉法人の指導監査
(4) 民間福祉サービスの育成・振興	①総合社会福祉基金貸付事業 ②社会福祉法人の指導監査
(5) 県民の福祉活動への支援・参加	①ノーマライゼーションの育成・強化 ②市町村社会福祉協議会の機能強化 ③日本赤十字社資募集運動の推進と活動強化 ④共同募金運動の推進
(6) 保護援助を必要とする女性への支援	①寡婦福祉資金貸付 ②配偶者暴力相談支援センターネットワーク事業(女性相談)(※)
(7) 生活援助を必要とする人への支援	①生活保護の実施 ②民生委員・児童委員活動の支援
(8) 県立社会福祉施設の整備と運営	(該当事業なし)

5 妊娠・出産・子育て・子育てを支える社会の推進

(1) 母子保健医療施策の推進	①思春期保健事業(※) ②子どもの虐待予防サポート推進事業 ③不妊総合相談事業 ④特定不妊治療費助成事業 ⑤のびゆく子ども支援事業 ⑥医療援護事業 ⑦小児慢性特定疾患治療研究事業 ⑧受胎調節実地指導員指定証交付事業 ⑨先天性代謝異常等検査事業 ⑩新生児聴覚検査事業 ⑪母子保健推進連絡会議
(2) 学校保健の推進	(教育庁が実施主体)
(3) 小児医療体制の充実	①救急医療対策協議会の開催
(4) 子育て支援環境づくりの推進	①保育所指導監査・認可外保育施設調査指導 ②産休等代替職員費補助事業 ③子育て支援を進める県民運動 県北方部子育て支援ネットワーク構築事業(※) ④子育て応援バスポート事業 ⑤地域の子育て応援交付金
(5) 子育て家庭への支援	①児童福祉に関する相談 ②母子相談 ③母子福祉資金貸付 ④ひとり親家庭医療費助成
(6) 子育てと仕事の両立支援	①保育対策等促進事業 ②すくすく保育支援事業 ③病児・病後児保育事業 ④地域保育施設助成事業 ⑤多子世帯保育料軽減事業
(7) 子どもの健全育成の推進	①放課後子どもプラン(放課後児童クラブ) ②民間児童館活動事業 ③地域組織活動育成事業 (該当事業なし)
(8) 子どもの豊かな心づくり	(該当事業なし)
(9) 子どもの権利擁護の推進	①児童福祉に関する相談

6 高齢者が心豊かに暮らせる社会の推進

(1) 生きがいづくりと社会参加の促進	①百歳高齢者知事賀寿事業 ②老人クラブ活動等社会活動促進事業 ③市町村老人クラブ連合会が行う健康づくり事業
(2) 健康づくり・介護予防の推進	①高齢者相互支え合い運動ボランティア養成研修事業 ②介護予防市町村支援事業
(3) 在宅医療・介護の充実	①福島県高齢者保健福祉計画等推進事業 ②高齢者虐待防止ネットワーク体制整備支援事業
(4) 施設医療・介護の充実	①社会福祉施設整備事業(※) ②身体拘束ゼロ作戦推進事業 ③老人福祉法に係る施設の設置認可等
(5) 認知症高齢者の総合的支援	①認知症予防対策事業(※) ②認知症の安心ネットワーク構築事業(※)
(6) 介護保険制度の円滑な運営	①介護保険者指導事業 ②認定調査員等研修事業 ③介護保険施設等の指導等事業 ④介護保険審査会運営事業 ⑤介護サービス提供事業者の指定等事業 ⑥介護老人保健施設の変更許可等 ⑦地域包括支援センター職員等研修事業

7 障がい者が自立し社会参加できる社会の推進

(1) ノーマライゼーション理念の普及・啓発の促進	①障がい者の明るい暮らし促進事業 ②ふれあい週間事業
(2) 総合療育体制の推進	①障がい児(者)地域療育等支援事業
(3) 教育の充実	①養護教育における医療的ケア実施事業
(4) 雇用と就労の促進	①精神障がい者社会適応訓練事業 ②精神障がい者社会復帰施設運営事業 ③障がい者小規模作業所支援事業
(5) 自立の支援と社会参加の促進	①社会参加促進事業 ②県障がい者総合体育大会 ③障がい者自立生活センター支援事業 ④障がい者地域生活移行自立サポート事業 ⑤障がい者地域生活移行支援事業(※)
(6) 人権への配慮と医療の確保	①精神保健医療
(7) 在宅福祉サービスの充実	①相談指導事業 ②精神障害者保健福祉手帳交付事業 ③身体障がい者相談員設置事業 ④知的障がい者相談員設置事業 ⑤重度障がい者支援事業 ⑥特別障害者手当等給付事業 ⑦障がい者福祉サービス等給付事業(在宅系) ⑧在宅知的障がい者対策費 ⑨身体障がい児者補装具給付事業
(8) 施設福祉サービスの充実	①社会福祉施設整備利子補給事業 ②身体障がい者施設訓練等支援費 ③知的障がい者援護施設等保護費
(9) 障害者自立支援法制度の円滑な運営	①自立支援医療給付費(更生医療) ②障害者自立支援対策臨時特別基金事業

8 保健・医療・福祉のさらなる推進

(1) 健康危機管理の体制整備	①健康危機管理体制整備(※)
(2) 情報ネットワークの構築	①東北保健福祉事務所ホームページの運営・充実等 ②保健・医療・福祉情報支援センター事業 ③社会福祉関係及び保健衛生統計調査
(3) サービス総合化のシステムの確保	①東北地域保健医療福祉推進計画策定(※) ②東北地方喫煙対策推進事業(※) ③地域ふれあい広場モデル事業(※)
(4) 地域リハビリテーションの推進	①地域リハビリテーション支援体制整備推進事業
(5) 保健・医療・福祉における研修の推進	①地域保健福祉関係職員研修 ②地域保健福祉活動推進研修 ③出前講座事業
(6) 保健・医療・福祉の人材の確保と資質の向上	①市町村保健師・栄養士の確保に対する支援事業 ②医師の卒後臨床実習指導 ③実習生に対する教育・実習指導

II 平成20年度基本方針及び重点施策

○ 基本方針

急速な少子高齢化の進行、生活様式や価値観の多様化、さらには生活習慣病の増加等による疾病構造の変化など社会状況の大きな変化に伴い、県民のニーズも複雑化・多様化・高度化してきております。このため、保健・医療・福祉の一体的・総合的、かつ、社会情勢の変化に対応した施策の展開が求められております。

平成20年度の県北保健福祉事務所の事業については、「県民誰もが 生涯にわたり 健康で幸せに暮らせる社会の実現」を基本理念として、第4次福島県社会福祉計画「うつくしま福祉プラン21」及び第5次福島県医療計画の着実な推進を基本とし、次の項目を重点に、積極的かつ効果的な事業の展開を図ります。

○ 重点施策

1 快適で健やかな生活の実現

食品等事業者に対する重点的な監視指導と「食品表示」についての講習会を実施し、食品の安全・安心を確保するとともに、子供達の健全な食生活を育むため小学生を対象に「食の安全」についての教室を開催します。

また、地域住民が安全で良質な水を安定的に利用できるよう、市町村の水道事業者等に対し支援するとともに、理容・美容・旅館等の生活衛生関係営業者に対し、重点的な監視指導を実施し健康で安心できる生活環境を確保します。

さらに、人と動物の調和ある社会を目指すため、ペット等の動物の適正飼養の推進と、愛護の精神の向上を図ります。

2 生涯にわたる健康づくりの推進

「健康寿命」の延伸をめざした健康づくりの基本計画である「健康ふくしま21計画」（平成20年3月改定）を踏まえ、働きざかりの生活習慣病予防対策を支援し、メタボリックシンドロームにならないための一次予防に関する正しい知識の普及啓発を図るため、県北地区産業保健・地域保健連携推進事業を実施するとともに、特定健康診査・特定保健指導の推進支援を図ります。

また、平成19年3月末に策定された「福島県食育推進計画」に基づき、県民一人ひとりが自らの食を見直し、望ましい食生活を実践し、豊かな人間性を育むことができるよう食育の普及啓発に努めます。

さらに、中高年をはじめとした自殺者数を減少させるため、中高年のうつ病予防対策や自殺予防対策キャンペーンを実施するとともに、自死遺族への相談支援体制を整えるなど、こころの健康づくりに着目した諸施策を展開します。

また、原因不明、治療法が未確立である難病の患者・家族が安心して療養生活が過ごせるよう支援体制の整備を図るとともに、結核及び感染症等の予防対策を推進し、発生時には適切かつ速やかな対応により感染患者の被害拡大防止に努め、感染経路の解明や早期回復に向けて支援します。

さらに、覚せい剤など薬物乱用の拡大と低年齢化が懸念されることから、薬物乱用を根絶する社会環境づくりをすすめます。

3 健康を支える医療の充実

県民がいつでもどこでも適切で安心、安全な医療を受けることができるよう関係機関と連携を図りながら、地域救急医療体制の整備、さらには医療機関立入検査や

研修会等を通して、より一層の医療安全対策の徹底を図ります。

また、医薬品等の安全管理・適正使用についても積極的に推進します。

さらに、がん等の患者が自らの選択により、質の高い生活を享受できるよう、地域連携クリティカルパスの作成等県北地域における在宅緩和ケア推進のためのシステムづくりを行います。

4 誰もが安心して暮らせる福祉社会の推進

誰もが地域社会で普通に生活できるようにするという「ノーマライゼーションの理念」や「ユニバーサルデザイン」が浸透する中、高齢者や障がい者等ができる限り地域で自立し、社会参加するためには、サービスの利用者が、多様な保健・医療・福祉サービスをその状況に応じて迅速・的確に選択できることが重要です。

保健・医療・福祉サービスに係る情報提供及び連携体制の整備に努めるとともに、養成講座・研修会の開催など、ボランティア・住民組織を育成・強化し、住民との協働による地域ケア体制を推進します。

また、生活に困窮する人に対して、必要な保護を行いその最低限度の生活を保障するとともに、その世帯の自立助長を促進するための指導・支援に積極的に取り組みます。

さらに、児童虐待・DV・高齢者虐待等家庭内のあらゆる虐待により一層迅速かつ適切に対応するとともに、市町村への支援を行っていきます。

5 妊娠・出産・子育て・子育てを支える社会の推進

少子化が急速に進む中で、子どもを持ちたいと願う人が、安心して子どもを産み、育てることができ、子どもが健やかに育っていける社会環境の整備を社会全体で支援する仕組みの構築が求められています。このため、育児不安が強く育児困難を来している親をサポートするグループミーティング事業を実施するほか、11月の第三日曜日を「子育ての日」及びその前後1週間を「子育て週間」とし、市町村や関係団体と連携して啓発活動を実施していきます。

また、第三子以降の保育料軽減措置により、子育てに対する経済的負担の軽減を図るとともに、各町村独自の次世代育成支援を応援する「地域の子育て応援交付金」の交付、18歳未満の子どもを持つ世帯が各種サービスを受けられる「子育て応援パスポート事業」の推進等、子育てしやすい環境づくりに取り組んでいきます。

また、思春期における保健対策の一環として、思春期の子どもの望まない妊娠と人工妊娠中絶を減少させるため、家庭・学校及び地域等関係機関と連携しながら、生命の大切さや男女の相互理解及び母性・父性の涵養等について考える機会を設けるとともに、健康教育や相談等とおした思春期保健事業を推進します。

さらに、自立支援医療費（育成医療）の支給などの医療援護事業等を行うとともに、市町村の「子育て支援事業」等の支援、児童の健全育成、子どもの権利擁護などにも積極的に取り組みます。

6 高齢者が心豊かに暮らせる社会の推進

本格的な高齢社会を迎え、高齢者が尊厳を持って、心豊かに、安心して暮らせる地域づくりを進めていくことが一層求められています。高齢者が健康で生きがいを持ち、できる限り自立して生活できる環境を整えるため、認知症の予防・早期発見・早期対応体制の整備や介護予防の推進に積極的に取り組むとともに、地域の実情に応じた高齢者施策を実施する市町村への支援を行います。

また、高齢者の状態に応じた在宅サービス、施設サービスがより適切に利用でき

るよう、平成21年度を初年度とし平成23年度までの3年間を計画期間とする「第五次福島県高齢者福祉計画・第四次福島県介護保険事業支援計画」を策定します。

さらに、計画に基づき、老人福祉施設等の適切な整備を進めるとともに、実地指導や指定申請等を通じて、介護保険サービス事業者等に対し、サービス提供体制の充実や質の向上に資する助言・指導を行い、地域における介護サービス基盤の充実に努めます。

7 障がい者が自立し社会参加できる社会の推進

ノーマライゼーション理念に基づき、障がい者が地域での日常生活を可能とするためには、障がい者の基本的ニーズに即したサービス提供体制の確立が必要です。

このため、在宅サービスの供給を確保するため、障害者自立支援法に基づいた指定居宅支援事業者等の事業参入を促進するとともに、市町村に対し制度の円滑な実施とよりよい運用を支援し、障がい者福祉サービスの充実を図ります。

また、障がい者や家族が安心して地域で生活できるよう、県北圏域において地域生活支援調整会議を開催するとともに、地域生活移行促進プログラムを通し、障がい者の地域生活を支援する体制や基盤の強化に努めます。

8 保健・医療・福祉のさらなる推進

住民の安全・安心な暮らしを守るため、原因不明の健康被害の発生やその恐れが生じた時、さらには、大規模な健康被害が発生した時などにおいて、迅速かつ的確に対応ができるよう、健康危機管理体制の整備に努めます。

特に、「新型インフルエンザ」の発生の危険性が高まっていることから、「新型インフルエンザ対策行動計画」に基づき体制を整備し、地域の安全、安心を確保します。

また、平成20年度において、今後3年間を期間とする県北地域保健医療福祉推進計画を新たに策定し、地域のニーズに応じた施策を展開して行きます。

さらに、受動喫煙対策を徹底するため、飲食店をはじめとする管内施設の喫煙対策実態調査を実施するとともに、普及啓発用リーフレットを作成してPRに努めるほか、「きれいな空気推進施設（仮称）」の認証を行うなど、県民を受動喫煙から守る環境づくりを支援します。

また、生活意識や価値観の変化によるニーズの多様化、介護保険制度改正や、障がい者福祉サービスが障害者自立支援法へ移行する中、保健・医療・福祉に関する情報を保健・医療・福祉情報支援センター事業において一元的に整理・管理・分析し、市町村に提供するとともに、当所ホームページ等を活用して住民に積極的に提供します。

さらに、地域の多様なニーズに即したサービスを展開していくため、要請に応じ出前講座を積極的に開催するほか、保健・医療・福祉に関わる専門職やボランティア団体を対象に研修会等を開催するとともに、保健・医療・福祉従事者養成機関の実習生に対し地域保健福祉活動の現状を学ぶ実習の場を提供し、保健・医療・福祉の人材の確保と資質の向上に努めます。

Ⅲ 平成20年度事業計画

※計画進行管理指標項目
「うつくしま保健医療福祉プラン21」（平成19年度までの計画）の指標を基に記載している。
◎：県の指標で数値は県全体の数値 ●：県北の指標で県北の数値
○：県の指標で数値は県北の数値

1 快適で健やかな生活の実現

(1) 安全な水の確保

※ 計画進行管理指標項目		現状 19年度	今年度 20年度	目標年度 22年度
○水道普及率		⑱ 93.4%	94.0%	96.0%
事業名	事業内容			担当課
①水道施設等の衛生指導事業	1. 水道事業（上水道、簡易水道）の立入検査・指導 国庫、県費補助事業の指導 2. 専用水道・給水施設の指導 3. 簡易専用水道等の貯水槽水道に対する指導 4. 飲用井戸水等の衛生対策指導			衛生推進課 環境衛生 T

(2) 食品等の安全性の確保

※ 計画進行管理指標項目		現状 19年度	今年度 20年度	目標年度 22年度
○食中毒の発生状況		5件	3件以下	3件以下
●HACCP等承認施設数		5施設	10施設	14施設
事業名	事業内容			担当課
①食品営業許可指導事業（重点事業）	1. 食品営業施設の許可及び監視指導 2. 食品卸売市場の監視 3. 観光地の宿泊施設及び観光土産品の製造・販売設備の監視指導 4. 集団給食施設の監視指導 5. 重点監視対象施設等に対する監視指導 6. 食品営業者の自主管理及び総合衛生管理製造過程「HACCP」の普及啓発と助言 7. 食品衛生責任者養成講習及び再教育講習 8. 調理師・製菓衛生師試験及び免許交付等の事務			衛生推進課 食品衛生 T
②食品安全対策事業（重点事業）	1. 食品等の収去検査の実施 2. 食品安全対策の実施 3. 食中毒の原因調査 4. 食の安全教室・食品表示早わかり講座の開催			

(3) 安全で衛生的な環境の確保

計画進行管理指標項目		現状 19年度	今年度 20年度	目標年度 22年度
○監視率				
旅館	63.0%	} 100%	} 100%	
興行場	10.8%			
公衆浴場	27.7%			
クリーニング（取次所を除く）	0.8%			
特定建築物	7.0%			
遊泳用プール	44.1%			
理容所	14.6%			33.3%
美容所	18.3%	33.3%	33.3%	
事業名	事業内容			担当課
①生活衛生関係営業に係る指導事業	1. 旅館業・公衆浴場業・興行場の許可及び監視指導 2. クリーニング所の検査確認及び監視指導 3. コインオペレーションクリーニングの届出受理及び監視指導 4. クリーニング師に関する事務 5. 観光地衛生対策として旅館営業等の監視指導			衛生推進課 環境衛生 T

②レジオネラ属菌の検査事業	6. 生活衛生営業の育成指導、融資に係る意見書交付 旅館及び公衆浴場におけるレジオネラ属菌の検査を通じて衛生監視指導を行う。	衛生推進課 環境衛生 T
③特定建築物、建築物清掃業等の県知事登録業に係る指導事業	1. 特定建築物の審査及び立入検査・指導 2. 県知事登録業の指導	
④遊泳用プール衛生対策事業	遊泳用プールの立入検査・指導	
⑤理美容所衛生確保対策事業	1. 理容所・美容所の検査確認及び監視指導 2. 皮膚に接する器具のブドウ球菌・一般細菌をフードスタンプで検査、消毒方法の指導・徹底 3. 衛生講習会の実施	
⑥墓地・納骨堂及び火葬場の指導事業	1. 墓地・納骨堂及び火葬場の新設、拡張の許可及び事前指導 2. 火葬場の監視指導	
⑦温泉対策事業	1. 温泉掘削等の許可申請に係る指導 2. 温泉利用施設の許可、立入検査・指導、レジオネラ属菌対策指導、温泉掲示指導 3. 硫化水素含有泉（総硫黄が2 mg/kg以上含まれる温泉）の硫化水素ガス濃度測定等の立入検査・指導	地域支援課
⑧家庭用品の衛生対策事業	家庭用品の衛生指導、試買検査・指導	
⑨住居衛生対策事業	1. 住居衛生指導 2. シックハウスの対策・指導	
⑩そ族昆虫等相談事業	そ族昆虫等の苦情・相談	
⑪県北地区衛生組織連合会等の支援	管内の各市町村保健委員会等及び県北地区衛生組織連合会に対する支援を行う。	

(4) 人にやさしいまちづくりの推進

計画進行管理指標項目	現状 19年度	今年度指標 20年度	目標年度 22年度
◎やさしさマークを取得した既存の県有建築物数	49棟	54棟	66棟
事業名	事業内容		担当課
①やさしいまちづくり推進事業	○ やさしさマーク交付事業 人にやさしいまちづくり条例に基づいた整備を行い、やさしさマークの交付を希望する施設に対し、現地調査を行う。		保健福祉課 高齢者支援 T
②やさしいまちづくり支援事業	○ やさしいまちづくり推進資金融資事業 人にやさしいまちづくり条例に基づいた民間施設の整備に必要な資金の融資を行うに当たり、その申込み内容を審査し適格認定を行う。 ・融資限度額 5,000万円 (50万円から10万円単位) ・融資期間 10年以内		

(5) 安心して暮らせる住環境の整備促進

計画進行管理指標項目	現状 19年度	今年度指標 20年度	目標年度 22年度
◎シルバーハウジング・プロジェクトに基づく、高齢者等に配慮した住宅の供給戸数	156戸	-	200戸
事業名	事業内容		担当課
①高齢者にやさしい住まいづくり助成事業	市町村が実施する、高齢者の自立生活を継続するための住宅改修資金補助事業に要する経費を補助する。 ・補助対象 市町村 ・補助基準額 1件あたり18万円 ・補助率 過疎地域市町村の区域 1/2 その他市町村の区域 1/3 ・対象工事 介護保険の住宅改修工事内容と同じ ・対象者 介護保険対象外の60歳以上の高齢者		保健福祉課 高齢者支援 T

(6) 安全で快適な生活環境の整備促進

事業名	事業内容	担当課
(該当する地域なし)		

(7) 人と動物の共生の推進

計画進行管理指標項目	現状 19年度	今年度指標 20年度	目標年度 22年度
○狂犬病予防注射実施率	82.3%	100%	100%
○犬咬傷事故発生件数	27件	50件以下	50件以下
事業名	事業内容		担当課
①動物管理対策事業	1. 畜犬の登録及び狂犬病予防注射の普及啓発 年1回の飼い犬の狂犬病予防注射の実施の徹底を図るとともに新規飼育者に対して登録の実施を啓発する。 2. 飼い犬の適正管理の指導及び危害防止に係る啓発 多数飼育者等に対して適正な飼育を指導する。 3. 放置犬の捕獲抑留 放置犬等の捕獲抑留を実施し、危害の未然防止を図る。 4. 畜犬登録原簿システムの適正な運用		衛生推進課 食品衛生 T
②動物愛護管理事業	1. 愛玩動物(犬、猫)の飼養及び管理に関する指導助言 2. 飼育犬の問題行動解消に関する指導助言 3. 犬及び猫の譲渡支援情報の提供 4. 犬及び猫の繁殖制限に関する指導 5. 動物愛護ボランティアの育成と指導助言 6. 小学校への獣医師派遣事業 7. 動物取扱業者に対する適正な飼養管理の指導助言 8. 特定動物の飼養の許可及び監視指導を実施し、適切な飼養にかかる指導を実施するとともに飼育動物による事故の発生を防止する。		

2 生涯にわたる健康づくりの推進

(1) 「健康ふくしま21」県民健康づくりの推進

計画進行管理指標項目	現状 19年度	今年度指標 20年度	目標年度 22年度
◎「県民健康の日」の運動習慣の普及状況	40.7%	-	100%
①市町村健康増進計画の策定支援並びに推	健康増進計画を策定する市町村に対して個別支援を行い計画策定の推進を図る。		健康増進課

進の支援事業	計画策定・推進の支援 ・未策定市町村：本宮市、国見町、飯野町
②栄養改善事業	1 国民健康・栄養調査(全国300地区) 指定地区において、11月中の1日間栄養摂取状況、食生活及び身体状況調査を行う。 2 市町村栄養改善事業の支援事業 3 栄養士・管理栄養士指導事業 ・栄養士・管理栄養士免許進達事務 ・栄養士・管理栄養士学生実習指導 4 食品の特別用途表示・栄養表示基準制度等の管理事業 5 特定給食施設管理事業 ・特定給食施設等巡回指導 6 食育の普及啓発
③「健康ふくしま21計画」推進地区組織育成支援事業	県北地区食生活改善推進員の育成強化を図り、自主活動の推進に向けて支援する 1 市町村への支援 2 県北地区食生活改善推進連絡協議会における研修会等への支援
④「健康ふくしま21計画」推進食環境整備事業	飲食店等が生活習慣病対策の必要性を認識し、食事の栄養成分表示や健康に配慮した食事の提供に取り組んでもらうことで、住民が安心して外食を楽しめる食環境の整備を図る。 1 うつくしま健康応援店の普及拡大 (26店舗 平成20年3月末現在)
⑤食育の普及啓発	県民に対し食育の普及啓発を図る。

(2) 生活習慣病予防の推進

計画進行管理指標項目	現状 19年度	今年度指標 20年度	目標年度 22年度
◎未成年者の喫煙率			
男子(15～19歳)	5.9%	-	0%
女子(15～19歳)	4.8%	-	0%
●喫煙率	23.3%	減少	減少
●分煙率(市町村役場執務室)	55.6%	100%	100%
●分煙率(市町村立小学校職員室等) (〃 中学校職員室等)	100%	100%	100%
●事業所給食施設での栄養成分表示実施率	⑱ 76.8%	-	83.0%
事業名	事業内容		担当課
①喫煙対策事業	生活習慣病予防の観点から、未成年者の喫煙防止教育・受動喫煙防止を支援すると共に、官公庁・学校・公共の場や事業所での分煙の推進を図る。 1 啓発活動 ・世界禁煙デー(5月31日) ・禁煙週間啓発(5月31日～6月6日) 2 喫煙対策推進の体制整備 県北地区喫煙対策を語る会 3 事業所・飲食店等における空間分煙環境整備推進支援 4 出前講座		健康増進課
②特定給食施設管理事業	特定給食施設等において、「健康増進法」「健康ふくしま21計画」に基づいた給食施設の栄養管理等をとおし、住民の健康増進を図る。 ・特定給食施設等講習会の開催		

(3) 成人保健・職域保健の推進

計画進行管理指標項目	現状 19年度	今年度指標 20年度	目標年度 22年度
○脳血管疾患 標準化死亡比 (現状は「平成8年～17年」)	男:109.4 女:118.3	- -	男:100 女:100
事業名	事業内容		担当課
①生活習慣病予防普及啓発事業 (重点事業)	<p>「健康ふくしま21計画」を踏まえ、医療制度改革に向けた市町村等体制整備と職域保健・地域保健の連携による働きざかり層の効果的な生活習慣病予防対策を推進する。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 県北地区産業保健・地域保健連携推進連絡会の開催 2 働きざかりの健康講座検討部会の開催 3 モデル事業所における健康づくり支援 4 健康教育応援隊による事業所への健康教育 5 健康づくり担当者研修会の開催 		健康増進課

(4) こころの健康づくり

事業名	事業内容	担当課
①こころの健康・自殺予防対策事業 (重点事業)	<p>深刻な自殺者の増加に対して、自殺の要因であるうつ病の早期発見の対策と、普及啓発を行う。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 中高年のうつ病対策事業 2 自殺予防対策キャンペーンの実施 	保健福祉課 障がい者支援 T
②自死遺族への相談支援事業 (重点事業)	<p>自死遺族からの相談に対応することにより、自死遺族の心理的影響や苦痛を和らげ、うつ状態からの回復を図るため相談窓口を設置する。</p>	

(5) 歯科保健の推進

計画進行管理指標項目	現状 19年度	今年度指標 20年度	目標年度 22年度
◎80歳で自分の歯を20歯以上有する者	3,823人	-	4,795人
事業名	事業内容		担当課
①市町村歯科保健強化推進事業	<p>歯科保健評価マニュアル及び歯科保健情報システムを活用した市町村歯科保健事業を支援するとともに、歯科保健情報体制の構築を図る。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 歯科保健情報システム事業 2 地域歯科保健推進検討会 		健康増進課
②ヘル歯ケア推進事業	<p>口腔保健指導の必要な障がいのある在宅療養者等や施設入所者に対し、歯科衛生士による口腔保健指導を行い、障がい児者等の生活の向上を図る。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 訪問口腔保健指導事業 2 障がい児者施設等への口腔ケア支援 		
③ヘル歯ライフ8020推進事業	<p>8020を目指した歯の健康づくりに関する知識の普及啓発を図るための事業</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 「うつくしま、ふくしま歯の祭典」開催支援 2 市町村における8020推進の支援 3 他の事業と連携した啓発活動 		
④歯周疾患予防支援事業	<p>働きざかりの年代から歯周疾患予防の普及啓発を図る</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 歯周疾患予防教室 		

(6) 難病対策の推進

事業名	事業内容	担当課									
①特定疾患治療研究事業	<p>特定疾患は治療がきわめて困難であり、療養が長期にわたり継続的に高額な医療費を要するため、医療の確立と普及を図るとともに患者の医療費の負担軽減を図る。</p> <p>1 申請時相談の実施 対象者数 約2,715人 (H20.3末現在)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新規申請：随時 ・更新申請：7月 <p>所外窓口設置</p> <table style="margin-left: 20px;"> <tr> <td>伊達市・伊達郡</td> <td>：伊達市役所</td> <td>2回</td> </tr> <tr> <td>二本松市・安達郡</td> <td>：二本松市役所</td> <td>2回</td> </tr> <tr> <td></td> <td>本宮体育館</td> <td>1回</td> </tr> </table> <p>2 在宅人工呼吸器使用特定疾患患者訪問看護治療研究事業</p> <p>在宅人工呼吸器使用特定疾患患者に対して診療報酬で定められた回数を超える訪問看護を実施することにより、患者・家族の生活の質の向上及び負担の軽減を図るとともに訪問看護の方法等の研究を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・情報提供等により事業の周知を図る ・実施機関：訪問看護ステーション、訪問看護を行う医療機関 	伊達市・伊達郡	：伊達市役所	2回	二本松市・安達郡	：二本松市役所	2回		本宮体育館	1回	健康増進課
伊達市・伊達郡	：伊達市役所	2回									
二本松市・安達郡	：二本松市役所	2回									
	本宮体育館	1回									
②難病在宅療養者支援体制整備事業	<p>長期療養を続ける在宅難病患者の日常生活動作(ADL)の程度や症状・病態等に応じた保健・医療・福祉サービスの提供等の適切な支援を行うことにより、患者及び家族の生活の質(QOL)の向上を図る。</p> <p>1 難病患者地域支援連絡調整事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・難病患者地域支援連絡会議開催 1回 ・難病患者在宅ケア調整会議 随時開催 <p>2 難病患者相談指導事業</p> <p>所内での面接相談・電話相談を実施するとともに神経難病患者を中心に特に筋萎縮性側索硬化症患者の家庭訪問を実施する。</p> <p>3 難病患者医療相談事業</p> <p>患者や家族に対し、専門医師・保健師・看護師・栄養士・歯科衛生士・理学療法士等による医療面や日常生活に関する相談、指導や交流会等による療養生活の支援を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・相談会及び交流会の開催 2回 潰瘍性大腸炎、クローン病、網膜色素変性症 <p>4 難病患者訪問診療事業</p> <p>患者や家族に対し、専門医師・保健師・看護師・栄養士・歯科衛生士・理学療法士による家庭訪問を実施し、病気に対する不安の軽減や在宅療養上の援助を行う。</p> <p>家庭訪問の実施 1回</p> <p>5 難病ボランティア育成事業</p> <p>既存の難病ボランティア「ゆずの会」の活動を支援する。</p> <p>6 難病関係団体等への支援</p> <p>各難病患者、家族会との連絡調整、難病支援センター事業との連携を図る。</p>										
③難病患者等居宅生活支援事業	<p>難病患者等の福祉の向上を図るため、市町村が実施する在宅療養難病患者福祉施策に対し補助金を交付する。</p> <p>1 ホームヘルプサービス事業</p> <p>2 日常生活用具給付事業</p>										

	<p>3 難病患者等短期入所事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市町村へ情報提供し事業の周知を図る。 	
④遷延性意識障がい者治療研究事業	<p>遷延性意識障がい者に対する治療はきわめて困難であり、かつ長期にわたりその医療費も高額となるため、意識障がい者に対する医療の確立と普及を図るとともに、患者医療費の自己負担の軽減を図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・申請時相談の実施 ・対象人員 11人(平成20年3月末現在) 	健康増進課
⑤先天性血液凝固因子障害等治療研究事業	<p>先天性血液凝固因子障害等患者のおかれている特別な立場を考慮し、医療費の患者自己負担の軽減を図り、経済的・精神的・身体的不安の解消を図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・申請時相談の実施 ・対象人員 18人(平成20年3月末現在) 	
⑥原爆被爆者援護対策事業	<p>原爆被爆者に対する援護に関する法律に基づき、被爆者健康手帳の交付、健康診断の実施、認定疾病及び一般疾病に対する医療の給付、各種手当等の支給並びに介護保険等利用助成の申請事務処理を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・原爆被爆者対策対象者 24人(平成20年3月末現在) ・手帳保持者 23人(平成20年3月末現在) ・健康診断受診者証保持者 1人(平成20年3月末現在) 	

(7) 感染症対策の推進

事業名	事業内容	担当課
①予防接種普及事業	<p>流行の恐れのある疾病の発生及びまん延を予防するため、市町村に対し予防接種法に定められた定期臨時の予防接種の適正な実施及び予防接種による健康被害への対応等について指導を行う。</p>	医療薬事課 感染症予防T
②感染症予防対策	<p>感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律に定められた各疾病の発生時に、必要な措置をとるとともに、疫学調査を実施し、感染経路の究明を図る。また、接触者に対して健康診断を実施し、患者の早期発見及び二次感染の防止に努める。</p>	
③感染症発生動向調査事業	<p>感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律に基づき各定点からの情報を感染症情報センターに報告し、還元された情報を管内関係機関に提供する。</p> <p>また、病原体定点からはウイルスや細菌の確認を行うための検体提供を依頼し衛研に搬送する。</p>	
④エイズ等予防対策事業	<p>エイズのまん延防止、患者・感染者と共生できる社会の実現を図るため、エイズに関する正しい知識の普及啓発活動を展開するとともに、医療の確保及び検査・相談体制の強化を図る。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. エイズ相談・HIV抗体検査 2. 普及啓発事業 	
⑤肝炎治療特別促進事業	<p>B型・C型肝炎の感染に関わる相談、検査を実施するとともに、肝炎に罹患している患者に対してインターフェロン治療費助成の申請手続きをする。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 肝炎相談及び検査 2. 治療費助成制度申請手続き等 (健康増進課担当) 	

(8) 結核対策の推進

(結核の統計は年報なので指標値は年で示す)

計画進行管理指標項目	現状 19年	今年度指標 20年	目標年度 22年
◎1歳未満のBCG接種率(年度)	⑰ 94.0%	95%以上	95%以上
○全結核罹患率(人口10万人)	⑰ 14.7%	17.0以下	11.0以下
○全結核有病率(人口10万人)	⑰ 8.6%	12.0以下	10.0以下
●結核新登録患者中の60歳以上の割合	⑱ 71.0%	55.0%	40.0%
事業名	事業内容		担当課
①結核医療事業	結核患者入院・通院に対して公費負担を実施するとともに、「感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法」(以下「感染症法」という。)の規定により、命令入所の措置を行い、結核のまん延防止と適正医療の促進を図る。		医療薬事課 感染症予防T
②結核患者支援事業	1 検診事業 感染症法第17条に基づく定期外健康診断(接触者健診)及び第53条の13に基づく登録患者の健康診断(管理健診)を実施する。 2 療養支援事業 結核患者を治療成功に導くため、地域DOTSを推進する。		
③感染症診査協議会の実施	感染症法による入院勧告及び一般医療の申請に対する必要な事項を審議するため協議会を開催する。(臨時及び定期(月1回))		
④結核予防事業	○ 高齢者結核予防対策事業 高齢者の結核重症化防止のため、地域住民及び高齢者関連施設等職員に対する普及啓発(結核ミニ講座)を実施する。		

(9) 薬物乱用の防止

計画進行管理指標項目	今年度 19年度	今年度指標 20年度	目標年度 24年度
●薬物乱用防止教室実施回数	25回	26回	30回
●薬物乱用防止スクールキャラバンカー配車回数	18回	19回	20回
事業名	事業内容		担当課
①薬物乱用撲滅事業	福島県薬物乱用防止指導員と協力し、薬物についての正しい知識や薬物の弊害について啓発するとともに薬物乱用を許さない社会環境づくりを推進する。 中学生等にビデオや冊子等の啓発資材を用い、乱用を拒絶する力を身につけさせる。 薬局等が相談窓口となり、薬物関連問題の相談を受けるとともに専門機関への紹介を行う。		医療薬事課 医事薬事T

3 健康を支える医療の充実

(1) 医療提供体制の整備

事業名	事業内容	担当課
①医療相談事業	安心して医療等が受けられるよう相談希望者に対して面接、電話等での支援を行う。	医療薬事課 医事薬事T

(2) 歯科医療提供体制の整備

事業名	事業内容	担当課
①訪問歯科診療事業	実施市町村への補助事業 (本庁が実施主体)	

(3) 医療機関の整備

事業名	事業内容	担当課
①医療機関立入検査事業 ②医療安全確保推進事業(重点事項)	病院・診療所がより良い医療提供ができるよう立入検査を実施し、不適當な措置等に対し改善指導を行う。 医療安全確保のより一層の推進を図るため、立入検査による個別の指導を行うとともに、医療機関等を対象に研修会を開催する。	医療薬事課 医事薬事T

(4) 救急医療体制の充実

事業名	事業内容	担当課
①県北地域救急医療対策協議会の開催 ②県北地域メディカルコントロール協議会の開催	夜間や休日における医療の提供や救急歯科診療等が実施されているが、充実等を図るため、関係機関と協議を行いながら体制整備を図る。 救急救命士が行う応急措置を検証するなど、救急医療の質を確保するための協議を行う。	医療薬事課 医事薬事T

(5) 災害時医療体制の充実

事業名	事業内容	担当課
①災害時医薬品等の備蓄 ②災害医療関係機関等との連携強化	災害時に必要とする医薬品等を確保するため、医薬品等の備蓄・供給体制の充実を図る。 災害時に医療救急活動に関する総括調整機関として、医療機関との連携を強化する。	医療薬事課 医事薬事T

(6) へき地医療の確保

事業名	事業内容	担当課
(該当する地域なし)		

(7) 移植医療の推進

事業名	事業内容	担当課
①骨髄ドナー登録推進事業	福島県骨髄バンク連絡協議会と連携し、移動献血車併行型登録会や休日集団登録会を開催する。	医療薬事課 医事薬事T

(8) 緩和ケアの推進

事業名	事業内容	担当課
①在宅緩和ケア推進事業	地域がん診療連携拠点病院等と連携し、在宅療養者への緩和ケア及び訪問看護の充実を図り、県民が質の高い在宅ケアを受けることができる体制を確保する。 ・在宅緩和ケア地域連携会議開催協力 年3回程度 ・県北地域在宅緩和ケア地域連携クリティカルパスの完成と普及	地域支援課

(9) 医薬分業の適正な推進

計画進行管理指標項目	現状 19年度	今年度指標 20年度	目標年度 24年度
○処方せん受取率（分業率）	⑱ 62.1 %	62.7 %	65.0 %
◎ //	(⑱県 60.5 %)	(⑱県 61.4 %)	(県 65.0 %)
事業名	事業内容		担当課
①医薬分業推進事業	薬局が医療提供施設に位置づけられ、処方せん受取率が50%を越えたが、調剤事故・過誤の発生など医療安全対策が課題となっていることから、医薬分業の質的向上を目的とした医薬分業適正化を推進する。		医療薬事課 医事薬事T

(10) 医薬品等の適切な使用、安全性の確保

計画進行管理指標項目	現状 19年度	今年度指標 20年度	目標年度 24年度
○薬事監視率（薬局等）	46.9%	47.5 %	50 %
◎ //	(県 34.9%)		(県 50%)
○薬事監視率（製造業）	86.7%	40 %	40 %
◎ //	(県 66.4%)		(県 40%)
事業名	事業内容		担当課
①医薬品等取締事業 （重点事業）	医薬品等の品質、有効性、安全性の確保を図るため、医薬品等の製造所、薬局等への立入検査を実施し、不良医薬品等の発生を防止するとともに、法令の遵守状況を確認するために監視指導を行う。 特に、法的に「薬局における安全管理体制の整備」が義務づけられたことから、薬局に対して研修会、立入検査等を実施し、整備の徹底を図る。		医療薬事課 医事薬事T
②医薬品等許認可事業	医薬品等の品質、有効性、安全性の確保を図るため、関係法令に基づく、許認可等の事務処理を行う。		
③毒物劇物危害防止対策事業	毒物及び劇物による事故の未然防止を図るため、関係施設の登録事務を行うとともに、立入検査により適切な対応措置についての指導取締りを行う。		

(11) 献血者の確保

計画進行管理指標項目	現状 19年度	今年度指標 20年度	目標年度 24年度
○献血目標達成率	100.4%	100%	100%
事業名	事業内容		担当課
①献血推進事業	県北地域献血推進行動計画に基づき、市町村及び血液センターと連携し、地域の実情にあった効果的な献血の推進を図る。 また、街頭キャンペーン、事業所訪問等を実施し、啓発活動を行うとともに献血協力を呼びかける。		医療薬事課 医事薬事T

(12) 国民健康保険制度及び老人医療制度の安定的な運営の推進

計画進行管理指標項目	現状 19年度	今年度指標 20年度	目標年度 22年度
◎国保収納率（現年分）	⑱ 90.21%	—	93%台
事業名	事業内容		担当課
①後期高齢者医療技術的助言等事業	高齢者の医療の確保に関する法律第133条第1項に基づき、市町村に対して後期高齢者医療制度の運営が健全かつ円滑に行われるよう、必要な助言及び適切な援助を行う。		保健福祉課 高齢者支援 T

4 誰もが安心して暮らせる福祉社会の推進

(1) 地域福祉の総合的・計画的推進

計画進行管理指標項目	現状 19年度	今年度指標 20年度	目標年度 22年度
○地域福祉計画策定率	22.2%	80%	100%
事業名	事業内容		担当課
①市町村地域福祉計画の策定支援及び県地域福祉支援計画策定推進事業	「市町村地域福祉計画」及び「県地域福祉支援計画」の策定に向けて、計画策定推進のための情報交換や支援を行う。 策定済市町村 福島市 伊達市（平成19年3月）		地域支援課

(2) ともに生きるこころの醸成

計画進行管理指標項目	現状 19年度	今年度指標 20年度	目標年度 22年度
◎福祉協力校の指定累計（指定済率）	612校（67%） 県管内126校（66.0%）	—	909校
事業名	事業内容		担当課
①ノーマライゼーションの育成・強化	「ノーマライゼーションの理念」の浸透などに伴い、住民の積極的な参加による福祉コミュニティの形成が求められていることから、それを支えるボランティア等の育成や住民組織等の活動を支援する。 市町村社会福祉協議会の指導監査、定款変更認可などを通じて、適切な運営と活動の支援を図る。また、市町村合併に伴う社会福祉協議会の合併について支援していく。		地域支援課
②市町村社会福祉協議会の機能強化			

(3) 権利擁護の推進

計画進行管理指標項目	現状 19年度	今年度指標 20年度	目標年度 22年度
◎生活支援員の数	157人	305人	548人
○社会福祉法人における苦情解決体制の整備率（第三者委員の設置率）	⑱ 100%	100%	100%
事業名	事業内容		担当課
①社会福祉法人の指導監査	社会福祉法人の指導監査をとおして、利用者の苦情解決体制の整備、促進を図る。		地域支援課

(4) 民間福祉サービスの育成・振興

事業名	事業内容	担当課
①総合社会福祉基金貸付事業	（財）県総合社会福祉基金の貸付（施設整備・運営資金）に関する募集、相談等を行う。	地域支援課

②社会福祉法人の指導 監査	社会福祉法人の適切な運営を図ることを目的に、管内法人の許認可、運営指導、指導監査を実施する。 ・管内の対象法人 50箇所	
------------------	---	--

(5) 県民の福祉活動への支援・参加

計画進行管理指標項目	現状 19年度	今年度指標 20年度	目標年度 22年度
○市町村ボランティアセンター数	9か所	—	(9)か所
◎人口1,000人あたりのボランティア団体数	0.83団体	0.90団体	1.0団体
事業名	事業内容		担当課
①ノーマライゼーションの育成・強化 [4-(2)-①と同じ]	「ノーマライゼーションの理念」の浸透などに伴い、住民の積極的な参加による福祉コミュニティの形成が求められていることから、それを支えるボランティア等の育成や住民組織等の活動を支援する。		地域支援課
②市町村社会福祉協議会の機能強化 [4-(2)-②と同じ]	市町村社会福祉協議会の指導監査、定款変更認可などを通じて、適切な運営と活動の支援を図る。また、市町村合併に伴う社会福祉協議会の合併について支援していく。		
③日本赤十字社資募集運動の推進と活動強化	日赤の一般社資目標額(前年度同額)の達成。		
④共同募金運動の推進	共同募金運動実施期間(10月)に合わせて、職域募金を実施するなど、共同募金運動の啓発を行う。		

(6) 保護援助を必要とする女性への支援

計画進行管理指標項目	現状 19年度	今年度指標 20年度	目標年度 22年度
◎ 婦人保護相談件数	⑱ 4,613件	一件	一件
事業名	事業内容		担当課
①寡婦福祉資金貸付	寡婦及びこれに準ずる者の経済的自立と生活意欲の助長を図るため修学資金等の貸付を行う。		保健福祉課 児童家庭支援 T
②配偶者暴力相談支援センターネットワーク事業(女性相談)(重点事業)	夫婦間の問題、家庭の問題、生活の問題、就職の問題など女性に関する問題について女性相談員が相談に応じ、助言及び情報提供を行う。		

※婦人保護相談件数は、目標値を設定することが適当でないため、モニタリング指標とする。

(7) 生活援護を必要とする人への支援

事業名	事業内容	担当課
①生活保護の実施	管内5町村に居住する生活困窮者の最低生活を保障し、自立助長のため生活保護法に基づく各扶助を実施する。	生活保護課
②民生委員・児童委員活動の支援	民生委員報償費など活動経費を負担するとともに、各種活動を支援する。	地域支援課

(8) 県立社会福祉施設の整備

事業名	事業内容	担当課
(該当事業なし)		

5 妊娠・出産・子育て・子育てを支える社会の推進

(1) 母子保健医療施策の推進

計画進行管理指標項目	現 状 19年度	今年度指標 20年度	目標年度 22年度
◎ 乳児死亡率（出生千対）	⑱ 2.3	減少	2.2以下
◎ 十代の人工妊娠中絶実施率（人口千対）	⑱ 10.5	減少	減少
● 思春期保健対策に取り組む市町村数	8か所	全市町村	全市町村
事業名	事業内容	担当課	
① 思春期保健事業 (重点事業)	<p>10代の若者に対して、生命・お互いの性・人権を尊重する人間教育としての性教育を進め、望まない妊娠と人工妊娠中絶を減少させ、思春期の若者が、心身ともに健やかに成長できるよう支援する。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 思春期相談ほっとライン事業 思春期の若者や思春期の子を持つ保護者等の性に関する悩みに対して、相談窓口（電話・メール面接）で対応する。 2. 10代の性のいのち生きいき推進会議 思春期保健関係機関・関係者が集まり管内の思春期保健の現状と課題、今後の取り組みについて検討する。 年2回開催（7月、10月に実施） 3. 親支援・性と生のワークショップ (教育庁連携事業) 4. 思春期保健講座 将来子育てを担うべき若者に対して性教育を実施し、望まない妊娠を予防するとともに、母性や父性の涵養を図る。 <p>・出前講座の活用や市町村支援をとおして実施する。</p>	保健福祉課 児童家庭支援 T	
② 子どもの虐待予防サポート推進事業	<p>育児不安が強く、育児困難をきたしている親及び虐待等の不適切な関わりの傾向がある親等を対象に、親同士が集まって悩みなどを話し合うグループミーティング等を実施し、児童虐待の未然防止を図る。また、今後も市町村の協力を得ながら積極的な参加を促す。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 <グループミーティング> 所内開催 6回/年 市町村支援(二本松市、本宮市、川俣町) ・人数 1か所あたり1回10人前後で実施 2 <個別相談会> グループミーティングに参加した者のうち、問題の解決がみられず子どもへの影響が改善できない場合、「心の健康相談」を活用し医師の診察を受ける機会を活用し専門機関受診等を勧め早期対応を図る。 3. グループミーティング連絡会 		
③ 不妊総合相談事業	<p>・不妊に悩む夫婦の問題解決に対応するために、身体的、精神的悩みの電話・面接相談を実施している。</p> <p>・不妊治療等に関する専門相談を紹介する。</p>		
④ 特定不妊治療費助成事業	<p>高度生殖医療（体外受精・顕微受精）を受けるための治療費の一部を特定不妊治療費助成事業として実施する。</p>		
⑤ のびゆく子ども支援事業	<p>長期療養児、に対して療育指導を実施するとともに、低出生体重の発育や育児に関する相談事業等を実施する。</p>		

	<ul style="list-style-type: none"> ・長期療養児相談会・交流会、未熟児発達相談会・交流会 ・家庭訪問
⑥医療援護事業	<p>心身ともに健全な子どもの出生と育成を図るために、身体障がい児、結核児童、妊娠中毒症等の妊婦及び未熟児に対し、必要な医療給付を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・育成医療－身体に障がいのある児童のうち、確実に治療効果が期待される児童に必要な医療の給付を行う。 ・療育医療－結核児童（入院）に必要な医療の給付を行う。 給付内容 医療・学用品・日用品 ・妊娠中毒症等援護事業－妊娠中毒症等の妊婦が入院7日以上の場合に21日を限度として支給する。 支給対象者 前年度所得税額が30,000円以下の世帯 ・養育医療－未熟児（出生体重2,000グラム以下等）で、入院養育の必要な児に対し、医療の給付を行う。
⑦小児慢性特定疾患治療研究事業	<p>小児慢性特定疾患のうち治療法が確立していない特定疾患の治療研究を推進し、治療法を確立するために医学的知見の発見を促進するとともに、その医療の確保と普及を図り、併せて患者家庭の医療費の負担を軽減して児童の健全な育成を図る。</p>
⑧受胎調節実地指導員指定証交付事業	<p>母体保護法施行令第1条第1項、2項、第3条、第5条に基づく指定証の交付</p>
⑨先天性代謝異常等検査事業	<p>フェニルケトン尿症等の先天性代謝異常症、先天性甲状腺機能低下症（クレチン症）及び先天性副腎過形成症の早期発見、早期治療を図るため、新生児の血液によるマス・スクリーニング検査を行う。</p>
⑩新生児聴覚検査事業	<p>聴覚障がい児を早期に発見し、早期療育につなげるため、聴覚検査機器を有する産科医療機関に検査を委託し、新生児に対する聴覚検査を試行的に実施する。</p>
⑪母子保健推進連絡会議	<p>保健福祉事務所管内の母子保健施策の調整・連携に関する会議を開催する。</p>

(2) 学校保健の推進

事業名	事業内容	担当課
(該当事業なし)		

(3) 小児医療体制の充実

計画進行管理指標項目	現状 19年度	今年度指標 20年度	目標年度 24年度
◎周産期死亡率（出産千対）			
事業名	事業内容		担当課
①救急医療対策協議会の開催 [3-(4)と同じ]	夜間や休日における医療の提供や救急歯科診療等が実施されているが、充実等を図るため、関係機関と協議を行いながら体制整備を図る。		医療薬事課 医事薬事T

(4) 子育て支援環境づくりの推進

計画進行管理指標項目	現状 19年	今年度指標 20年	目標年度 22年
◎地域子育て支援計画（市町村版エンゼルプラン）策定	100% (県北 100%)	100%	100%
◎地域子育て支援センター設置数（県北）	59か所（19）	90か所	100か所
事業名	事業内容		担当課

①保育所指導監査・認可外保育施設調査指導	児童福祉法等の規定に基づき全ての認可保育所及び認可外保育施設に対する指導・監査・調査を実施する。	保健福祉課 児童家庭支援 T
②産休等代替職員費補助事業	児童福祉施設等の職員が出産または傷病のため長期間継続する休暇を必要とする場合に代替職員を任用することにより、産休等職員の母胎の保護及び専心療養を保障するとともに、施設利用者の処遇の確保を図る。 ・補助率 公立：補助基準額×日数又は実支出額のいずれか低い額×2/3 民間：補助基準額×日数又は実支出額のいずれか低い額	
③子育て支援を進める 県民運動 県北方部子育て支援 ネットワーク構築事業 (重点事業)	安心して子どもを産み育てることができるとともに、子どもが健やかに育つ環境づくりのため、県では11月の第三日曜日を子育ての日とし、連絡会議による実行委員会形式で各種行事を開催する。 当事務所管内においては、県北方部の行政機関と子育て支援に関わる各団体による子育て支援連絡会議を設立し連携を図るとともに、県北地区で開催されるシンボル事業に併せて、県北方部子育て支援連絡会議独自事業を実施する。 (1) 県北方部子育て支援連絡会議の開催 連絡会議設立 平成20年6月 市町村意見交換会 平成20年9月 (2) 県北方部行事開催 平成20年11月	
④子育て応援パスポート事業	18歳未満の子を持つ世帯を応援するための、協賛企業等の創意工夫による各種サービスを受けられる「ファミたんカード」普及・拡大に向けて、広報・啓発を図る。	
⑤地域の子育て応援交付金	安心して子育てができるとともに子どもが健やかに育つことができる環境づくりのため、地域の課題を踏まえ、地域の特性を活かした、次世代育成支援を推進する町村提案事業に対して、要する費用の全部又は一部を交付する。	

(5) 子育て家庭への支援

計画進行管理指標項目	現状 19年度	今年度指標 20年度	目標年度 22年度
◎一時保育実施率（ ）は県北)	26.4%(45.5%)	44%	50%
事業名	事業内容		担当課
①児童福祉に関する相談	児童に関する様々な問題について、各福祉相談コーナーに駐在する児童相談所家庭相談員と連携を図りながら、家庭その他からの相談に応じて児童及びその家庭の問題解決を図る。 相談の内容によっては児童相談所に送致して心理判定等により問題解決を図る。 (家庭相談員担当区域) 伊達福祉相談コーナー：伊達市、桑折町、国見町 安達福祉相談コーナー：二本松市、大玉村、本宮市		保健福祉課 児童家庭支援 T
②母子相談	母子家庭及び寡婦から、子育て・就労・資金の貸付など生活全般にわたる問題について母子自立支援員が相談を受け、自立のための助言・指導にあたる。		
③母子福祉資金貸付	配偶者のない女子で現に児童(20歳未満)を扶養している者に対し、その経済的自立と生活意欲の助長を		

	回り、あわせてその扶養している児童の福祉を増進するため各種の資金を貸し付ける。
④ひとり親家庭医療費助成	母子家庭・父子家庭、父母のいない児童に対して医療費の助成を行い、その健康と福祉の増進を図る。

(6) 子育てと仕事の両立支援

計画進行管理指標項目	現状 19年度	今年度指標 20年度	目標年度 22年度
◎延長保育実施率 (() 県北)	68.4% (92.4)	66.3%	70%
◎乳児保育実施率 (() 県北)	69.2% (81.8)	89.4%	100%
◎放課後児童クラブ設置率 (() 県北)	57.8% (72.1)	56.5%	80%

事業名	事業内容	担当課
①保育対策等促進事業 (国・県補助事業)	市町村が子育て支援のために保育所等で実施する一時保育、地域子育て支援センター事業等の経費を補助する(国・県補助)。	保健福祉課 児童家庭支援 T
ア 一時保育促進事業・特定保育事業	保護者の就労形態等により週2, 3回の受け入れや保護者の傷病等により緊急一時的に保育が必要となる児童を受け入れる経費を補助する。	
イ 保育所体験特別事業	普段、認可保育所を利用していない親子等に保育所を開放し、定期的な保育所体験や入所児童との交流を行うことにより、親子の育ちを支援する保育所に対して補助する。	
ウ 地域子育て支援センター事業	子育て家庭に対して、育児不安等への相談指導や、親子が交流する事業などを実施することにより、地域の子育て家庭に対する育児支援を行う子育ての拠点施設に対して補助を行う。	
エ 休日保育事業	日曜・祝祭日等の休日の保育ニーズに対応するため休日保育を実施する経費を補助する。	
オ 分園推進事業	保育所分園の運営について、必要な経費を補助を行う。	
キ 認可外保育施設の衛生・安全対策事業	市町村が認めた認可外保育施設の保育従事者・調理担当職員に対する健康診断に要する経費を補助する。	
②すくすく保育支援事業(県単独事業) 地域子育て支援センター充実事業	地域子育て支援センター事業を実施する市町村に対し、保育士の配置等の要件で国庫補助事業の該当にならなかったセンターに対して、必要な経費を補助する。	
③病児・病後児保育事業(自園型) (国・県補助事業)	保育所に、最低基準以外に看護師等を配置することにより、入所児童の健康管理や体調不良時に緊急的対応を図る保育所に補助する。	
④地域保育施設助成事業(県単補助事業)	認可を受けていない保育施設(事業所内保育施設を除く。)の健康診断、教材等設備購入、3歳未満児の保育等に要する経費を補助することにより、乳幼児の処遇向上と福祉の増進を図る。	
ア 入所児童健康診断費補助	入所児童の健康診断に要する経費を助成する。	
イ 入所児童支援事業	入所児童のため、教材等を含む設備の整備を行う際の経費を助成する。	
ウ 地域保育施設運営費助成事業	市町村が運営費の独自補助を行っている施設に入所する児童(3歳未満児のみ)の保育に要する経費の一部を補助する。	

⑤多子世帯保育料軽減事業(県単補助事業)	子育てに係る経済的負担を軽減し、仕事と子育ての両立を容易にするため、保育所及び認可外保育施設を利用する第3子以降の3歳未満児にかかる保育料について、市町村が減免する額の一部を補助する。	
----------------------	--	--

(7) 子どもの健全育成の推進

計画進行管理指標項目	現状 19年度	今年度指標 20年度	目標年度 22年度
◎児童館等年間利用回数	2.02回	2.10回	2.10回
事業名	事業内容		担当課
①放課後子どもプラン(放課後児童クラブ)ア 放課後児童健全育成事業(国・県補助)	昼間保護者のいない小学校低学年児童等の健全育成を図るため、20人以上(年間250日以上開設する児童クラブにあっては10人以上)の児童で組織する児童クラブを設置する市町村に対して、その運営費を補助する。		保健福祉課 児童家庭支援 T
イ わくわく放課後支援事業(県単補助)	昼間保護者のいない小学校低学年児童等の健全育成を図るため、国庫補助要件に満たない5人以上(年間200日以上開設)の児童で組織する放課後児童クラブを設置する市町村に対して、その運営費を補助する。		
ウ 放課後児童クラブ障がい児受入支援事業(県単補助)	障がい児を受け入れている放課後児童クラブに対し、障がい児受け入れにかかる経費の一部を助成する。		
②民間児童館活動事業(国・県補助)	児童厚生施設の運営費の一部を補助し、地域の健全育成活動を行っている児童厚生施設の活性化を図る。		
③地域組織活動育成事業(国・県補助)	児童の健全な育成を図るため、地域において児童健全育成活動を行っている自主的な団体(母親クラブ等)の運営経費を補助する。		

(8) 子どもの豊かな心づくり

事業名	事業内容	担当課
(該当事業なし)		

(9) 子どもの権利擁護の推進

計画進行管理指標項目	現状 19年度	今年度指標	目標年度 22年度
◎児童相談所相談受付件数	⑱ 5,422件	—	一件
事業名	事業内容		担当課
①児童福祉に関する相談[5-(5)-①と同じ]	<p>児童に関する様々な問題について、各福祉相談コーナーに駐在する児童相談所家庭相談員と連携を図りながら、家庭その他からの相談に応じて児童及びその家庭の問題解決を図る。</p> <p>相談の内容によっては児童相談所に送致して心理判定等により問題解決を図る。</p> <p>(家庭相談員担当区域)</p> <p>伊達福祉相談コーナー：伊達市、桑折町、国見町 安達福祉相談コーナー：二本松市、大玉村、本宮市</p>		保健福祉課 児童家庭支援 T ※児童相談所相談受付件数は、目標値を設定することが適当でないため、モニタリング指標とする。

6 高齢者が心豊かに暮らせる社会の推進

(1) 生きがいづくりと社会参加の促進

計画進行管理指標項目		現状 19年度	今年度目標 20年度	目標年度 22年度
◎シルバー人材センターの会員数		14,842人	16,042人	16,300人
事業名	事業内容	担当課		
①百歳高齢者知事賀寿事業	百歳の誕生日を迎えた高齢者を訪問し、高齢者の長寿を祝うとともに、敬老思想の高揚を図る。 平成20年度贈呈予定 8.8名(20.4.1現在)	保健福祉課 高齢者支援T		
②老人クラブ活動等社会活動促進事業	高齢者が生きがいを持ち、健康で豊かな生活を送ることができるよう、老人クラブ活動等に対し補助する。 ・補助先 市町村 ・補助率 国 1/3 県 1/3 市町村 1/3			
③市町村老人クラブ連合会が行う健康づくり事業	市町村老人クラブ連合会が趣味、スポーツ活動及び健康に関する講習会等を開催し、健康づくりに関する実践活動、健康に関する知識等についての普及啓発等を行う事業について補助する。 ・補助先 市町村 ・補助率 国 1/3 県 1/3 市町村 1/3			

(2) 健康づくり・介護予防の推進

計画進行管理指標項目 (第三次福島県介護保険事業支援計画)		現状 19年度	今年度目標 20年度	目標年度 20年度
○ケアハウスの入所定員		379人	—	—
○生活支援ハウスの入所定員		0人	—	—
事業名	事業内容	担当課		
①高齢者相互支え合い運動ボランティア養成研修事業	介護予防に有効な運動プログラムを開発し、そのプログラムを地域で普及していく元気な高齢者のボランティアを育成するため、高齢者相互支え合い運動ボランティア養成研修を開催する。	保健福祉課 高齢者支援T		
②介護予防市町村支援事業	介護予防事業を実施する市町村に対する支援を行う。			

(2) 在宅医療・介護の充実

計画進行管理指標項目 (第三次福島県介護保険事業支援計画)		現状 19年度	今年度目標 20年度	目標年度 20年度
○介護保険対象在宅サービスの利用状況			(介護予防含む)	(介護予防含む)
・訪問介護 (年間回数)		⑱ 779,355	884,048	884,048
・訪問看護 (年間回数)		⑱ 87,267	94,843	94,843
・通所介護 (年間回数)		⑱ 284,272	332,961	332,961
・通所リハビリテーション (年間回数)		⑱ 174,168	216,208	216,208
・短期入所生活介護 (年間日数)		⑱ 123,166	121,899	121,899
・短期入所療養介護 (年間日数)		⑱ 81,682	101,465	101,465
○訪問看護ステーション数		29カ所	—	—
事業名	事業内容	担当課		
①福島県高齢者保健福祉計画等推進事業	1. 県北地方高齢者保健福祉計画等進行管理連絡協議会 県北圏域における第四次福島県高齢者保健福祉計画・第三次福島県介護保険事業支援計画の進捗状況の問題点を把握するとともに、その対策を検討するため、県北地方高齢者保健福祉計画等進行管理連絡協議会を開催する。 2. 第五次福島県高齢者福祉計画・第四次福島県介護保険事業支援計画策定 平成21年度を初年度とする第五次福島県高齢者福祉計画・第四次福島県介護保険事業支援計画策定のため、圏域内の調整を行う。	保健福祉課 高齢者支援T		

②高齢者虐待防止ネットワーク体制整備支援事業	○方部別高齢者虐待対応連絡会議 市町村担当職員を対象に、高齢者虐待防止ネットワーク構築状況に関する情報交換や虐待対応事例検討等を行う会議を開催する。	
------------------------	---	--

(4) 施設医療・介護の充実

計画進行管理指標項目 (第三次福島県介護保険事業支援計画)	現状 19年度	今年度目標 20年度	目標年度 20年度
○指定介護療養型施設定員数	84人	97人	97人
○介護老人保健施設定員数	1,805人	2,005人	2,005人
○特別養護老人ホーム定員数	2,119人	2,284人	2,284人
事業名	事業内容		担当課
①社会福祉施設整備事業 (重点事業)	福島県高齢者保健福祉計画・福島県介護保険事業支援計画に基づき、県北圏域における特別養護老人ホーム、介護老人保健施設等の整備を促進する。		保健福祉課 高齢者支援T
②身体拘束ゼロ作戦推進事業	介護保険施設等における入所者(利用者)の身体拘束廃止に向けて、関係者にこの趣旨を徹底させる。		
③老人福祉法に係る施設の設置認可等	老人福祉施設の設置及び変更の申請並びに老人居宅生活支援事業等の開始及び変更等の届出に際して、必要な助言指導を行う。		

(5) 認知症高齢者の総合的支援

事業名	事業内容	担当課
①認知症予防対策事業 (重点事業)	1. 認知症予防対策推進会議 地域における認知症の「予防・早期発見・早期対応」体制整備を支援するため、圏域の対策の評価・進行管理を行うための会議を開催する。 2. 認知症予防対策学習会 管内市町村の認知症予防対策を推進するため、市町村担当者の学習会を開催し、各市町村の認知症予防対策の工夫・問題点等の情報交換・協議を行う。	保健福祉課 高齢者支援T
②認知症の安心ネットワーク構築事業 (重点事業)	地域型認知症予防プログラム等により認知症予防対策を実施する市町村に対する支援を行う。	

(6) 介護保険制度の円滑な運営

計画進行管理指標項目	現状 19年度	今年度目標 20年度	目標年度 20年度
○要介護(要支援)認定者数 (第三次福島県介護保険事業支援計画)	⑱ 18,679人	19,766人	19,766人
事業名	事業内容		担当課
①介護保険者指導事業	介護保険制度の円滑な運用のため、保険者である市町村に対して介護保険法第5条第2項及び第197条第1項並びに地方自治法第245条の4第1項の規定に基づき事業の運営や手続きに関する技術的助言を行う。		保健福祉課 高齢者支援T
②認定調査員等研修事業	1. 認定調査員研修事業 要介護認定において適正な一次判定を確保するため、認定調査員に対して新任研修及び現任研修を実施する。 2. 介護認定審査会委員研修事業 要介護認定において適正な二次判定を確保するため、介護認定審査会委員に対して新任研修及び現任研修を実施する。		
③介護保険施設等の指導等事業	○介護保険施設等実地指導 介護保険法に基づく指定事業所・施設の指導監査を本庁と合同で実施する。		

④介護保険審査会運営事業	介護保険制度の保険者である市町村の行った行政処分に対する審査請求の審理・裁決を行い、制度の適正な運営を行う。
⑤介護サービス提供事業者の指定等事業	○介護保険法に係る事業者の指定等 介護サービス提供事業者の指定申請及び変更等の届出に際して、必要な助言指導を行う。
⑥介護老人保健施設の変更許可等	介護保険法に基づく介護老人保健施設に係る変更許可及び管理者承認について、申請内容を審査し、許可及び承認を行う。 1. 介護保険法第94条第2項の規定による変更許可(入所定員の増員以外の変更許可事項に限る。) 2. 介護保険法第95条第1項及び第2項の規定による管理者の承認
⑦地域包括支援センター職員等研修事業	○地域包括支援センター機能強化研修事業 地域包括支援センターの機能を強化するため、圏域の特性に応じ、圏域別研修会を開催する。

7 障がい者が自立し社会参加できる社会の推進

(1) ノーマライゼーションの理念の普及・啓発の促進

事業名	事業内容	担当課
①障がい者の明るい暮らし促進事業	●市民精神保健福祉研修会 心の病を持つ人々のよき理解者として、地域で自主的な活動を行うボランティアを育成する。 1. ボランティアフォローアップ研修会 1. 県障がい者ふれあい文化事業 内容：障がい者週間（12月3日～9日）を記念し、NPO や社会福祉法人等が開催する障がい者の自立等を目的としたイベントに対し、その開催経費の一部を補助する。 ○補助率：開催経費の1/2以内 2. 心の輪を広げる障がい者理解促進事業 ・心の輪を広げる体験作文 ・障害者の日ポスター	保健福祉課 障がい者支援 T
②ふれあい週間事業		

(2) 総合療育体制の推進

計画進行管理指標項目	現状 19年度	今年度指標 20年度	目標年度 22年度
◎障がい児（者）地域療育相談件数	⑩ 1,106件	1,601件	1,800件
事業名	事業内容		担当課
①障がい児（者）地域療育等支援事業	1. 障がい児（者）専門相談支援事業 相談支援アドバイザーによる、市町村相談支援体制整備への助言・指導等の2次支援及び高度な専門性を必要とする相談への直接支援を実施する。 2. 障がい児等療育支援事業 地域の医師、理学療法士等の療育の専門家を活用することで、地域における専門的な相談療育支援体制を確保する。 ○実施予定施設：福島市清心荘、あだたら育成園 計2施設		保健福祉課 障がい者支援 T

(3) 教育の充実

事業名	事業内容	担当課
①養護教育における医療的ケア実施事業	養護学校等において、障がい者が重度・重複化し、日常的に医療的ケアを必要とする児童生徒が増加している中、医療的サポート会議等において、一人一人の障害に応じた学校教育環境の実現に向けた保健管理体制整備を図るために協力支援を行う。	保健福祉課 児童家庭支援 T

(4) 雇用と就労の促進

計画進行管理指標項目		現状	今年度指標	目標年度
第2次福島県障がい者計画における数値目標		19年度	20年度	22年度
◎就業している障害者数		⑩ 5,725人	6,135人	6,300人
事業名	事業内容	担当課		
①精神障がい者社会適応訓練事業	回復途上にある在宅精神障がい者で就労意欲のある者を、県に登録した協力事業所に一定期間訓練を委託し、円滑な社会復帰を援助する。 ・委託予定人員：2人(委託期間6ヶ月、最長2年) ・委託金：月2万円限度	保健福祉課 障がい者支援 T		
②精神障がい者社会復帰施設運営事業	補助金の適正執行と施設運営・利用に係る支援を行う。 ○補助先： 通所授産施設「にこにこふれあいセンター」	保健福祉課 障がい者支援 T		
③障がい者小規模作業所支援事業	1 雇用されることが困難な在宅の障がい者に自立に必要な訓練を行うとともに、就労の場を与えて自立更生を促進するため障がい者小規模作業所に財政的支援を行う。 ・運営費補助 ○補助額 Aランク：年6,000千円×3/10 Bランク：年3,000千円×3/10 Cランク：年1,500千円×3/10 ・訓練者の人数の補助加算（14名上限） ○補助額 1名当たり年額300千円×3/10 ・各作業所の方針を把握し、実現に向けて支援する。 ・当該市町村以外の利用者に対する負担金の調整を行う。 ○補助先：市町村 2 障がい者就労訓練設備等整備事業 新事業へ移行する際に必要となる設備整備等に要する経費を補助する。 2,000千円×作業所数	保健福祉 G 障がい者支援 T		

(5) 自立の支援と社会参加の促進

計画進行管理指標項目		現状	今年度指標	目標年度
		19年度	20年度	22年度
◎パソコンボランティアの登録数		⑪ 84人	-人	140人
事業名	事業内容	担当課		
①社会参加促進事業	1 障がい者パソコン活用促進事業 障がい者の情報障壁の軽減を図る手段として有効なパソコン活用促進を図るため、障がい特性に応じたパソコン導入アドバイス及び指導を行うとともに、適切な相談指導スタッフの養成を行う。 2 要約筆記奉仕員事業 ①要約筆記奉仕員養成 中途失聴者、難聴者で手話を理解できない者に対し、会合等で話を的確に要約し同時通訳する要約筆記奉仕員を養成する。 ②要約筆記奉仕員派遣 中途失聴者、難聴者が会合等に出席する場合において、円滑な意志の疎通を図るため、要約筆記奉仕員を派遣する。 2 手話奉仕員・通訳者事業 ①手話奉仕員派遣 聴覚障がい者が公的機関等に赴く時において、円滑な意志の疎通を図るうえで、支障がある場合において手話奉仕員を派遣する。	保健福祉課 障がい者支援 T		

	<p>②手話通訳者養成 身体障がい者の福祉の概要や手話通訳の役割、責務について理解ができ、手話通訳に必要な技術を習得した手話通訳者を養成する。</p> <p>③手話通訳者派遣 聴覚障がい者が公的機関に赴く時において、意志の疎通を図る上で、手話通訳者の派遣が適当な場合、手話通訳者を派遣する</p> <p>④手話奉仕員指導者養成 手話奉仕員を養成する指導者を育成するため研修会に派遣する。</p> <p>4 盲ろう者通訳・介助員事業</p> <p>①盲ろう者通訳・介助員養成 盲ろう者が公的機関に赴く時、円滑な意志の疎通を図られるよう、盲ろう者通訳・介護員を養成する。</p> <p>②盲ろう者通訳・介助員派遣 盲ろう者が公的機関に赴く時、円滑な意志の疎通を図られるよう、盲ろう者通訳・介護員を派遣する。</p>	
②県障がい者総合体育大会	<p>第46回福島県障がい者総合体育大会の開催</p> <p>○開催時期：平成20年5月18日</p> <p>○開催場所：会津若松市</p>	保健福祉課 障がい者支援 T
③障がい者自立生活センター支援事業	<p>障がい者が主体性をもって、地域の中で自立した生活が送れるように障がい者が自ら運営し、障がい者自身が各種サービスを提供する「障がい者自立生活センター」活動を支援する。</p> <p>○補助先：市町村 補助率：1/2</p>	保健福祉課 障がい者支援 T
④障がい者地域生活移行自立サポート事業	<p>●障がい者地域生活体験支援事業 スムーズに地域に移行させるために、グループホーム等における住居での生活体験、社会復帰施設等での体験事業を実施する。</p> <p>○補助先：社会福祉法人、NPO法人、精神病院等</p> <p>○補助率：(家賃を要しない場合) 補助基準額 1,720円×延泊日数×1/2 (家賃を要する場合) 補助基準額 2,390円×延泊日数×1/2</p>	保健福祉課 障がい者支援 T
⑤障がい者地域生活移行支援事業 (重点事業)	<p>1 圏域別地域生活支援調整事業 地域生活への移行を調整する地域生活支援調整会議を設置する。</p> <p>2 地域生活移行支援事業 登録した専門家の派遣を行い、地域生活移行の相談支援や助言を行う。</p>	

(6) 人権への配慮と医療の確保

事業名	事業内容	担当課
①精神保健医療	<p>1 精神科病院実地指導及び入院者の実地審査</p> <p>2 措置・医療保護入院患者の管理</p> <p>3 精神保健指定医による診察 精神障がいによる自傷他害のおそれ又はその疑いのある者を精神保健指定医に診察させ、その結果、必要と認められる者を県立病院又は指定病院に入院させる。</p> <p>4 措置入院者医療費公費負担 知事が決定した措置入院者の医療費を公費負担し、措置入院者の適正な医療及び保護を図る。</p> <p>5 自立支援医療(精神通院)の公費負担</p>	保健福祉課 障がい者支援 T

	<p>精神障がい者の通院医療費の一部を公費負担し、通院医療の普及を図る。</p> <p>6 精神科救急医療システム整備事業 夜間・休日において、病状の急変等により緊急に精神科医療を必要とする者の適切な医療を確保するため、地域の実情に応じて診療応需体制等をシステム化し、精神疾患の再発防止や地域生活支援を図る。</p> <p>7 精神科移送システム事業 緊急な入院が必要にもかかわらず、本人の同意に基づいた入院を行うにないと指定医が判定した精神障がい者を応急入院指定病院に移送するシステムを適切に運用し、治療の必要性を自ら判断できない精神障がい者の受療の機会を確保する。</p>	
--	--	--

(7) 在宅福祉サービスの充実

事業名	事業内容	担当課
①相談指導事業	<p>精神保健及び精神障がい者の福祉に関する相談に応じるほか、訪問指導を行い、精神疾患の早期治療の促進、精神障がい者に対する社会復帰の促進を図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・心の健康相談：13回開催 ・精神保健福祉相談：随時 ・アルコール相談事業：12回開催 ・ひきこもり専門相談窓口の設置 ・ひきこもり家族等教室の開催 ・連絡会の開催 ・家庭訪問：随時 	保健福祉課 障がい者支援 T
②精神障害者保健福祉手帳交付事業	<p>精神障がい者に対する各種の支援策の活用を容易にし、自立と社会参加を図る。</p> <p>申請窓口：市町村</p>	保健福祉課 障がい者支援 T
③身体障がい者相談員設置事業	<p>身体障がい者相談員を配置し、身体障がい者の更生援護に関する相談、指導、助言等を行うために設置する。</p>	保健福祉課 障がい者支援 T
④知的障がい者相談員設置事業	<p>知的障がい者相談員を配置し、知的障がい者の更生援護に関する相談、指導、助言等を行うために設置する。</p>	保健福祉課 障がい者支援 T
⑤重度障がい者支援事業	<p>1 重度心身障がい者医療費補助事業 重度心身障がい者の医療費の自己負担額を公費で負担する。 (入院時食事療養費の標準負担額は対象外) 補助先：市町村 補助率：県 1/2 対象者：身体障害者手帳所持者 (1・2級及び3級の内部障害) 療育手帳 A 所持者 精神保健福祉手帳 1 級所持者 (他法制度の公的給付除く) 療育手帳 B かつ身体障害者手帳所持者 精神保健福祉手帳 2・3 級かつ身体障害者手帳又は療育手帳所持者</p> <p>2 在宅重度障がい者対策事業 日常生活において、常に医療的処置を必要とする在宅重度障がい者に治療材料等を給付することにより、経済的負担の軽減を図る(中核市除く)。 ・治療材料費給付事業 月限度額 3 千円 補助先：市町村 補助率：1/2 ・衛生器材費給付事業 月限度額 4 千円 補助先：市町村 補助率：1/2</p> <p>3 人工透析患者通院交通費補助事業</p>	保健福祉課 障がい者支援 T

	<p>人工透析を受けている通院患者の通院に要する費用を助成する（中核市除く）。 対象者：通院費が月額5千円を超えるもの 補助先：市町村 補助率：5千円を超える額の1/2</p>									
<p>⑥特別障害手当等給付事業</p>	<p>日常生活において、常時特別の介護を要する在宅の重度障がい者に対し、特別障害者手当等を支給すること等により、障がい者の所得保障と福祉の増進を図る。 (18年4月1日改訂)</p> <table border="1" data-bbox="571 501 1133 622"> <thead> <tr> <th>手 当 名</th> <th>月 額 給 付 単 価</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>特 別 障 害 者 手 当</td> <td>26,440円</td> </tr> <tr> <td>障 害 児 福 祉 手 当</td> <td>14,380円</td> </tr> <tr> <td>経 過 的 福 祉 手 当</td> <td>14,380円</td> </tr> </tbody> </table>	手 当 名	月 額 給 付 単 価	特 別 障 害 者 手 当	26,440円	障 害 児 福 祉 手 当	14,380円	経 過 的 福 祉 手 当	14,380円	<p>保健福祉課 障がい者支援 T</p>
手 当 名	月 額 給 付 単 価									
特 別 障 害 者 手 当	26,440円									
障 害 児 福 祉 手 当	14,380円									
経 過 的 福 祉 手 当	14,380円									
<p>⑦障がい者福祉サービス等給付事業 (在宅系)</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1 居宅介護等 利用者が居宅において自立した生活を営むことができるよう、ホームヘルパーを派遣し日常生活を支援することにより利用者の生活の安定を図るサービスであり、当該サービスに要する費用の一部を支給する。 2 重度障がい者等包括支援 常時介護を要する重度障がい者に対し、日常生活又は社会生活を営むことができるよう、障がい福祉サービスを包括的に提供し、利用者の生活の安定を図るサービスであり、当該サービスに要する費用の一部を支給する。 3 短期入所 在宅においてその介護を行う者の疾病その他の理由により、障がい者支援施設その他の施設へ短期間の入所を必要とする障がい者等に対し、入浴排せつ又は食事等の介護や日常生活上の支援を実施するサービスであり、当該サービスに要する費用の一部を支給する。 4 児童デイサービス 日常生活における基本動作の指導、集団生活への適応訓練を行うデイサービスを受けた障がい児に対し、市町村が介護給付等を支給した場合、当該介護給付費等に要する費用の一部を支給する。 5 共同生活援助等 利用者が地域において共同して自立した日常生活又は社会生活を営むことができるよう、その利用者の身体及び精神の状況や環境に応じて共同生活住居において入浴、排せつ及び食餌等の介護、相談その他の日常生活上の支援を実施するサービスであり、当該サービスに要する費用の一部を支給する。 6 相談支援事業 支給決定を受けた障害者等で、特に計画的な支援を必要とする者が、指定相談支援事業者から「指定相談支援」等を受けた場合、サービス利用計画作成費を支給する。 									
<p>⑧在宅知的障がい者対策費</p>	<p>知的障がい者地域生活ホーム事業 国庫補助対象外の知的障がい者グループホーム事業 に対し補助を行う ○補助先：市町村</p>	<p>保健福祉課 障がい者支援 T</p>								
<p>⑨身体障がい児者補装具給付事業</p>	<p>身体障がい児・者の障がいを軽減させるために行う義肢、車いす等の補装具の給付・修理にかかる補装具費の一部を支給する。</p>	<p>保健福祉 G 障がい者支援 T</p>								

(8) 施設福祉サービスの充実

計画進行管理指標項目	現状	今年度指標	目標年度
*第2次福島県障がい者計画における数値目標	19年度	20年度	22年度
◎精神障がい者生活訓練施設定員数	⑯ 60人	170人	220人
◎身体障がい者療護施設定員数	⑯ 355人	405人	425人
◎知的障がい者更生施設（通所）定員数	⑯ 280人	490人	578人
事業名	事業内容	担当課	
①社会福祉施設整備利子補給事業	社会福祉施設整備を支援、促進するために設置主体の自己負担金のうち、独立行政法人福祉医療機構からの借入金の利子の一部を補助し、設置主体の負担軽減を図る。（中核市を除く） 対象施設：社会福祉法人けやきの村 ほか 補助金額：当該年度償還利子に2.5%を乗じ、借入利率で除した額を補助	保健福祉課 障がい者支援 T	
②身体障がい者施設訓練等支援費	1 介護給付・訓練等給付費 18歳以上の施設利用を希望又は必要とする身体障がい者に対し、旧法支援施設において指導・訓練を行った場合に、市町村が支給する費用の1/4を負担する。 2 障がい者就労訓練施設等整備事業 旧法支援施設等が、障がい者自立支援法に基づく障がい福祉サービスへの円滑な移行を図ることを目的として、障がい者自立支援法に基づく就労移行支援、就労継続支援等の新事業に移行する際に必要となる設備整備に要する経費を補助する。 ○補助先：法人 ○補助率：10/10 3 (新) 障害者自立支援給付費負担金 18歳以上の施設サービスの利用を希望又は必要とする身体障がい者に対し、障がい者自立支援法による施設系サービスを提供した場合に、市町村が支給する費用の1/4を負担する。	保健福祉課 障がい者支援 T	
③知的障がい者援護施設等保護費	1 知的障害ががい者更生・授産施設保護費 18歳以上の施設利用を希望する又は必要とする知的障がい者を保護し、その自立・更生に必要な指導・訓練を行うための自立支援給付費を、援護の実施者である市町村が障がい者に対して支給した実績に対して国が1/2、県が1/4を負担する。 2 障がい者就労訓練設備等整備事業 新事業体系に移行するに当たり必要な備品等の購 ○補助先：法人 ○補助率：10/10 3 (新) 障害者自立支援給付費負担金 18歳以上の施設サービスの利用を希望又は必要とする身体障がい者を支援し、その自立・更生に必要な指導・訓練を行うための自立支援給付費を援護の実施者である市町村が障がい者に対して支給した実績に対して国が1/2、県が1/4を負担する。	保健福祉課 障がい者支援 T	

(9) 障害者自立支援法制度の円滑な運営

事業名	事業内容	担当課
①自立支援医療給付費（更生医療）	1 自立支援医療費（更生医療） 身体障がい者が更生するために行う医療費の給付の一部を支給する。	保健福祉課 障がい者支援 T
②障害者自立支援対策臨時特例基金事業	1 事業者の激減緩和措置事業 収入が減少した事業者に対し支援するとともに、送迎サービスに係る費用を助成する。 2 新法への移行するまでの経過的な支援	保健福祉課 障がい者支援 T

障害者自立支援法の新サービス体系に直ちに移行できない小規模作業所等に経過的な措置として運営費を助成する。

3 新法への移行のための支援

施設の改修を行う事業者に助成するとともに、地域移行や就労支援を行うことにより、新サービス体系への移行を支援する。

4 制度改正に伴う緊急的な支援

障害者自立支援法の施行に伴い緊急的に対応するため、地域における相談指導体制の整備や障害児療育支援等を行う。

8 保健・医療・福祉のさらなる推進

(1) 健康危機管理の体制整備

事業名	事業内容	担当課
①健康危機管理体制整備（重点事業）	<p>模擬訓練等の実施により、体制の充実を図るとともに、マニュアルの見直しを行い、実効性を確保する。</p> <p>また、地域における感染症（特に「新型インフルエンザ」）による健康危害発生時における予防及びまん延防止を図るため、地方感染症対策連絡会を設置し、対策を協議する。</p>	医療薬事課 感染症予防T

(2) 情報ネットワークの構築

計画進行管理指標項目	現状 19年度	今年度指標 20年度	目標年度 22年度
●県北保健福祉事務所ホームページアクセス件数	17,188件	-件	-件
事業名	事業内容		担当課
①県北保健福祉事務所ホームページの運営・充実等	<p>保健・福祉のさらなる推進のためには、県民誰もが質の高い保健・医療・福祉の情報を手軽に利用できることが必要であることから、所ホームページ等を活用して、地域の状況や住民のニーズにあった情報を適宜、提供するとともに、市町村との電子メール等を活用した情報ネットワークの構築を進める。</p> <p>1 県北保健福祉事務所ホームページの運営・充実 ホームページに掲載した情報を定期的に更新するとともに、「ゆきうさぎ通信」等住民のニーズにあった情報の積極的な提供を行う。</p> <p>2 電子メール等を活用した情報ネットワークの構築 市町村と電子メールを活用した情報ネットワークを構築することにより、情報伝達の迅速化、個別相談の実施、情報の共有化等、双方向のネットワークの形成を進める。</p>		地域支援課
②保健・医療・福祉情報支援センター事業	<p>保健福祉事務所で保有している保健衛生統計データや各種事業を通して得られた地域住民の健康状態等に関する情報をデータベースとして蓄積、「地域診断シート」として資料化することにより、保健・医療・福祉活動の指標化、評価を行う。</p> <p>1 市町村との意見交換会の開催 地域診断シートをもとに、地域の健康課題を明確化するための意見交換会を市町村毎に開催する。</p> <p>2 平成20年度版「地域診断シート」の作成及び提供 平成19年度に作成した「地域診断シート」の掲載情報の更新を行うとともに、職域保健情報等新たな情報を追加した地域診断シートを作成し、市町村等関係機関に配付する。</p> <p>3 保健・医療・福祉情報の提供 データベースとして蓄積した情報を関係機関へ随時提供する。</p>		
③社会福祉関係及び保健衛生統計調査	<p>国の厚生統計施策の基礎資料を得るため、各種厚生統計調査についての取りまとめを行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国民生活基礎調査（6~7月） ・社会保障人口問題基本調査（7月） ・人口動態調査（毎月） ・病院報告（患者票：毎月、従事者票：10月） ・医療施設調査（動態調査：毎月、静態調査：10月） ・福祉行政報告例（月報・年度報） ・衛生行政報告例（年度報） ・介護サービス施設・事業所調査（10月） ・地域保健・老人保健事業報告（年度報） 		

	<ul style="list-style-type: none"> ・ 21世紀成年者縦断調査（11月） ・ 中高年者縦断調査（11月） ・ 医師・歯科医師・薬剤師調査、保健師等従事者届（12月） ・ 患者調査（9・10月） ・ 受療行動調査（10月） ・ 社会福祉施設等調査（10月） 	
--	--	--

(3) サービス総合化のシステムの確保

事業名	事業内容	担当課
① 県北地域保健医療福祉推進計画策定（重点事業）	現県北地域保健医療福祉推進計画は、うつくしま保健医療福祉プラン21の一部として位置づけられていた。今回県計画の廃止に伴い、圏域独自の地域特性、地域課題を踏まえた保健医療福祉施策を内容とする新たな計画として策定する。	地域支援課
② 県北地域喫煙対策推進事業 ほんとうの空！～クリーンエアプロジェクト～（重点事業）	<p>県民を受動喫煙から守る環境づくりを支援するため、多くの県民が日常的に利用する飲食店等を中心とした管内施設の喫煙対策の実態を明らかにし、現状を踏まえた喫煙対策を所内横断的に取り組む。</p> <p>1 「きれいな空気推進施設（仮称）」認証、登録制度の実施</p> <p>4 管内施設の受動喫煙防止対策実態調査</p> <p>5 受動喫煙防止対策普及啓発用リーフレット作成</p> <p>4 受動喫煙防止対策に関する普及啓発・助言活動</p>	
③ 地域ふれあい広場モデル事業（重点事業） （過疎・中山間振興地域経営戦略会議出先機関連携事業）	<p>過疎・中山間地域の身近な場所で、地域の誰もが気軽に交流できる場所としてのサロンを整備し、それにより心温かな、思いやりが息づくコミュニティを創ることによって、地域の活性化を図る。</p> <p>サロンはボランティア団体が自主的に運営し、子育て中の親子、高齢者等が集い世代間交流を図る。</p> <p>・実施地域：伊達市月舘町</p> <p>・事業概要：①地域ふれあい交流サロン「かがやき」の設置・支援運営 ②地域ふれあい交流サロンボランティアの養成</p>	

(4) 地域リハビリテーションの推進

事業名	事業内容	担当課
① 地域リハビリテーション支援体制整備推進事業	地域リハビリテーション広域支援センター(医療法人辰星会栞記念病院)が行う、連絡協議会の運営及び地域リハビリテーション従事者等研修会の運営等を支援する。	保健福祉課 高齢者支援T

(5) 保健・医療・福祉における研修の推進

事業名	事業内容	担当課
① 地域保健関係職員研修	地域保健活動に従事する市町村及び関係機関等の職員等を対象に、地域の実情に即した幅広い分野の研修を実施し、資質の向上に努め、地域保健対策の推進を図る。	地域支援課
② 地域保健福祉活動推進研修	<p>・ 県全体研修の周知 ・ 取りまとめ</p> <p>管内の市町村及び関係機関において、地域保健活動に従事する関係者の資質の向上を図り、地域保健対策の推進に資する。</p>	

	・年間 3回	
③出前講座	管内の市民団体、事業所、学校、公的団体等が主催する10人以上の集会・会合に当事務所職員が出向き、保健・医療・福祉・生活衛生の施策や事業について講演を行い、当事務所の施策・事業について周知する。	

(6) 保健・医療・福祉の人材の確保と資質の向上

計画進行管理指標項目	現状 19年度	今年度指標 20年度	目標年度 22年度
○医師数（人口10万対）	⑱年 251.01人	-	22年 261.0
○歯科医師数（〃）	⑱年 58.42人	-	22年 64.7
◎薬剤師数（〃）	⑱年 159.93人	-	22年 150.2
◎看護職員数（〃）	⑱年 1085.87人	-	22年 1,299.2
◎保健師数（〃）	⑱年 45.05人	-	22年 51.1
◎助産師数（〃）	⑱年 26.55人	-	22年 24.5
◎看護師・准看護師数（〃）	⑱年 1014.27人	-	22年 1,233.6
○理学療法士数（〃）	⑰年 21.3	-	22年 42.9
○作業療法士数（〃）	⑰年 19.4	-	22年 35.6
○歯科衛生士（〃）	⑱年 58.42人	-	22年 91.7
○診療放射線技師（〃）	⑰年 38.6	-	22年 47.8
○市町村栄養士配置率	⑱年 77.8%	-	22年 100%
◎介護支援専門員養成者数	⑱年 5,882人	-	⑳ 6,658人

事業名	事業内容	担当課																																
①市町村保健師・栄養士の確保に対する支援事業	市町村の実態把握を行い、適宜情報提供を行うなどして市町村の支援に役立てる。	地域支援課																																
②医師の卒後臨床研修	新医師臨床研修の「地域保健・医療」履修のための研修医を受け入れる。 9・11・12月（3～4週間で各月2名） 6名																																	
③実習生に対する教育・実習指導	保健・医療・福祉従事者養成機関の実習生に対して、地域保健福祉活動の現状を学ぶ実習の場を提供し、指導を行う。 ＜平成20年度実習生受入予定数＞																																	
	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>受入実習校数</th> <th>人数</th> <th>延人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>医学系</td> <td>2</td> <td>16</td> <td>76</td> </tr> <tr> <td>看護系</td> <td>4</td> <td>119</td> <td>174</td> </tr> <tr> <td>福祉系</td> <td>1</td> <td>4</td> <td>52</td> </tr> <tr> <td>介護系</td> <td>1</td> <td>8</td> <td>48</td> </tr> <tr> <td>栄養系</td> <td>4</td> <td>14</td> <td>84</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>2</td> <td>33</td> <td>46</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>14</td> <td>194</td> <td>480</td> </tr> </tbody> </table>		受入実習校数	人数	延人数	医学系	2	16	76	看護系	4	119	174	福祉系	1	4	52	介護系	1	8	48	栄養系	4	14	84	その他	2	33	46	計	14	194	480	
	受入実習校数	人数	延人数																															
医学系	2	16	76																															
看護系	4	119	174																															
福祉系	1	4	52																															
介護系	1	8	48																															
栄養系	4	14	84																															
その他	2	33	46																															
計	14	194	480																															

平成20年度県北保健福祉事務所事業計画（重点事業）

項 目	1 快適で健やかな生活の実現 (2) 食品等の安全性の確保		
事 業 名	(2)-① 食品営業許可指導事業 (2)-② 食品安全対策事業	関連頁	12、 60～64
事 業 内 容	<p>輸入食品の農薬汚染による健康被害の発生や不適正な表示等による自主回収の多発等により、消費者の「食品の安全・安心」に対する関心が増大している。</p> <p>このため、県が策定した「食品の安全確保対策基本方針」に基づき「食品衛生監視指導計画」を定め、計画的に事業を実施し、飲食に起因する健康被害や不良食品の発生を未然に防止する。</p> <p>1 食品営業監視指導 食品の製造から流通、消費の全ての段階における監視指導及び収去検査を実施し、安全な食品の流通の確保に努める。</p> <p>(1)重点的監視指導</p> <ul style="list-style-type: none"> ・製造段階（食品製造・加工施設及び大規模調理施設等） ・流通段階（卸売市場や大規模小売店等） ・観光地の宿泊施設及び土産品等販売施設（道の駅、直売所等） <p>(2)収去検査の実施 食品流通の全工程を対象として、収去検査等を効率的に実施し、安全な食品の流通を確保する。</p> <p>2 「食品の安全・安心」普及啓発 消費者や食品等事業者に対し、「食品の安全・安心」に関する正しい知識の普及啓発を実施し、消費者の食品の安全に対する不安や不信の払拭に努める。</p> <p>(1)食品等事業者に HACCP（危害分析・重要管理点）システムに関する指導助言を行い、自主管理体制の確立を図る。</p> <p>(2)食品等事業者や生産者を対象とした「食品表示早わかり講座」及び小学生を対象とした「食品安全教室」等の出前講座を実施する。</p> <p>(3)食品安全110番を関係機関と連携し、円滑な運用を図る。</p> <p>(4)「一日食品衛生監視員」及び「食品衛生懇談会」を開催するなどリスクコミュニケーションを実施する。</p> <p>3 健康危機管理体制の整備 休日及び夜間において、一般住民からの健康危機情報の把握が可能となるよう連絡体制の整備を図る。 休日及び夜間連絡窓口 080-1811-8570</p>		
担 当 課	衛生推進課 食品衛生チーム		

平成20年度県北保健福祉事務所事業計画（重点事業）

項 目	2 生涯にわたる健康づくりの推進 (3) 成人保健・職域保健の推進		
事業名	(3)-① 生活習慣病予防普及啓発事業	関連頁	16、74
事業内容	<p>「健康ふくしま21計画」を踏まえ、働きざかりのメタボリックシンドローム（内蔵脂肪症候群）に着目した生活習慣病予防を徹底し、健康寿命を延伸するため、地域保健と職域保健の連携により、生涯を通じた継続的な保健サービスの提供体制を整備する。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 県北地区産業保健・地域保健連携推進連絡会の開催 地域保健・職域保健関係者から構成する健康づくりに関する会議を開催し、医療制度改革に向けた特定健診・特定保健指導の体制整備を図るとともに、関係機関との情報交換により効果的な生活習慣病対策を推進する。 2 働きざかりの健康講座検討部会の開催 <ul style="list-style-type: none"> ・ポピュレーションアプローチの観点から、運動・栄養・喫煙対策に焦点を当てた普及啓発について検討する。 ・モデル事業所の健康づくり支援の検討 3 モデル事業所における健康づくり支援 モデル事業所におけるヘルスケアリーダーの育成支援を行う。 4 健康教育応援隊による事業所への健康教育 市町村・保健所・事業所等担当者でチームを編成し、健康教育を実施する。 5 健康づくり担当者研修会の開催 行動変容を促す効果的な健康教育が実施できる担当者の育成を図る。 		
担当課	健康増進課		

平成20年度県北保健福祉事務所事業計画（重点事業）

<p>項 目</p>	<p>2 生涯にわたる健康づくりの推進 (4) こころの健康づくり</p>		
<p>事業名</p>	<p>(4)-① こころの健康・自殺予防対策事業</p>	<p>関連頁</p>	<p>16、75</p>
<p>事業内容</p>	<p>うつ病の予防及び早期発見と適切な対応について、関係機関との連携のもと、継続的に実施できる体制を整えていくことで、自殺を抑制し、県民の精神的健康の保持増進に寄与する。</p> <p>1 中高年のうつ病予防対策の実施 近年増加の著しい中高年の自殺を抑制するため、大玉村をモデル市町村とし、地域に根ざした自殺予防対策を展開する。 また、平成20年度で本事業が終了することから、管内の全市町村が、うつ病・自殺予防対策に取り組めるように、個々の事例に応じた個別支援等を行う。</p> <p>2 自殺予防対策キャンペーンの実施 県民一人ひとりが、自殺の要因となる心の健康問題について理解し、自殺に関する正しい知識を持つことにより、自分自身または身近な人々の精神的健康問題に適切に対処できるようにするため、医療機関及び市町村等の協力のもと、自殺予防に関する普及啓発事業を行う。</p>		
<p>担当課</p>	<p>保健福祉課 障がい者支援チーム</p>		

平成20年度県北保健福祉事務所事業計画（重点事業）

<p>項 目</p>	<p>2 生涯にわたる健康づくりの推進 (4) こころの健康づくり</p>		
<p>事 業 名</p>	<p>(4)-② 自死遺族への相談支援事業（新規）</p>	<p>関 連 頁</p>	<p>16</p>
<p>事 業 内 容</p>	<p>自死遺族に対する支援として、相談技術の習得等、相談支援体制の整備を図りながら、平成20年度中に相談窓口を開設する。</p> <p>自死遺族からの相談は、通常精神保健福祉相談の中で対応していく。相談の中で、困難ケース等必要な者には、精神保健福祉センター等の専門相談機関及び自死遺族の自助グループを紹介するなど関係機関と連携を図りながら対応していく。</p>		
<p>担 当 課</p>	<p>保健福祉課 障がい者支援チーム</p>		

平成20年度県北保健福祉事務所事業計画（重点事業）

項 目	3 健康を支える医療の充実 (3) 医療機関の整備 (10) 医薬品等の適正な使用、安全性の確保		
事 業 名	(3)-② 医療安全確保推進事業 (10)-① 医薬品等取締事業	関 連 頁	20、21、 85～87
事 業 内 容	<p>地域における医療の安全、安心を確保するため、医療機関及び薬局への立入検査を実施する。</p> <p>特に、昨年4月、「良質な医療を提供する体制の確立を図るための医療法等の一部を改正する法律（以下「改正医療法」という。）」が施行され、全ての医療機関等（薬局を含む。）に医療安全確保の措置を講ずることが義務づけられたところであるが、平成19年度の立入検査では、改正医療法で定める医療安全体制が不十分であると確認されたので、当該対策のより一層の推進を図るため、管内医療機関等を対象とした立入検査及び研修会を開催する。</p> <p>【事業内容】</p> <p>1 立入検査</p> <p>従来より実施している病院、薬局のほか、診療所（医科・歯科）の立入検査を強化する。</p> <p>(1) 重点項目</p> <p>1) 病院・診療所</p> <p>① 医療安全及び院内感染防止のための体制整備 ② 医療機器に係る安全管理のための体制整備 ③ 医薬品の安全管理のための体制整備</p> <p>2) 薬局</p> <p>① 医薬品の安全管理のための体制整備</p> <p>2 研修会の開催等</p> <p>当所主催の研修会のほか、医師会、歯科医師会又は薬剤師会が実施する研修会へ参加し、上記重点項目の周知（現況＜平成19年度の医療機関への立入検査結果＞と対応策について）徹底を図る。</p> <p>3 医療事故（調剤過誤を含む。）発生時の対応措置について</p> <p>早期に立入調査及び原因分析を行い、改善のための指示・指導を行う。</p>		
担 当 課	医療薬事課 医事薬事チーム		

平成20年度県北保健福祉事務所事業計画（重点事業）

<p>項 目</p>	<p>4 誰もが安心して暮らせる福祉社会の推進 (6) 保護援助を必要とする女性への支援</p>		
<p>事 業 名</p>	<p>(6)-② 配偶者暴力相談支援センター ネットワーク事業</p>	<p>関連頁</p>	<p>23、98~99</p>
<p>事 業 内 容</p>	<p>DV防止法の施行に伴い、地域の拠点として保健福祉事務所が配偶者暴力相談支援センターに指定されている。</p> <p>平成20年1月には改正法が施行され、保護命令制度の拡充や、裁判所から支援センターへの保護命令の発令に関する通知の発出がなされることとなった。</p> <p>警察・医療・司法等との連携強化を図りながら、DV被害女性の保護を目的として相談・支援を実施する。</p> <p>(1)配偶者暴力相談支援センターネットワーク事業 (2)要保護女子の移送</p>		
<p>担 当 課</p>	<p>保健福祉課 児童家庭支援チーム</p>		

平成20年度県北保健福祉事務所事業計画（重点事業）

<p>項 目</p>	<p>5 妊娠・出産・子育て・子育てを支える社会の推進 (1) 母子保健医療施策の推進</p>		
<p>事業名</p>	<p>(1)-① 思春期保健事業</p>	<p>関連頁</p>	<p>24、94</p>
<p>事業内容</p>	<p>10代の若者に対して、生命・お互いの性・人権を尊重する人間教育としての性教育を進め、望まない妊娠と人工妊娠中絶を減少させ、思春期の若者が、心身ともに健やかに成長できるよう支援する。</p> <p>1. 10代の性のいのち生きいきプロジェクト推進会議 2回/年開催 当該地域に課題となっている思春期の性の健康問題を分析・協議し関係機関と連携・協力体制強化を図る。</p> <p>①関係機関の事業に関する情報・意見交換 ②親子コミュニケーション・ワークショップ</p> <p>2 思春期相談ほっとライン事業 思春期の若者や思春期の子を持つ保護者等の性に関する悩みに対して、相談窓口（電話・メール・面接）で対応する。</p> <p>3. 親支援・性と生のワークショップ（教育庁連携事業） 幼児期から思春期の子どもを持つすべての保護者、地域の大人を対象に性やいのちについて家庭や地域で子どもとどう関わればよいか、大人が主体的に参加し、学習する機会としてのワークショップを教育事務所と開催する。</p> <p>①日時：平成20年7月6日（日） ②場所：福島県立美術館・図書館 ③内容：講話・ワークショップ・思春期子育て相談</p>		
<p>担当課</p>	<p>保健福祉課 児童家庭支援チーム</p>		

平成20年度県北保健福祉事務所事業計画（重点事業）

<p>項 目</p>	<p>5 妊娠・出産・子育て・子育てを支える社会の推進 (4) 子育て支援環境づくりの推進</p>		
<p>事業名</p>	<p>(4)-③ 子育て支援を進める県民運動 県北方部子育て支援ネットワーク構築事業</p>	<p>関連頁</p>	<p>26、 98～99</p>
<p>事業内容</p>	<p>少子化問題解決に向け、安心して子どもを産み育てることができるとともに、子どもが健やかに育つ環境づくりのため、県では11月の第3日曜日を子育ての日として連絡会議により各種行事を開催する。</p> <p>今年度当事務所においては、県北方部で行政機関と子育て支援に関わる各団体による連絡会議を設立し連携を図る。</p> <p>また、子育ての日に県北地区で開催される県のシンボル事業に併せて、県北方部子育て支援連絡会議として独自事業を開催する。</p> <p>(1) 県北方部子育て支援連絡会議の開催 （全体会1回、市町村情報交換会1回）</p> <p>県北方部行事を円滑に進め、事業を評価する機関として連絡会議を年1回開催する。この場で子育て支援に関する情報交換を実施する。</p> <p>また、市町村・子育て支援団体を対象に、事例検討会やサービスの情報交換を図る情報交換会を年1回開催する。</p> <p style="padding-left: 40px;">連絡会議設立 平成20年6月 情報交換会 平成20年9月</p> <p>(2) 県北方部行事開催</p> <p>今年度の子育て週間県シンボル事業については、国が主催し平成20年11月9日（日）に福島市において開催される「子育てを支える「家族・地域のきずな」フォーラム地方大会」の開催にあわせ実施されることから、県北方部子育て支援連絡協議会独自事業についても11月9日（日）に開催する。</p> <p style="padding-left: 40px;">県北方部行事開催 平成20年11月9日（日） 子育ての日 平成20年11月16日（日） 子育て週間 平成20年11月9日（日）～22日（土）</p>		
<p>担当課</p>	<p>保健福祉課（児童家庭支援チーム）</p>		

県北方部子育て支援連絡会議（案）

1 県北方部子育て支援連絡会議

全体会メンバー

- | | | |
|------|---------------|-------------------|
| (1) | 管内各市町村 | 福島市 |
| (2) | | 二本松市 |
| (3) | | 伊達市 |
| (4) | | 本宮市 |
| (5) | | 国見町 |
| (6) | | 桑折町 |
| (7) | | 川俣町 |
| (8) | | 飯野町 |
| (9) | | 大玉村 |
| (10) | 民生員代表 | 県北地区民生員会長連絡会 |
| (11) | 保育所代表 | 福島県保育協議会県北支部長 |
| (13) | 子育て支援センター代表 | |
| (12) | 地域保育施設代表 | 福島県地域保育所協議会県北支部 |
| (13) | 私立幼稚園代表 | 社団法人福島県全私立幼稚園協会 |
| (14) | 教育校代表 | 県北教育事務所 |
| (15) | PTA 代表 | |
| (16) | 民間団体代表 | すけっとくらぶ |
| (17) | 療育関係機関代表 | 地域療育等支援事業コーディネーター |
| (18) | 医療機関代表 | 福島市医師会 |
| (19) | 商工会議所代表 | |
| (20) | 子育てパスポート協賛店代表 | |

情報交換会については下記団体についてもメンバーとして加える。

NPO 法人ビーンズふくしま
ふくしま思春期サポーターの会
子育 DATE ねっとぼれぼれ
地域教育相談推進事業関係者
こじか子どもの家

2 協議会事業

(1)子どもを対象としたイベント（参加メンバーの資源を活用して？）

- ・人形劇
- ・ハンドベル
- ・マジック

等

(2)協議会各メンバーの活動状況広報ブースの設置

(3)各種相談コーナーの設置

平成20年度県北保健福祉事務所事業計画（重点事業）

項 目	6 高齢者が心豊かに暮らせる社会の推進 (4) 施設医療・介護の充実																																
事業名	(4)-① 社会福祉施設整備事業	本 編 頁	30、104																														
事業内容	<p>福島県高齢者保健福祉計画・福島県介護保険事業支援計画に基づき、県北圏域における特別養護老人ホーム、介護老人保健施設等の整備を促進する。</p> <p>1 特別養護老人ホーム 単位：人</p> <table border="1" data-bbox="469 719 1353 866"> <thead> <tr> <th></th> <th>平成17年度</th> <th>平成18年度</th> <th>平成19年度</th> <th>平成20年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>計 画</td> <td>1,765</td> <td>1,969</td> <td>2,119</td> <td>2,284</td> </tr> <tr> <td>実 績</td> <td>1,765</td> <td>1,969</td> <td>2,119</td> <td>2,219</td> </tr> </tbody> </table> <ul style="list-style-type: none"> ・平成20年度開設予定 伊達市霊山町地内 社会福祉法人 50人 ・平成21年度整備予定 福島市内 社会福祉法人 50人 <p>2 介護老人保健施設 単位：人</p> <table border="1" data-bbox="469 1256 1353 1404"> <thead> <tr> <th></th> <th>平成17年度</th> <th>平成18年度</th> <th>平成19年度</th> <th>平成20年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>計 画</td> <td>1,605</td> <td>1,605</td> <td>1,805</td> <td>2,005</td> </tr> <tr> <td>実 績</td> <td>1,605</td> <td>1,605</td> <td>1,805</td> <td>1,905</td> </tr> </tbody> </table> <ul style="list-style-type: none"> ・平成20年度開設予定 二本松市油井地内 医療法人 100人 				平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	計 画	1,765	1,969	2,119	2,284	実 績	1,765	1,969	2,119	2,219		平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	計 画	1,605	1,605	1,805	2,005	実 績	1,605	1,605	1,805	1,905
	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度																													
計 画	1,765	1,969	2,119	2,284																													
実 績	1,765	1,969	2,119	2,219																													
	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度																													
計 画	1,605	1,605	1,805	2,005																													
実 績	1,605	1,605	1,805	1,905																													
担 当 課	保健福祉課 高齢者支援チーム																																

平成20年度県北保健福祉事務所事業計画（重点事業）

項 目	6 高齢者が心豊かに暮らせる社会の推進 (5) 認知高齢者の総合的支援		
事 業 名	(5)-① 認知症予防対策事業 (5)-② 認知症の安心ネットワーク構築事業	関 連 頁	30、 104～105
事 業 内 容	<p>認知症高齢者の増加に対応するため、地域における認知症の予防活動の推進や早期発見・早期対応体制の整備を推進する。</p> <p>1 認知症予防対策推進会議 地域における認知症の「予防・早期発見・早期対応」体制整備を支援するため、管内市町村・関係機関等による会議を開催し、各圏域及び県全体の対策の評価・進行管理を行う。</p> <p>2 認知症予防対策学習会 管内市町村の認知症予防対策を推進するため、市町村担当者の学習会を開催し、各市町村の認知症予防対策の工夫・問題点等の情報交換・協議を行う。</p> <p>3 市町村支援事業 一般高齢者（軽度認知障がい者を含む）を対象とする「地域型認知症予防プログラム」を基盤とした認知症予防対策を市町村が展開することにより、認知症対策全般が推進されるよう、モデル市町村支援事業（県北は本宮市）で得た知見等に基づき、市町村に対する支援を行う。</p>		
担 当 課	保健福祉課 高齢者支援チーム		

平成20年度県北保健福祉事務所事業計画（重点事業）

項 目	7 障がい者が自立し社会参加できる社会の推進 (5) 自立の支援と社会参加の促進		
事 業 名	(5)-⑤ 障がい者地域生活移行支援事業	関 連 頁	33、109
事 業 内 容	<p>県は平成18年3月に障がい福祉施策の基本目標の一つである「障がい者の地域生活への移行促進」を図るため、「福島県地域生活移行促進プログラム」を策定した。このプログラムでは、5年間の具体的な取り組みを示し、障がい者が自らが望む地域で暮らすことのできる社会の形成を推進していくこととしている。今後、市町村、関係団体、社会福祉法人と連携し、このプログラムの実現に向けて取り組んで行く。</p> <p>○圏域別地域生活支援調整事業</p> <p>県北圏域に「地域生活移行促進調整会議」を設置して、保健福祉事務所が中心となり 市町村等関係機関と連携しながら、地域生活移行希望者の把握・調整を行い、円滑な地域生活への移行の実現を図るものである。</p>		
担 当 課	保健福祉課 障がい者支援チーム		

平成20年度県北保健福祉事務所事業計画（重点事業）

項 目	8 保健・医療・福祉のさらなる推進 (1) 健康危機管理の体制整備		
事 業 名	(1)-① 健康危機管理体制整備 (特に「新型インフルエンザ」への対応)	関 連 頁	38、114
事 業 内 容	<p>「新型インフルエンザ」の発生の危険性が高まっていることから、「福島県新型インフルエンザ対策行動計画」に基づき、体制を整備し、地域の安全・安心を確保する。</p> <p>1 地方感染症対策連絡会の設置 地域における感染症（特に「新型インフルエンザ」）による健康危害発生時における予防及びまん延防止を図るため、当該連絡会を設置し、「新型インフルエンザ」対応の今後について協議する。 (リスク・コミュニケーションを含む。)</p> <p>2 感染拡大防止に関する体制整備について 「福島県重症急性呼吸器症候群（SARS）対応行動計画」及び「福島県新型インフルエンザ対策行動計画」並びに現在県で作成中の「新型インフルエンザ対応マニュアル」に基づき、新型インフルエンザ対応マニュアル（県北地方版）を作成する。また、県北保健福祉事務所SARS・新型インフルエンザ所内防疫体制等のシュミレーション訓練などを実施し、発生時の対応に遺漏のないよう徹底を図る。</p>		
担 当 課	医療薬事課 感染症予防チーム		

平成20年度県北保健福祉事務所事業計画（重点事業）

<p>項 目</p>	<p>8 保健・医療・福祉のさらなる推進 (3) サービス総合化のシステムの確保</p>		
<p>事 業 名</p>	<p>(3)-① 県北地域保健医療福祉推進計画 策定事業</p>	<p>関連頁</p>	<p>39</p>
<p>事 業 内 容</p>	<p>平成14年度に策定した現「県北地域保健医療福祉圏計画」は、第4次県保健医療計画「うつくしま保健医療福祉プラン21」の一部に位置づけられていた。第4次同計画については、医療分野に関しては新しい計画が策定され、また保健・福祉に関しても各種個別計画によりカバーできることから、新しい医療計画の策定に合わせ、平成19年度をもって廃止される。</p> <p>しかし、地域保健医療福祉計画は、地域に特徴的な施策を記載しており、他の計画等でカバーできないことから、継続して推進する。</p> <p>このため、本年、秋頃までに県北地域保健医療福祉推進会議の意見を聞いて県北地域保健医療福祉推進計画を策定する。</p> <p>【内容】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 計画作成の趣旨 2 計画期間：平成20年度～平成22年度 3 地域の特徴 4 保健・医療・福祉における主要な施策 5 計画の進行管理 		
<p>担 当 課</p>	<p>地域支援課</p>		

平成20年度県北保健福祉事務所事業計画（重点事業）

<p>項 目</p>	<p>8 保健・医療・福祉のさらなる推進 (3) サービス総合化のシステムの確保</p>		
<p>事 業 名</p>	<p>(3)-② 県北地域喫煙対策推進事業 ～“ほんとうの空”クリーンエアプロジェクト～ (創意事業)</p>	<p>関連頁</p>	<p>39</p>
<p>事 業 内 容</p>	<p>保健福祉事務所が関わりを持ち、多くの県民が日常的に利用する飲食店等を中心とした管内施設の喫煙対策の実態を明らかにし、現状を踏まえた喫煙対策推進について、縦割り行政を超えて横断的に取り組み、県民を受動喫煙から守る環境づくりを支援する。</p> <p>【内容】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 管内施設の受動喫煙対策実態調査 2 受動喫煙対策普及啓発用リーフレットの作成 3 2等を活用し、喫煙対策に関する普及啓発・助言活動 4 「きれいな空気推進施設（仮称）」認証、登録制度の実施 受動喫煙防止に取り組む施設に対し、申請に基づき「きれいな空気推進施設」（仮称）として認証（認定証の交付）・登録し、ホームページ等で広報 <p>なお、1の実態調査から把握された課題等をもとに、次年度以降喫煙対策を推進していくためのネットワークづくりについて検討していく予定である。</p>		
<p>担 当 課</p>	<p>地域支援課</p>		

平成20年度県北保健福祉事務所事業計画（重点事業）

<p>項 目</p>	<p>8 保健・医療・福祉のさらなる推進 (3) サービス総合化のシステムの確保</p>		
<p>事業名</p>	<p>(3)-③ 地域ふれあい広場モデル事業</p>	<p>関連頁</p>	<p>39、 115～116</p>
<p>事業内容</p>	<p>過疎中山間地域の身近な場所で、地域の誰もが気軽に交流できる場所としてのサロンを整備し、それにより心温かな、思いやりが息づくコミュニティをすることによって、地域の活性化を図る。</p> <p>サロンはボランティア団体が自主的に運営し、子育て中の親子、高齢者等が集い世代間交流を図る。</p> <p>1 地域ふれあい交流サロン「かがやき」の設置・運営支援 (設置場所：伊達市 月館中央公民館 開設式：4月9日)</p> <p>2 地域ふれあい交流サロンボランティアの養成</p> <p>(H19年度)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域ふれあい広場モデル事業の企画提案 ・市町村、地域住民、団体等との意見交換 ・事業運営団体の決定 ・先進事例の調査 ・ボランティア研修等 ・プレオープン(3月15日) 		
<p>担当課</p>	<p>地域支援課</p>		

V 平成20年度 県北保健福祉事務所年間行事(予定)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
総務課 地域支援課		管内市町村福祉保健衛生主管課長会議 (5/22) 総合社会福祉基金交付及び助成の募集(～6月) 関係団体総会(日赤安達地方有功会)	定期監査(事前監査)(6/12・13)	県北地域保健医療福祉推進会議 大原看護専門学校保健所実習(7/11・7/14・23) 衛生学院助産学科地域実習(7/11・7月-8月) 衛生学院看護学科地域実習(7/11) 衛生学院臨床検査学科地域実習(7/11) 県北地域保健医療福祉推進会議 県北地区衛生組織連合会総会 社会保障・人口問題基本調査	定期監査(本監査)	新医師臨床研修(9/1-9-26) 県立医科大学医学部公衆衛生学実習(9/5-10/3) 獨協医科大学地域保健研修(9/30-10/3) 県立医大看護学部課題別実習(9/8-10/3)	健康ふくしま21県民大会(10/23 いわき市) 共同募金運動実施期間 社会福祉施設等調査 介護サービス施設・事業所調査 患者調査・受療行動調査 病院報告 仙台白百合女子大学管理栄養士実習(10/6-10) 尚綱学院大学管理栄養士実習(10/6-10/10) 社会福祉施設等調査 医療施設静態調査
		県立医科大学看護学部地域看護実習(5/12-5/30) 実習リエゾン(5/19) 福祉行政報告例 衛生行政報告例	社会福祉法人実地指導・監査(～1月) 県立医科大学看護学部地域看護実習(6/9・27) 実習リエゾン(6/16) 地域保健・老人保健事業報告 国民生活基礎調査(6/5)	児童扶養手当・児童手当事務担当者研修会 児童福祉施設等連絡協議会 性と生のワークショップ(7月6日) 10代の性いのち生きいき推進会議 母子保健推進連絡会議	福島介護福祉専門学校社会福祉現場実習(8/25-8/29) 福島学院大学精神保健福祉士実習(8/25-9/9) 郡山女子大管理栄養士実習(8/25-8/29) 宮城学院女子大学管理栄養士実習(8/25-8/29)	市町村社会福祉協議会監査(～11月)	
健康福祉部	保健福祉課 百歳高齢者知事賀寿贈呈式 小児慢性特定疾患の更新申請(4/14～6/30)	百歳高齢者知事賀寿贈呈式 子育て支援事業保健福祉事務担当課長会議 県かいて総合体育大会(18 会津若松市) 社会福祉施設指導監査(5月～2月) 社会福祉法人及施設指導監督担当職員研修会(17日)	百歳高齢者知事賀寿贈呈式 家庭児童相談室関係職員業務研修会 社会福祉法人・施設、事業所実地指導担当者会議(5・6日) 県北方部子育て支援連絡会議設立 地域促進移行促進調整会議	百歳高齢者知事賀寿贈呈式 児童扶養手当・児童手当事務担当者研修会 児童福祉施設等連絡協議会 性と生のワークショップ(7月6日) 10代の性いのち生きいき推進会議 母子保健推進連絡会議	百歳高齢者知事賀寿贈呈式 認知症予防対策学習会	百歳高齢者知事賀寿贈呈式 認可外保育施設立入検査(9月～10月) 県北地方高齢者保健福祉計画等進行管理連絡協議会 県北方部子育て支援連絡会議市町村意見交換会	百歳高齢者知事賀寿贈呈式 児童福祉行政・保育所指導監査(～2月) 社会福祉施設等調査 母子福祉関係職員業務研修会
	生活保護課 生活保護主管課長・査察指導員会議(23日) 生活保護運営研究会(24日)	生活保護新任査察指導員及び新任担当職員研修会	保健福祉職員新任研修会	ケースワーカー全国研修会 新任査察指導員全国研修(9～11日)	全国査察指導員研究協議会(27～29)	県北方部生活保護現業員地区別研修会 生活保護担当職員研修会 生活保護指導監督職員研修会	生活保護法施行事務監査(20～21日)
健康増進課	飲食店等分煙化環境整備推進	特定疾患医療機関担当者会議 世界禁煙デー・禁煙週啓発事業(5/31) 特定給食施設等巡回指導(事業所等) 県北地区良生活改善推進連絡協議会総会及び研修会	働きざかりの健康講座検討部会 歯の衛生週間事業 原爆被爆者健康診断(定期) 特定給食施設等講習会(6/19・6/27) 特定給食施設等巡回指導(事業所等) 飲食店等分煙化環境整備推進 難病患者医療相談会 難病患者地域支援連絡会議 防煙教育(高校)	特定疾患更新申請(7/1～9/30) 特定給食施設等巡回指導(事業所等)	特定疾患更新申請 特定給食施設等巡回指導(事業所等) 特定給食施設等講習会(8/5・8/26) 飲食店等分煙化環境整備推進 管理栄養士学生実習(8/25～8/29)	特定疾患更新申請 健康増進普及月間 特定給食施設等巡回指導(事業所等・病院) 働きざかりの健康講座検討部会 難病地域在宅ケア研修会	管内市町村栄養改善事業担当者会議 特定給食施設等講習会(10/7) 特定給食施設等巡回指導(事業所等・病院) 管理栄養士学生実習(10/6～10/10) 県民健康の日(10/10) 生活改善普及月間 40歳からの健康週間 県北地区産業保健・地域保健連携推進連絡会 飲食店等分煙化環境整備推進
生活衛生部	医療薬事課 診療所立入検査(1月まで) 施術所立入検査(1月まで) 歯科技工所立入検査(1月まで) 保健福祉事務所業務担当課長会議(21-22日) 国見町献血推進協議会総会(25日) 管内市町村献血担当者会議(30日)	管内病院事務長等会議(研修会) 医療安全講習会Ⅰ(診療所対象) 医師担当者会議 献血協力事業所訪問(梁川町) 不正大麻・けし撲滅運動月間(5/15-7/31) 不正大麻・けし栽培巡回パトロール 薬剤師会等薬業団体総会・研修会(5月～6月) 第1回薬物乱用防止指導員連合協議会(13日)	病院立入検査(5月下旬～1月) 薬物乱用防止教室(11月上旬まで) 県北第一区「ロータリー」麻薬撲滅キャンペーン(1日) 6.26薬物乱用防止ヤング街頭キャンペーン(福島、伊達・安達地区)街頭キャンペーン(6/21他) スクールキャラバンカー巡回(6/9～6/12) 感染症(結核)指定医療機関指導事業(～12月) 医薬品等一斉監視指導(～3月上旬) 農業危害防止運動月間(6/9～8/8) 「ダメ、ゼッタイ。」普及運動地域キャンペーン及び国連支援募金(6/20-7/19)	医療監視担当者会議 葉の献血助け合い運動月間(7/1～7/31) 街頭献血キャンペーン(福島市3日) 街頭献血キャンペーン(二本松市16日) 街頭献血キャンペーン(本宮町23日) 農業危害防止中央講習会 第1回薬物関連問題実務担当者会議 献血協力事業所訪問(7～9月管内市町村) 献血推進高等学校訪問(7～9月)	医療監視担当者研修会 毒物劇物取扱者試験(6日) 街頭献血キャンペーン(伊達市8日) 農業販売施設除所合同立入 医薬品登録販売者試験(20日)	医薬品等GMP保健福祉事務所担当者研修会 第1回保存血液等抜き取り検査 薬種商・特例販売業能力認定試験(11) スクールキャラバンカー巡回(16～19日) 結核予防週間(9/24～9/30)	麻薬・覚せい剤乱用防止運動(10/1～11/30) 薬物乱用防止全国大会福島大会(29日) くすりと健康の週間(10/17～10/23) 結核対策特別促進事業
	衛生推進課	観光地衛生対策(飯坂、土湯、高湯、岳等) 食品営業継続講習会 畜大登録・予防注射の広報 温泉施設の立入検査 建築物登録業立入検査 食品衛生責任者養成講習会	飼い犬のしつけ方教室 小学校への獣医師派遣事業 調理師等試験願書受付 飼い犬のしつけ方教室(学科、実技) 畜大登録・予防注射の広報 水道事業の補助事業竣工検査 温泉施設の立入検査 建築物登録業立入検査 水道施設等の立入検査 水道施設等の立入検査 レジオネラ菌調査	小学校への獣医師派遣事業 調理師等試験願書受付 飼い犬のしつけ方教室(学科、実技) 夏期一斉食品取締り月間 理容所・美容所におけるフードスタンプ検査 水道施設等の立入検査 遊泳用プールの立入検査 水道事業の補助事業竣工検査	小学校への獣医師派遣事業 飼い犬のしつけ方教室 調理師・製菓衛生師試験 夏期一斉食品取締り月間 理容所・美容所におけるフードスタンプ検査 水道施設等の立入検査 遊泳用プールの立入検査 水道事業の補助事業竣工検査	食品衛生月間 食品営業継続講習会 水道施設等の立入検査 遊泳用プールの立入検査	動物愛護週間 飼い犬のしつけ方教室 小学校への獣医師派遣事業 観光地対策 水道施設等の立入検査 特定建築物立入検査

	11月	12月	1月	2月	3月	備 考(定例事業等)	
総務課 地域支援課 企 画 部	県北地区保健衛生総合大会(福島市) 新医師臨床研修(11/4-11/28) 福島県地域保健福祉職員研修新任期研修フォローアップ研修 中高齢者縦断調査 21世紀成年者縦断調査	新医師臨床研修(12/1-12/26) 医師・歯科医師・薬剤師調査 保健師等従事者届	衛生学院歯科衛生学科臨地実習(1/14-15) 社会福祉法人(保育所経営法人)指導 監査(～2月) 県北地区民生委員会長連絡会研修会			人口動態調査(毎月) 病院報告(患者票)(毎月) 医療施設動態調査(毎月) 福祉行政報告(毎月) 母体保護統計(毎月) 地域保健福祉推進活動研修(3回)	
	保健福祉課 百歳高齢者知事賀寿贈呈式 障害者ケアマネジメント従事者養成研修 県北方部子育て支援連絡会議行事開催	百歳高齢者知事賀寿贈呈式 障がい者ケアマネジメント従事者養成研修 認知症予防対策推進会議 地域移行促進調整会議	百歳高齢者知事賀寿贈呈式 県北地方高齢者保健福祉計画等進行管理 連絡協議会 児童手当事務指導監査	百歳高齢者知事賀寿贈呈式 10代の性いのち生いき推進会議 母子保健推進連絡会議	百歳高齢者知事賀寿贈呈式 認定調査員研修	市町村(保険者)介護保健業務実地指導(第 3～第4四半期) 介護保険施設等実地指導(通年) 介護保険審査会(随時) 心の健康相談:年間13回 アルコール相談事業:年間12回 ひきこもり家族教室:年間7回 ひきこもり健康相談:年間10回 母子・寡婦福祉資金貸付審査会(毎月)	福祉相談コーナー訪問 未熟児発達相談会・交流会 身体障害児相談会・交流会 長期療養児相談会 思春期保健事業 育児不安グループミーティング事業 特定不妊治療費助成事業 未熟児養育医療申請事務 小児慢性特定疾患申請事務 育成医療申請事務
	生活保護課 県北方部自立支援連絡協議会				生活保護主管課長査察指導員会議 生活保護運営研究会		
健康増進課	原爆被爆者健康診断(定期・がん) 特定給食施設等巡回指導(事業所等・病院) 8020運動普及啓発事業 全国糖尿病習慣(11/3～11/9) 働きざかりの健康講座検討部会	原爆被爆者健康診断(二世) 特定給食施設等巡回指導(事業所等・病院) 歯周疾患予防支援事業 地域歯科保健検討会	飲食店等分煙化環境整備推進	生活習慣病予防週間普及啓発	先天性血液凝固因子障害更新申請	市町村健康増進計画策定・推進支援(随時) 特定疾患新規及び変更申請事務(随時) 難病医療相談事業・訪問事業(随時) 原爆被爆者健康管理等手当給付(随時) 働きざかりの健康講座(随時) 遅延性意識障がい者治療研究事業新規申請(随時) 先天性血液凝固因子障害新規及び変更申請事務(随時) 花粉症相談(随時) 栄養士・管理栄養士免許申請(随時) 栄養表示基準制度普及啓発事業(随時)	特別用途表示許可事務(随時) ヘル歯ケア推進事業(随時) ヘル歯ライフ8020推進事業(随時) うつくしま健康応援店事業(随時) 石綿による健康被害救済給付申請(随時) 歯科保健情報システム(随時) 市町村健康づくり推進協議会(開催依頼時) 難病患者訪問診療事業(随時) 肝炎治療申請(随時)
生活衛生部	医療薬事課 医療安全推進週間(11/19～25) 医療安全講習会Ⅱ 県原子力防災訓練 危険物運搬車両監視指導 第2回薬物乱用防止指導員連合協議会 薬業従事者講習会 麻薬施設等立入検査(～12月)	メディカルコントロール協議会 医療機器一斉監視指導(2月下旬まで) クリスマス献血 農薬販売施設防除所合同立入 薬物乱用防止指導員研修会 衛生検査所立入検査 世界エイズデーキャンペーン(12/1)	麻薬取扱施設等立入検査 はたちの献血キャンペーン(1月～2月)	医薬品等製造管理者・責任技術者等講習会 薬事監視員研修会 ゴルフ場立入検査(3月まで) 第2回薬物関連問題業務担当者会議 献血イベント(血液センター)(2/15) 医薬品配置販売業者研修会 麻薬取扱者講習会	衛生検査所管理者等講習会 麻薬取扱施設講習会 献血協力事業所訪問(伊達市) 第2回保存血液等抜き取り検査	薬事営業施設監視 麻薬営業施設監視 毒物劇物販売施設監視 医薬品等製造販売・製造業施設監視 医療関連施設等監視 薬事・感染症等衛生教育 骨髄/バンク登録(献血併行型) 薬物関連相談 医療相談 麻薬取扱者等免許事務	感染症サーベランス HIV抗体検査(第1～4月曜日) 感染症診査協議会(第4水曜日) DOTSカンファレンス(第1火・第4金曜日) 結核ミニ講座 感染症発生動向調査事業検体搬入(第1月 曜日) 医療関係免許事務 保健福祉事務所主催外の参加事業 県(本庁)主催事業等
	衛生推進課 動物愛護管理強化対策事業 広域流通食品製造施設監視 特定建築物立入検査 温泉施設の立入検査 レジオネラ菌調査 水道事業の補助事業中間検査	年末一斉施設監視 特産食品製造施設監視 建築物登録業立入検査	食品営業継続講習会 特産食品製造施設監視 特定建築物立入検査	給食施設納品業者監視 特定建築物立入検査 動物取扱責任者研修会 動物愛護ボランティア育成講習会		食品営業施設監視 重点監視対象施設監視 給食施設監視 市場監視 食品の安全対策及び回収検査 畜犬苦情処理 特定動物監視 動物取扱業監視 衛生教育(食品・環境) 理・美容所監視	興行場監視 クリーニング場監視 公衆浴場監視 旅館監視 食品衛生責任者養成講習 (不定期申込者が100名に達する時期)

第 3 章

平成 1 9 年度事業実績

1 快適で健やかな生活の実現

1 - (1) 安全な水の確保

… 生活衛生部衛生推進課環境衛生チーム

1 水道施設等の衛生指導事業

(1) 水道事業(上水道、簡易水道)の立入検査・指導、国庫・県費補助事業の指導

平成19年3月末現在の管内の水道普及率は93.4%であり、全県の91.8%を上回っているが、全国の水道普及率97.3%を下回っている。このような状況のなか、福島地方水道用水供給企業団による水道用水の本格供給が平成19年4月より開始されたことに伴い、国庫・県費補助事業等を有効に活用し、従来、整備が見送られてきた地域に対する水道の普及向上に努めるよう指導を行った。また、県として推進している小規模水道の広域化、安全で良質な水の供給、災害に強い水道整備を進めるよう各市町村に対し、指導を行った。

一方、水道の維持管理について危機管理マニュアルの整備による緊急時の対応の向上を指導したほか、水道水中のクリプトスポリジウム等対策指針が策定され、汚染のおそれの判断基準及び対応措置が示されたことから、立入検査において、その徹底を図った。

▼水道国庫・県費補助事業実施件数等

	水道水源開発等施設整備費	簡易水道等施設整備費
件数	9	7
事業体数	5	4

▼水道施設等数及び立入検査状況

	水道用水供給事業	上水道	簡易水道	専用水道	給水施設	計
施設数	0	7	27	39	54	127
立入検査数	0	7	18	14	32	71

注：福島地方水道用水供給事業、水道事業（福島市、伊達市上水道）及び国が設置する専用水道（2件）については、厚生労働大臣の権限に属するので、施設数及び立入検査数から除外している。

(2) 専用水道等の立入検査・指導

平成14年に水道法が一部改正されたことにより、新規に専用水道として、水道法の適用を受ける施設に対し、適用届の提出並びに衛生管理に関する指導を行った。

(3) 簡易専用水道等の貯水槽水道に対する指導

貯水槽を有するこれらの施設に対しては、衛生的な設置と維持管理が適切に行えるよう、設置届の際、審査指導を行った。

なお、貯水槽の定期清掃・施設点検の実施及び簡易専用水道については、年1回の法定検査などの衛生管理の徹底を指導した。

▼簡易専用水道・準簡易専用水道数及び立入検査状況

	簡易専用水道 $V > 10\text{m}^3$		準簡易専用水道 $5 < V \leq 10\text{m}^3$	
	施設数	立入検査数	施設数	立入検査数
計	739	53	557	25
新規届	14		4	

* V：貯水槽の有効容量の合計

(4) 飲用井戸等の衛生対策指導

有害物質等による汚染が判明した飲用井戸については、水道水への転換を原則とした飲用

指導を行っているほか、水質検査など、求めに応じ指導を行った。

1 - (2) 食品等の安全性の確保

… 生活衛生部衛生推進課食品衛生チーム

食品は、人間の生命、健康を維持・増進する上で必要不可欠なものであり、食品加工技術の高度化や流通の広域化、輸入食品の増加等に伴い、消費者の食生活はより豊かなものとなっております。

反面、賞味期限の誤記載やアレルギー物質の表示欠落など不適正な表示による自主回収が相次いで発生し、消費者の食品の安全・安心に関する信頼がゆらいでおり、その信頼性の確保が重要な課題となっています。

これらのことから、行政としては、食品営業施設等に対し、監視指導や収去検査の充実を図るとともに、食品等事業者や消費者に対し、食品の安全・安心に関する知識の普及啓発を図っています。

1 食品営業許可指導事業

(1) 食品営業施設の許可及び監視指導

食品が安全に提供されるために、製造あるいは販売過程で汚染の機会の多い業種については、その施設に一定の基準を設け、これに適合した場合には営業許可を与えなければならぬことになっている。

また、食品の多様化、食品加工技術の高度化、食品流通の広域化等に対応し、食品の安全性を確保するため、食品営業施設に対してHACCP（危害分析・重要管理点）方式の衛生管理の技法を導入した監視指導を行った。

ア・許可を要する食品関係営業施設

	営業施設数	営業許可施設		廃業施設数	違反件数	処分件数				調査監視指導数
		新規	継続			営業停止	改善命令	廃業命令	その他	
飲食店営業	2,928	282	194	273	4	1	0	0	3	610
一般食堂 レストラン等										
仕出し屋、弁当屋	314	22	21	21	0	0	0	0	0	170
旅館	268	10	25	12	1	1	0	0	0	256
その他	1,571	311	98	371	0	0	0	0	0	686
臨時営業（再掲）		206		206	0	0	0	0	0	206
（小計）	5,081	625	338	677	5	2	0	0	3	1,722
菓子製造業	635	115	45	70	2	0	0	0	2	364
臨時営業（再掲）		48		48	0	0	0	0	0	48
乳処理業	5	0	1	0	0	0	0	0	0	17
乳製品製造業	15	0	2	0	1	0	0	0	1	23
集乳業	1	0	1	0	0	0	0	0	0	1
魚介類販売業	690	50	39	58	0	0	0	0	0	232
魚介類せり売り営業	3	1	0	1	0	0	0	0	0	13
魚肉ねり製品製造業	2	0	0	0	0	0	0	0	0	1
食品の冷凍又は冷蔵業	37	3	2	1	0	0	0	0	0	47
かん詰又はびん詰食品製造業	28	6	0	0	0	0	0	0	0	15
喫茶店営業	1,357	127	161	126	0	0	0	0	0	309
臨時営業（再掲）		13		13	0	0	0	0	0	13
あん類製造業	11	2	0	1	0	0	0	0	0	10
アイスクリーム類製造業	120	15	7	11	1	0	0	0	1	92
乳類販売業	1,545	166	65	102	0	0	0	0	0	322
臨時営業（再掲）		15		15	0	0	0	0	0	15
食肉処理業	46	4	5	1	5	0	0	0	5	54

食肉販売業	715	48	28	47	0	0	0	0	0	189
食肉製品製造業	6	0	1	1	1	0	0	0	0	9
乳酸菌飲料製造業	4	0	1	0	0	0	0	0	0	11
食用油脂製造業	3	0	0	0	0	0	0	0	0	2
みそ製造業	54	1	11	2	0	0	0	0	0	21
醤油製造業	15	0	4	1	0	0	0	0	0	17
ソース類製造業	7	0	0	0	0	0	0	0	0	6
酒類製造業	10	0	1	0	0	0	0	0	0	3
豆腐製造業	73	0	8	4	0	0	0	0	0	61
納豆製造業	15	0	1	0	0	0	0	0	0	4
めん類製造業	53	4	6	4	0	0	0	0	0	55
そうざい製造業	157	13	9	7	1	0	0	0	1	113
添加物製造業	5	0	1	0	0	0	0	0	0	2
清涼飲料水製造業	23	1	1	1	0	0	0	0	0	31
氷雪製造業	5	0	0	0	0	0	0	0	0	1
氷雪販売業	15	0	0	2	0	0	0	0	0	0
合 計	10,736	1,181	738	1,117	16	2	0	0	14	3,747

イ・許可を要しない食品関係営業施設

施設数	違反件数	処分件数				調査監視指導件数
		営業停止	改善命令	廃棄命令	その他	
集 団 給 食	57	0	0	0	0	58
学校	35	0	0	0	0	32
病院・診療所	29	0	0	0	0	8
事業所	138	0	0	0	0	86
その他	259	0	0	0	0	184
小計	228	0	0	0	0	4
乳さく取業	21	0	0	0	0	10
食品製造業	0	0	0	0	0	0
漬物製造業	0	0	0	0	0	0
野菜類（漬物を除く）加工業	11	0	0	0	0	5
魚介類加工業	1,988	3	0	0	3	175
こんにやく製造業	519	0	0	0	0	201
その他	424	0	0	0	0	367
野菜果物販売業	2,406	0	0	0	0	900
そうざい販売業	1,541	0	0	0	0	822
菓子（パンを含む）販売業	2	0	0	0	0	0
食品販売業（上記以外）	139	0	0	0	0	23
添加物（法第7条第1項の規定により規格が定められたものを除く）の製造業	185	0	0	0	0	99
添加物の販売業						
氷雪採取業						
器具・容器包装・おもちゃの製造又は販売業						
合 計	7,723	3	0	0	3	2,790

(2) 食品卸売市場の監視指導

福島市中央卸売市場及び二本松市公設地方卸売市場の営業施設や付属店舗等について監視指導を実施し、不良食品等の流通防止を図った。

施設種別	対象施設数	監視延回数		
水産物	魚介類せり売り営業	3	13	
	仲卸	魚介類販売業	5	29
		魚介類加工品販売施設	4	27
	市場周辺施設	上記以外の食品販売施設	4	23
		魚介類販売業	2	10
		上記以外の食品販売施設	9	49
小計	27	151		
青果物	青果物せり売り営業	2	18	
	仲卸	青果物及びその加工品販売施設	14	66
		上記以外の食品販売施設	7	35
	市場周辺施設	青果物及びその加工品販売施設	6	31
		上記以外の食品販売施設	7	45
小計	36	195		

合 計	6 3	3 4 6
-----	-----	-------

(3) 観光地の飲食店、宿泊施設、観光土産品の製造及び販売施設の監視指導

業 種	施設数	延監視数	不良食品数
一般食堂・レストラン	1 3 9	4 4	0
旅 館	1 3 4	2 3 2	0
土産品販売店	1 0 4	2 3 9	0
土産品製造施設	1 5	2 4	0
合 計	3 9 2	5 3 9	0

(4) 大型小売店及び大量調理施設等の監視指導

業 種	施設数	延監視数	不良食品数
大型小売店	7 9	6 0	0
仕出し・弁当	3 1 3	1 7 0	0
合 計	3 8 1	2 3 0	0

(5) 衛生思想の普及啓発

ア 衛生教育

食品等事業者に対し、食品衛生法等関係法令の改正内容の周知を図るとともに食品衛生に関する最新の知識の普及を図り、衛生意識の向上と啓発を図った。

また、消費者の衛生意識の向上のため公民館等に職員を派遣し衛生思想の普及啓発を図った。

区 分	開催回数	受講者数
営 業 者	5 4	2, 3 0 4
食品衛生責任者養成講習	4	2 5 4
食品衛生責任者再教育講習	9	2 2 9
集 団 給 食	9	5 6 9
消 費 者	8	2 7 9
食の安全教室（小学生対象）	35校(52回)	1, 7 1 6
その他	8	3 0 7
合 計	1 4 4	5, 6 5 8

イ 食品衛生月間事業

食品衛生月間（8月）中に、広報車や乗合バスへの啓発広告による広報活動、衛生教育、消費者、業界、保健所の3者による食品衛生懇談会、食品相談コーナーの設置、街頭キャンペーン等を実施し、食品衛生知識の普及啓発を行った。

(ア) 食品衛生懇談会

月 日	場 所	参加者
平成19年8月1日	県北保健福祉事務所	21名（消費者代表7名、業界代表7名、施設代表1名、保健所職員5名、農林事務所職員1名）

(イ) 一日食品衛生監視員

月 日	監 視 施 設	委 嘱 者
-----	---------	-------

(ウ) 食品相談コーナー及び街頭キャンペーン

月 日	場 所	参加者	配布数
8 月 1 日	福島サティ	4 6 名 (保健所職員 7 名 県北食品衛生協会 39 名)	食中毒予防ロゴ入り風船、 うちわ等 1, 0 0 0 配布

(エ) 街頭キャンペーン

8 月 3 日	二本松市 ヨークベニマル二 本松インター店	2 3 名 (保健所職員 5 名、 県北食品衛生協会 1 8 名)	食中毒予防ロゴ入り風 船、うちわ等 5 0 0 配布
8 月 10 日	伊達市 ヨークベニマル伊 達店	1 8 名 (保健所職員 4 名、 県北食品衛生協会 1 4 名)	食中毒予防ロゴ入り風 船、うちわ等 5 0 0 配布

(6) 調理師・製菓衛生師試験

	受験者数	合格者	合格率%
調理師試験	1 3 7	1 1 2	8 1 . 8 %
製菓衛生師試験	7	5	7 1 . 4 %

2 食品安全対策事業

(1) 収去検査

違反食品及び不良食品の流通を防止するとともに、製品の衛生状態を把握し、製造施設における規格基準等の違反や危害の発生を防止するため、食品衛生監視指導計画に基づき食品等の収去検査を実施し、その結果に基づき指導した。

ア 収去検査結果 (乳以外)

食 品 種 別	試験した 検体数 (実数)	不 良 検体数 (実数)	不 良 理 由 (延 べ 数)				
			大 腸 菌群	異物	添加物使 用基準	指 定 外 添加物	そ の 他
魚 介 類	28	0	0	0	0	0	0
冷 凍 食 品	無加熱摂取冷凍食品	5	0	0	0	0	0
	凍結直前に加熱された 加熱後摂取冷凍食品	7	0	0	0	0	0
	凍結直前未加熱の 加熱後摂取冷凍食品	4	0	0	0	0	0
魚 介 類 加 工 品	15	0	0	0	0	0	0
肉卵類及びその加工品	57	1	0	0	1	0	0
乳製品	2	0	0	0	0	0	0
乳類加工品	0	0	0	0	0	0	0
アイスクリーム類・氷菓	20	1	1	0	0	0	0
穀類及びその加工品	44	0	0	0	0	0	0
野菜類・果物及びその加工品	150	0	0	0	0	0	0
菓子類	44	0	0	0	0	0	0
清涼飲料水	9	0	0	0	0	0	0
酒精飲料	0	0	0	0	0	0	0
氷雪	0	0	0	0	0	0	0
水	0	0	0	0	0	0	0

かん詰・びん詰食品	0	0	0	0	0	0	0
その他の食品	150	0	0	0	0	0	0
添加物	0	0	0	0	0	0	0
器具・容器包装・おもちゃ	2	0	0	0	0	0	0
合 計	537	2	1	0	1	0	0

イ 収去検査結果（乳）

種 別	試験した 収去検体 数(実数)	不良検 体数 (実数)	不 良 理 由 (延 べ 数)		
			大腸菌群	細菌数	無脂乳 固形分
生 乳	19	0	0	0	0
牛 乳	12	0	0	0	0
低 脂 肪 牛 乳	0	0	0	0	0
加工乳 乳脂肪分3%以上	2	0	0	0	0
乳 乳脂肪分3%未満	2	0	0	0	0
そ の 他	4	0	0	0	0
合 計	39	0	0	0	0

(2) 食中毒

発生日	発生場所	摂食者数	患者数	病因物質	原因施設
19, 4, 14 ~ 15	福島市	30	14	ノロウイルス (飲食店の食事)	飲食店営業 (一般食堂)
19, 5, 27 ~ 28	二本松市	65	27	不 明 (旅館の食事)	飲食店営業 (旅 館)
19, 9, 20	伊達市	7	3	植物性自然毒 (クサウラベニタケ)	家 庭
19, 9, 23 ~ 24	福島市	11	9	植物性自然毒 (ツキヨタケ)	家 庭
19, 10, 4	伊達市	2	2	植物性自然毒 (クサウラベニタケ)	農産物直売所
計		115	55		

1 - (3) 安全で衛生的な環境の確保

…生活衛生部衛生推進課環境衛生チーム

1 生活衛生関係営業に係る指導事業

(1) 生活衛生関係営業の許可・検査確認及び監視指導

(旅館、理容所、美容所、クリーニング所、公衆浴場、興行場)

地域住民の生活に密着し、かつ、多数の人々が利用する生活衛生関係営業施設は、適正な衛生管理が求められる。営業の許可・検査確認申請では、書類審査及び申請案件現場での実地指導を行い、営業開始後は、監視指導を行い、衛生管理基準の遵守を指導した。

なお、総施設数は、前年度より50件減少し、2,423件(コインオペレーションクリーニングを除く)となっている。

▼施設数及び総監視件数

施設種別	旅館業		興行場	公衆浴場	理容	美容	クリーニング所	コインオペレーションクリーニング
	施設数	監視件数						

	ホテル	旅館	簡易宿所	下宿			所	所	一般	取次所	一ツツ
施設数	57	263	44	1	37	101	568	880	124	348	45
延監視指導数				230	4	28	83	161	29		46
新規				15	* 2	3	19	31	13		2

* 常設 3 施設、仮設 2 施設

(2) 観光地衛生対策としての旅館営業等の監視指導

管内の温泉観光地である「飯坂温泉、高湯温泉、土湯温泉、岳温泉」については、春季及び秋季に一斉監視を実施し、利用者等に快適な環境を提供するよう衛生管理基準の遵守を指導した。

▼施設数、監視指導

	飯坂温泉地区	高湯温泉地区	土湯・野地温泉地区	岳温泉地区
施設数	57	14	28	32
延監視指導数	104	24	51	43

2 レジオネラ属菌の検査事業

重篤なレジオネラ症の原因となるレジオネラ属菌が、浴槽水から高率で検出される事例が全国で相次いでいるため、「旅館 14 施設、公衆浴場 11 施設の計 25 施設」の浴槽水検査を実施し、その検査結果をもとに営業者に対しレジオネラ症発生未然防止対策を指導した。

なお、レジオネラ属菌対策パンフレットをすべての関係施設に配付し、自主検査の励行、浴槽水の適正管理の重要性を普及啓発し、施設の衛生管理の徹底を指導した。

▼検査結果

	レジオネラ属菌	
	検出	不検出
施設数	7	18
指導数	7	0

3 特定建築物、建築物清掃業等の県知事登録業に係る指導事業

(1) 特定建築物使用届等の審査及び監視指導

大型建築物のうち、特定建築物（延べ床面積が 3,000 m²以上の特定用途のもの、ただし、学校は 8,000 m²以上）は「建築物における衛生的環境の確保に関する法律」により、空気環境や給水等の環境衛生管理基準が適用される。維持管理の適正な実施について、建築確認申請及び特定建築物使用届の審査指導を行った。

なお、立入検査では、建築物環境衛生管理技術者の立会を求め、適正な維持管理を実施するよう指導した。

▼用途別特定建築物数及び立入検査実施状況

	興行場	百貨店	店舗	事務所	学校	旅館	その他※1	計
施設数	8(5)※2	8(0)	38(2)	55(24)	22(10)	57(2)	13(4)	201(47)
立入検査数	0	1	3	2	0	8	0	14
使用届出数	0	0	3	2	0	2	0	7

※1 その他：集会場、図書館、美術館等を指す。

※2 ()：国、地方公共団体の公用又は公共の用に供する特定建築物の数の再掲を示し、これについては保健所に立入検査の権限がない。

(2) 県知事登録業の指導

「建築物における衛生的環境の確保に関する法律」に基づく建築物環境衛生管理業の知事登録は、新規・再登録の申請時と立入検査（使用機材の整備保管状況・有資格者配置状況等の検査）により指導を行った。

▼建築物環境衛生管理業登録営業所数及び登録件数

	清掃業	空気環境測定業	飲料水水質検査業	飲料水貯水槽清掃業	ねずみ昆虫等防除業	環境衛生一般管理業	環境衛生総合管理業	空調用ダクト清掃業	排水管清掃業	計
登録営業所数	17	5	6	26	12	0	8	0	2	76
立入検査数	4	2	0	0	1	0	4	0	0	11

新規登録	4	0	0	0	1	0	3	0	0	8
------	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

4 遊泳用プール衛生対策事業

立入検査を実施して、水質検査の励行及びプール水の消毒実施等の維持管理を「福島県遊泳用プール衛生管理指導要綱」に基づき行い、利用者が快適で衛生的な環境の下で利用できるよう指導した。また、施設内における事故の発生防止に留意するよう啓発を図った。(学校プールは、福島県遊泳用プール衛生管理指導要綱とは別に、文部科学省で定める基準が適用される。)

▼遊泳用プールの立入検査

	市町村営	民間営
施設数	20	14
検査指導数	13	2

5 理美容所衛生確保対策事業

理容所、美容所で使用される皮膚に接する器具の消毒効果の指標として、黄色ブドウ球菌及び一般細菌の検査を実施し、その検査結果をもとに消毒方法の指導を行った。

▼19年度細菌検査の実施状況 (福島市で実施)

	理容所	美容所
検査数	25	38
改善指導数	12	26

6 墓地・納骨堂及び火葬場の指導事業

墓地・納骨堂・火葬場の経営主体は、公益性、非営利性及び永続性の観点から第一義的には市町村であることとされ、これにより難しい場合に限って宗教法人の経営が認められることになっている。しかし、すべての市町村が墓地整備計画を有しているという状況にないため、新たな墓地需要に対して、集落や宗教法人の責任者から墓地設置に係る事前相談が相次いでいる状況にある。

▼墓地等施設数及び墓地経営許可・変更許可状況

	火葬場		墓 地				納 骨 堂		
	公営(市町村営)	公営(市町村営)	宗教法人等	集落共同	個人	計	公営(市町村営)	宗教法人等	計
総数	5	233	435	271	17	956	1	12	13
許可数	0	2	4	1	0	7	0	0	0
相談数	0	34				0			

7 温泉対策事業

(1) 温泉掘削等の許可申請に係る指導

温泉掘削等の許可申請にあつては、「福島県温泉保護利用対策要綱」及び関連通知に基づき、温泉資源の枯渇防止、安定供給及び有効利用の観点から審査指導を行うこととしている。

また、利用されている温泉については、立入検査を実施し源泉の管理状況、湧出量及び揚湯量の変化を監視している。

▼温泉地区別源泉数及び監視状況

	温泉数	利用源泉		未利用源泉		利用源泉の監視状況 延監視件数	温泉掘削等許可状況		
		自噴	動力装置	自噴	動力装置		掘削	増掘	動力
飯坂温泉	70	0	35	0	35	10	0	0	0
土湯温泉	56	20	6	21	9	11			
高湯温泉	22	10	0	11	1	0			
岳温泉	1	1	0	0	0	0			
その他	57	13	14	16	14	4			
計	206	44	55	48	59	25			

(2) 温泉利用施設の許可・監視指導

温泉を公共の浴用、飲用に利用する施設の許可に当たっては、温泉の成分等による衛生上の危害を未然に防止するため、浴槽等構造設備の審査指導を行った。

▼温泉利用施設の許可

浴用	15
飲用	0

※温泉利用許可法人の合併承認申請 1件

(3) 硫化水素含有泉（総硫黄が2mg/kg以上含まれる温泉）の入浴施設の立入検査・指導

硫化水素による中毒事故を未然に防止するため、硫化水素含有泉利用の入浴施設に対し、硫化水素濃度測定及び施設管理状況について、硫化水素濃度の自主測定及び施設管理について指導を行った。

▼硫化水素含有浴用温泉数及び監視指導

	硫化水素含有泉利用施設		硫化水素濃度測定延件数	
	施設数	浴槽数	施設数	浴槽数
施設数	11	51	19	88

8 家庭用品の衛生対策事業

日常生活で使用される家庭用品による健康被害を防止するため、市販の衣料品、雑貨品を試買して有害物質を検査した。

▼試買検査結果

	試買品	基準不適合数
ホルムアルデヒド	8	0
ディルドリン	2	0
テトラクロロエチレン、トリクロロエチレン	3	0

9 住居衛生対策事業

健康的な住まいに関することや、暮らしに関する相談に応じ、住居衛生に関する情報を提供した。また、空気中化学物質による健康影響に関する相談に対しては、「室内空気中化学物質についての相談マニュアル」により、対応と情報の提供、助言を行った。

なお、相談内容によっては、空気中の濃度指針が示されているホルムアルデヒド、トルエン、パラジクロロベンゼンの簡易な検査を行うこととしている。

▼相談・簡易検査件数

相談件数	簡易検査件数
0	0

10 そ族昆虫等相談事業

不快な昆虫、ネズミについての種類の判別、予防、駆除の相談に応ずるとともに、人への害などの情報を提供した。なお、相談内容によっては、駆除専門業者を紹介した。

▼相談・指導数

	ダニ	ハチ	シラミ	ネズミ	その他	計
苦情・被害数	2	15	3	3	19	42
被害者数	1	1	6	0	3	11
専門業者紹介数	0	13	0	3	8	24

11 衛生教育の実施

衛生水準の向上や衛生思想の普及を図るため、衛生講習会を開催するとともに、求めに応じて各団体主催の講習会へ講師の派遣を行った。

▼衛生教育実施状況

区分	名称	受講人員
講師派遣	消毒衛生講習会（理容組合県北支部）	220

	消毒衛生講習会（美容組合二本松支部）	68
	クリーニング師研修及び業務従事者講習	179
	福島市仏教会研修会	52
保健所主催	水道国庫（県費）補助事業説明会（水道事業者）	16
	合 計	535

12 県北地区衛生組織連合会等の支援

… 総務企画部地域支援課

平成19年度県北保健衛生総合大会の開催

- ・開催日：平成19年11月21日（水）
- ・場 所：福島県文化センター
- ・参加者：130名
- ・内 容：① 保健衛生功労者等の表彰及び大会宣言採択
② 健康づくりシンポジウム

「いつまでも元気で暮らすために

～日常生活に上手に運動を取り入れましょう～」

1 - (4) 人にやさしいまちづくりの推進

… 健康福祉部保健福祉課高齢者支援チーム

1 やさしいまちづくり推進資金融資事業

人にやさしいまちづくり条例に基づき、高齢者や障がい者等の利用に配慮したまちづくりを推進することを目的とした整備に必要な資金を融資するに当たり、申込み内容を審査し、適格認定を行った。

○平成19年度適格認定実施数 0 施設

2 やさしさマーク交付事業

人にやさしいまちづくり条例に基づき、高齢者や障がい者等の利用の便宜を図るとともに、高齢者や障がい者等に配慮した公益的施設の整備促進を図るため、これらの施設を設置し、又は管理する者に「福島県やさしさマーク」を交付した。

○平成19年度交付施設数 5 施設

1 - (5) 安心して暮らせる住環境の整備促進

… 健康福祉部保健福祉課高齢者支援チーム

1 高齢者にやさしい住まいづくり助成事業

市町村が実施する、高齢者の自立生活を継続するための住宅改修資金補助事業に要する経費に対して補助した。

○実施市町村 8 市町村

○補 助 額 13,467千円

1 - (6) 安全で快適な生活環境の整備促進

… 健康福祉部保健福祉課障がい者支援チーム

1 相談指導體制（精神保健福祉相談）

(1) 精神保健福祉相談指導

▼平成19年度相談指導実施件数

	全件数	再掲	再掲	再掲
--	-----	----	----	----

相談区分		社会復帰相談		老人精神相談		アルコール精神相談			
		実人員	延人員	実人員	延人員	実人員	延人員		
所内(来所)) 相談	※定期相談	12	12	0	0	0	0	0	0
	随時相談	105	302	6	19	5	12	12	16
※所外相談		3	3	0	0	0	0	1	1
電話相談		199	976	10	82	13	45	25	48
文書相談		0	0	0	0	0	0	0	0
合計		319	1293	16	240	18	57	38	65

※ 心の健康相談の件数

(2) アルコール家族教室

アルコール関連問題を抱える家族が問題解決方法を習得し、家族自身の回復を図るために実施した。

○開催回数 12回

○参加人員 実29人 延111人

(3) ひきこもり相談事業

ひきこもりに関する相談窓口を設置し相談に応じるとともに、継続的な家族支援を行った。

○ひきこもり相談件数 実32人 延89人

○ひきこもり家族教室 7回 参加人数 実18人 延70人

1 - (7) 人と動物の共生の推進

…生活衛生部衛生推進課食品衛生チーム

近年、生活に潤いや安らぎを求めため、犬や猫等を飼育する家庭が増加しているが、その一方で不適正な飼育管理による苦情や咬傷事故の発生が後を断たない状況にある。

このため、狂犬病予防法、犬による危害の防止に関する条例、及び動物の愛護及び管理に関する法律に基づき、犬の登録と狂犬病予防注射を促進し狂犬病の未然防止を図るとともに、放置犬等の捕獲及び適正管理の啓発を行い、犬による危害の防止を図った。

さらに、飼い犬等のしつけ方教室の開催をはじめ、当所の獣医師を小学校に派遣し動物の飼い方相談に応じるなど、人と動物が共存できる社会環境の確保を図った。

1 動物管理対策事業

市町村	実頭数 登録	新規 登録 頭数	注 射 頭 数	捕 獲 頭 数	返 還 頭 数	引 取 犬 頭 数	引 取 猫 頭 数	咬 傷 事 故 件 数	薬 殺 回 数	薬 殺 頭 数	苦 情 処 理 件 数
福島市	14,287	1,241	11,309	104	34	19	659	12	1	1	178
伊達市	4,137	396	3,552	30	9	20	126	2	0	0	32
二本松市	4,405	403	3,954	87	2	43	121	4	0	0	48
国見町	888	55	710	15	2	5	31	0	0	0	9
桑折町	832	56	710	1	0	2	30	1	0	0	1
川俣町	1,027	91	784	44	2	7	26	0	0	0	20
飯野町	445	29	390	7	1	4	3	0	0	0	3
大玉村	697	68	584	15	3	4	16	0	0	0	8
本宮市	2,100	206	1,948	69	2	8	46	3	0	0	46
計	28,818	2,545	23,941	372	55	112	1,058	22	1	1	345

2 動物愛護管理事業

(1) 飼い犬等のしつけ方教室

学 科	実施月日	5/16	5/17	6/14	7/19	9/13	10/18	計6回 66名
	参加人数	17	5	8	7	10	19	
実 技	実施月日	5/23	5/24	6/21	7/26	9/20	10/25	計6回 61名
	参加人数	16	4	7	8	8	18	
	ボランティア参加人数	0	9	11	6	9	9	計5回 44名

(2) 小学校への獣医師派遣事業

学 校 名	月 日	対 象	人数	ボランティア参加人数
福島市立渡利小学校	5/29	飼育委員会児童等	22	2
川俣町立福田小学校	5/31	飼育委員会児童等	8	2
本宮市立五百川小学校	6/7	全2年生	65	2
福島市立福島第二小学校	6/7	飼育委員会児童等	25	3
二本松市立小浜小学校	6/12	飼育委員会児童等	18	0
川俣町立飯坂小学校	6/12	全1, 2, 3年生	34	0
伊達市立柱沢小学校	6/15	全1, 2, 3年生	44	3
二本松市立下川崎小学校	6/26	全1, 2, 3年生、生き物委員会児童	54	2
桑折町立伊達崎小学校	6/26	飼育委員会児童等	22	1
福島市立第三小学校	6/28	飼育委員会児童等	20	2
福島市立金谷川小学校	7/3	飼育委員会児童等	13	2
福島市立蓬莱小学校	7/4	飼育栽培委員	32	2
福島市立森合小学校	7/12	飼育委員会児童等	26	3
二本松市立下太田小学校	8/28	飼育委員会児童等	9	0
伊達市立保原小学校	9/4	飼育委員会児童等	22	2
伊達市立堰本小学校	9/28	飼育委員, 3年以上希望者	42	0
福島市立庭坂小学校	10/3	飼育委員会児童等	14	3
伊達市立大石小学校	10/10	全校生	68	2
二本松市立石井小学校	10/16	飼育委員会児童等	15	3
福島市立蓬莱東小学校	11/22	飼育委員会児童等	17	4
合計 20校 (20回)			570	38

(3) 動物愛護ボランティア育成事業

人と動物の調和のとれた地域社会を築くため、動物飼育委員会生徒等物の適正な飼育管理の知識と動物愛護思想の普及啓発を図ることを目的として、平成11年度から動物愛護ボランティアの育成を実施している。

年 度	育成数(登録数)	備 考
11	19名	育成講習会1回開催
12	7名	〃
13	18名	〃
14	13名	〃
15	7名	〃
16	6名	〃
17	10名	〃
18	8名	〃
19	10名	〃
計	98名	

(4) 犬・猫の飼い主探し支援情報提供事業及び一般譲渡事業

犬、猫の譲渡希望者及び譲り受け希望者の情報を収集し、新たな飼い主探しの支援に努めた。また、保護又は引き取った犬、猫を希望者に譲渡した。

事 業 内 容	結 果 (成 立 件 数)				
	犬	子 犬	成 猫	子 猫	計
飼い主探し支援情報提供事業	0	0	0	1	1
一般譲渡事業	20	9	0	0	29
計	20	9	0	1	30

(5) 動物取扱業の適性化指導

動物の愛護及び管理に関する法律の改正に伴い、平成18年6月以降、営業が届出制から登録制に変更となったことから、動物取扱業の飼養施設等の立入調査を実施し、登録の実施と動物の適正飼養管理について指導した。

	販 売	保 管	貸 出	訓 練	展 示	計
登録件数	30	23		3	10	66
廃止件数	1	1			2	4
施設数(20,3,未現在)	68	47		6	10	131
立入指導数	35(2)	25(1)		3	12	75(3)

※ () 内は注意指導票による指導数

3 特定動物による危害防止事業

動物の愛護及び管理に関する法律に基づき、特定動物の飼養施設の立入指導を実施し、個体識別の実施と事故防止の徹底を図った。

(1) 特定動物飼養施設

施設名称	所在地	許可件数	廃止件数	備考
(株) 東北サファリーパーク	二本松市沢松倉1	35	1	詳細別記
株式会社福島民報社 (株)ホリショイサーカス	福島市佐原字神事場1 (移動サーカス)	2	2	7/14～7/16 トラ、ヒグマ

動物の種類	サファリーパーク(二本松市)の飼養状況		
	施設数	頭数	主 な 種 類
オナガザル科 オマキザル科 ヒト科	8(5)	14	ニホンザル、チンパンジー、ハナジロクマ、アカクモザル
イヌ科	3(2)	9	オオカミ、コヨーテ
クマ科	12(9)	15	ツキノワグマ、ヒグマ、ウマグマ、アメリカクロクマ
ハイエナ科	1(1)	1	シマハイエナ
ネコ科	24 (14)	54	ライオン、トラ、ヒョウ、ジャガー、ピューマ、サーバル キャット、チータ等
ゾウ科	2	2	アフリカゾウ
カバ科	1	2	カバ
キリン科	3(2)	5	アミキリン
コンドル科	2(1)	3	アンデスコントール、トキョロコントール
ボア科	3(1)	7	ビルマニシキヘビ、イエローアナコンダ等
アリゲーター科	2	3	メガネカイマン、ミシシッピーワニ
クロコダイル科	1	1	ワニ
ウシ科	2(1)	9	アメリカバイソン
カミツキガメ科	1	2	ワニガメ
計	65(36)	127	
立入指導回数	8回 ※ () 内は移動用施設		

2 生涯にわたる健康づくりの推進

2- (1) 「健康ふくしま21」県民健康づくり運動の推進

健康福祉部健康増進課

1 市町村健康増進計画の策定支援並びに推進の支援事業

健康日本21の地方計画として市町村健康づくり計画について、計画の推進に向けた支援を実施した。

- (1) 平成19年度計画策定市町村 1市(二本松市)
- (2) 計画の推進に向けた支援 12回
二本松市の健康増進計画の新規策定について支援した。
 - ア 事務局である二本松市との打ち合わせ 3回
 - イ 計画策定委員会 3回
 - ウ 計画策定ワーキンググループ会議 6回
- (3) 市町村健康づくり推進協議会 8回
(福島市、二本松市、伊達市、国見町、川俣町)

2 栄養改善事業

- (1) 市町村栄養改善事業の支援事業
 - 市町村指導助言 12回
(二本松市、伊達市、川俣町、飯野町)
- (2) 栄養士・管理栄養士指導事業
 - ・栄養士申請書等進達事務 104件
 - ・管理栄養士申請書等進達事務 63件
 - ・栄養士・管理栄養士学生実習指導 5回
- (3) 食品の特別用途表示・栄養表示基準制度の管理事業
 - ア 特別用途表示・栄養表示申請許可
 - ・特定保健用食品 2食品 1業者
 - ・特別用途食品 3食品 1業者
 - イ 特別用途表示・栄養表示等相談・指導
 - ・表示等相談 40件
 - ・虚偽誇大広告等に関する相談 3件
- (4) 特定給食施設管理事業

▼特定給食施設数

指定給食施設	11	特定給食施設	170
その他の給食施設	179	計	360

- ・集団指導(特定給食施設講習会) 5回 261施設 315人
(県北病院・集団給食研究会等) 1回 32施設 32人
- ・個別指導

▼特定給食施設及びその他の給食施設に対する個別指導の実施状況

施設別	特定給食施設						その他の給食施設						合計		
	1回300食以上 又は1日700食以上 の給食施設			1回100食以上 又は1日250食以上 の給食施設			1回50食以上 又は1日100食以上 の給食施設			1回20食以上 又は1日50食以上 の給食施設					
	栄養士の配置			栄養士の配置			栄養士の配置			栄養士の配置			栄養士の配置		
	有	無	計	有	無	計	有	無	計	有	無	計	有	無	計
学校	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
病院	5	-	5	19	-	19	6	-	6	1	-	1	31	-	31
介護老人保健施設	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
老人福祉施設	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
児童福祉施設	-	-	-	16	5	21	19	21	40	2	3	5	37	29	66
社会福祉施設	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
事業所	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
寄宿舎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
矯正施設	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
自衛隊	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
一般給食センター	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
その他	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	10	10	1	10	11
合計	6	-	6	35	5	40	25	21	46	3	13	16	69	39	108

3 「健康ふくしま21計画」推進地区組織育成支援事業

自主的に普及啓発活動を推進する食生活改善推進員に対し、市町村地区組織育成支援事業及びその地区組織である地区協議会の育成を図るため、以下の事業を実施した。

- (1) 県北地区食生活改善推進員研修会 1回 9市町村
- (2) 地区食生活改善推進員連絡協議会の支援 地区組織（県北地区：6回）

4 「健康ふくしま21計画」推進食環境整備事業

(1) 「うつくしま健康応援店」事業

飲食店等に「うつくしま健康応援店」に登録してもらい、提供するメニューに栄養成分表示をしてもらうとともに、栄養・健康情報の提供、ヘルシーメニューの提供、禁煙・分煙等の取り組み等をおし、県民が安心して外食を楽しめ、健康な食生活を育むことを推進する。

- 登録店 26店（うち平成19年度新規登録応援店 6店）
- ①栄養成分表示 26店 ②栄養・健康情報提供 26店
- ③強調メニュー 8店 ④セレクトサービス 18店 ⑤禁煙・分煙の実施 22店

(2) 「うつくしま健康応援店健康づくり講座」

うつくしま健康応援店に対して、健康や栄養に関する知識や情報を提供するとともに、うつくしま健康応援店との情報交換の場として開催した。

- 開催回数 15回 参加店 25店

2 - (2) 生活習慣病予防の推進

… 健康福祉部健康増進課

1 喫煙対策事業

生活習慣病予防の観点から、未成年者の喫煙防止教育・受動喫煙防止を支援するとともに、

分煙の推進支援等の喫煙防止対策事業を展開した。

- (1) 管内市町村における喫煙対策推進支援
 - ア 福島市健康フェスタでの普及啓発
- (2) 世界禁煙デー（5月31日）、禁煙週間（5月31日～6月6日）での啓発
 - ア 世界禁煙デー街頭キャンペーン
 - ・たばこに関する一言メッセージ募集
 - ・メッセージ入ポケットティッシュ配布 1500部
 - ・禁煙相談 3名
- (3) 禁煙支援体制の整備
 - ア 県北薬剤師禁煙支援連絡会（禁煙サポーターの会）活動
 - ・街頭キャンペーンへの共催
 - イ 県北地区喫煙対策を語る会
- (4) 喫煙に関する健康講座
 - ア 食品営業講習会におけるミニ講座 1回 76名
 - イ 未成年者への防煙教室 2回 107名
- (5) 電話・来所相談 12名

2 特定給食施設管理事業

(II-1) - 2 - (5) に同じ

2 - (3) 成人保健・職域保健の推進

- 1 老人保健事業（医療等以外）市町村事務技術的助言…健康福祉部保健福祉課高齢者支援チーム
老人保健法に基づく保健事業（医療等以外）の円滑かつ適正な実施を図るため、市町村に対し、必要な技術的助言を行った。

2 生活習慣病予防普及啓発事業 …健康福祉部健康増進課

医療制度改革に向けた生活習慣病対策として、働きざかりの健康づくりを支援するため、地域と職域が連携し事業所の健康づくりを支援する環境整備を図った。

- (1) 働きざかりの健康づくり推進事業
 - ア 県北地区産業保健・地域保健連携推進連絡会 1回 27名
 - イ 働きざかりの健康講座検討部会 3回 34名
 - ウ モデル事業所における運動習慣の定着化支援
 - ①運動習慣定着化支援検討会 2回 25名
 - ②健康教育応援隊による運動習慣定着のための健康教育 4回 120名
 - エ 健康教育担当者研修会 1回 135名
- (2) 生活習慣病予防のための健康教育事業
 - ア 働きざかりの健康講座の実施 12事業所 466名
 - イ 中国人研修生受け入れ事業 3回 64名
 - ウ その他の健康講座 1回 24名
- (3) 普及啓発事業
 - ア 栄養、運動（健康増進普及月間・県民健康の日関連・食生活改善普及月間）
 - ホームページの掲載
 - イ 健康教育機材・教育用媒体の貸し出し
 - スモーカーライザー 3回、タバコ関係教育媒体 3回

フード模型 1 回、ビデオ 7 回、脂肪模型 1 回
 ウ 「食事ビンゴカード」等健康づくり関係資料配付 33 回

2 - (4) こころの健康づくり

…健康福祉部保健福祉課障がい者支援チーム

1 こころの健康・自殺予防対策事業

中高年のうつ病の予防及び早期発見と適切な対応について関係機関との連携のもと、継続的に実施できる体制を整えていくことで、自殺を抑制し、住民の精神的健康の保持増進に寄与することを目的に事業を実施した。

地域に根ざした対策を展開するため、大玉村をモデル市町村として選定した。

- (1) 自殺予防対策検討会の開催 0 回
- (2) 18 年度実施したスクリーニングにおいて要観察者・要医療者の事後フォローの実施
- (3) 普及啓発活動
 - ・講話の開催 6 回 132 人
 - ・平成 18 年度二次スクリーニング未受診者、大玉村内事業所等にチラシ配布

2 - (5) 歯科保健の推進

…健康福祉部健康増進課

1 市町村歯科保健強化推進事業

歯科保健評価マニュアル及び歯科保健情報システムを活用した市町村歯科保健事業を支援するとともに、歯科保健情報体制の構築を図った。

- (1) 歯科保健事業実施状況の把握
- (2) 地域歯科保健推進研修会

多様化する歯科保健事業をより効果的に推進するため、下記の事業を実施した。

研修内容	講師	受講数
「成人歯科保健対策に必要な評価の視点」	奥羽大学歯学部 教授 廣瀬公治	29 名

2 ヘル歯ーケア推進事業

心身障害児・者と難病患者、家族の口腔ケアの自立と介護者への援助を行った。

	心身障害児	難病患者
相談・指導(延件数)	39	112

3 ヘル歯ーライフ 8020 推進事業

8020 を目指した歯の健康づくりに関する知識の普及啓発を図った。

○市町村における 8020 推進の支援(情報・資料の提供)

4 歯周疾患予防支援事業 桑折町 1 歳 6 ヶ月児を持つ保育者 14 名

2 - (6) 難病対策の推進

…健康福祉部健康増進課

難病対策は、昭和 47 年に定められた「難病対策要綱」に基づいて行われており、対象となる疾病は、原因不明で治療法が未確立であり、かつ、後遺症を残すおそれがある疾病と、経過が慢

性にわたり、単に経済的な問題のみならず介護等に著しく人手を要する疾病とに大別される。

これらの疾病に対して、①調査研究の推進、②医療施設の整備、③医療費の自己負担の軽減、④地域における保健医療福祉の充実・連携、⑤生活の質（QOL）の向上を目指した福祉施策の推進が五つの柱として掲げられており、当所においてもこれらの柱に基づき、保健・医療・福祉における総合的な難病対策の推進を図っている。

1 特定疾患治療研究事業

(1) 45の治療研究対象疾患の医療費を公費で負担することにより、自己負担の軽減を図るため、申請事務処理を行った。これらの申請に基づく平成19年度の承認件数は、2,715件、疾患別内訳は下記のとおり。

疾 患 名		件 数	疾 患 名		件 数
1	ベ ー チ ョ ッ ト 病	116	24	ウイリス動脈輪閉鎖症	72
2	多 発 性 硬 化 症	47	25	ウェグナー肉芽腫症	12
3	重 症 筋 無 力 症	72	26	特発性拡張型(うっ血型)心筋症	120
4	全身性エリテマトーデス	211	27	多 系 統 萎 縮 症	49
5	ス モ ン	2	28	表皮水疱症(接合型及び栄養障害型)	3
6	再 生 不 良 性 貧 血	41	29	膿 疱 性 乾 癬	5
7	サルコイドーシス	92	30	広 範 脊 柱 管 狭 窄 症	4
8	筋萎縮性側索硬化症	25	31	原 発 性 胆 汁 性 肝 硬 変	97
9	強皮症・皮膚筋炎及び多発性筋炎	182	32	重 症 急 性 腓 炎	3
10	特発性血小板減少性紫斑病	114	33	特 発 性 大 腿 骨 頭 壊 死 症	45
11	結 節 性 動 脈 周 囲 炎	24	34	混 合 性 結 合 組 織 病	44
12	潰 瘍 性 大 腸 炎	371	35	原 発 性 免 疫 不 全 症 候 群	4
13	大 動 脈 炎 症 候 群	21	36	特 発 性 間 質 性 肺 炎	25
14	ビ ュ ル ガ ー 病	55	37	網 膜 色 素 変 性 症	146
15	天 疱 瘡	16	38	プ リ オ ン 病	0
16	脊 髄 小 脳 変 性 症	85	39	原 発 性 肺 高 血 圧 症	8
17	ク ロ ー ン 病	80	40	神 経 線 維 腫 症	10
18	難治性の肝炎(劇症肝炎)	1	41	亜急性硬化性全脳炎	0
19	悪 性 関 節 リ ウ マ チ	48	42	バ ッ ト ・ キ ア リ 症 候 群	1
20	パ ー キ ン ソ ン 病	349	43	特 発 性 慢 性 肺 血 栓 塞 栓 症	2
21	ア ミ ロ イ ド ー シ ス	7	44	ライゾーム病(ファブリー病含む)	5
22	後 縦 靱 帯 骨 化 症	96	45	副腎白質ジストロフィー	0
23	ハンチントン舞踏病	5			

(H20.3.31現在)

(2) 治療の結果、症状が改善し、経過観察等でよいと判断される方を「軽快者」として、特定疾患登録者証を交付した。

○「特定疾患登録者証」交付者 15名

2 難病在宅療養者支援体制整備事業

難病により、長期にわたって医療や介護が必要な在宅療養患者に対して、日常生活動作（ADL）の程度や病状、病態等に応じた保健・医療・福祉サービスの提供等の適切な支援を行うとともに、QOLを高めるための支援体制の整備を図った。

(1) 難病患者地域支援連絡調整事業

ア 難病患者地域支援連絡会議

○開催回数：1回 ○出席者：11名

○協議内容

- ・筋萎縮性側索硬化症患者支援の現状と課題について
- ・災害時に必要な支援について
- ・県北管内難病患者支援てびき『筋萎縮性側索硬化症患者支援のために』について

イ 難病患者在宅ケア調整会議（16回）

事例件数	疾患名	出席者数
4件（延16件）	筋萎縮性側索硬化症等	延38人

(2) 難病患者医療相談事業

患者、家族に対し、専門医師等による医療面や日常生活に関する相談指導や交流会等を開催し療養生活の支援を行った。

疾患名	回数	参加者数				合計
		本人のみ	本人と家族	家族のみ	ボランティア等	
神経難病	3	53	37	0	8	98

(3) 難病患者等相談指導事業

所内での面接相談及び電話相談を随時行うとともに、特に神経難病患者を中心に家庭訪問を実施し、在宅療養支援を行った。

訪問指導件数	面接相談件数（延）	電話相談件数（延）
実11件 延30件	2,999件	524件

3 難病患者等居宅生活支援事業

市町村が実施する在宅療養難病患者福祉施策として3事業あるが、補助市町村はなかった。

事業内容
①ホームヘルプサービス事業
②日常生活用具給付事業
③短期入所事業

4 遷延性意識障がい者治療研究事業

事故や疾患により、3か月以上意識障害の状況にある患者の医療費の自己負担の軽減を図るため、申請事務処理を行った。

○平成19年度承認件数 11件

5 先天性血液凝固因子障害等治療研究事業

先天性血液凝固因子障害者の医療費の自己負担の軽減を図るため、申請事務処理を行った。

○平成19年度承認件数 18件

6 原爆被爆者援護支援事業

原子爆弾被爆者に対する援護に関する法律に基づき、被爆者健康手帳の交付、健康診断の実施、認定疾病及び一般疾病に対する医療の給付、各種手当等の支給並びに介護保険等利用助成を行い、被爆者の健康増進と福祉の向上を図った。

○原子爆弾被爆者健康手帳所持者 25名（H19.4.1現在）

(1) 原子爆弾被爆者健康診断事業

第1回定期健康診断			第2回定期健康診断			希望健康診断		
受診者数	結 果		受診者数	結 果		受診者数	結 果	
10	異常なし	6	12	異常なし	8	0	異常なし	0
	要精検	4		要精検	4		要精検	0
	治療中	0		治療中	0		治療中	0
	経過観察	0		経過観察	0		経過観察	0

▼健康診断の実施状況 (希望によるがん検査)

	胃がん	肺がん	大腸がん	骨髄腫	乳がん	子宮がん
延べ受診者数	4	4	5	3	4	1
異常なし	3	4	5	3	4	1
要精検	1	0	0	0	0	0
所見有精検不要	0	0	0	0	0	0

(2) 原子爆弾被爆者各種手当支給事業

▼各種手当の支給状況

手当名	医療特別手当	健康管理手当	保健手当
受給者数	0	20	1

2-(7) 感染症対策の推進

…生活衛生部医療薬事課感染症予防チーム

1 予防接種普及事業

予防接種法等に基づき伝染のおそれのある疾病の発生及びまん延を予防するため、定期・臨時の予防接種が実施されている。実施主体である市町村からの適正な実施方法及び予防接種による健康被害への対応について相談に応じ、予防接種の啓発、普及に努めた。

2 感染症予防対策

平成11年4月から施行された「感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律」(以下、「感染症法」という。)が、SARSの集団発生等を受け、平成15年11月に改正され、平成19年4月から結核予防法が廃止され感染症法に統合された。緊急時における感染症対策の強化、獣医師の責務規定を創設した動物由来感染症対策の強化、感染症法の対象疾病及び疾病分類の見直しが行われ、予防接種が強化された。平成20年1月からは、麻疹が全数把握疾患になった。

▼感染症法改正後の対象疾病及び疾病分類

分類	対 象 疾 病
一類感染症	エボラ出血熱、クリミア・コンゴ出血熱、痘そう、南米出血熱、ペスト、マールブルグ熱、ラッサ熱
二類感染症	急性灰白髄炎、結核、ジフテリア、重症急性呼吸器症候群(SARS)
三類感染症	コレラ、細菌性赤痢、腸管出血性大腸菌感染症、腸チフス、パラチフス
四類感染症	E型肝炎、ウエストナイル熱(ウエストナイル脳炎を含む)、A型肝炎、エキノコックス症、黄熱、オウム病、オムスク出血熱、回帰熱、キャサヌル森林熱、Q熱、狂犬病、コクシジオイデス症、サル痘、腎症候性出血熱、西部ウマ脳炎、ダニ媒介脳炎、炭疽、ツツガムシ病、デング熱、東部ウマ脳炎、鳥インフルエンザ、ニパウイルス感染症、日本紅斑熱、日本脳炎、ハンタウイルス肺症候群、Bウイルス病、鼻疽、ブルセラ症、ベネゼエラウマ脳炎、ヘンドラウイルス感染症、発疹チフス、

	ボツリヌス症、マラリア、野兔病、ライム病、リッサウイルス感染症、リフトレバー熱、類鼻疽、レジオネラ症、レプトスピラ症、ロッキー山紅斑熱
五類感染症 (全数把握)	アメーバ赤痢、ウイルス性肝炎（A型・E型を除く）、急性脳炎（ウエストナイル脳炎、西部ウマ脳炎、ダニ媒介脳炎、東部ウマ脳炎、日本脳炎、ベネゼエラウマ脳炎、及びリフトレバー熱を除く）、クリプトスポリジウム症、クロイツフェルト・ヤコブ病、劇症型溶血性レンサ球菌感染症、ジアルジア症、髄膜炎菌性髄膜炎、先天性風疹症候群、梅毒、破傷風、バンコマイシン耐性腸球菌感染症、バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症、後天性免疫不全症候群、
(定点把握)	RSウイルス感染症、咽頭結膜熱、A群溶血性レンサ球菌咽頭炎、感染性胃腸炎、水痘、手足口病、伝染性紅斑、突発性発疹、百日咳、風疹、ヘルパンギーナ、麻疹、流行性耳下腺炎、インフルエンザ、急性出血性結膜炎、流行性角結膜炎、性器クラミジア感染症、性器ヘルペスウイルス感染症、尖圭コンジローマ、淋菌感染症、クラミジア肺炎、細菌性髄膜炎、成人麻疹、マイコプラズマ肺炎、無菌性髄膜炎、ペニシリン耐性肺炎球菌感染症、メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症、薬剤耐性緑膿菌感染症

○ 感染症発生状況・全数把握

感染症が発生した場合、迅速に適切な医療に結び付けるとともに、積極的疫学調査を実施し、感染経路の究明と二次感染防止に努めた。

▼疾病分類別感染症発生状況

(平成19年度)

一類感染症	なし
二類感染症	なし
三類感染症	腸管出血性大腸菌感染症（5件）
四類感染症	ツツガムシ病（3件）、レジオネラ症（1件）
五類感染症 (全数把握)	アメーバ赤痢（5件）、後天性免疫不全症候群（4件）破傷風（2例）、クロイツフェルト・ヤコブ病（1件）、劇症型溶血性レンサ球菌感染症（1例）、E型肝炎（2例）、A型肝炎（1件）、急性脳炎（1件）

3 感染症発生動向調査事業

○ 感染症発生状況・定点把握

指定届出医療機関（定点医療機関）から対象とする感染症に関する週単位、月単位情報の報告を求め、全国規模で迅速に集計、分析、還元していくことで、有効かつ的確な感染症対策に役立てることを目的に、定点把握を実施した。

当事務所管内は、小児科、内科、眼科、皮膚科の18の指定届出医療機関、29定点から21疾患が週報として、7疾患が月報として報告される。

▼週報疾患別報告数 ▼月報疾病別報告数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
インフルエンザ	590	166	17	5	6	0	4	531	340	985	598	373	3,137
RSウイルス感染症	40	22	19	4	7	8	24	52	145	112	48	15	496
咽頭結膜炎	8	12	24	25	15	14	1	0	4	1	7	3	114
A型溶血性レンサ球菌咽頭炎	234	227	208	106	108	85	122	96	117	273	290	216	2,082
感染症胃腸炎	295	282	146	86	80	53	88	204	500	402	282	350	2,768
水痘	64	113	113	63	50	19	50	177	203	123	57	26	1,058
手足口病	6	0	27	114	192	100	39	14	0	5	0	13	510
伝染性紅斑	19	8	13	25	3	2	3	3	1	6	7	2	92
突発性発疹	30	50	34	44	46	52	49	35	39	42	28	15	464
百日咳	0	1	2	0	1	0	0	1	0	1	1	2	9
風疹	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ヘルパンギーナ	0	1	3	17	150	114	28	1	0	7	1	2	324
麻疹	0	12	0	0	0	3	0	0	0	0	0	0	15
流行性耳下腺炎	12	11	11	3	5	6	3	7	6	4	4	2	74
急性出血性結膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1
流行性角結膜炎	3	2	8	8	6	8	3	3	3	6	12	13	75
細菌性髄膜炎	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1

無菌性髄膜炎	0	0	0	1	0	0	0	3	0	0	0	0	1
マイコプラズマ肺炎	4	10	5	6	5	3	5	6	6	5	6	6	67
クラミジア肺炎	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
成人麻疹	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
合 計													11,274

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
性器クラミジア感染症	22	25	11	24	12	7	9	17	7	11	13	12	170
性器ヘルペスウイルス感染症	6	5	0	3	5	4	2	3	4	2	6	3	43
尖圭コンジローマ	0	2	4	3	2	1	1	4	5	2	3	0	27
淋菌感染症	8	6	2	4	3	3	7	3	12	7	4	2	51
メチリン耐性黄色ブドウ球菌感染症	4	2	2	2	3	3	7	7	5	2	7	3	64
ペニシリン耐性肺炎球菌感染症	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
薬剤耐性緑膿菌感染症	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1
合 計													329

4 エイズ等予防対策事業

(1) エイズ相談・HIV抗体検査事業

保健所では、平成5年6月からHIV抗体検査（匿名検査）と相談を原則無料で実施し、平成9年度からは、夜間の抗体検査を月2回実施している。また、平成13年5月25日よりHCV検査を実施。平成14年8月1日からは、県のウィルス性肝炎相談実施要領の改正と肝炎ウィルス検査実施要領が制定され、HBS抗原検査を実施している。平成18年9月からは、即日検査を開始している。平成20年1月に血液製剤（フィブリノゲン）によるC型肝炎に関する報道により、その後相談、検査が急増した。

▼来所相談・抗体検査実施件数

HIV 相談件数			HIV抗体検査 ()は夜間抗体検査			HCV 相談件数	HCV 検査	HBS 検査
男	女	計	男	女	計	808件	610件	589件
266	212	478	116	92	198 (74)			

(2) 世界エイズデー街頭キャンペーン

12月1日の世界エイズデーに合わせ、JR福島駅前等において、学生ボランティア等の協力を得て街頭キャンペーンを実施し、エイズのまん延防止と患者・感染者に対する差別・偏見の解消を図るため、エイズの正しい知識の普及啓発活動を行った。

(3) 講演会等の実施

県民がエイズに関する理解を深め、エイズの予防と患者・感染者への差別・偏見の解消について考える機会とし、適切な意志決定や行動選択ができるよう、予防教育を実施した。

▼エイズ予防教室の実施状況

対 象	回 数	参加者数
学 校 等	1	43

2-(8) 結核対策の推進

…生活衛生部医療薬事課感染症予防チーム

我が国の結核は、明治以降の軽工業の発達とともに爆発的な勢いで流行し、終戦まで疾病の死亡原因のトップで、「亡国病」と言われた。その後、戦後の生活水準の向上や医学の進歩、行政の結核対策、検診や医療のサービスの向上等により、確実に減少し続け、最近ではすっかり過去の病気になったように思われていた。

しかし、実際には、昭和50年代後半から罹患率の減少傾向が鈍化し始め、その後もこの傾向

は改善されず、平成9年には、ついに43年ぶりに新規発生患者罹患率が増加するに至った。

このような状況から、厚生省は、平成11年7月29日に「結核緊急事態宣言」を発表し、結核の増加傾向に警鐘をならすとともに、結核の正しい理解と適切な予防対策を国民に呼びかけた。

県北保健所では、宣言の趣旨を踏まえ「征服された過去の病気」ではなく、「再興感染症」として結核予防対策の推進に努め、平成18年度も各種事業に積極的に取り組んだ。

1 結核医療事業

(1) 一般患者に対する医療費公費負担制度（結核予防法第34条）

申請件数108件のうち合格件数は107件（合格率99.1%）、承認件数は107件（承認率99.1%）であった。

(2) 応急入院勧告した患者に対する医療費公費負担制度（感染症第37条）

感染性の患者で従業禁止命令や入所勧告を受けた者に対しては、申請に基づき原則として結核の治療に必要な医療の全額を公費負担することになっている。

▼入院勧告した患者の状況

前年末患者数	新規患者数	解除患者数	年度末患者数
0	30	25	5

2 結核患者支援事業

感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律では医師が患者を結核と診断した場合、直ちに最寄りの保健所長に届け出る。保健所長はこの結核患者発生届に基づき患者の登録を行い、保健師による家庭訪問等とおして家族を含めた療養支援を行う。なお、治療終了後3年を経過し再発の可能性がない等が確認された場合には、保健所長が登録を削除する。

平成17年4月1日より活動性分類が改正され、非定型抗酸菌症は、結核患者発生届が不要となった。

(1) 検診事業

① 定期外健康診断

保健所長は、結核患者と接触し結核の予防上特に必要があると認めるときには、結核予防法第5条に基づき健康診断を実施することができる。

ア 接触者検診

結核患者の発生届が提出された場合、定期外健康診断の検討会を開催し、検診の要否を決定後、委託医療機関等において健康診断を実施した。

▼接触者検診実施状況（集団検診を含む）（平成19年度）

対象人数	実施人数	受診率	ツ反被判定人数	間接撮影人数	直接撮影人数	精密検査人数	BCG接種人数	結果			
								要医療	発病の恐れ有	異常なし	経過観察
613	549	89.6%	47	0	490	0	0	0	3	541	5

イ 患者家族検診

結核患者と接触している家族等は、結核感染の危険性が高い。このため、新規登録患者の家族や接触状況から特に保健所長が必要と判断した者を対象に、委託医療機関において健康診断を実施した。

▼患者家族検診実施（再掲）（平成19年度）

受診勧奨数	受診者数	受診率	結果			
			要医療	発病の恐れ有	異常なし	経過観察
528	411	78.6%	4	3	401	3

② 管理検診

結核予防法第24条の2に基づく登録患者の健康診断（管理健診）を実施した。

▼患者管理検診実施状況（集団検診を含む）（平成19年度）

対象 人数	実施 人数	受診 率	実施世 帯数	結 果				カード 発行
				要医療	発病の恐 れ有り	異常なし	経過観察	
39	28	71.8%	28	0	0	28	0	39

(2) 療養支援事業

結核患者を治療成功に導くため、地域DOTSを推進した。

▼新登録患者数（年推移）

年	平成13年	平成14年	平成15年	平成16年	平成17年	平成18年	平成19年
新登録者数	121	87	97	89	75	62	83

▼新登録患者数（平成19年）

市町村	活動性結核					計	マル初 (別掲) 治療中
	肺結核		肺外結核		その他		
	初回治療	再治療	結核菌陽性	菌陰性その他			
福島市	15		16	2	11	44	4
二本松市	4	-	1		1	6	
伊達市	5	-	2		7	14	1
桑折町	2	-	1	-	1	4	-
国見町	3	-	3	-	1	7	-
川俣町		-	1	-	1	2	-
飯野町		-	-	-		0	-
大玉村		-	1	1	1	3	1
本宮市	1	-	1	-	1	3	-
合計	30	0	26	3	24	83	6

3 結核診査協議会の実施

結核予防法に基づき昭和26年に結核診査協議会条例が制定され、保健所に結核診査協議会が設置された。平成19年3月31日で結核予防法が廃止され感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律に統合された。平成19年4月より感染症診査協議会が開催され平成19年度は12回（月1回）と臨時結核診査協議会（18回）の計30回を開催し224件の診査を行った。

4 結核予防事業（7月以降にデータ更新）

(1) 定期健康診断・予防接種

定期健康診断・予防接種は、事業所・学校及び施設においてはそれぞれの長が、それ以外の地域住民については市町村長が実施義務者となり実施している。

▼ 定期健康診断実施状況（対象別）（平成18年度）

	学校関係	地域住民※	施設	会社・事業所
対象人員	7,473	76,769	3,693	18,922
実施人員	7,344	28,988	3,468	17,118
受診率	98.3%	37.8%	93.9%	90.5%
患者発見	0	0	0	1

※：65歳以上

▼予防接種実施状況（対象別）BCG接種（平成18年度）

	全 体	6か月未満(再掲)	6か月以上(再掲)
対 象 人 員	4,231	4,231	

実 施 人 員	4,015	3,994	21
実 施 率	94.9%	94.4%	

(対象人口は、平成19年1月1日現在の住民基本台帳1歳人口)

(2) 高齢者結核予防対策事業

結核登録者のうち、平成18年末に登録されている結核患者は155人(マル初・非定型抗酸菌陽性除く)で、このうち結核の医療を必要とする結核患者は40人(25.8%)であった。

また、登録者の状況は、新登録患者における高齢者の割合が高く、家庭内や医療機関(施設内)等において二次感染が ocorrência やすいことから、高齢者の結核予防対策を重点事業とし、地域住民や高齢者施設職員に対する啓発事業として、結核ミニ講座を22回

(1,070人参加)開催した。

▼高齢者結核罹患状況

	新登録中 60歳以上の割合	喀痰塗抹陽性患者中 60歳以上の割合
16年(県平均)	73.0 (72.0)	77.8
17年(県平均)	76.0 (72.0)	81.5
18年	70.9	76.2

2-(9) 薬物乱用の防止

… 生活衛生部医療薬事課医事薬事チーム

1 薬物乱用防止事業

覚せい剤・大麻・シンナー等の薬物乱用を防止するため、保護司・民生児童委員・薬剤師からなる各地区薬物乱用防止指導員協議会(福島地区指導員63名・保原地区指導員23名・安達地区指導員35名)を中心として、地域に根ざした薬物乱用防止啓発活動を実施した。

(1) 6.2.6 ヤング街頭キャンペーンの実施

地区名	福島地区	保原地区	安達地区
開催日	6月23日(土) 福島市	7月9日(月) 伊達・梁川	6月29日(金) 二本松市・大玉

(2) 薬物乱用防止教室

県北保健福祉事務所管内の小・中学校において、スクールキャラバンカーやビデオを活用し、薬物乱用の恐ろしさについて講義を行った。

○実施数 延べ 41校 受講生徒数 6,152名

(3) 薬物乱用防止指導員研修会

地区名	福島地区	保原地区	安達地区
開催日	6月4日(月)	6月7日(木)	5月29日(火)

○平成19年11月25日(日) 福島県文化センター

薬物乱用防止指導員・学生・一般県民を対象に研修会を実施した。(115名参加)

(4) 平成19年度薬物乱用防止指導員等実践講師養成講習会

○平成19年9月19日(水) ユラックス熱海

薬物乱用の現状と防止教育の進め方等について

(5) 各種運動の実施

ア 不正大麻・けし撲滅運動の実施(5月15日～7月31日)

○抜去本数 けし 153本(4件)

イ 麻薬、覚せい剤乱用防止運動の実施(10月1日～11月30日)

2 指導取締事業

(1) 麻薬取扱者指導取締事業

- 立入検査 182件
 ○麻薬事故届 25件 ○調剤済麻薬廃棄届 140件 ○現在量届 15件
 ○麻薬譲渡届 7件 ○麻薬廃棄届 63件

▼麻薬取扱者数 (平成20年4月1日現在)

麻薬卸 売業者	麻薬小 売業者	麻薬施用者				麻薬 管理者	麻薬 研究者	特定麻薬等原材 料卸小売業者	合 計
		医 師	歯科医師	獣医師	小 計				
8	195	1,046	13	31	1,090	67	27	36	1,423

(2) 覚せい剤等取扱者指導取締事業

- 立入件数 105件 ○覚せい剤原料譲渡届 5件
 ○覚せい剤原料廃棄届 8件 ○覚せい剤原料事故届 2件

▼覚せい剤取扱者数 (平成20年4月1日現在)

施用機関	研 究 者	原材研究者	原料取扱者	合 計
1	10	3	15	29

(3) 大麻取扱者指導取締事業

- 大麻研究者数 8名 (平成20年4月1日現在)
 ○立入件数 0件

(4) 向精神薬取扱者指導取締事業

- 立入件数 151件
 ○向精神薬事故届 0件

▼向精神薬取扱者数 (平成20年4月1日現在)

製造製剤業者	試験研究施設	みなし業者	計
0	7	239	246

(5) 免許申請等事務

▼免許申請等事務処理件数

区 分		新規	書換交付	再交付	役員変更	廃止
麻 薬	卸売業者	6			3	
	小売業者	130	11		19	8
	施用者	606	351	3		71
	管理者	45	1			11
	研究者	10	3			1
	特定麻薬等原料卸・小売業者					
覚 せ い 剤	施用者					
	研究者		1			
	原料研究者	7	1			
	原料取扱者	4	1			1
大麻研究者		8	1			
向 精 神 薬	製造製剤業者					
	試験研究者					
	卸業者					
合 計		816	370	3	22	92

3 健康を支える医療の充実

3- (1) 医療提供体制の整備

…生活衛生部医療薬事課医事薬事チーム

1 医療相談事業

医療の安全と信頼を高めるため、医療に関する患者・家族等の苦情・相談に対応するとともに、必要に応じて医療機関への情報提供や指導を実施した。

○面接相談 4 件、電話相談 18 件、書面（メール） 2 件

3- (2) 歯科医療提供体制の整備

…生活衛生部医療薬事課医事薬事チーム

（事業実施要望市町村なし）

3- (3) 医療機関の整備

…生活衛生部医療薬事課医事薬事チーム

1 医療機関立入検査事業

病院、診療所、助産所等について、関係法令に規定された構造設備、人員を有し、かつ、適正な管理・運営が行われているかについて立入検査を実施し、県民に適正な医療が提供できるよう指導助言を行った。県の立入検査要綱により、病院は毎年 1 回、一般診療所は 2 年に 1 回、歯科診療所・助産所・歯科技工所・施術所については 3 年に 1 回の割合で、計画的に立入を実施することとしている。

○立入件数 病院 31 施設、診療所（歯科を含む） 42 施設、施術所 15 施設

2 医療機関許認可事務

医療機関の開設許可（病院を除く。）、変更許可、使用許可等の事務及び検査を行った。

○開設許可件数 診療所 8 件

○変更許可件数 病院 47 件 診療所 12 件

○使用許可件数 病院 35 件 診療所 2 件

○医療従事者の免許申請事務

医師、歯科医師、薬剤師、保健師、助産師、看護師、准看護師、診療放射線技師、臨床検査技師、衛生検査技師、理学療法士、作業療法士、視能訓練士、歯科技工士、受胎調節実地指導員、死体解剖資格、麻酔科標榜等の免許申請事務を行った。

3 医療安全確保推進事業

特に、平成 19 年 4 月 1 日に施行された改正医療法に基づく医療安全確保の体制整備の推進を図るため、次の事業を実施した。

(1) 医療安全研修会の開催

本研修会は、主として医科診療所及び歯科診療所の医師・歯科医師・看護師等を対象に実施した。

① 医療機関医師等研修会

開催年月日 平成 19 年 7 月 11 日

講師 保健所職員

参加者 184名（病院・診療所管理者、看護師、事務担当）

③ 歯科診療所（歯科医師）研修会

開催年月日 平成19年11月21日

講師 保健所職員

参加者 78名（歯科医師）

(2) 病院管理者・事務長等会議の開催

改正医療法に基づく「医薬品及び医療機器の安全管理」を中心に病院管理者、事務長及び医療安全管理業務に携わる職員を対象に研修会を実施した。

開催年月日 平成19年6月28日

講師 小田島 勝（日本ペクソニック（株）修理責任技術者）、保健所職員

参加者 101名（病院管理者、医師、事務長、薬剤師、看護看護師等）

3- (4) 救急医療体制の充実

…生活衛生部医療薬事課医事薬事チーム

1 県北地域救急医療対策協議会の開催

医療・行政・消防など関係機関による県北地域救急医療対策協議会を設置し、救急医療体制の充実を図るため、協議会を開催している。

○県北地域救急医療対策協議会の開催状況

開催年月日 平成20年2月15日（金）

主な協議事項 ・救急要請における受け入れ体制について

2 県北地域メディカルコントロール協議会の開催

医学的観点から救急隊員が行う応急措置等の質を保證するメディカルコントロール体制の確保・充実を図ることを目的に協議会を開催。

○県北地域メディカルコントロール協議会の開催状況

開催年月日 平成19年5月21日（月）

主な協議事項 ・平成18年度検証結果及び課題等について
・気管挿管、薬剤投与及び除細動に係るプロトコール
・検証部会のあり方及び検証結果のフィードバック

3- (5) 災害時医療体制の充実

…生活衛生部医療薬事課医事薬事チーム

1 災害時医薬品等の備蓄

災害時に必要とする医薬品等を確保するため、医薬品等の備蓄・供給体制の充実を図った。

3- (6) へき地医療の確保

…生活衛生部医療薬事課医事薬事チーム

該当地域なし

3- (7) 移植医療の推進

…生活衛生部医療薬事課医事薬事チーム

1 骨髄ドナー登録推進事業

福島県骨髄バンク連絡協議会と連携し、移動献血併行型登録会を開催した。

○開催回数 28回

○登録者数 206人

3 - (8) 緩和ケアの推進

…総務企画部地域支援課

1 在宅ケア推進モデル事業

在宅療養者の緩和ケア及び訪問看護の充実を図り、県民が質の高い在宅ケアを受けることができる体制を確保するため、在宅緩和ケア県北地域連携会議を設置し検討を行った。

- ・福島県在宅緩和ケア県北地域連携会議の開催 3回
- ・在宅緩和ケア地域連携クリティカルパス作業部会の開催 3回
- ・「福島県県北地域在宅緩和ケア推進のためのてびき」(平成19年度改訂版)の作成、配付

3 - (9) 医薬分業の適正な推進

…生活衛生部医療薬事課医事薬事チーム

1 医薬分業推進事業

管内の医薬分業の状況を処方せんの取扱数でみると、平成18年の2,888,766枚に比べ、平成19年は3,073,442枚と着実に増加している。

また、処方せん発行医療機関数は、平成20年1月1日現在で287、取扱薬局も207と増加しているが、1薬局が応需する処方せん発行医療機関数は横這いである。

▼処方せん取扱薬局

年次	取扱 薬局	薬局 総数	保険 薬局	基準 薬局 ※	発行 医療 機関	1薬局が 応需する処方 せん発行医 療機関数
16年	183	187	186	89	261	35.0
17年	190	198	196	87	269	39.7
18年	203	209	207	86	278	33.2
19年	207	213	211	89	287	33.5

※基準薬局は薬剤師会で認定した薬局

3 - (10) 医薬品等の適切な使用、安全性の確保

…生活衛生部医療薬事課医事薬事チーム

1 医薬品等取締事業

医薬品等は、医療及び日常生活上必要不可欠なものとして、人の生命・健康の保持増進に大きく貢献している。その反面、不適正な医薬品等による事件・事故や副作用の発生が社会問題になっている。このため、医薬品等が薬事法で規定された諸条件を具備し製造又は販売されているかどうかを監視するため、医薬品等の製造所、薬局薬店等に立入検査を実施し、不良医薬品等の発見、法令の遵守状況の監視取締り及び指導を行った。

▼平成19年度薬事監視結果

業種別	対象 施設数	立入検査施設数		収去 件数	違反発見 施設数	措置件数	
		実数	延数			説諭	その他
薬局	214	92	92		5	5	
医薬品	製造業(専業+薬局)	51	18	18			
	一般販売業	26	17	17	2	2	
	卸売一般販売業	27	22	22			
	薬種商販売業	50	23	23			
	特例販売業	50	18	18			
	配置販売業	18					
病院・診療所	660	124	124		6	6	
化粧品製造業	3						
医薬部外品製造業	4						
医療機器製造業	13	11	11				
医療機器修理業	24	6	6				
高度管理医療機器等販売賃貸業	210	85	85				
管理医療機器販売賃貸業	1,101	73	73				
合計	2,451	494	494		13	13	

2 医薬品等許認可事業

(1) 薬局開設・医薬品販売業の許可事務

▼薬局・医薬品等販売業等の許可等処理件数

区 分	新 規	許 可 更 新	許 可 証 書		変 更 届 ※含変更許可	廃 止 届	休 止 届	再 開 届
			書 換 交 付	再 交 付				
薬 局	15	10	6		469	6	1	
医 一 般	2	2	1		27	5		
薬 卸 売 一 般		1	4		24	1		
品 薬 種 商	13	1	1		4	9	1	
販 特 例	2	2	3		12	18		
売 配 置					2			1
配置身分証明書	61		5	1	※ 89	18		
薬局医薬品製造販売業					2	11		
薬局医薬品製造業					2	11		
高度管理医療機器販売貸貸業	9		4		58	12		
管理医療機器販売貸貸業	74(8)		5		39	29	1	1
医療機器修理業	3	3			3	1		
合 計	179(8)	19	29	1	731	101	3	2

() 届出済証交付 ※配置従事届 () 管理者設置届出

(2) 毒物劇物販売業の登録事務

毒物又は劇物の製造業者、輸入業者及び販売業者については、製造所、営業所又は店舗ごとに登録を受けさせるとともに、現物を取り扱う場合は、一定の資格を有する毒物劇物取扱責任者を設置する義務を課している。

▼平成19年度毒物劇物販売業登録等の事務処理件数

区 分	新 規	登 録 更 新	登 録 票		変 更 届	責 任 者 設 置 ・ 変 更 届	廃 止
			書 換 交 付	再 交 付			
製造・輸入業	1		1		3(1)		
販 一 般	6	13	3		10	7	12
業 農 業 用 品 目	6	5	5		10	21	22
特 定 品 目	2		1		1		
特定毒物使用者							
特定毒物研究者	1						
業務上取扱業者						1	
計	16	18	10		24(1)	29	6

3 毒物劇物危害防止対策事業

毒物及び劇物取締法に基づき、毒物劇物製造業者及び販売業者並びに業務上取扱者に対し指導取締りを行い、事故の未然防止を図った。

▼平成19年度監視指導実施結果

業 種 別	対 象 施設数	立入検査 施設数	違反発見 施設数	措 置 件 数	
				※説 諭	その他
毒物劇物製造業	4	2			
毒物劇物輸入業	3	1			
販 一 般	195	59	7	7	
業 農 業 用 品 目	98	59	13	10	3
特 定 品 目	20	1			
業 電 気 メ ッ キ 業	5				
務 金 属 熱 処 理 業					
上 運 送 業					
し り あり 防 除 業					
特定毒物使用者					
特定毒物研究者	8	1			
合 計	333	123	20	17	3
法第22条5項の者		10	5		

※：含指導票

1 献血推進事業

平成19年度は県北保健所管内13,925人(200ml:3,653人、400ml:10,272人、成分:0人、センター分除く)の献血目標を設定し、これを達成するため、献血思想の普及啓発、献血組織の育成強化を図り、住民の理解と協力を求めながら献血事業を推進した。

平成19年度における献血は、13,985人(100.4%)と目標人数を上回ったが、昨年度の実績を大きく下回る結果となった。(昨年度比較689人減少。内訳は、200ml献血:3,442人(70.5%)400ml献血:10,543人(107.6%)、成分献血:0人)

献血思想の普及啓発と400ml献血の推進を図るため、福島市、二本松市、伊達市、本宮市で街頭キャンペーンを実施した他、市町村の担当者会議を開催した。また、「県北地域献血推進行動計画」に基づき、管内の献血協力事業所を訪問し献血推進に努めるとともに、保健所主催の研修会参加者に対して、献血推進のパンフレットを配布し献血に対する理解を求めた。

(1) 街頭キャンペーンの実施

- 平成19年7月 2日(月) 福島市
- 平成19年7月12日(木) 二本松市
- 平成19年7月19日(木) 本宮市
- 平成19年8月10日(金) 伊達市

(2) 献血協力事業所訪問

- 訪問事業所数 75か所

(3) 管内市町村献血推進担当者会議の開催

- 平成19年4月27日(金)

(4) 献血功労表彰

- 厚生労働大臣表彰状・厚生労働大臣感謝状
表彰:二本松市
感謝状:学校法人松韻学園福島高等学校
新興製靴工業株式会社岩代工場
岩代精器株式会社

- 日本赤十字社創立130周年記念平成19年全国赤十字大会にかかる社業功労者
社長特別表彰「献血協力・推進活動」
学校法人松韻学園福島高等学校

- 知事感謝状
株式会社川島製作所福島工場
株式会社東邦銀行

- 日本赤十字社福島県支部長表彰状
福島西ライオンズクラブ
株式会社ヤクルト本社福島工場
福島民友新聞社

- 血液センター所長感謝状
福島県石油商業組合福島支部 他14件

▼ 平成19年度献血実績(市町村別)

区 分	献血者数 (人)	内 容			目標人数 (人)	目標人数 達成率(%)
		200ml	400ml	成 分		
福島市	7,699	1,762	5,937	0	7,946	96.9
伊達市	2,063	652	1,411	0	1,873	110.1
二本松市	1,934	523	1,411	0	1,715	112.8
本宮市	711	171	540	0	866	82.1
旧本宮町	546	138	408	0	615	88.8
旧白沢村	165	33	132	0	251	65.7
桑折町	505	123	382	0	366	138.0
国見町	252	53	199	0	290	86.9
川俣町	385	80	305	0	461	83.5
飯野町	134	32	102	0	176	76.1
大玉村	302	46	256	0	232	130.2
合 計	13,985	3,442	10,543	0	13,925	100.4

3 - (12) 国民健康保険制度及び老人医療制度の安定的運営の推進

…健康福祉部保健福祉課高齢者支援チーム

1 老人医療事務市町村技術的助言等

市町村の老人医療事務の円滑・適正な執行体制の確保及び医療費請求の適正化を図るため、老人医療の適正かつ効率的運営の促進について、必要な技術的助言等を行った。

4 誰もが安心して暮らせる福祉社会の推進

4- (1) 地域福祉の総合的・計画的推進

…総務企画部地域支援課

1 市町村地域福祉計画の策定支援及び県地域福祉支援計画策定推進事業

社会福祉法（昭和26年法律第45号）第107条の規定に基づく「市町村地域福祉計画」策定を支援するための情報提供等を行った。

○管内策定状況 策定済 2（福島市、伊達市）

4- (2) ともに生きるこころの醸成

…総務企画部地域支援課

1 市町村社会福祉協議会の機能強化

社会福祉法第56条に基づき、管内の社会福祉法人市町村社会福祉協議会の指導監査を実施した。

○実施法人数 9（内訳 実施監査 9）

4- (3) 権利擁護の推進

…総務企画部地域支援課

1 社会福祉法人の指導監査

管内の社会福祉法人の適切な運営を図るため、本庁生活福祉領域指導監査グループとともに運営指導及び監査を実施した。また、事業の追加や役員定数の変更、基本財産の追加など社会福祉法人の定款変更等に関して、指導を行った。

○対象法人 52社会福祉法人

○監査実施時期 平成19年6月～20年3月

4- (4) 民間福祉サービスの育成・振興

…総務企画部地域支援課

1 総合社会福祉基金貸付事業

社会福祉法人や民間の社会福祉団体などに対して（財）県総合社会福祉基金が行う資金貸付と助成について、募集・申込受付を行った。

○貸付 申込件数 3件 決定 3件 金額 192,005千円
（内容 施設整備資金2件・運営資金1件）

○助成 申込件数 16件 決定 15件 金額 10,129千円
（内容 小規模作業所・特定非営利活動法人の施設整備事業助成など）

2 社会福祉法人の指導監査

4- (3) に同じ

4- (5) 県民の福祉活動への支援・参加促進

…総務企画部地域支援課

1 市町村社会福祉協議会の機能強化

IV-2) に同じ。

2 日本赤十字社資募集運動の推進と活動強化

日本赤十字社は、「人道」に基づき、国際活動や災害救護活動をはじめ、医療や献血事業などを行っているが、これらの事業は赤十字社員の社費や寄付金によって運営されている。社員募集活動をはじめとする日赤の各種事業について、日赤福島県支部と連携して推進するため、各市町村に「地区・分区」が置かれている。

当事務所も「県北地区」として啓発事業を行うとともに、社費等への協力に対し日赤より有功賞を受けた者で結成されている安達地方有功会の事務局を担当し、日赤仲間づくり運動を支援した。

3 共同募金運動の推進

社会福祉法人福島県共同募金会では赤い羽根で知られる共同募金を行い、民間の社会福祉事業活動のために配分を行っている。また、各市町村には共同募金会の「支会・分会」が置かれ、共同募金会が定める諸計画に基づき、区域内の募金・配分の調整・広報等の活動を行っている。

当事務所は「県北支会」として、募金・広報活動を行った。

▼平成19年度管内の共同募金・日赤社資募集状況 (単位：円・%)

共同募金			日赤社資募集			
一般募金		地域歳末たす けあい募金	目標額	実績額	目標 達成率	
目標額	実績額					目標達成率
75,453,000	76,442,579	101.3%	29,326,603	61,367,000	58,283,542	94.9%

4 - (6) 保護援助を必要とする女性への支援

…健康福祉部保健福祉課児童家庭支援チーム

1 寡婦福祉資金貸付

寡婦及びこれに準ずる者の経済的自立の助成と生活意欲の助成を図るため、資金の貸付けと必要な援助指導を行った。

○貸付件数 1件 実行額 600,000円 (修業 1件)

2 女性相談

保健福祉事務所においては女性相談員等が、女性の社会的転落やDV被害者の保護を目的として、家族の問題、生活の問題、就職の問題等に関して相談に応じるとともに、必要な助言や「女性のための相談支援センター」への一時保護の協議・自立支援等を行った。

○相談受付件数 33件 (相談種別は別表のとおり)

平成19年度女性相談員等の
相談指導状況

主 訴		受付件数	うちDV 件数
本人の問題			
	求職		
	男女問題	1	
	住居問題	1	
	その他	4	
小計		6	
家庭の問題	夫等	夫等の暴力	10
		離婚問題	10
		家庭不和	1
		その他	1
	子ども	子どもの暴力	1
		養育不能	1
		その他	2
小計		26	13
その他		暴力団関係	1
合計		33	13

4 - (7) 生活援護を必要とする人への支援

1 生活保護の実施

…健康福祉部生活保護課

管内5町村に居住する生活困窮者の最低生活を保障するとともに自立を助長するため、生活保護法に基づく各扶助を実施した。(資料編：VI)

2 民生委員・児童委員活動の支援

…総務企画部地域支援課

民生委員会長連絡会研修会を開催し、資質の向上に努めた。

○民生委員会長連絡会会議及び研修会

平成20年1月8日 県北保健福祉事務所で開催 (町村民生委員29名参加)

内容：「在宅緩和ケアとは」

5 妊娠・出産・子育て・子育てを支える社会の推進

5 - (1) 母子保健医療施策の推進

…健康福祉部保健福祉課児童家庭支援チーム

1 思春期保健事業

(1) 10代の性のいのち生きいきプロジェクト推進会議

ア 思春期保健地域支援検討会

思春期の若者の性の健康や性行動に関する課題について、学校、地域、医療、福祉等の関係機関の代表によるワーキングメンバーが、意見や情報交換、研修会を行った。

	開催年月日	主な内容
第1回	H19.8.30	・10代の子ども達の生活実態や親子のコミュニケーションの現状と問題行動関係性の調査について
第2回	H19.9.20	・試行的調査及び教育事務所との協議結果から調査の方針を再検討するとともに現状分析と課題の整理を実施

イ 親と子のコミュニケーションスキル講座（伊達市にて開催）

	開催年月日	主な内容
第1回	H20.1.31	・性の現状と問題提起 ・幼児期からの家庭における親子コミュニケーション講話とグループワーク
第2回	H20.2.7	・幼児期からの家庭における親子コミュニケーションワークショップ

(2) 親支援・性と生のワークショップ（教育庁連携事業）

平成19年6月23日（土）開催 220名出席

(3) 豊かにいのちを育む支援事業

ア 思春期相談ほっとライン事業

専用電話を設置し、思春期の若者の体や心の悩みの相談に応じた。

○電話相談 延べ74件 ○メール相談 85件

イ 思春期保健に関する健康教育

小中学校等の依頼により、思春期の若者や関係者を対象に市町村とともに性教育等を実施した。また、地域の人材と連携することにより社会資源の活用を図ることや、教材の貸し出しを行いアドバイス等を実施した。

○中学生 186名 ○その他27名（PTA20名・教員7名）

実施合計 延べ213名

2 育児不安を持つ親等へのグループミーティング事業

育児不安が強く、育児困難をきたしている親及び虐待等の不適切な係わりの傾向がある親等を対象に、親同士が集まって悩みなどを話し合うグループミーティング等を実施し、児童虐待の未然防止を図った。

また、虐待への進行を予防する観点から、育児不安を持つ親等がメンタル面で相談できる場を増やすなど、市町村支援によって体制の強化を図った。

(1) グループミーティング

親子分離で親同士がグループによる交流を行った。また、ファシリテーターにより参加者自身の話しができるように配慮する手法を用いて実施した。

▼実施状況

内 訳 地 区	実人員			延べ人員			支援及び 実施回数	備考	
	親	児	計	親	児	計			
所外	二本松市	10	16	26	16	22	38	(3)	支援
	本宮市	2	2	4	2	2	4	(1)	支援
	川俣町	16	16	32	16	16	32	(3)	支援
小計	28	34	62	34	40	74	(7)		
所内	25	19	44	65	51	126	14		
合 計	53	53	106	99	91	200	21		

(2) 個別心理相談会

グループミーティングに参加した者のうち、問題解決が見られず子どもへの影響の改善ができない場合、心理士による個別相談を行うとともに、専門機関へのつながりを勧めるなどの方針を立てるために実施した。

○実施4回、7人

(3) 連絡会

市町村と子育てアンケートによるケースの把握及びグループミーティング参加状況や企画運営方法の情報交換を行い事業評価を実施した。また、事例の紹介や事業評価方法について助言者を交えて研修会に出席し虐待予防関連事業に役立てた。

3 不妊総合相談事業

(1) 不妊総合相談

不妊に悩む夫婦に対し、夫婦の身体的・精神的、社会的状態に応じた不妊の悩みに対する相談、助言、支援を行うとともに、不妊に関する情報提供を行った。

○相談日 月～金曜日 随時

○相談人数 延べ 327人（うち来所相談 190人） 専門医療機関紹介3人

(2) 特定不妊治療費助成事業

不妊治療を受けている夫婦のリプロダクティブヘルス（性と生殖に関する健康）を尊重し、治療を受けやすい環境を整備する観点から、当該夫婦の不妊治療の経済的負担を軽減するため、治療費の一部を助成した（平成16年度から実施）。

○助成対象者

- ・体外受精又は顕微受精以外に妊娠が望めないと医師に診断された夫婦
- ・一定の所得未満であること

○助成対象となる治療 体外受精、顕微受精

○助成内容 年間10万円を限度とし助成期間は最長5年まで
助成件数 197件

4 のびゆく子ども支援事業

(1) 身体障がい児療育相談会

心身に障がいのある児童若しくは機能障がいを招くおそれのある児童を早期に発見し、早期に適切な治療上の指導を行い、その障がいの治癒若しくは軽減を図るとともに、身体に障

がいのある児童について、障がいの状況及び療育の状況を随時把握し、その状況に応じて適切な福祉等の措置を行うため、整形外科医等による相談を実施した。また、相談会と同時に、主に肢体不自由児とその保護者を対象にした交流会を実施した。

▼実施状況

開催会場	回数	個別相談会参加人数		交流会参加人数	
		実	延	実	延
県北保健福祉事務所	13	5	10	68	95

▼個別相談会結果

	来所人数		異常ありの者の相談結果							
			要指導		要観察		要精密		要治療	
	実	延	実	延	実	延	実	延	実	延
肢体不自由児	73	105	30	54	25	9	5	5	1	1
その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計	73	105	30	54	25	9	5	5	1	1

▼措置結果（延人数）

専門機関紹介	福祉事務所連絡	児童相談所連絡	その他の機関連絡
1	0	0	5

(2) 長期療養児相談会

長期にわたり療養を必要とする児童とその家族に対して、在宅療養上の問題や負担を軽減するための相談や保健指導を行うとともに、児童及び家族が地域の中で孤立せずに生活ができるよう支援するため、専門医等による講話や相談及び保護者間の交流会を実施した。

▼実施状況

相談会種別	回数	テーマ	人員	
			実	延
心理相談会	4	病児の心理と親の対応、心理面からの病児への具体的アプローチ	28	33
子育て交流会	4	先輩ママとの交流会、医療・福祉制度、よりよい学校生活について	0	1
疾患別相談会	1	内分泌相談会、腎疾患相談会	28	32
合計	9		56	66

(3) 未熟児発達相談会

医療機関を退院した後の未熟児に対して、継続的に発育発達を観察し、養育に関する専門的な相談指導を行うことにより、未熟児の健やかな発達の支援を行った。また、未熟児を持つ保護者が安心して養育できるよう育児不安の軽減及び養育態度の改善を図った。

▼実施状況

	回数	実人員	延人員
交流会	4回	38人（本人18人）	88人（本人45人）

(4) 訪問指導

在宅療養を必要とする者及び家族に対して、医療及び養育・療養に必要な助言及び保健指導を行った。

▼訪問指導実施状況

	長期療養児	低出生体重児	乳幼児	産婦	その他
人数	4（4）	96（108）	8（16）	79（84）	5（6）

（ ）は延人数

5 医療援護事業

(1) 育成医療給付

身体に障がいのある児童又は疾患を放置すればかなりの障がいを残すと認められる児童で、手術等の治療によって確実な治療効果が期待できる場合には、自立支援法第59条により指定育成医療機関において公費による医療の給付が行われる。

給付の対象となる障がいは、肢体不自由、視覚障がい、聴覚・平衡機能障がい、音声・言

語・そしゃく機能障がい、先天性内臓障がい、手術適応のある心臓障がいや、透析療法などの適応のある腎臓障がいなどである。

▼育成医療給付状況

障害の種類	育成医療の給付件数		補装具の給付 (再掲)
	新規	継続(再掲)	
肢体不自由	21	27	3
視覚障がい	6	6	
聴覚平衡機能障がい	14	15	
音声言語そしゃく機能障がい	47	62	
心臓機能障がい	18	20	
腎臓障がい	0	0	
その他の内臓障がい	13	16	
合計	119	146	

(2) 養育医療給付

未熟児は正常な新生児に比べて生理的に未熟で、疾病にもかかりやすかつ死亡率も高く、心身に障がいを残す可能性も高いので、生後速やかに適切な処置をとることが必要である。

このため、医療機関に入院を必要とする未熟児に対しては、養育のための医療給付(世帯の所得額に応じた費用徴収あり)を行った。

○給付実件数 108件 延べ件数 300件

6 小児慢性特定疾患治療研究事業

本事業は、小児慢性疾患のうち治療法が確立していない特定の疾患の治療研究を推進し、治療法を確立するための医学的知見の発見を促進するとともに、その医療の確保と普及を図り、併せて患者家庭の医療費の負担を軽減して、児童の健全な育成を図ることを目的としている。

また、児童の病状を正しく理解し、適切に対応してもらうことを目的に、小児慢性特定疾患児に対して福島県小児慢性特定疾患児手帳(ひまわり手帳)の交付を行った。平成17年4月の制度改正により、疾患区分、対象基準等が変更された。

○申請件数 新規 82件、継続 439件 計 521件

○承認件数 新規 78件、継続 429件 計 507件

○ひまわり手帳交付数 30件

▼小児慢性特定疾患治療研究事業給付実績

疾患名	19年度	18年度	疾患名	19年度	18年度
1 悪性新生物	100	106	7 糖尿病	57	55
2 慢性腎疾患	41	40	8 先天性代謝異常	20	21
3 慢性呼吸器疾患 (旧ぜんそく)	5	4	9 血友病等血液疾患	24	19
4 慢性心疾患	44	46	10 神経・筋疾患	10	8
5 内分泌疾患	177	185	11 慢性消化器疾患	14	16
6 膠原病	15	14	計	507	514

7 受胎調節実地指導員指定証交付事業

母体保護法施行令第1条第1項、第2項、第3条、第5条に基づく指定証の交付。

○交付件数 1件

8 先天性代謝異常等検査事業

フェニールケトン尿症等の先天性代謝異常や先天性甲状腺機能低下症(クレチン症)などは、早期発見・早期治療を行うことにより心身障がいの発生を予防することが可能となっている。このため、全ての新生児を対象に血液によるマススクリーニング検査を実施している。

▼先天性代謝異常検査実施状況

疾患名	要精検数
フェニールケトン尿症	0
楓糖尿病	0

▼精密検査結果の内訳

疾患名	結果			
	正常	異常あり	経過観察	その他
フェニールケトン尿	0	0	0	0

クレチン症	3
ホモシスチン尿症	0
ガラクトース血症	1
先天性副腎過形成症	9
その他	0
計	13

症				
クレチン症	1	1	1	0
ガラクトース血症	1	0	0	0
先天性副腎過形成症	5	0	3	1
	0	0	0	0
計	7	1	4	1

9 市町村支援事業

(1) 市町村が実施した乳幼児健康診査の事後フォローアップがスムーズに行われるよう要請のあった市町村に対して支援した。

- 福島市アセスメント会議 2回
- 二本松市乳幼児支援検討会 3回
- 川俣町子育てお話し会 3回

(2) 市町村主催の会議への出席

- 福島市と母子保健関連事業会議 1回

(3) 所外ケアカンファレンス 1回

(4) 実務スタッフ研究会 3回

合計・・・13回

5 - (2) 学校保健の推進

○事業なし

5 - (3) 小児医療体制の充実

…生活衛生部医療薬事課医事薬事チーム

(3 - (4) と同じ)

5 - (4) 子育て支援環境づくりの推進

…健康福祉部保健福祉課児童家庭支援チーム

1 保育所指導監査、認可外保育施設調査指導

児童福祉法等の規定に基づき、全ての市町村、保育所及び認可外保育施設に対して指導監査・調査を実施した。

- 児童福祉（保育）行政：（実地3市、書面6市町村）管内9市町村で実施
- 認可保育所：（実地37か所、書面29か所）管内66か所全て実施
- 認可外保育施設：（実地31か所、書面29か所）管内60か所全て実施

2 産休等代替職員費補助事業

児童福祉施設等の職員が出産又は傷病のため長期にわたって休暇を必要とする場合、その職員の職務を行わせるための代替職員の任用経費について助成を行った。

- 補助先 公立施設 7市町村、私立施設 8社会福祉法人、合計15か所

3 子育て支援県民運動子育ての日・子育て週間事業

県では、少子化問題解決に向け、子育てしやすい県づくりの気運を盛り上げるため、5月の第4週を子育て週間と定めている。本所においては県民への子育て支援に資するため、下記の事業を開催した。

- 特別支援育児サポーター養成講座

平成19年5月17日～18日 開催

伊達市保原中央公民館

4 講座実施延べ参加人員 84名

4 講座修了者 16名

○あそ＊はな交流会

平成19年5月24日開催

参加人員 子ども 12名

保護者 9名

4 子育て応援パスポート事業

18歳未満の子どもを持つ世帯が、協賛企業等の各種サービスを受けられる「ファミたんカード」の普及・拡大に向け、広報・啓発を行った。

5 地域の子育て応援交付金

地域の特性を活かした次世代育成支援を推進する町村に対して、交付金を交付した。

該当村 大玉村

5- (5) 子育て家庭への支援

…健康福祉部保健福祉課児童家庭支援チーム

1 児童福祉に関する相談

児童に関するさまざまな問題に対し、各福祉相談コーナーに駐在する児童相談所家庭相談員等と連携を図りながら、家庭その他からの相談に応じた。

2 母子相談

母子自立支援員を都道府県の特別職員として福祉事務所に配置し、母子家庭等の自立に必要な相談指導を行い、福祉の増進を図った。

○設置職員数5名（伊達、安達福祉相談コーナー2名含む。なお、本所職員2名は、女性相談員を兼務、また、女性相談員1名が母子自立支援員を兼務している。）

○母子自立支援員による母子家庭等の相談訪問指導 2, 602件

3 ひとり親家庭等日常生活支援事業

母子家庭、寡婦及び父子家庭の家族や本人が病気等の場合、又は母子、父子家庭となって間がなく生活が不安定な場合などに、家庭生活支援員を派遣（又は支援員の居宅でも可）し、介護や家事、育児等を行った。

4 母子福祉資金貸付

配偶者のない女子で現に児童（20歳未満）を扶養している者に対し、その経済的自立の助成と生活意欲の助長を図り、併せて扶養している児童の福祉を増進するため、資金を貸付けた。

○19年度の貸付件数 70件 実行額 31,738,100円

▼資金別実績一覧

資金の名称	貸付件数（件）	貸付金額（円）	備考
事業開始資金	0	0	無利子
修学資金	51（うち継続37）	26,380,500	無利子
修業資金	1（うち継続0）	600,000	無利子
就職支度資金	0	0	無利子
転宅資金	0	0	年3%

就学支度資金	18	4,757,600	無利子
生活資金	0	0	月2万円以上は3%利子
合計	70(うち継続37)	31,738,100	

5 ひとり親家庭医療費助成

母子家庭・父子家庭、父母のいない児童に対して医療費の助成を行うことにより、その健康と福祉の増進を図った。なお、窓口は当該市町村役場で、事務処理は本庁で行っている。

平成19年6月1日現在の世帯数は以下のとおり。

- ・登録世帯数 4,263世帯(内訳;母子4,075、父子164、父母なし24)
- ・児童数 6,423人(内訳;母子6,120、父子267、父母なし36)

5-(6) 子育てと仕事の両立支援

健康福祉部保健福祉課児童家庭支援チーム

1 保育対策等促進事業

(1) 一時保育促進事業

保護者の就労形態の多様化や保護者の傷病時等の保育需要に対応するため、一時的に児童を受け入れ保育する保育所に経費の補助を行った。(管内30か所で実施)

(2) 特定保育事業

毎日の保育所利用までは至らないが就労等により一定程度の保育サービスが必要となる児童を受け入れる保育所に経費の補助を行った。(管内3か所で実施)

(3) 保育所体験特別事業

認可保育所を利用していない親子や適切な保育を必要としている親子等に保育所を開放し、定期的な保育所体験や入所児童との交流を行うことにより、親子の子育ちを支援する保育所に対して補助を行った。(管内19か所で実施)

(4) 認可外保育施設の衛生・安全対策事業

市町村が認めた認可外保育施設の保育従事者・調理担当職員に対する健康診断に要する経費の補助を行った。(管内20か所で実施)

(5) 休日保育事業

日曜日・祝祭日等の保護者の就労により児童が保育に欠ける場合の需要に対応するため、休日保育を行う保育所に経費の補助を行った。(管内2か所で実施)

(6) 分園推進事業

保育所分園の運営について、必要な経費の補助を行った。(管内1か所で実施)

(7) 病児・病後児保育事業

回復期の児童・回復期には至らない児童又は保育中の体調不良児で保護者がすぐに引き取りに来られない場合に、看護師等を配置し保育所の専用スペースにおいて緊急的な対応を図る事業を実施する保育所等に対して補助を行った。(管内1か所で実施)

(8) 地域子育て支援センター事業

育児のノウハウを蓄積している保育所等を活用し、地域の子育て家庭に対する育児支援を

行う保育所等の運営に要する経費の補助を行った。 (管内19か所で実施)

2 すくすく保育支援事業

(1) 軽度障がい児保育事業

軽度の障がい児を有する乳幼児を受け入れる保育所に対して、障がい児保育に必要な経費の補助を行った。 (管内25か所で実施)

3 地域保育施設助成事業

認可外の保育施設(事業所内除く)に対して、入園している児童の健康診断、教材の購入等に要する経費を補助した。

(健康診断費助成: 37か所、入所児童支援: 32か所、運営費助成: 38か所)

4 多子世帯保育料軽減事業

保育所及び認可外保育施設を利用する第3子以降の3歳未満児に係る保育料について、市町村が減免する額の一部を補助した。

(管内7市町村で実施)

5-(7) 子どもの健全育成の推進

…健康福祉部保健福祉課児童家庭支援チーム

1 民間児童館活動事業

民間児童館の創意工夫、柔軟な対応等の特色を生かし、地域の実情・需要に応じた活動の積極的な取り組みを実施することで地域児童の健全育成を図った。

(管内3か所で実施)

2 地域組織活動育成事業

児童の健全な育成を図るため、母親など地域住民の積極的参加による地域組織活動の推進を図った。

(管内8か所で実施)

3 わくわく放課後支援事業

昼間、保護者のいない小学校低学年児童(放課後児童)を中心として組織される児童クラブ(上記(1)の補助要件に満たない児童クラブ)の運営費の補助を行うことにより、児童の健全育成を図るとともに子育て家庭を支援した。

(管内8か所で実施)

4 放課後児童クラブ障がい児受入支援事業

障がい児を受け入れ、一定の要件を満たす児童クラブに対して、障がい児の受け入れにかかる経費の補助を行うことにより、児童の健全育成を図るとともに子育て家庭を支援した。

(管内1か所で実施)

5-(8) 子どもの豊かな心づくり

…健康福祉部保健福祉課児童家庭支援チーム

該当事業なし

5-(9) 子どもの権利擁護の推進

…健康福祉部保健福祉課児童家庭支援チーム

1 育児不安を持つ親等へのグループミーティング事業

(5-(1)-2と同じ)

2 児童福祉に関する相談

(5 - (5) - 1と同じ)

3 家庭における虐待予防対策事業

児童虐待・DV等家庭における虐待問題を防止するため、各関係機関と情報の共有化と連携を図るとともに、市町村における虐待防止ネットワークへの支援を目的として、県北地域家庭の虐待防止連絡会議を実施した。

○平成19年10月30日 県北地域家庭の虐待防止対策連絡会議代表者会議

6 高齢者が心豊かに暮らせる社会の推進

6- (1) 生きがいづくりと社会参加の促進

…健康福祉部保健福祉課高齢者支援チーム

1 百歳高齢者知事賀寿事業

百歳の高齢者に対し、その長寿を祝い、併せて県民に老人福祉についての関心と理解を深めるとともに、老人の健康の増進に努める意欲を高めることを目的とし、知事からの祝状及び記念品を贈呈した。

○平成19年度贈呈者数 71人

2 老人クラブ活動等社会活動促進事業

高齢者が生きがいを持ち、健康で豊かな生活を送ることができるよう、老人クラブ活動等に対し補助した。

○実施市町村 9市町村

○補助額 15,841千円

3 市町村老人クラブ連合会が行う健康づくり事業

市町村老人クラブ連合会が趣味、スポーツ活動及び健康に関する講習会等を開催し、健康づくりに関する実践活動、健康に関する知識等についての普及、啓発等を行う事業に対して補助した。

○実施市町村 6市町村

○補助額 1,429千円

4 高齢社会対策推進事業

市町村が地域の実情に応じたきめ細かなサービスを展開できるよう、市町村が単独で行う高齢社会対策推進事業に補助した。

○実施市町村 3市町村

○補助額 2,025千円

6- (2) 健康づくり・介護予防の推進

…健康福祉部保健福祉課高齢者支援チーム

1 介護予防講演会

高齢者の介護予防の促進を図るため、民生委員、一般住民等を対象とした介護予防講演会を実施した。

・日時 平成19年12月13日(木) 13時30分～15時30分

・場所 福島県文化センター 小ホール

・参加者 300名

・内容 〈講演〉「はつらつと生きるために！」

福島市医師会副会長 わたり病院長 丹治伸夫氏

〈報告〉「基本健康診査が変わります！」

福島県国民健康保険団体連合会 主任保健事業専門員

相田トシ子氏

「特定健診等の先進市町村の取り組み状況」
福島市国保年金課 国保給付係長 羽田巧氏
〈寸劇〉「じいちゃんが笑顔を取り戻すまで！」
県北圏域地域包括支援センター職員

6 - (3) 在宅医療・介護の充実

…健康福祉部保健福祉課高齢者支援チーム

1 県北地方高齢者保健福祉計画等進行管理連絡協議会

県北圏域における第四次福島県高齢者保健福祉計画及び第三次福島県介護保険事業支援計画の進捗状況の把握及び対策を検討した。併せて、福島県地域ケア体制整備構想策定にかかる意見交換を実施した。

- (1) 第1回 ・ 日 時 平成19年9月4日(火) 14時00分～16時10分
・ 場 所 県北保健福祉事務所 大会議室
- (2) 第2回 ・ 日 時 平成19年11月5日(月) 14時00分～15時40分
・ 場 所 県北保健福祉事務所 大会議室

6 - (4) 施設医療・介護の充実

…健康福祉部保健福祉課高齢者支援チーム

1 老人福祉施設等整備事業

福島県高齢者保健福祉計画・福島県介護保険事業支援計画に基づき、県北圏域における特別養護老人ホーム、介護老人保健施設等の高齢者関連施設の整備を促進した。

- (1) 平成18年度～平成19年度補助事業実績
 - ・ 特別養護老人ホーム 2か所
- (2) 平成19年度～平成20年度補助事業実績
 - ・ 特別養護老人ホーム 1か所
 - ・ ケアハウス 1か所

2 身体拘束ゼロ作戦推進事業

介護保険法の施行により、介護保険施設等での身体拘束は原則として禁止されたことから、その趣旨を徹底するため、介護保険施設等実地指導時に身体拘束の有無、身体拘束廃止に向けた取組状況を把握し、県の身体拘束相談専門員による「身体拘束相談窓口」並びに「施設現地相談」の利用や「福島県身体拘束ゼロの手引き」の活用を呼びかけた。

3 老人福祉法に係る施設の設置認可等

老人福祉施設の設置及び変更の申請並びに老人居宅生活支援事業等の開始及び変更等の届出に際して、必要な助言指導を行った。

6 - (5) 認知症高齢者の総合的支援

…健康福祉部保健福祉課高齢者支援チーム

1 老人福祉施設等整備事業

(6 - (4) - 1と同じ)

2 認知症予防対策事業

認知症についての正しい知識の普及・啓発を行うとともに、地域における認知症の症状の早期発見・早期対応体制の整備及びモデル市町村に対する技術支援を行った。

(1) 認知症予防対策推進会議の開催

- ・日 時 平成20年1月25日(金) 13時00分～16時45分
- ・場 所 県北保健福祉事務所 中会議室

(2) 認知症予防対策学習会の開催

- ・日 時 平成19年11月15日(木) 13時00分～16時00分
- ・場 所 県北保健福祉事務所 大会議室

(3) 認知症予防対策推進事業モデル市町村に対する技術支援

- 認知症予防に関する講演会及び学習会、ケア会議等の企画や実施に当たり支援した。
- ・本宮市で実施

6 - (6) 介護保険制度の円滑な運営

…健康福祉部保健福祉課高齢者支援チーム

1 介護保険者指導事業（市町村介護保険業務実地指導）

介護保険制度の円滑な運用のため、保険者である市町村に対して介護保険法第5条第2項及び第197条第1項並びに地方自治法第245条の4第1項の規定に基づき、事業の運営や手続きに関する助言指導を行った。また、介護給付適正化に関するプログラム策定にあたり、各市町村の適正化事業について、ヒアリングを実施した。

- 実施市町村 8市町村（一部、本庁介護保険グループと合同実施）

2 認定調査員研修事業

要介護認定において適正な一次判定を確保するため、認定調査員に対して研修を実施した。

- ・日 時 平成20年3月19日(金) 13時30分～16時00分
- ・場 所 コラッセふくしま 多目的ホール
- ・出席者 400名

3 介護保険施設等の指導等事業

介護保険法に基づき、施設（指定介護老人福祉施設、介護老人保健施設、指定介護療養型医療施設）及び事業所（指定居宅サービス事業所、指定居宅介護支援事業所）のサービスの質を確保し、介護報酬請求の適正な運用に関して周知徹底を図るために、本庁と合同で又は事務所単独により実地指導を行った。

- 平成19年度実績 延べ61事業所・施設

4 福島県介護保険審査会運営事業

介護保険制度の保険者である市町村の行った行政処分に対する審査請求の審理・裁決を行い、制度の適正な運営を行うため、福島県介護保険審査会を設置した。

- 平成19年度審査会実績 0回

5 介護保険法に係る事業者の指定等

介護サービス提供事業者の指定申請及び変更等の届出に際して、必要な助言指導を行った。

- 県北管内指定事業所数（平成20年4月1日現在）

- ・指定居宅サービス事業所 381 事業所
- ・指定介護予防サービス事業所 366 事業所
- ・指定居宅介護支援事業所 125 事業所
- ・介護保険施設 53 施設
- ・合 計 925 事業所・施設

6 介護老人保健施設の変更許可等

介護保険法第94条第2項の規定に基づく介護老人保健施設の変更許可（入所定員の増員以外の変更許可事項に限る。）及び介護保険法第95条第1項及び第2項の規定に基づく介護老人保健施設の管理者承認について、申請内容を審査し、許可及び承認を行った。

- (1) 変更許可 11件
- (2) 管理者の承認 4件

7 地域包括支援センター職員等研修事業

平成18年度の介護保険制度の改正により設置された地域包括支援センターの円滑な運営を図るため、圏域の特性に応じた圏域別研修を実施した。

- (1) 第1回
 - ・日 時 平成19年10月29日（月） 13時30分～16時30分
 - ・場 所 県北保健福祉事務所 大会議室
 - ・参加者 72名
- (2) 第2回
 - ・日 時 平成20年3月12日（水） 9時30分～16時30分
 - ・場 所 県北保健福祉事務所 大会議室
 - ・参加者 63名

8 養護老人ホーム勉強会

平成18年度の介護保険制度の改正により導入された外部サービス利用型特定施設入居者生活介護の指定を受けた養護老人ホーム職員等を対象に、適切な施設運営と職員の資質の向上を図るため、研修を実施した。

- ・日 時 平成19年8月9日（金） 13時30分～16時00分
- ・場 所 県北保健福祉事務所 大会議室
- ・出席者 30名

7 障がい者が自立し社会参加できる社会の推進

7- (1) ノーマライゼーション理念の普及・啓発の促進

…健康福祉部保健福祉課障がい者支援チーム

1 市民精神保健福祉研修会

心の病を持つ人たちのよき理解者として、地域で自主的な活動を行うボランティアのフォローアップ研修を行った。

▼平成19年度ボランティアフォローアップ研修会

実施場所	参加実人員	参加延人員
二本松市安達保健福祉センター	24	24
県北保健福祉事務所	38	41
計	62	65

2 ふれあい週間事業

心の輪を広げる障がい者理解促進事業として、障がいのある人とない人が、学校や社会生活、社会活動等の中で、相互に心のふれあいの体験を通じて学んだことや感じたこと、又は、社会に訴えたいこと等を内容とする「心の輪を広げる体験作文」及び障がいのある人に対する理解の促進等に役立てる内容の「障がい者の日のポスター」の募集を行った。

また、昨年度までの県障がい者芸術展に替わって「福島県障がい者ふれあい文化事業実施要領」を制定し、社会福祉法人やNPO法人等障がい者の自立や社会参加促進等を目的として活動している団体が企画・実施する障がい者の方々の芸術展等に対し、開催経費の一部を補助した。

○ 心の輪を広げる障がい者理解促進事業

「心の輪を広げる体験作文」及び「障がい者の日のポスター」募集

応募期間 7月1日～9月4日

応募作品数 ポスター：8点

体験作文：5点

7- (2) 総合療育体制の推進

…健康福祉部保健福祉課障がい者支援チーム

1 障がい児（者）地域療育等支援事業

施設に専任のコーディネーターを設置し、在宅療育等の相談、援助プログラムの作成、関係機関との調整を行う地域生活支援事業及び巡回相談や外来者に対する各種相談等を行う療育等支援施設事業を実施した。

○委託先（実施施設） 社会福祉法人陽光会（福島市 清心荘）

社会福祉法人牧人会（大玉村 あだたら育成園）

7- (3) 教育の充実

…健康福祉部保健福祉課児童家庭支援チーム

1 養護教育における医療的ケア実施事業

7 - (4) 雇用と就労の促進

…健康福祉部保健福祉課障がい者支援チーム

1 精神障がい者社会適応訓練事業

回復途上にある在宅精神障がい者で就労意欲のある者を、県に登録した協力事業所に一定期間訓練を委託し、円滑な社会復帰のための援助を行った。

▼平成19年度社会適応訓練事業実績

委託事業所数		委託対象者			委託結果	
登録事業所数	委託事業所数	男	女	計	訓練延日数	委託料支払
18	1	0	1	1	93	186,000円

2 精神障がい者社会復帰施設運営事業

補助金の適正執行と施設運営・利用に係る支援を行った。

- 精神障がい者社会復帰施設 1ヶ所
- 精神障がい者社会復帰施設運営事業補助金 22,347千円
- 社会復帰施設指導監査 年1回

3 障がい者小規模作業所支援事業

雇用されることが困難な在宅の障がい者に対し自活に必要な訓練を行うとともに、就労の場を与えて自立更生を促進するための障がい者小規模作業所に財政的支援を行うため、補助金を交付した。

- 実施市町村（作業所数） 管内4市町村（24ヶ所）
- 補助率 10分の3（上限 Aランク180万円、Bランク90万円、Cランク45万円）
- 補助額 34,335千円

7 - (5) 自立の支援と社会参加の促進

…健康福祉部保健福祉課障がい者支援チーム

1 地域生活支援事業

障害者自立支援法に基づき、障がい者及び障がい児が自立した日常生活又は社会生活を営むことができるよう、地域の特性や利用者の状況に応じた柔軟な事業形態により効率的・効果的に支援を実施するため補助を行った。

- 実施市町村 9市町村
- 補助率 4分の1
- 補助額 55,056千円

2 地域活動支援センター運営事業

障害者支援法に基づき、障害者の社会参加促進を図るため必要な訓練を行うとともに、作業通して社会参加の能力向上と就労機会の拡大を図るための地域活動支援センターに財政的支援を行うため、補助金を交付した。

- 実施市町村（センター数） 2市（11ヶ所）
- 補助率 10分の3（上限180万円）
- 補助額 16,614千円

3 精神障がい者地域生活移行促進事業

地域における受け皿とのつながりがないなどの理由で入院を余儀なくされている精神障がい者に対し、活動の場を提供し退院訓練を行うことにより、社会的入院を解消し、地域生活への移行を促進する事業を行った。

- 社会資源に関する出張講座への協力 2 病院 2 回
- 自立促進支援協議会への協力 1 4 回
- ケア会議出席 7 回

4 障がい者自立生活センター支援事業

障がい者が主体性を持って、地域の中で自立した生活が送れるように、障がい者自身が各種サービスを提供する「障がい者自立生活支援センター」活動に対して補助した。

- 補助件数 1 件
- 補助率 2 分の 1
- 補助額 1, 100 千円（本庁支出）

5 障がい者地域生活移行支援事業

県は、平成 18 年 3 月に障がい福祉施策の基本目標の一つである「障がい者の地域生活への移行促進」を図るため、「福島県地域生活移行促進プログラム」を作成し、障がい者が自らが望む地域で暮らすことのできる社会の形成を推進していくこととしている。

そのため、市町村、関係団体、社会福祉法人等と連携し、このプログラムの実現に向けて取り組んだ。

- 県北障がい保健福祉圏域地域生活移行促進調整会議の開催

第一回会議

- 日時 平成 20 年 8 月 31 日（金） 10 時 30 分～12 時
- 場所 県北保健福祉事務所大会議室
- 参集人員 市町村担当者、社会福祉法人等 32 名

第二回会議

- 日時 平成 20 年 3 月 14 日（金） 10 時 30 分～12 時
- 場所 県北保健福祉事務所大会議室
- 参集人員 市町村担当者、社会福祉法人等 32 名

6 障害者自立支援対策臨時特例基金事業（市町村分）

県は、障害者支援法の施行に伴う激変緩和、新たな事業に直ちに移行できない事業者の経過的支援等新法への円滑な移行の推進を図るため、県に設置した基金により、障害者及び障害児が自立した日常生活又は社会生活を営むことが出来るように支援することとしている。

事業を実施する市町村に対して補助金を交付した。

- 実施市町村 7 市町村
- 補助率 事業により補助率は異なる（4 分の 3 及び 10 分の 10）
- 補助額 28, 191 千円

7 - (6) 人権への配慮と医療の確保

…健康福祉部保健福祉課障がい者支援チーム

1 医療に関する体制

(1) 精神科病院実地指導及び入院者の実地審査

- 実地指導： 10 件（一般 6 件、特別 4 件）
- 実地審査：措置入院 6 名 医療保護入院 44 名 措置入院 3 ヶ月後 2 名

(2) 措置・医療保護入院者の管理

- 定期病状報告：560件（医療保護入院549件、措置入院11件）
- 入退院報告：1,422件（1項入院585件、2項入院246件、退院届591件）
- 措置解除：14件
- 退院請求に関する調査：13件

(3) 精神障がい者の措置入院に関すること

精神障がい者に関する一般住民、警察官等からの通報等を受けて、調査、指定医による診察、入院措置等を行った。

▼平成19年度精神保健福祉法に基づく申請・通報・届出・診察実施件数状況

申請・通報・届出件数						合計	診察 不要 件数	診察件数		別掲 緊急 措置
一般人 の申請	警察官 の通報	検察官 の通報	矯正施設 の長の通 報	保護観察 所の長の通 報	精神病院 の管理者 の届出			一次 診察	二次 診察	
1	26	3	6	0	0	36	3	33	12	1

(4) 精神科移送システム事業

緊急入院が必要にもかかわらず本人の同意に基づいた入院が行うにないと指定医師が判定した精神障がい者を知事が応急入院指定病院に移送するシステムを整備し、治療の必要性を自ら判断できない精神障がい者の受療の機会を確保する。

- 医療保護入院・応急入院のための移送
平成19年度 14件（うち措置診察後対応9件、相談等による対応5件）

(5) 自立支援医療費（精神通院医療）

精神障がい者の通院医療費の一部を公費負担し、通院医療の促進を図る。

平成18年4月より、精神障がい者通院医療費公費負担制度は障害者自立支援法に移行し、自立支援医療に改正された。

▼自立支援医療（精神通院）申請件数

18年度	19年度
2,091	5,089

7- (7) 在宅福祉サービスの充実

…健康福祉部保健福祉課障がい者支援チーム

1 相談指導体制

(1- (6) と同じ)

2 精神障害者保健福祉手帳交付事業

精神障がい者に対する各種の支援策の活用を容易にし、自立と社会参加を図った。

- 手帳申請：984件 手帳保持者：1,603人

3 身体障がい者相談員設置事業

身体障がい者相談員を設置し身体障がい者の更生援護の相談、指導、助言を行った。

- 身体障がい者相談員数 42名（9市町村）

4 知的障がい者相談員設置事業

知的障がい者相談員を設置し、知的障がい者の家庭における教育、生活等に関する相談、指導、助言を行った。

○知的障がい者相談員数 15名（9市町村）

5 重度障がい者支援事業

(1) 重度心身障がい者医療費補助事業

重度心身障がい者の健康保持と福祉増進を図るため、医療費自己負担額についての助成を行った市町村に対して、補助金を交付した。

○実施市町村 9市町村

○補助率 2分の1

○補助額 529,014千円

(2) 在宅重度障がい者対策事業

日常生活において、常に医療的処置を必要とする在宅重度障がい者への治療材料等の給付事業を行った市町村に対して、補助金を交付した。

○実施市町村 9市町村

○補助率 2分の1

○補助額 5,937千円

(3) 人工透析患者通院交通費補助事業

人工透析を受けている通院患者の通院に要する費用の助成を行った市町村に対して、補助金を交付した。

○実施市町村 8市町村

○補助率 2分の1

○補助額 4,983千円

6 特別障害者手当等給付事業

在宅の重度障がい者等に対し特別障害者手当等を支給し、所得保障と福祉の増進を図った。

7 障がい者自立支援給付費負担金

障がい者及び障がい児がその有する能力及び適性に応じ、自立した日常生活又は社会生活を営むことができるよう、必要な障がい福祉サービスに係る給付その他の支援を行った。

○実施市町村 9市町村

○補助率 4分の1

▼平成19年度障がい者自立支援給付費負担金（人員及び補助額は交付決定時の数値である）

市町村名	居宅介護		重度訪問介護		行動援護	
	対象者 延人員(人)	補助額 (円)	対象者 延人員(人)	補助額 (円)	対象者 延人員(人)	補助額 (円)
福島市	1,836	23,871,704	96	12,468,052	12	150,000
二本松市	447	4,253,306	0	0	0	0
伊達市	625	4,963,043	48	1,378,006	0	0
本宮市	204	2,363,714	0	0	12	215,023
桑折町	64	420,079	0	0	0	0
国見町	36	211,100	1	24,875	0	0
川俣町	200	1,344,750	0	0	0	0

飯野町	0	0	0	0	0	0
大玉村	45	462,520	0	0	0	0
合計	3,457	37,890,216	145	13,870,933	24	365,023

市町村名	児童デイサービス		短期入所		共同生活援助	
	対象者 延人員(人)	補助額 (円)	対象者 延人員(人)	補助額 (円)	対象者 延人員(人)	補助額 (円)
福島市	264	5,406,717	39	5,043,506	876	10,969,145
二本松市	90	2,475,744	125	1,402,813	156	1,735,964
伊達市	267	5,056,012	144	542,629	152	1,958,797
本宮市	97	2,143,697	41	523,897	96	1,308,779
桑折町	21	171,090	5	68,130	27	367,835
国見町	17	38,134	0	0	15	195,367
川俣町	0	0	20	212,360	36	351,205
飯野町	0	0	0	0	0	0
大玉村	12	388,062	11	102,490	1	15,707
合計	768	15,679,456	385	7,895,825	1,359	16,902,799

市町村名	療養介護(医療を除く)		生活介護		共同生活介護	
	対象者 延人員(人)	補助額 (円)	対象者 延人員(人)	補助額 (円)	対象者 延人員(人)	補助額 (円)
福島市	48	2,765,332	804	15,025,000	120	1,548,891
二本松市	0	0	174	8,936,944	35	677,542
伊達市	12	713,100	34	1,475,890	0	0
本宮市	12	705,954	49	2,347,196	24	496,203
桑折町	8	460,852	12	264,924	0	0
国見町	0	0	12	310,905	20	435,157
川俣町	12	705,739	12	398,640	0	0
飯野町	0	0	5	304,500	0	0
大玉村	12	715,797	24	674,178	23	691,260
合計	104	6,066,774	1,126	29,738,177	222	3,849,053

市町村名	施設入所支援		自立訓練		就労移行支援	
	対象者 延人員(人)	補助額 (円)	対象者 延人員(人)	補助額 (円)	対象者 延人員(人)	補助額 (円)
福島市	468	4,522,067	360	4,917,239	84	2,114,247
二本松市	74	2,082,869	19	243,821	23	664,567
伊達市	58	782,008	0	0	0	0
本宮市	17	163,665	0	0	15	582,912
桑折町	24	373,530	4	31,630	0	0
国見町	12	158,182	22	716,752	0	0
川俣町	12	116,205	0	0	0	0
飯野町	5	122,500	0	0	0	0

大玉村	12	190,494	12	83,874	0	0
合計	682	8,511,520	417	5,993,316	122	3,361,726

市町村名	就労継続支援		旧法施設支援		サービス利用計画書作成	
	対象者 延人員(人)	補助額 (円)	対象者 延人員(人)	補助額 (円)	対象者 延人員(人)	補助額 (円)
福島市	1,692	28,539,624	7,224	220,900,514	24	89,250
二本松市	339	7,563,683	1,552	73,745,008	0	0
伊達市	36	778,302	2,079	68,426,060	0	0
本宮市	52	1,030,440	876	36,916,408	0	0
桑折町	110	2,579,163	370	16,992,147	0	0
国見町	43	692,864	240	9,835,811	0	0
川俣町	24	589,950	528	16,619,947	0	0
飯野町	0	0	79	4,933,425	0	0
大玉村	0	0	249	9,708,271	0	0
合計	2,296	41,774,026	13,197	458,077,591	24	89,250

市町村名	自立支援医療費(更生医療)		補装具費		療養介護(医療)	
	対象者 延人員(人)	補助額 (円)	対象者 延人員(人)	補助額 (円)	対象者 延人員(人)	補助額 (円)
福島市	918	31,238,449	600	12,720,500	48	770,870
二本松市	599	6,139,281	98	1,932,065	0	0
伊達市	210	3,195,044	150	3,042,741	12	182,838
本宮市	60	1,200,000	42	963,165	12	141,246
桑折町	4	48,892	29	583,037	9	112,062
国見町	8	88,352	22	352,209	0	0
川俣町	84	1,152,939	34	732,750	12	144,000
飯野町	0	0	10	216,937	0	0
大玉村	50	177,124	20	304,247	12	127,296
合計	1,933	43,240,081	1,005	20,847,651	105	1,478,312

8 保健・医療・福祉のさらなる推進

8 - (1) 健康危機管理の体制整備

…生活衛生部医療薬事課感染症予防チーム

1 健康危機管理訓練

国内の鳥インフルエンザ発生及び海外で発生している鳥インフルエンザウイルスの人への感染事例等から新型インフルエンザ発生についての基礎知識と発生した場合の保健福祉事務所の役割等について所内職員に対する研修会を開催した。(平成20年1月18日)

8 - (2) 情報ネットワークの構築

…総務企画部地域支援課

1 県北保健福祉事務所ホームページの運営・充実等

(1) 平成14年度に開設した事務所ホームページを毎月定期的に情報更新するとともに、食中毒やインフルエンザに関する情報など、タイムリーな情報提供に努めた。

○ホームページアクセス件数 ⑰ 9,150件 ⑱ 13,069件 ⑲ 17,188件

(2) 所内各グループで所管している統計情報や資料等情報の共有化を図り、所内ネットワークによる検索システムを構築した。

○県北保健福祉事務所保健医療福祉統計データベース

2 保健・医療・福祉情報支援センター事業

保健福祉事務所で保有している保健衛生統計データ及び各種事業を通して得られた地域住民の健康状態等に関する情報等をデータベースとして蓄積し、「地域診断シート」として資料化し市町村に配付した。

(1) 「地域診断シート」の作成

人口の状況、出生、死亡、医療費の状況等の9項目について、人口動態、事業実績等のデータを集約・整理・分析し、管内及び管内各市町村(21シート)について作成し、管内市町村に配付した。

(2) 市町村との意見交換会

「地域診断シート」を基に、地域の健康課題を明確化するための意見交換会を、市町村毎に実施した。

3 社会福祉関係及び保健衛生統計調査

国の行政施策の基礎資料を得るため、各種統計調査を実施した。

人口動態調査	戸籍法及び死産の届出に関する規程に基づいて届けられた出生、死亡、死産、婚姻及び離婚の全数について調査した。 市町村長が届出を受理したときに作成する人口動態調査票により、毎月調査を実施
国民生活基礎調査	国民の保健、医療、福祉、年金、所得など国民生活の基礎的事項を把握し、厚生行政企画及び運営に必要な基礎資料とするため、実施した。 平成19年度は ・国民生活基礎調査：世帯票25地区
医療施設動態調査	医療施設の開設・廃止・変更等に伴う医療法上の届出や処分があった都度作成する調査票により、毎月調査を行った。
病院報告	病院及び療養病床を有する診療所を対象に、病床数、患者(在院・入院・退院・外来)数、従業者数等について調査した。 ①「患者票」 毎月実施 ②「従業者票」 毎年10月1日現在で実施

患者調査	医療施設を利用する患者の疾病構造を地域別に明らかにし、医療行政の基礎資料とするため実施した。平成20年1月実施
社会福祉施設等調査	社会福祉施設数、在所者、従事者の状況並びに施設設備、外部委託等の状況を把握し、社会福祉行政推進のための基礎資料とするため実施した。
介護サービス施設事業所調査	介護保健施設、居宅サービス事業所の実態、利用状況を把握し、介護サービスの基盤整備に資するため実施した。
福祉行政報告例	社会福祉関係諸法規の施行に伴う行政の実態を把握するため実施した。 生活保護、障害者福祉、老人福祉、児童福祉、母子保健などが対象
衛生行政報告例	衛生行政活動の内容について調査を実施した。 年度報（建築物環境衛生、埋葬及び火葬、ホテル・旅館営業、公衆浴場、理容、美容、クリーニング、食品関係営業施設、化製場等、医療監視、精神障害、薬局等） 母体保護統計（母体保護法の規程に基づく不妊手術及び人工妊娠中絶を受けた者についての調査）
地域保健・老人保健事業報告	保健所及び市町村における保健事業について調査した。 （母子保健、予防接種、保健所の連絡調整等、保健所の市町村への援助状況、職員設置状況、老人保健事業）
21世紀成年人者縦断調査	少子化対策など厚生労働行政施策のための基礎資料を得るため、同じ対象に5年間追跡調査する。平成14年から18年まで実施。 対象地区（福島市3地区 二本松市・伊達市・桑折町・大玉村各1地区）
中高年者縦断調査	高齢者対策など厚生労働行政施設のための基礎資料を得るため実施した。 11月 5地区で実施（福島市・飯野町・大玉村各1地区 二本松市2地区）

8 - (3) サービス総合化のシステムの確保

…総務企画部地域支援課

1 県北地域保健医療福祉推進会議の開催

「うつくしま保健医療福祉プラン21（第四次福島県保健医療計画）」及び「県北地域保健医療福祉圏計画」の着実な推進を図るため、県北地域保健医療福祉推進会議を開催した。

- ・第1回 19年11月12日（月） 新しい医療計画について ほか
- ・第2回 20年2月1日（金） 第五次福島県医療計画(仮称)二次案について ほか

2 地域ケアフロンティア事業（ケア調整会議・在宅ケア研修）

専門的支援を要する在宅療養者に対し、効果的・効率的なサービスを提供できる体制構築のため、関係者に対する研修を実施した。

▼ 地域在宅ケア研修会

テーマ：難病患者の在宅療養支援研修

開催日：平成20年1月17日（木）

参加者：144名（市町村保健福祉担当者、医療関係者、介護保険事業者等）

内容・講師：・講演「筋萎縮性側索硬化症（ALS）の特徴と治療、療養生活上の留意点」

講師 むつみ脳神経・耳鼻科クリニック

副院長 渡邊 多佳子 先生

・情報提供「県北保健福祉事務所管内の在宅療養生活の現況と課題について」

・実際事例のケアマネジメント

「ALS患者さんがその人らしく生きるためのサポート」

助言者：県北保健福祉事務所管内ケアマネージャー

県北保健福祉事務所職員

3 地域ふれあい広場モデル事業

過疎・中山間地域の身近な場所で、世代・障がいの有無・国籍の違い等にかかわらず、誰もが気軽に集い交流できる場を整備することで、子供同士や親同士、更には世代間の交流を促進し、互いに理解し支え合う関係づくりを支援する。また、高齢者等の地域住民をボランティア講師とした学習や見守りの場として活用していくことをとおして、高齢者等の生きがいを併せて支援し、地域全体の活性化を図った。

- (1) 市町村、地域住民、団体等との意見交換会 （8回）

- (2) 事業運営団体の決定
- (3) 先進事例の調査 (2回)
- (4) ボランティア研修等 (8回)
- (5) プレオープン

8-(4) 地域リハビリテーションの推進

…健康福祉部保健福祉課高齢者支援チーム

1 地域リハビリテーション支援体制整備推進事業

地域リハビリテーション広域支援センター（医療法人辰星会榊記念病院）が行う県北地域リハビリテーション連絡協議会の運営を支援した。

8-(5) 保健・医療・福祉における研修の推進

…総務企画部地域支援課

1 地域保健福祉関係職員研修

地域保健福祉活動に従事する市町村及び関係機関の職員等を対象に、地域の実情に即した幅広い分野の研修を実施し資質の向上に努め、地域保健対策の推進を図った。

- (1) 県全体研修 階層別研修：管理監督者研修、初任者研修
専門研修：調査研究研修、事業評価研修

2 地域保健福祉活動推進研修

- (1) 保育所における感染症予防研修

〈基礎研修〉

- ① 開催日 平成19年9月19日
- ② 参加者 96名 (保育所職員、児童福祉施設職員等)
- ③ 内容・講師
 - ・講義「小児の感染症の特徴と感染予防の注意点について」
(大腹綜合病院 顧問 三島博 先生)
 - ・講義「感染症・食中毒予防について」
(県北保健福祉事務所職員)

〈応用研修〉

- ① 開催日 平成19年9月27日
- ② 参加者 49名 (保育所職員、児童福祉施設職員等)
- ③ 内容・講師
 - ・講義「標準予防策について」
(県北保健福祉事務所 医師)
 - ・手洗い実習

- (2) 特定健診・保健指導関連研修

〈第1回〉

- ① 開催日 平成19年7月2日
- ② 参加者 57名

(市町村国保担当・健康づくり担当保健師・健康保険組合保健事業担当者・地域づくりに携わるもの)

- ③ 内容・講師
 - ・講話「医療制度改革の概要」

(県北保健福祉事務所 地域支援グループ 専門保健技師)

- ・講話「特定健診実施計画策定手順」

(福島県国民健康保険団体連合会事業課 主任保健事業専門員 相田トシ子先生)

- ・情報提供「特定健診・保健指導対象者の抽出方法について」 (情報提供：福島市)
- ・演習「計画策定シュミレーションワークシートの作成」
- ・情報交換

〈第2回〉

① 開催日 平成19年8月27日

② 参加者 53名

③ 内容

- ・情報提供「特定健康診査等実施計画の策定」
「集合契約等の推進について」
「他健診との連携について」

提供者 県北保健福祉事務所 地域支援グループ 専門保健技師

- ・情報提供「保険者協議会の状況について」

提供者 福島県国民健康保険団体連合会事業課 主任専門相談員 相田トシ子先生

- ・演習「生活習慣病受診状況の分析」
「特定健診・保健指導実施計画策定」

〈第3回〉

① 開催日 平成19年10月1日

② 参加者 29名

③ 内容

- ・情報提供「保険者協議会の動向等」

提供者 福島県国民健康保険団体連合会事業課

- ・情報交換

(3) 特定保健指導研修

〈第1回〉

① 開催日 平成20年1月22日

② 参加者 45名

(市町村国保担当保健師・特定保健指導機関職員)

③ 内容・講師

- ・講話「保健指導のポイント」

講師 社会保険健康事業財団福島県支部 保健指導課長 畑 淳子 先生

- ・演習「保健指導支援計画の作成」

助言者 社会保険健康事業財団福島県支部 保健指導課長 畑 淳子 先生

〈第2回〉

① 開催日 平成20年2月13日

② 参加者 41名

③ 内容・講師

- ・演習「保健指導の実際」(ロールプレイ)

助言者 社会保険健康事業財団福島県支部 保健指導課長 畑 淳子 先生

福島県国民健康保険団体連合会事業課 保健事業専門員 七宮 ひろみ先生

- ・情報交換「学習教材について」

助言者 福島県国民健康保険団体連合会事業課 保健事業専門員 七宮 ひろみ先生

3 出前講座

NO	テーマ	担当G・T	⑬回数	⑬参加人数
1	性と生を考える講座	児童家庭支援T	1	39
2	母子に関する医療費助成制度	児童家庭支援T	1	15
3	ストレスと上手につきあうために	障がい者支援T	3	268
4	働きざかりの健康講座	健康増進G	1	24
5	健康づくりに活かす栄養表示の見方	健康増進G	1	75
6	薬物乱用防止教室	医事薬事T	3	320
7	結核ミニ講座	感染症予防T	1	100
8	感染症一般	感染症予防T	12	488
9	台所の食品衛生	食品衛生T	12	605
10	知っておきたい食品表示	食品衛生T	3	102
11	食品添加物	食品衛生T	3	145
12	食品中の残留農薬等の規制	食品衛生T	1	63
13	食中毒	食品衛生T	14	459
14	食品安全に関する最近の話題	食品衛生T	2	176
15	農産加工食品と食品衛生	食品衛生T	6	128
合 計			64回	3,007人

8 - (6) 保健・医療・福祉の人材の確保と資質の向上

… 総務企画部地域支援課

1 実習生に対する教育・実習指導

保健福祉医療従事者養成機関の実習生に対して地域保健福祉活動の実際に触れる機会を提供し、教育指導を行った。

▼平成19年度 実習生等受入状況

目的とする資格等	受入時期	受入日数	受入人数	延べ人数	備 考
医 師	4月	2日	6人	6人	福島県立医科大学
医 師	8月	1日	5人	5人	福島県立医科大学
医 師	9～10月	5日	12人	60人	福島県立医科大学
医 師	8月	2日	1人	2人	新潟大学医学部
医 師	10月	4日	2人	8人	獨協医科大学
保健師	8月	1日	1人	1人	群馬大学大学院
助産師	7～8月	8日	18人	37人	福島県立総合衛生学院助産学科
看護師	7月	8日	34人	68人	大原看護専門学校
看護師・保健師	5～6月	3日	26人	27人	福島県立医科大学看護学部
看護師・保健師	5月	1日	3人	3人	ポラリス保健看護学院
歯科衛生士	1月	2日	19人	38人	福島県立総合衛生学院歯科衛生学
臨床検査技師	7月	1日	20人	20人	福島県立総合衛生学院臨床検査学
栄養士	8～9月	6日	6人	36人	郡山女子大学
栄養士	8～9月	6日	1人	6人	東北生活文化大学
栄養士	8～9月	6日	2人	12人	宮城学院女子大学
栄養士	1月	1日	57人	57人	桜の聖母短期大学
精神保健福祉士	8～9月	23日	2人	46人	福島学院大学
社会福祉士	10月	10日	1人	10人	仙台医療福祉専門学校
社会福祉主事	8月	5日	7人	35人	福島介護福祉専門学校
ホームヘルパー	5・11月	2日	18人	36人	ポリテクセンター
臨床心理士	12月	1日	6人	6人	福島大学大学院（臨床心理実習）
青年海外協力隊	11月	1日	6人	6人	二本松青年海外協力隊訓練所
高校総合学習	9月	1日	1人	1人	福島北高等学校
合 計		100日	254人	508人	

2 新医師臨床研修「地域保健・医療」

医師法第16条の2第1項に規定する臨床研修のうち地域保健・医療について、保健福祉事務所が臨床研修病院に協力して受け入れた。

- ・臨床研修病院：福島赤十字病院
- ・時期：平成19年9月（3週間）
- ・受入人数： 1名

第 4 章

資 料 編

資料編

I 生活衛生

1 衛生推進グループ窓口の開設	119
2 環境衛生関係資料	119
(1) 水道普及率	119
(2) ホテル営業、旅館営業及び簡易宿所営業	120
(3) 興行場	120
(4) 公衆浴場	120
(5) クリーニング所、コインオペレーションクリーニング	120
(6) 理容所美容所及び従業員数	121
(7) 火葬場等施設	121
(8) 遊泳用プール（概ね 100 m ² 以上）、海（湖）水浴場	121
(9) 特定建築物	121
(10) 建築物環境衛生に係わる登録営業者	121
(11) 家庭用品安全対策試買検査	121
(12) 衛生教育の実施	122

II 健康づくり

(1) 分煙化の実態	123
(2) 「うつくしま健康応援店」登録名簿	124

III 医療施設

(1) 病院	125
(2) 一般診療所	125
(3) 歯科診療所	125
・医療施設数	125
・病床数	126
・休日・夜間急病診療所平成19年度の状況	127
・在宅当番医制の実施状況平成19年度の状況	127
・病院群輪番制の実施状況	127
・救急病院	127

IV 薬事

薬事関係営業者数	128
院外処方せん発行医療機関（病院）	129

V 民生委員・児童委員会

平成19年度市町村別民生委員・児童委員の活動状況	130
--------------------------	-----

VI 生活保護

1 被保護世帯数、人員及び保護率	131
2 被扶助別支給人員、支給額	131
3 世帯類型、支給額	131
4 保護の開始、廃止の状況	131
① 保護率の推移	131
② 被保護世帯数、人員	132

③	町村別、年度別保護の状況（各年度月平均）	-----	133
④	救護施設入所実人員	-----	133
⑤	扶助別延人員、支給額及び構成比の推移	-----	134
⑥	年度別、世帯類型別、労働類型別、労働類型別被保護世帯数	-----	135
⑦	保護開始及び廃止の状況（平成19年度）	-----	136
VII	児童福祉		
1	保育所入所児童及び特別保育事業の実施状況	-----	137
2	認可外保育施設の状況	-----	139
3	母子世帯等の状況	-----	140
VIII	高齢者保健福祉		
1	長寿社会対策事業	-----	141
2	やさしさマーク交付先一覧	-----	142
3	介護保険における市町村別要介護（要支援）認定者数	-----	143
4	管内市町村各老人ホーム入所状況	-----	144
5	県北管内における指定居宅介護支援事業所の状況	-----	145
6	平成19年度老人保健事業実施状況	-----	146
IX	障がい者保健福祉		
1	障がい者施策実施状況	-----	147
2	身体障害者手帳所持者数	-----	148
3	療育手帳所持者数	-----	148
4	精神保健福祉手帳所持者数	-----	149
5	自立支援医療受給者証（精神通院）所有者数	-----	149
6	特別障害者手当等受給資格者数	-----	149
X	人口動態	-----	150
1	年齢別人口構	-----	151
成の概要			-----
2	出生の概要	-----	151
	出生率の年次	-----	152
推移			-----
	出生数の年次	-----	152
推移			-----
3	死亡の概要	-----	154
	(1)年次推移	-----	154
	(2)主要死因	-----	154
	(3)標準化死亡比		
4	乳児死亡	-----	155
の概要			
5	新生児死亡の概要		
6	周産期死亡の概要		
XI	調査研究		

I 生活衛生

1 衛生推進課窓口の開設

平成9年度の保健所再編に伴い、旧保原及び旧二本松保健所の管内では、定期的に食品衛生及び環境衛生関係の業務に関する衛生推進課窓口を開設し、相談業務を実施することにより、地域住民、営業者等の利便を図っている。

(1) 開設場所等

窓口開設地区	開設曜日・時間	開設場所	利用者
保原	毎週水曜日9:30-16:00	伊達合同庁舎(伊達市保原町)	伊達市、桑折町、国見町
二本松	毎週火曜日9:30-16:00	二本松合同庁舎(二本松市)	二本松市、本宮市、大玉村

(2) 相談実績

窓口開設地区	開設回数	相談内容		
		環境衛生関係	食品衛生関係	計
保原	51	0	1	1
二本松	51	6	206	212
計	102	6	207	213

2 環境衛生関係資料

(1) 水道普及率

市町村	総人口	給水人口	普及率(18年度)
福島市	288,466	285,777	99.1%
二本松市	62,125	47,970	77.2%
伊達市	67,909	60,321	88.8%
本宮市	31,705	30,818	97.2%
伊達郡計	46,857	39,437	84.2%
桑折町	13,321	12,647	94.9%
国見町	10,515	10,283	97.8%
川俣町	16,627	11,540	69.4%
飯野町	6,394	4,967	77.7%
安達郡計	8,417	7,844	93.2%
大玉村	8,417	7,844	93.2%
計	505,479	472,167	93.4%

(平成19年3月末現在)

(2) ホテル営業、旅館営業及び簡易宿所営業

	3月末日 現在 施設数	左 の 内 訳											
		公的宿泊 施設	民間企業 保養所	ホテル	ビジネス ホテル	モーテル 類似施設	観光旅館	普通旅館 又は 簡易宿所	民宿	ペンション	宿坊	山小屋 バンガ ロー	農林 漁業 体験 民宿
ホテル営業	57	1	0	10	19	25	0	1	0	0	0	0	1
旅館営業	263	13	3	0	5	32	139	60	0	8	1	0	0
簡易宿 所営業	通年営業	35	8	1	0	0	2	14	1	5	0	3	1
	季節営業	9	0	0	0	0	0	0	0	0	0	9	0

(注) 公的宿泊施設は、国民年金保養センター、簡易保険保養センター、地方公共団体の海の家・山の家、国・地方の共済施設等。
 観光旅館は、(社)日本観光旅館連盟加盟、JRの「周遊指定地」内の旅館等とする。
 民宿は、一般家庭が各観光地等でシーズン中に宿泊営業を行う形態のもの
 宿坊は宿坊の宗教関連施設等とし、山小屋、バンガローは登山、キャンプ用の簡易な小屋
 農林漁業体験民宿は、グリーンツーリズムの認定を受けた農家民宿とし、その他は、日雇労働者等を泊める簡易旅館等

(3) 興行場

	興行場数	左 の 内 訳				
		映画館 演劇場等	スポーツ 施設	公会堂 市民会館等	ヌード スタジオ ・ミュージック ホール等	その他
3月末日現在 施設数	37	8	5	10	2	12

(4) 公衆浴場

	公衆 浴場数	左 の 内 訳											
		そ の 他 の 公 衆 浴 場											
	普 通 公 衆 浴 場	厚 生 公 衆 浴 場	共 同 公 衆 浴 場	A 個 室 付 浴 場	B む し 風 呂	C サ ウ ナ 風 呂	D 老 人 福 祉 セ ン タ ー	E デ イ ・ サ ー ビ ス	F ヘ ル ス セ ン タ ー 等	G 旅 館	H 温 泉	I そ の 他	J 小 計
3月末日現在施設数	101	4	0	0	1	1	27	11	1	2	8	19	27

(5) クリーニング所、コインオペレーションクリーニング

	クリーニ ング所数	左 の 内 訳						コインオペレー ション クリーニング		
		一 般	特定洗濯物 取扱施設数 (再掲)	リネン (再掲)	取次所	パーク使用施設再掲 施設数	エタン使用施設再掲 施設数			
3月末日現在施設数	472	124	9	7	348	6	1	0	0	45

	従業員数 (従業員 を含む)	左の内訳	
		従業員 クリーニング 師数	その他の 従業員数
3月末日現在クリーニング 所従業員数等	1,106	211	895

(6) 理容所美容所及び従業員数

	理容所数 (従業員数)	左の内訳		美容所数 (従業員数)	左の内訳	
		従業員 理容師数	その他の 従業員数		従業員 美容師数	その他の 従業員数
3月末日現在施設数等	568(1,241)	(1225)	(16)	880(1,936)	(1889)	(47)

(7) 火葬場等施設

	火葬場			墓地					納骨堂		
	公営	その他の 経営	計	公営	寺院等 法人経営	集落 共同経営	個人経営	計	公営	寺院等 法人経営	計
3月末日現在施設数	5	0	5	233	435	271	17	956	1	12	13

(8) 遊泳用プール(概ね100m³以上)、海(湖)水浴場

	一般 プール 施設数	左の内訳		その他の水浴場 海(湖) 水浴場数
		市町村営	民間営	
3月末日現在施設数	34	20	14	0

(9) 特定建築物

	総数	左の内訳						
		①興行場	②百貨店	③店舗	④事務所	⑤学校	⑥旅館	⑦その他
3月末日現在施設数	(52)	(5)	(0)	(3)	(24)	(13)	(2)	(5)
	201	8	8	38	55	22	57	13
環境衛生管理技術者選任数	201	8	8	38	55	22	57	13

() : 公用・公共用の特定建築物の再掲

(10) 建築物環境衛生に係る登録業者

	総数	左の内訳								
		建築物 清掃業	建築物空気 環境測定業	建築物空気調和 用ダクト清掃業	建築物飲料水 水質検査業	建築物飲料水 貯水槽清掃業	建築物排水管 清掃業	建築物ねずみ 昆虫等防除業	建築物環境衛 生一般管理業	建築物環境衛 生総合管理業
3月末日現在登録業者	76	17	5	0	6	26	2	12	0	8

(11) 家庭用品安全対策試買検査

有害物質名	ホルムアル デヒド	ディルド リン	テトラクロロエ チレン・トリク ロエチレン	合計
件数	8	2	3	13

(12) 衛生教育の実施

保健所が主催した講習会等				市町村等関係団体が主催した講習会の回数及び講師の派遣人数			
件名（内容）	対象者	回数	出席者 延人数	件名（内容）	主催団体	回数	派遣人数
水道国庫（県費）補助事業説明会	水道事業者等	1	16	消毒衛生講習会	理容組合県北支部	1	2
				消毒衛生講習会	美容組合県北支部	1	1
				クリーニング師研修及び業務従事者講習	(財)福島県生活衛生営業指導センター	1	1
				福島市仏教会研修会	福島市仏教会	1	1
合計		1	16	合計		4	5

II 健康づくり

(1) 分煙化の実態

①公共施設の分煙化実態調査結果【市町村施設：平成19年11月1日現在】

市町村分		市役所・町村役場（本庁舎）					市役所・町村役場（合併前旧本庁舎）					市町村保健センター等（保健施設）					市町村保健センター等（福祉施設）					公立保育施設					幼稚園				
		総数	敷地内	庁舎内	分煙	対策なし	総数	敷地内	庁舎内	分煙	対策なし	総数	敷地内	施設内	分煙	対策なし	総数	敷地内	施設内	分煙	対策なし	総数	敷地内	施設内	分煙	対策なし	総数	敷地内	庁舎内	分煙	対策なし
		(主な建物数)	全面禁煙	全面禁煙			(主な建物数)	全面禁煙	全面禁煙	測定あり		(主な建物数)	全面禁煙	全面禁煙			(主な建物数)	全面禁煙	全面禁煙	測定あり		(主な建物数)	全面禁煙	全面禁煙			(主な建物数)	全面禁煙	全面禁煙	測定あり	
1	福島市	1				1					1		1			0					12	12				21	21				
2	二本松市	1		1		3		3			4		4			6	2	4			7		7			16	16				
3	伊達市	1			1	4		1	3		4	2	1		1	2		1		1	4	4				13	13				
4	本宮市	1			1	1		1			1		1			1		1			5	5				5	5				
5	桑折町	1		1							1		1			0					2	2				4	4				
6	国見町	1				1					1		1			0					1	1				2	1	1			
7	川俣町	1				1	1				1		1			0					1		1			5	5				
8	飯野町	1				1					1		1			4		1		3	2		2			1	1				
9	大玉村	1		1							1		1			0										2	2				
計		9	0	3	2	4	9	0	5	3	1	15	2	12	0	1	13	2	7	0	4	34	24	10	0	0	69	68	1	0	0
割合 (%)		100.0	0.0	33.3	22.2	44.4	100.0	0.0	55.6	33.3	11.1	100.0	13.3	80.0	0.0	6.7	100.0	15.4	53.8	0.0	30.8	100.0	70.6	29.4	0.0	0.0	100.0	98.6	1.4	0.0	0.0
分煙化率 (%)		55.6					88.9					93.3					69.2					100.0					100.0				

市町村分		小学校（左側：本校 右側：分校）					中学校（左側：本校 右側：分校）					体育施設					文化施設												
		総数	敷地内	校舎内	分煙	対策なし	総数	敷地内	庁舎内	分煙	対策なし	総数	敷地内	施設内	分煙	対策なし	総数	敷地内	施設内	分煙	対策なし								
		(主な建物数)	全面禁煙	全面禁煙			(主な建物数)	全面禁煙	全面禁煙			(主な建物数)	全面禁煙	全面禁煙			(主な建物数)	全面禁煙	全面禁煙			(主な建物数)	全面禁煙	全面禁煙					
1	福島市	48	1	38	1	10					20	0	13		7					24		21	1	2	42	2	9		31
2	二本松市	23	0	12		11					7	0	2		5					20		14		6	8		8		
3	伊達市	22	0	14		5	3				6	0	5			1				26		26			3		3		
4	本宮市	7	0	7							3	0	3							17	1	12		4	18		18		
5	桑折町	4	0	3		1					1	0	1							2		2							
6	国見町	4	0	3		1					1	0	1							5		5							
7	川俣町	8	0	8							2	0	2							1				1	1				1
8	飯野町	3	0	3							1	0	1							1				1					
9	大玉村	2	0	2							1	0	1							1		1							
計		121	1	90	1	28	0	3	0	0	42	0	29	0	12	0	1	0	0	97	1	81	1	14	72	2	38	0	32
割合 (%)		100.0	100.0	74.4	100.0	23.1	0.0	2.5	0.0	0.0	100	0.0	69.0	0.0	28.6	0.0	2.4	0.0	0.0	100.0	1.0	83.5	1.0	14.4	100.0	2.8	52.8	0.0	44.4
分煙化率 (%)		100.0					100.0					85.6					55.6												

②空間分煙率の推移

	市役所・役場庁舎	市町村保健センター	小学校(分校除く)	(小学校分校)	中学校	体育館等	文化施設
H17.11.1	64.7%	75.0%	100.0%	100.0%	92.9%	56.9%	-
H18.5.1	40.0%	75.0%	100.0%	100.0%	100.0%	70.6%	-
H18.11.1	50.0%	81.3%	100.0%	100.0%	100.0%	72.5%	-
H19.5.1	44.4%	93.8%	100.0%	100.0%	100.0%	88.5%	50.7%

(2) 「うつくしま健康応援店」登録名簿

平成20年3月31日現在

	区分	店名	所在地	電話番号
1	1	福島サンダース	福島市栄町5-1 中合6F	024-522-6195
2	1	味処東本店	福島市飯坂町平野字森7-1	024-542-7711
3	1	サンキスト	福島市天神町15-35	024-535-2643
4	1	酒彩幸味亭	福島市五月町8-10	024-521-4055
5	1	福島サンダースふくしま 桃園	福島市栄町5-1 中合6F	024-522-6195
6	1	杉妻会館レストラン	福島市杉妻町3-45	024-523-5161
7	1	県庁消費組合 西庁舎食堂	福島市杉妻町2-16	024-521-1558
8	1	県庁消費組合 東分庁舎食堂	福島市杉妻町5-75	024-521-1111 内線 4922
9	1	県庁消費組合本庁舎 議会食堂	福島市杉妻町2-16	024-521-1111 内線 4914
10	1	県庁消費組合 自治会館食堂	福島市中町8-2	024-521-1111 内線 4925
11	6	ニューキムラヤ本社・工場店	福島市三河北町3-16	024-536-1028
12	6	ニューキムラヤエスパル店	福島市栄町1-1 エスパル1F	024-522-1676
13	6	ニューキムラヤリオンポール 鎌 田店	福島市鎌田字西舟戸11-1	024-554-5018
14	6	ニューキムラヤキクタ店	福島市荒井字庚申下22	024-593-5388
15	1	北福島医療センター売店 わんわん	伊達郡伊達町箱崎字東23-1	024-576-2484
16	1	隠れ里 御山角屋	福島市大明神7	024-534-5369
17	1	福島市役所食堂	福島市五老内町3-1	024-535-1111
18	2	サザンクロス	福島市森合町10番地1号	024-536-7377
19	6	もち処 木の幡 福島店	福島市南沢又字清水端61	024-555-2588
20	1	富士通アイソテック(株) 社員食堂	伊達市保原町東野崎135	024-574-2295
21	1	県庁消費組合病院食堂	福島市光が丘1番地	024-548-8976
22	1	県庁消費組合 福利厚生棟食堂	福島市光が丘1番地	024-547-1111 内線4151
23	1	県庁消費組合展望レストラン	福島市杉妻町2-16	024-521-1111 内線4913
24	1	レストランこ〜ぱる	二本松市油井字中田1の1	0243-22-7860
25	7	株式会社 玉萬	福島市天神町15番32号	024-534-2727
26	7	福島駅西口パワーシティポット (ごちそう館)	福島市栄町1-1	024-531-6593

区分 1:食堂・レストラン等 2:喫茶店 3:ファーストフード店 4:旅館・ホテル
5:総菜店 6:パン店・菓子店 7:仕出し屋・弁当屋 8:コンビニ・スーパー

Ⅲ 医療施設

(1) 病院

① 病院数

平成20年3月31日現在の病院数は、人口10万人当たり 6.5施設となっており、県の7.0施設を下回っている。

② 病床数

平成20年3月31日現在の病院病床数は、人口10万人当たり842.6床となっており、県の1,415.8床を下回っている。

しかし、病床種別ごとの人口10万対病床数をみると、一般病床は県の822.8に対して当所管内は842.6床と上回っているが、療養病床は県の215.7床に対して92.9床と大きく下回っており、病床種別によって格差がみられる。

* 精神病床 : 管内322.6床 県364.4床

(2) 一般診療所

① 施設数

平成20年3月31日現在の内科診療所数は、人口10万人当たり71.2施設となっており、県の64.2施設を上回っている。

② 病床数

平成20年3月31日現在の内科診療所病床数は551床（総病床数の7.8%）で、前年の589床に比べ38床減となった。

人口10万対病床数は、県の128.1床に対して管内は125.2床と若干下回っている。

病床種別ごとの人口10万対病床数をみると、一般病床は県の116.6床に対して管内は108.9床と若干下回っているが、療養病床は県の3.9床に対して管内は16.2床と上回っている。

(3) 歯科診療所

平成20年3月31日現在の歯科診療所数は、県の44.1施設に対して43.5施設とほぼ同程度の施設数となっている。

▼医療施設数

平成20年3月31日現在

市町村	病 院				一般診療所			歯科 診療 所	助 産 所	施 術 所		歯科 技工 所
	総数	精神	一般	(再掲)	総数	有床	無床			あんま はり きゆう	柔道 整復	
		病院	病院	救急 病院		施設	施設					
福島市	21	6	15	10	278	37	241	139	11	193	67	71
二本松市	3	0	3	2	40	3	37	25	1	30	16	7
伊達市	4	1	3	1	38	8	30	23	2	22	8	10
本宮市	2	1	1	1	18	1	17	13	0	14	5	6
桑折町	0	0	0	0	8	0	8	7	0	5	3	2
国見町	1	0	1	1	3	0	3	3	1	3	1	2
川俣町	2	0	2	1	16	0	16	6	0	7	7	2
飯野町	0	0	0	0	4	1	3	2	0	5	1	0
大玉村	0	0	0	0	2	0	2	2	0	3	1	1
計	33	8	25	16	407	50	357	220	15	282	109	101

※出張専門を含む

※施術所で「あんま・はり・きゆう」と「柔道整復」を両方を行っている施設については、「柔道整復」欄に計上

▼病床数

平成20年3月31日現在

市町村	病 院						再掲（病院）		一般診療所		合計
	総 数	精 神	感 染	結 核	療 養	一 般	精 神 病 院	一 般 病 院	療 養	一 般	
福島市	4,444	1,243	8	14	240	2,939	1,144	3,300	77	384	4,905
二本松市	498	-	-	-	62	436	-	498	-	34	532
伊達市	551	176	-	-	91	284	176	375	5	112	668
本宮市	385	212	-	-	40	133	212	173	-	3	388
桑折町	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
国見町	335	-	-	12	-	323	-	335	-	-	335
川俣町	182	-	-	-	37	145	-	182	-	-	182
飯野町	-	-	-	-	-	-	-	-	-	18	18
大玉村	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
計	6,395	1,631	8	26	470	4,260	1,532	4,863	82	551	7,028

▼ 休日・夜間急病診療所 平成19年度の状況

施設名	福島市夜間急病診療所	福島市休日救急歯科診療所
所在地	福島市保健福祉センター内	福島市保健福祉センター内
診療科目	内科、外科、小児科	歯科
医師確保	福島市医師会より派遣	福島歯科医師会より派遣
開設日数	366日（毎夜間19時～翌朝8時）	71日（日曜・休日・12/30～1/3 9時～17時）
受診者数	14,191人（1日平均38.7人）	744人（1日平均10.4人）

▼ 在宅当番医制の実施状況 平成19年度の状況

委託先	参加医療機関数	開始年度	診療 体制	診療科目					
				内科	小児	外科	耳鼻	眼科	その他
福島市医師会	201	昭和37年	毎休日	○	○	○	○	○	○
伊達医師会	35	昭和52年	毎休日	○	○	○	○		○
安達医師会	51	昭和45年	毎休日	○	○	○	○	○	○
安達歯科医師会	17	平成元年	毎休日	歯科					

▼ 病院群輪番制の実施状況

地域名	二次救急医療 体制の種類	参加 病院数	市町 村数	実施年度	参加病院名 (下記救急病院NO. 参照)
福島	病院群輪番制 病院方式	10	1	昭52	①、②、③、④、⑤、⑥、⑦、⑧、⑨、⑩
安達	同上	4	3	平7	⑭、⑮、⑯、医療法人辰星会柗病院

▼ 救急病院

病院名		病院名		病院名	
①	総合病院福島赤十字病院	②	財団法人大原総合病院	③	済生会福島総合病院
④	医療生協わたり病院	⑤	福島西部病院	⑥	福島南循環器科病院
⑦	福島第一病院	⑧	財団法人大原総合病院附属大原医療センター	⑨	医療法人秀公会あづま脳神経外科病院
⑩	財団法人脳神経疾患研究所附属南東北福島病院	⑪	公立藤田総合病院	⑫	北福島医療センター
⑬	済生会川俣病院	⑭	医療法人辰星会柗記念病院	⑮	医療法人慈久会谷病院
⑯	社会保険二本松病院				

(順不同)

IV 薬 事

▼ 薬事関係営業者数

(平成20年3月31日現在)

区 分	医 薬 品											化粧品製造業	医薬部外品製造業	医療機器			
	薬局	製造業		一般販売業		薬種商販売業	特例販売業				配置販売業			製 造 業	専 業 修 理 業	高度管理	管理
		専 業	薬 局	小 売	卸 売		甲 種	農 協	医 療 用 ガス	歯 科						販売・賃貸業	販売・賃貸業
福島市	135	6	29	18	22	26	1	12	9	2	10	0	2	9	22	163	
二本松市	20	0	4	5	1	6	0	4	2	0	2	2	1	2	1	11	
伊達市	30	0	3	0	0	6	0	8	1	0	2	0	0	1	0	16	
本宮市	13	3	3	2	3	5	0	1	5	0	2	0	0	0	2	10	
桑折町	5	0	1	0	0	2	0	3	0	0	0	0	0	0	0	2	
国見町	4	0	0	0	0	2	0	1	0	0	0	0	0	0	0	2	
川俣町	6	0	1	0	0	3	0	0	0	0	2	0	0	0	0	6	
飯野町	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
大玉村	0	1	0	1	1	0	0	1	0	0	0	1	2	1	0	0	
合 計	214	10	41	26	27	50	1	30	17	2	18	3	5	13	25	210	1,101

▼院外処方せん発行医療機関（病院）

所在地	病院名	発行開始年月	応需薬局数 (管内)
福島市	医療法人 朋友会 しのぶ病院	H 4年 8月	約50
	公立大学法人福島県立医科大学附属病院	H 6年 1月	約210
	財団法人 大原総合病院	H 6年 3月	約190
	医療生協 わたり病院	H 6年 7月	約160
	財団法人 大原総合病院附属大原医療センター	H 8年 4月	約160
	医療法人秀公会 あづま脳神経外科病院	H 8年 9月	約150
	福島第一病院	H 9年 1月	約120
	福島西部病院	H 9年 5月	約90
	総合病院 福島赤十字病院	H 11年 8月	約180
	済生会 福島総合病院	H 18年 5月	約170
	福島寿光会病院	H 13年 11月	約20
	財団法人脳神経疾患研究所附属南東北福島病院	H 15年 5月	約110
	福島南循環器科病院	H 17年 3月	約50
	財団法人 桜ヶ丘病院	H 18年 5月	約30
	一陽会病院	H 18年 8月	約60
二本松市	社会保険二本松病院	H 10年 10月	約40
	医療法人辰星会柗病院	H 11年 4月	約30
	医療法人辰星会柗記念病院	H 18年 12月	約30
伊達市	医療法人敬仁会中野病院	S 52年 2月	約20
	北福島医療センター	H 14年 12月	約70
	伊達市立梁川病院	H 16年 4月	約10
川俣町	済生会川俣病院	H 6年 4月	約20
国見町	公立藤田総合病院	H 10年 4月	約110

V 民生委員・児童委員

平成19年度市町村別民生委員・児童委員の活動状況

市町村	内容別相談・支援件数														
	在宅福祉	介護保険	健康・保健医療	子育て・母子保健	子どもの地域生活	子どもの教育・学校生活	生活費	年金・保険	仕事	家族関係	住居	生活環境	日常的な支援	その他	計
福島市	2,945	2,117	2,030	427	1,580	725	1,486	297	228	1,032	479	797	3,884	5,572	23,599
二本松市	827	127	76	212	165	227	245	30	78	143	34	90	454	890	3,598
伊達市	649	178	271	88	231	295	220	36	59	197	69	180	706	900	4,079
本宮市	209	35	60	32	187	224	92	9	28	96	17	57	366	672	2,084
桑折町	303	85	30	15	5	2	72	23	3	2	3	6	46	126	721
国見町	506	194	214	57	104	60	114	60	11	86	131	37	479	345	2,398
川俣町	211	101	83	49	144	55	80	33	29	74	30	139	287	350	1,665
飯野町	51	10	42	10	14	40	57	1	4	14	10	22	51	132	458
大玉村	31	2	19	9	26	57	9	0	3	21	0	9	75	118	379
計	5,732	2,849	2,825	899	2,456	1,685	2,375	489	443	1,665	773	1,337	6,348	9,105	38,981

市町村	分野別相談・支援件数					その他の活動件数							訪問回数		連絡要調整		活動日数
	高齢者に関すること	障害者に関すること	子どもに関すること	その他	計	調査・実態把握	行事・事業・会議への参加協力	地域福祉活動・自主活動	民児協運営・研修	証事	明務	要保護児童の発見の通告・仲介	訪問・連絡活動	その他	委員相互	その他の関係機関	
福島市	15,637	1,271	2,764	3,927	23,599	21,797	15,374	17,360	9,225	682	198	63,822	32,578	17,241	13,846	70,331	
二本松市	1,770	240	651	937	3,598	1,496	2,305	2,111	1,922	206	61	7,027	2,593	1,156	1,334	11,251	
伊達市	2,020	279	757	1,023	4,079	1,886	3,840	3,087	3,718	201	85	9,852	9,272	2,830	4,205	16,434	
本宮市	841	62	525	656	2,084	897	1,671	1,999	1,457	54	68	6,102	1,617	1,395	990	6,966	
桑折町	506	82	45	88	721	364	1,186	721	366	6	0	2,322	1,186	152	288	9,427	
国見町	1,543	318	195	342	2,398	390	2,210	703	738	32	95	4,393	2,485	391	494	4,404	
川俣町	822	124	297	422	1,665	835	929	933	754	226	23	3,077	1,228	611	1,023	4,584	
飯野町	253	20	73	112	458	429	772	1,052	299	28	24	1,660	1,497	134	499	2,487	
大玉村	137	8	120	114	379	96	262	379	214	53	16	793	213	70	152	1,548	
計	23,529	2,404	5,427	7,621	38,981	28,190	28,549	28,345	18,693	1,488	570	99,048	52,669	23,980	22,831	127,432	

VI 生活保護

生活保護制度は、何らかの原因で貧困に陥り自分の力では生計を維持できない人々に対して、世帯を単位として最低限度の生活を保障するとともに、その自立を支援することを目的としている。

最低限度の生活を保障するために、8種類の扶助（生活・教育・住宅・介護・医療・出産・生業・葬祭）があり、それぞれの世帯に必要な範囲の給付を実施している。

なお、管内の概況は次のとおりである。

1 被保護世帯数、人員及び保護率(単位は‰=パーミル=千分率)

平成19年度の管内の実績は、4月から3月まで月平均168世帯、218人で、保護率4.0‰であった。

最近、景気の回復が言われているが、当管内における雇用状況は依然厳しく、それを受けて保護率等も横這いである。平成17年度は二本松市、伊達市の合併、18年度は本宮市の発足があり、現在、当所管内町村は5団体となっている。

2 被扶助別支給人員、支給額

平成19年度の扶助人員は、医療扶助が月平均182人で全体の34.0%、生活扶助が175人で32.7%、住宅扶助が111人で20.7%となっている。

これを支給金額で比較すると、医療扶助が全体の60.3%、生活扶助が23.2%、住宅扶助が4.5%であった。構成比においては、医療扶助が全体の6割以上を占めている。

3 世帯類型、支給額

世帯類型の構成比は、高齢者世帯43.7%、傷病・障がい者世帯42.1%、母子世帯3.6%、その他10.7%となっている。

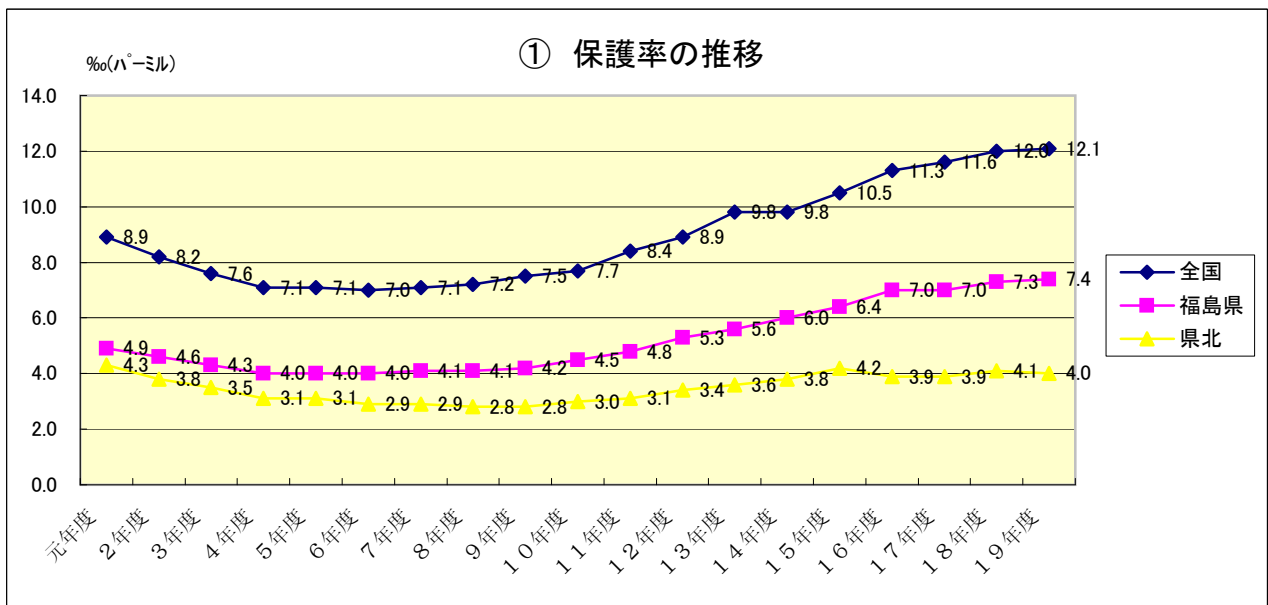
なお、世帯主が高齢・傷病・障がい・母子といったハンディキャップを負った世帯は全体の約9割に達しており、全体の81.0%が単身世帯である。また、労働類型においては、働いている者のいない世帯が83.6%である。

これは、加齢・心身の影響・長期療養等の理由により就労が困難な被保護者が多いことに加えて、近年の雇用環境の悪化が影響しているものと考えられる。

4 保護の開始・廃止の状況

平成19年度の保護申請件数は22件であり、開始件数は、16件で開始率72.7%となっている。開始理由の主なものは、世帯主と世帯員の傷病によるものが11件、収入の減少によるものが2件である。

保護廃止件数は27件である。廃止理由別でみると、死亡失踪が11件、その他が8件、収入増4件となっている。



② 被保護世帯数、人員

年度	全国			福島県			県北保健(社会)福祉事務所		
	世帯数 (千世帯)	人員 (千人)	保護率 (%)	世帯数 (世帯)	人員 (人)	保護率 (%)	世帯数 (世帯)	人員 (人)	保護率 (%)
60	780 (100.0)	1,431 (100.0)	11.8 (100.0)	8,567 (100.0)	15,433 (100.0)	7.4 (100.0)	720 (100.0)	1,307 (100.0)	6.6 (100.0)
2	622 (79.7)	1,008 (70.4)	8.2 (69.5)	6,041 (70.5)	9,572 (62.0)	4.6 (62.2)	463 (64.3)	759 (58.1)	3.8 (57.6)
3	601 (77.1)	946 (66.1)	7.6 (64.4)	5,977 (69.8)	9,082 (58.8)	4.3 (58.1)	444 (61.7)	693 (53.0)	3.5 (53.0)
4	585 (75.0)	896 (62.6)	7.2 (61.0)	5,776 (67.4)	8,485 (55.0)	4.0 (54.1)	409 (56.8)	613 (46.9)	3.1 (47.0)
5	590 (75.6)	887 (62.0)	7.1 (60.2)	5,771 (67.4)	8,388 (54.4)	4.0 (54.1)	405 (56.3)	607 (46.4)	3.1 (47.0)
6	599 (76.8)	888 (62.1)	7.1 (60.2)	5,997 (70.0)	8,516 (55.2)	4.0 (54.1)	391 (54.3)	566 (43.3)	2.9 (43.9)
7	604 (77.4)	884 (61.8)	7.0 (59.3)	6,133 (71.6)	8,708 (56.4)	4.1 (55.4)	395 (54.9)	574 (43.9)	2.9 (43.9)
8	613 (78.6)	887 (62.0)	7.1 (60.2)	6,233 (72.8)	8,826 (57.2)	4.1 (55.4)	391 (54.3)	553 (42.3)	2.8 (42.4)
9	631 (80.9)	906 (63.3)	7.2 (61.0)	6,468 (75.5)	9,068 (58.8)	4.2 (56.8)	390 (54.2)	542 (41.5)	2.8 (42.4)
10	663 (85.0)	947 (66.2)	7.5 (63.6)	6,814 (79.5)	9,532 (61.8)	4.5 (60.8)	400 (55.6)	578 (44.2)	3.0 (45.5)
11	683 (87.6)	975 (68.1)	7.7 (65.3)	7,224 (84.3)	10,187 (66.0)	4.8 (64.9)	408 (56.7)	603 (46.1)	3.1 (47.0)
12	704 (90.3)	1,062 (74.2)	8.4 (71.2)	8,042 (93.9)	11,401 (73.9)	5.3 (71.6)	452 (62.8)	646 (49.4)	3.4 (51.5)
13	792 (101.5)	1,128 (78.8)	8.9 (75.4)	8,448 (98.6)	11,873 (76.9)	5.6 (75.7)	480 (66.7)	692 (52.9)	3.6 (54.5)
14	871 (111.7)	1,243 (86.9)	9.8 (83.1)	8,944 (104.4)	12,617 (81.8)	6.0 (81.1)	496 (68.9)	718 (54.9)	3.8 (57.6)
15	941 (120.6)	1,344 (93.9)	10.5 (89.0)	9,561 (111.6)	13,531 (87.7)	6.4 (86.5)	536 (74.4)	794 (60.7)	4.2 (63.6)
16	1,016 (130.3)	1,448 (101.2)	11.3 (95.8)	10,337 (120.7)	14,615 (94.7)	7.0 (94.6)	517 (71.8)	730 (55.9)	3.9 (59.1)
17	1,055 (135.2)	1,494 (104.4)	11.7 (99.1)	10,483 (122.4)	14,697 (95.2)	7.0 (94.6)	433 (60.1)	610 (46.7)	3.9 (59.1)
18	1,090 (139.7)	1,533 (107.1)	12.0 (101.6)	11,011 (128.5)	15,159 (98.2)	7.3 (98.6)	174 (24.3)	229 (17.5)	4.1 (57.6)
19	1,107 (141.9)	1,545 (108.0)	12.1 (102.5)	11,182 (130.5)	15,293 (99.1)	7.4 (100.0)	168 (23.3)	218 (16.7)	4.0 (57.6)

(注) 1 ()内は指数、ただし、管内分は平成18年度以降省略。

2 19年度分はいずれも速報値等から算定した参考値。(全国H19.10、福島県H20.2、県北H20.3)

③ 町村別、年度別保護の状況(各年度月平均)

町村別	平成14年度			平成15年度			平成16年度			平成17年度			平成18年度			平成19年度		
	世帯数	人員	保護率(%)	世帯数	人員	保護率(%)	世帯数	人員	保護率(%)	世帯数	人員	保護率(%)	世帯数	人員	保護率(%)	世帯数	人員	保護率(%)
桑折町	18	21	1.5	21	28	2.1	21	23	1.7	19	21	1.6	26	29	2.1	27	32	2.4
伊達町	29	41	3.7	31	50	4.6	26	38	3.5	23	35	3.2	—	—	—	—	—	—
国見町	21	33	2.9	24	43	3.9	29	42	3.9	28	37	3.5	28	35	3.3	27	30	2.9
梁川町	53	83	3.9	60	96	4.6	62	85	4.2	56	74	3.7	—	—	—	—	—	—
保原町	70	101	4.1	78	114	4.6	76	113	4.6	79	112	4.6	—	—	—	—	—	—
霊山町	31	44	4.5	34	52	5.4	33	46	4.9	33	46	5.0	—	—	—	—	—	—
月舘町	13	29	5.5	14	29	6.5	15	31	7.1	17	29	6.6	—	—	—	—	—	—
川俣町	93	142	8.1	95	149	8.6	85	119	7.0	78	117	6.9	81	119	7.3	78	113	6.9
飯野町	24	31	4.5	27	36	5.4	27	37	5.6	29	40	6.1	30	39	6.4	30	34	5.4
安達町	25	27	2.3	27	30	2.6	27	30	2.6	24	26	2.2	—	—	—	—	—	—
大玉村	4	7	0.6	5	5	0.6	4	4	0.5	3	3	0.4	4	7	0.8	6	9	1.1
本宮町	55	78	3.4	56	79	3.6	50	72	3.3	53	83	3.7	57	86	3.8	—	—	—
白沢村	15	21	2.2	15	21	2.3	15	24	2.6	16	22	2.4	17	21	2.3	—	—	—
岩代町	21	30	2.6	22	30	3.3	22	34	3.8	25	38	4.4	—	—	—	—	—	—
東和町	24	30	3.6	27	32	3.9	25	32	4.1	28	34	4.4	—	—	—	—	—	—
計	496	718	3.7	536	794	4.2	517	730	3.9	511	717	3.9	243	336	3.9	168	218	4.0
指数	126.0	130.1	132.6	137.8	147.3	151.2	132.9	135.4	139.3	131.4	133.0	139.3	—	—	—	—	—	—

※ 指数は平成9年度を100とする。平成18年度以降は省略。
 平成17年12月1日から旧安達町、旧岩代町、旧東和町分は二本松市に移管。
 平成18年1月1日から旧伊達町、旧梁川町、旧保原町、旧霊山町、旧月舘町分は伊達市に移管。
 平成19年1月1日から旧本宮町、旧白沢村分は本宮市に移管。

④ 救護施設入所実人員

(平成20年4月1日現在)

施設名	町村名	桑折町	国見町	川俣町	飯野町	大玉村	計
郡山せいわ園		1					1
矢吹緑風園					2		2
からまつ荘		5	1	4	3	1	14
喜多方しののめ荘		1			1		2
浪江ひまわり荘			1	1	1		3
やしおみ荘		1		1			2
計		8	2	6	7	1	24

⑤ 扶助別延人員・支給額及び構成比の推移

年度	生活扶助		住宅扶助		教育扶助		介護扶助		医療扶助		出産扶助		生業扶助		葬祭扶助		施設事務費		計	
	人員	金額	人員	金額	人員	金額	人員	金額	人員	金額	人員	金額	人員	金額	人員	金額	人員	金額	人員	金額
6	5,559	208,757,085	2,988	24,717,674	550	4,138,455			4,755	450,499,010	0	0	9	198,020	3	423,677	733	89,765,147	14,597	778,499,068
	38.1	26.8	20.5	3.2	3.8	0.5			32.6	57.9	0.0	0.0	0.06	0.03	0.02	0.05	5.0	11.5	100.0	100.0
7	5,435	210,790,742	3,146	26,604,419	550	4,065,545			5,351	479,802,458	0	0	4	48,760	2	395,980	733	90,094,797	15,221	811,802,701
	35.7	26.0	20.7	3.3	3.6	0.5			35.2	59.1	0.0	0.0	0.03	0.01	0.01	0.05	4.8	11.1	100.0	100.0
8	5,373	212,884,784	3,021	26,531,580	462	3,247,051			6,147	542,670,261	0	0	1	30,000	2	531,669	708	92,643,034	15,714	878,538,379
	34.2	24.2	19.2	3.0	2.9	0.4			39.1	61.8	0.0	0.0	0.01	0.00	0.01	0.06	4.5	10.5	100.0	100.0
9	5,243	214,028,989	3,003	28,957,196	459	3,229,990			6,176	503,526,662	0	0	3	62,000	2	323,522	708	94,330,405	15,594	844,458,764
	33.6	25.3	19.3	3.4	2.9	0.4			39.6	59.6	0.0	0.0	0.02	0.01	0.01	0.04	4.5	11.2	100.0	100.0
10	5,673	233,323,356	3,384	31,495,806	565	3,824,408			6,371	462,930,242	0	0	3	93,000	2	309,080	697	96,086,834	16,695	828,062,726
	34.0	28.2	20.3	3.8	3.4	0.5			38.2	55.9	0.0	0.0	0.02	0.01	0.01	0.04	4.2	11.6	100.0	100.0
11	5,878	230,510,566	3,353	34,277,878	581	4,000,553			6,467	589,849,119	0	0	4	123,145	3	550,726	710	99,417,071	16,996	958,729,058
	34.6	24.0	19.7	3.6	3.4	0.4			38.1	61.5	0.0	0.0	0.02	0.01	0.02	0.06	4.2	10.4	100.0	100.0
12	6,329	254,660,825	3,751	41,440,655	639	4,407,144	11	729,389	6,825	643,434,128	1	298,470	2	60,640	4	539,435	733	103,085,221	18,295	1,048,655,907
	34.6	24.3	20.5	4.0	3.5	0.4	0.1	0.1	37.3	61.4	0.0	0.0	0.01	0.01	0.02	0.05	4.0	9.8	100.0	100.0
13	6,820	276,328,415	4,103	46,733,108	666	4,816,484	627	479,897	7,437	438,288,296	0	0	1	31,364	2	155,085	732	105,061,134	20,388	871,893,783
	33.5	31.7	20.1	5.4	3.3	0.6	3.1	0.1	36.5	50.3	0.0	0.0	0.00	0.00	0.01	0.02	3.6	12.0	100.0	100.0
14	7,041	294,354,649	4,362	52,094,737	656	5,003,235	773	898,320	7,501	695,894,316	1	3,433	3	318,703	5	397,805	725	102,763,881	21,067	1,151,729,079
	33.4	25.6	20.7	4.5	3.1	0.4	3.7	0.1	35.6	60.4	0.0	0.0	0.01	0.03	0.02	0.03	3.4	8.9	100.0	100.0
15	7,808	320,656,028	4,919	57,577,022	777	6,024,689	945	672,779	8,255	774,233,617	0	0	1	37,700	6	1,535,000	751	104,176,726	23,462	1,264,913,561
	33.3	25.4	21.0	4.6	3.3	0.5	4.0	0.1	35.2	61.2	0.0	0.0	0.00	0.00	0.03	0.12	3.2	8.2	100.0	100.0
16	7,317	276,481,991	4,577	53,671,914	625	5,020,042	1,018	206,974	7,969	801,980,009	0	0	0	0	8	1,210,898	755	104,621,456	22,269	1,243,193,284
	32.9	22.2	20.6	4.3	2.8	0.4	4.6	0.0	35.8	64.5	0.0	0.0	0.00	0.00	0.04	0.10	3.4	8.4	100.0	100.0
17	7,308	216,697,298	3,828	46,525,766	416	3,420,538	240	242,199	8,549	777,615,914	0	0	168	3,117,596	6	787,444	644	91,545,913	23,215	1,139,952,668
	31.5	19.0	16.5	4.1	1.8	0.3	1.0	0.0	36.8	68.2	0.0	0.0	0.7	0.3	0.0	0.07	2.8	8.0	100.0	100.0
18	3,069	114,975,106	2,013	25,260,074	210	1,422,604	414	72,240	3,254	346,668,927	0	0	127	3,055,000	3	569,520	360	50,579,224	9,450	542,602,695
	32.5	21.2	21.3	4.7	2.2	0.3	4.4	0.0	34.4	63.9	0.0	0.0	1.3	0.6	0.0	0.1	3.8	9.3	100.0	100.0
19	2,094	86,242,766	1,328	16,592,264	128	983,787	347	38,480	2,178	224,463,147	0	0	61	2,105,577	0	0	289	41,508,138	6,425	371,934,159
	34.1	23.2	21.6	4.5	2.1	0.3	5.7	0.0	35.5	60.4	0.0	0.0	1.0	0.6	0.0	0.0	4.7	11.2	100.0	100.0

⑥ 年度別、世帯類型別、労働類型別、労働種類別被保護世帯数

	単身世帯					2人以上の世帯					合計 (A+B)	世帯主が働いている世帯				世帯主が働いていない世帯		合計		
	高齢者世帯	傷病・障がい者世帯	その他世帯	小計(A)	医療扶助単給世帯(再計)	高齢者世帯	母子世帯	傷病・障がい者世帯	その他世帯	小計(B)		医療扶助単給世帯(再計)	常用勤労者	日雇労働者	内職	その他の就労者	世帯主が働いている世帯		働いていない世帯	
6	世帯数	1,559	1,246	204	3,009	(617)	285	183	719	364	1,551	321	4,560	176	71	114	558	237	3,404	4,560
	構成比	34.2	27.3	4.5	66	(13.5)	6.3	4.0	15.8	8.0	34.0	7.0	100.0	3.9	1.6	2.5	12.2	5.2	74.6	100.0
7	世帯数	1,600	1,833	104	3,537	(895)	254	178	542	237	1,211	(284)	4,748	183	61	119	575	241	3,569	4,748
	構成比	33.7	38.6	2.2	74	(18.9)	5.3	3.7	11.4	5.0	25.5	(6.0)	100.0	3.9	1.3	2.5	12.1	5.1	75.2	100.0
8	世帯数	1,581	1,717	209	3,507	(1,040)	274	145	438	328	1,185	(57)	4,692	192	26	101	571	219	3,583	4,692
	構成比	33.7	36.6	4.5	75	(22.2)	5.8	3.1	9.3	7.0	25.3	(1.2)	100.0	4.1	0.6	2.2	12.2	4.7	76.4	100.0
9	世帯数	1,620	1,719	219	3,558	(986)	233	150	450	278	1,111	(45)	4,669	181	22	87	581	170	3,628	4,669
	構成比	34.7	36.8	4.7	76	(21.1)	5.0	3.2	9.6	6.0	23.8	(1.0)	100.0	3.9	0.5	1.9	12.4	3.6	77.7	100.0
10	世帯数	1,636	1,740	246	3,622	(1,035)	206	147	530	290	1,173	(38)	4,795	161	22	95	548	173	3,796	4,795
	構成比	34.1	36.3	5.1	76	(21.6)	4.3	3.1	11.1	6.0	24.5	(0.8)	100.0	3.4	0.5	2.0	11.4	3.6	79.2	100.0
11	世帯数	1,612	1,779	245	3,636	(1,040)	245	137	638	240	1,260	(36)	4,896	141	15	80	502	200	3,958	4,896
	構成比	32.9	36.3	5.0	74	(21.2)	5.0	2.8	13.0	4.9	25.7	(0.7)	100.0	2.9	0.3	1.6	10.3	4.1	80.8	100.0
12	世帯数	1,720	1,935	250	3,905	(1,078)	265	174	701	236	1,376	(41)	5,281	168	14	78	461	183	4,377	5,281
	構成比	32.6	36.6	4.7	74	(20.4)	5.0	3.3	13.3	4.5	26.1	(0.8)	100.0	3.2	0.3	1.5	8.7	3.5	82.9	100.0
13	世帯数	1,950	2,086	211	4,247	(1,148)	267	208	794	241	1,510	(33)	5,757	181	29	70	492	197	4,788	5,757
	構成比	33.9	36.2	3.7	74	(19.9)	4.6	3.6	13.8	4.2	26.2	(0.6)	100.0	3.1	0.5	1.2	8.5	3.4	83.2	100.0
14	世帯数	2,115	2,077	209	4,401	(1,237)	322	258	779	222	1,581	(36)	5,982	164	43	98	444	199	5,034	5,982
	構成比	35.4	34.7	3.5	74	(20.7)	5.4	4.3	13.0	3.7	26.4	(0.6)	100.0	2.7	0.7	1.6	7.4	3.3	84.2	100.0
15	世帯数	2,278	2,108	216	4,602	(1,262)	349	298	932	265	1,844	(59)	6,446	181	45	95	454	229	5,442	6,446
	構成比	35.3	32.7	3.4	71.4	(19.6)	5.4	4.6	14.5	4.1	28.6	(0.9)	100.0	2.8	0.7	1.5	7.0	3.6	84.4	100.0
16	世帯数	2,279	2,021	231	4,531	(1,081)	368	249	824	233	1,674	(46)	6,205	117	61	81	423	210	5,313	6,205
	構成比	36.7	32.6	3.7	73.0	(17.4)	5.9	4.0	13.3	3.8	27.0	(0.7)	100.0	1.9	1.0	1.3	6.8	3.4	85.6	100.0
17	世帯数	1,707	1,922	268	3,897	(851)	247	202	623	219	1,291	49	5,180	105	71	39	343	192	4,438	5,188
	構成比	32.9	37.1	5.1	75.2	(16.4)	4.7	3.9	12	4.2	24.8	0.9	100	2	1.4	0.7	6.6	2.7	86	100
18	世帯数	945	955	172	2,072	(427)	94	104	309	103	610	(21)	2,682	32	49	25	184	102	2,290	2,682
	構成比	35.2	35.6	6.4	77.3	(15.9)	3.5	3.9	11.6	3.8	22.7	(0.8)	100.0	1.2	1.8	0.9	6.9	3.8	85.4	100.0
19	世帯数	817	683	133	1,633	(360)	64	72	166	82	384	(41.0)	2,017	10	53	30	184	53	1,687	2,017
	構成比	40.5	33.9	6.6	81	(17.8)	3.2	3.6	8.2	4.1	19.0	(2.0)	100.0	0.5	2.6	1.5	9.1	2.6	83.6	100.0

⑦ 保護開始及び保護廃止の状況(平成19年度)

町村別	保護開始世帯数	保護開始の理由						保護開始人員	保護廃止世帯数	保護廃止の理由						保護廃止人員	
		傷病	就労収入の減少	就労以外の収入の減少	預貯金等の減少	要介護状態	その他			傷病の治癒	死亡・失踪	就労収入の増加	就労以外の収入の増加	親族等による引取り	施設入所		その他
桑折町	4	3	0	0	0	0	1	9	7	0	2	1	0	0	0	4	9
国見町	4	0	2	0	1	0	1	4	3	0	1	0	0	0	2	0	3
川俣町	5	5	0	0	0	0	0	6	13	0	6	3	1	0	0	3	18
飯野町	1	1	0	0	0	0	0	2	3	0	1	0	1	0	0	1	5
大玉村	2	2	0	0	0	0	0	2	1	0	1	0	0	0	0	0	1
計	16	11	2	0	1	0	2	23	27	0	11	4	2	0	2	8	36
構成比%	100.0	68.8	12.5	0.0	6.3	0.0	12.5		100.0	0.0	40.7	14.8	7.4	0.0	7.4	29.6	

Ⅶ 児童福祉

1 保育所入所児童及び特別保育事業の実施状況

市町村名	保育所名	設置区分	定員	入所児童数(平成20年4月1日現在)							特別保育事業実施状況(平成19年度)								乳児保育所
				0歳児 人	1歳児 人	2歳児 人	3歳児 人	4歳児 人	5歳児 以上 人	計 人	定員 充足率 %	延長 保育 事業	促進 事業	地域 支援 センター 事業	一時・ 特定 保育 事業	特 体 特別 事業	保育 所 休 日 保 育 事 業	障 害 保 育 事 業 (すくす 保 育)	
福島市	春日保育所	公立	120	7	17	14	24	20	15	97	80.8	○						○	○
	渡利保育所	公立	60	0	10	11	16	10	16	63	105.0	○							
	笹谷保育所	公立	60	0	8	13	11	11	18	61	101.7	○							
	杉妻保育所	公立	60	0	5	13	11	18	18	65	108.3	○							
	吾妻保育所	公立	60	0	8	16	17	12	14	67	111.7	○						○	
	余目保育所	公立	60	3	8	8	15	18	14	66	110.0	○				○		○	○
	平野保育所	公立	60	3	10	14	11	14	16	68	113.3	○				○		○	○
	東浜保育所	公立	60	0	5	9	12	21	14	61	101.7	○			○			○	
	蓬萊保育所	公立	70	0	4	13	17	18	15	67	95.7	○						○	
	野田保育所	公立	90	6	18	13	23	18	23	101	112.2	○						○	○
	蓬萊第二保育所	公立	60	6	11	11	12	16	9	65	108.3	○							○
	御山保育所	公立	120	7	14	17	24	20	36	118	98.3	○							○
	福島保育所	法人	120	7	23	20	20	37	29	136	113.3	○				○		○	○
	福島わかば保育園	法人	60	1	8	10	18	17	15	69	115.0	○	○	○	○				○
	福島隣保館保育所	法人	120	6	22	29	16	29	34	136	113.3	○				○			○
	瀬上保育所	法人	80	4	15	15	17	23	16	90	112.5	○	○	○	○			○	○
	福島ふたば保育園	法人	90	9	18	21	16	20	15	99	110.0	○				○			○
	飯坂保育所	法人	90	7	10	21	29	23	13	103	114.5	○				○		○	○
	福島敬香保育園	法人	90	7	12	22	17	17	29	104	115.6	○					○	○	○
	たんぽぽ保育園	法人	150	10	26	33	33	33	35	170	113.3	○			○			○	○
	さくら保育園	法人	70	6	10	14	13	15	19	77	110.0	○			○	○			○
	三育保育園	法人	60	2	11	14	13	13	17	70	116.7	○	○	●					○
	こじか保育園	法人	90	11	16	20	21	16	19	103	114.5	○	○	○				○	○
	とやの保育園	法人	80	3	19	17	13	23	15	90	112.5	○	○	○	○				○
	あすなろ保育園	法人	60	0	14	13	17	14	16	74	123.3	○	○	○	○				○
	ほくしん保育園	法人	90	4	15	17	22	21	16	95	105.6	○	○	○	○				○
	ちゅうりっぷ保育園	法人	120	14	16	29	26	23	24	132	110.0	○	○	○	○				○
	にわか保育園	法人	60	5	8	11	11	17	17	69	115.0	○			○			○	○
	聖心三育保育園	学校法人	60	6	12	9	13	16	14	70	116.7	○				○		○	○
	鳥川保育園	法人	90	7	13	16	22	22	24	104	115.6	○						○	○
あいあい保育園	法人	60	3	11	10	11	20	17	72	120.0	○	○	○	○			○	○	
さゆりこども園	法人	90	3	15	13	28	25	23	107	118.9	○	○	○	○			○	○	
福島東保育園	法人	60	6	13	12	10	12	15	68	113.3	○	○	○	○				○	
おかやま保育園	法人	60	3	10	14	11	16	14	68	113.3	○			○	○			○	
さくらみなみ保育園	法人	60	3	11	13	17	13	12	69	115.0	○	○	○	●	○		○	○	
たんぽぽ第二保育園	法人	60	4	12	14	13	15	11	69	115.0	○	○	○	○			○	○	
あゆみ保育園	法人	90	9	15	19	19	24	17	103	114.5	○			○				○	

市町村名	保育所名	設置区分	定員	入所児童数(平成20年4月1日現在)							特別保育事業実施状況(平成19年度)							乳児保育所 実 施 所		
				0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児 以上	計	定員 充足率	延 長 保 育 事	保 進 業	地 域 支 援 セ ン タ ー 業	子 育 一 時 ・ 特 定 保 育 業	保 育 所 特 別 業	休 日 保 育 業		障 害 保 育 業	乳 児 保 育 業
				人	人	人	人	人	人	人	%									
	福島ゆかり保育園	法 人	90	8	24	13	10	15	9	79	87.8									
	さくらんぼ保育園	法 人	90	11	18	17	13	9	3	71	78.9									
	小 計		39	3,120	191	515	608	662	724	696	3,396	108.9	37	13	19	18	1	20	31	
二本松市	かすみが丘保育所	公 立	90	4	8	7	8	24	9	60	66.7	○							○	
	まつが丘保育所	公 立	100	1	7	15	15	25	22	85	85.0	○							○	
	あだたら保育所	公 立	60	0	0	3	4	3	8	18	30.0									
	あだち保育園	公 立	120	5	18	23	22	27	25	120	100.0	○	○	○					○	
	小浜保育所	公 立	60	2	11	8	12	9	9	51	85.0	○	○	○					○	
	杉沢保育所	公 立	40	0	1	5	5	2	0	13	32.5									
	針道保育所	公 立	40	4	6	11	13	1	1	36	90.0	○							○	
	のびのび保育園	法 人	30	1	9	12	8	0	0	30	100.0	○							○	
	子どもの館中里保育園	法 人	45	2	10	10	9	7	7	45	100.0	○		○					○	
	小 計		9	585	19	70	94	96	98	458	78.3	7	2	3	0	0	0	0	7	
伊達市	保原保育所	公 立	112	10	18	15	27	21	20	111	99.1	○		○					○	
	保原第二保育所	公 立	70	5	11	18	23	13	9	79	112.9	○							○	
	月館保育所	公 立	60	1	4	9	9	9	6	38	63.3	○		○					○	
	伊達保育園	法 人	90	6	23	16	27	16	14	102	113.3	○							○	
	梁川保育園	法 人	90	3	18	20	18	21	23	103	114.5	○	○	○					○	
	梁川中央保育園	法 人	110	8	14	24	18	34	27	125	113.6	○		○		○			○	
	しらうめ保育園	法 人	90	3	8	10	11	10	17	59	65.6	○		○					○	
	霊山三育保育園	法 人	80	8	7	15	22	17	20	89	111.3	○	○	●	○				○	
	小 計		8	702	44	103	127	155	141	136	706	100.6	8	2	6	1	1	1	8	
本宮市	本宮第一保育所	公 立	90	0	11	11	22	27	25	96	106.7	○							○	
	本宮第二保育所	公 立	120	5	6	15	17	21	26	90	75.0								○	
	本宮第三保育所	公 立	60	0	5	7	14	23	23	72	120.0	○							○	
	本宮第四保育所	公 立	90	0	6	12	24	22	21	85	94.5			○					○	
	白沢村保育所	公 立	60	5	14	24	21	0	0	64	106.7	○							○	
	もとみや幼児の家保育園	N P O	30	6	5	4	7	7	5	34	113.3	○							○	
	小 計		6	450	16	47	73	105	100	441	98.0	4		1					4	
桑折町	醸芳保育所	公 立	120	11	29	30	0	0	0	70	58.3	○	○						○	
	小 計		1	120	11	29	30	0	0	70	58.3	1	1						1	
国見町	藤田保育所	公 立	80	6	14	24	24	19	5	92	115.0	○	○	○					○	
	小 計		1	80	6	14	24	19	5	92	115.0	1	1	1					1	
川俣町	すみよし保育園	公 立	130	9	19	29	19	27	26	129	99.2	○							○	
	小 計		1	130	9	19	29	19	27	129	99.2	1							1	
飯野町	おひさま保育園	公 立	60	0	3	0	9	9	9	30	50.0									
	あおぞら保育園	公 立	90	5	5	10	16	25	23	84	93.3	○							○	
	小 計		2	150	5	8	10	25	34	114	76.0	1							1	
大玉村	大玉村保育所	公 立	70	7	23	25	27	0	0	82	117.2	○							○	
	小 計		1	70	7	23	25	27	0	82	117.2	1							1	
			66	5,407	308	828	1,020	1,113	1,143	1,076	5,488	101.5	61	19	30	19	2	34	54	

※一時・特定保育については、一時保育のみ実施の保育所については○、一時・特定どちらも実施保育所については●の標記とした。

2 認可外保育施設の状況（平成20年1月現在）

市町村名	施設区分	施設数	入所児童数					児童数計	備考
			0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳以上		
福島市	ベビーホテル	7	25	40	50	45	113	273	
	事業所内	10	16	46	47	40	55	204	
	その他	26	41	88	88	148	369	734	
	福島市計	43	82	174	185	233	537	1,211	
二本松市	ベビーホテル	0	0	0	0	0	0	0	
	事業所内	2	3	10	7	2	6	28	
	その他	7	18	27	28	26	18	117	
	二本松市計	9	21	37	35	28	24	145	
伊達市	ベビーホテル	0	0	0	0	0	0	0	
	事業所内	1	4	12	11	12	19	58	
	その他	2	9	10	16	13	4	52	
	伊達市計	3	13	22	27	25	23	110	
本宮町	ベビーホテル	0	0	0	0	0	0	0	
	事業所内	2	4	6	3	3	5	21	
	その他	2	10	12	21	23	21	87	
	本宮市計	4	14	18	24	26	26	108	
川俣町	ベビーホテル	0	0	0	0	0	0	0	
	事業所内	1	0	1	1	1	0	3	
	その他	0	0	0	0	0	0	0	
	川俣町計	1	0	1	1	1	0	3	
県北管内合計	ベビーホテル	7	25	40	50	45	113	273	
	事業所内	16	27	75	69	58	85	314	
	その他	37	78	137	153	210	412	990	
	合計	60	130	252	272	313	610	1,577	

3 母子世帯等の状況

(平成19年6月1日現在)

市町村名	母子世帯数	父子世帯数	養育者世帯数	寡婦数	ひとり親家庭医療費登録世帯数
福島市	3,266	194	13	2,653	2,507
二本松市	546	158	6	441	460
伊達市	623	15	5	293	574
本宮市	275	60	7	135	257
桑折町	138	27	3	86	113
国見町	97	18	1	111	90
川俣町	173	36	4	284	145
飯野町	52	16	1	50	47
大玉村	63	13	2	23	70
計	5,233	537	42	4,076	4,263
平成18年6月	5,090	541	40	4,084	4,096
平成17年6月	4,965	1,145	56	6,564	3,936
平成16年6月	4,789	1,093	52	4,973	3,695
平成15年6月	4,744	1,054	45	4,973	3,461
平成14年6月	4,557	973	43	5,400	3,116
平成13年6月	4,034	899	46	5,650	2,900
平成12年6月	4,104	940	50	5,833	2,635
平成11年6月	4,008	891	51	5,734	2,719
平成10年6月	3,796	853	52	4,916	2,421
平成9年6月	3,712	802	65	4,806	2,508

VIII 高齢者保健福祉

1 長寿社会対策事業

	100歳以上高齢者数	老人クラブの状況 (平成19年度補助金実績)	
	(平成20年4月1日現在)	単位クラブ数	会員数
福島市	61	256	16,135
二本松市	16	87	6,656
伊達市	24	83	8,007
本宮市	15	28	2,300
桑折町	7	20	1,827
国見町	4	15	1,173
川俣町	4	22	2,802
飯野町	3	15	846
大玉村	2	15	1,154
合計	136	541	40,900

2 やさしさマーク交付先一覧

平成18年4月1日現在

番号	施設名称	所在地	番号	施設名称	所在地
1	大原総合病院附属大原医療センター	福島市鎌田	61	東邦銀行保原支店	伊達市保原町
2	しのぶ病院	福島市大森	62	大森薬局あすか調剤薬局大森店	福島市大森
3	東邦銀行本店	福島市大町	63	げんじろう調剤局梁川店	伊達市梁川町
4	福島銀行本店	福島市万世町	64	株式会社岡商店二本松杉田給油所	二本松市杉田町
5	福島第一病院	福島市北沢又	65	JA伊達みらい斎場(みらい斎場保原)	伊達市保原町
6	福島西部病院	福島市東中央	66	JA新ふくしま西支店	福島市上名倉
7	原郷のこけし群西田記念館	福島市荒井	67	あすなろ南矢野目クリニック	福島市南矢野目
8	ライオン堂鎌田店	福島市鎌田	68	ピュアスポーツスイミング	福島市南矢野目
9	ヨークベニマル平野店	福島市飯坂町	69	内海メンタルクリニック	福島市蓬萊町
10	福島市国体記念館	福島市仁井田	70	保原薬局梁川南店	伊達市梁川町
11	福島県庁(本庁舎)	福島市杉妻町	71	中央児童相談所	福島市森合町
12	福島県庁(西庁舎)	福島市杉妻町	72	点字図書館	福島市森合町
13	福島県庁(東分庁舎)	福島市杉妻町	73	リハビリテーション飯坂温泉病院	福島市飯坂町
14	福島県立医科大学附属病院	福島市光が丘	74	ふくしま県民の森 森林館	大玉村玉井
15	福島県保健衛生合同庁舎	福島市御山町	75	ふくしま県民の森 森林学習館	大玉村玉井
16	県営あづま総合体育館	福島市佐原	76	北福島医療センター	伊達市箱崎
17	福島県立図書館	福島市森合	77	二本松警察署東和駐在所	二本松市針道
18	福島県立美術館	福島市森合	78	すこやかなの里おきたか	福島市瀬上町
19	福島県浄土平レストハウス	福島市土湯温泉町	79	福島駅西口複合施設コラッセふくしま	福島市三河南町
20	福島工事事務所福島国道維持出張所	福島市黒岩	80	すがの歯科医院	福島市渡利
21	榊記念病院	二本松市住吉	81	JA 伊達みらい梁川斎場	伊達市梁川町
22	二本松市役所庁舎	二本松市金色	82	おがたクリニック	福島市矢倉下
23	安達ヶ原ふるさと村	二本松市安達ヶ原	83	リハビリテーション飯坂温泉病院本宮診療所	本宮町字千代田
24	ヨークベニマル伊達店	伊達市前川原	84	JA斎場あだたら	二本松市杉田
25	国見町観月台文化センター	国見町藤田	85	やながわ薬局	伊達市梁川町
26	安達町商工会館	二本松市油井	86	野村證券福島支店	福島市大町
27	工場見学お客様接待施設(アサヒビール(株)福島工場)	本宮町荒井	87	ひまわり園	伊達市保原町
28	桜町町内会集会所	伊達市梁川町	88	福島県女性のための相談支援センター	福島市上浜町
29	勢州屋酒店本店支店	本宮町仁井田	89	福島市保健福祉センター	福島市森合町
30	七窪団地集会所	川俣町七窪	90	わたなべクリニック	福島市成川
31	髪工房橋本	本宮町花町	91	こおり斎場	桑折町大字谷地
32	福島県労働金庫二本松支店	二本松市向原	92	ニチ学館アイリスケアセンター南福島	福島市方木田
33	ささき衣料店	伊達市梁川町	93	福島ダイハツ 本宮まゆみ店	本宮町字下台
34	曾根田ショッピングセンター	福島市曾根田	94	マックスバリュ福島大森店	福島市大森
35	みなみクリニック	伊達市保原町	95	特定非営利活動法人 梨の里	福島市町庭坂
36	奥野胃腸科・内科医院	福島市瀬上町	96	大森中央泌尿器科・内科・外科クリニック	福島市大森
37	老人保健施設にじのまち上松川診療所	福島市北沢又	97	サンデュエル野田中央公園	福島市南中央
38	あいかわ耳鼻咽喉科クリニック	福島市成川	98	セブンイレブン福島西中央5丁目店	福島市西中央
39	老人保健施設・デイサービスセンターはなひらの	福島市飯坂町	99	JA伊達みらい保原総合支店(みらいホール保原)	伊達市保原町
40	コスモ調剤薬局成川支店	福島市下鳥渡	100	福島北警察署	福島市飯坂町
41	諏訪野歯科医院	伊達市諏訪野	101	福島県伊達合同庁舎	伊達市保原町
42	桑折町保健福祉センターやすらぎ園	桑折町谷地	102	福島県二本松合同庁舎	二本松市金色
43	石戸ふれあいセンター	伊達市霊山町	103	セブンイレブン福島東高成蹊高前店	福島市腰浜町
44	川俣町保健センター	川俣町樋ノ口	104	運転免許センター	福島市町庭坂
45	松川クリニック	福島市松川町	105	福島警察署	福島市上町
46	ハートラインビル	福島市上町	106	伊達市役所本庁舎・保原総合支所	伊達市保原町
47	遠藤歯科口腔外科クリニック	福島市東中央	107	けや木薬局	福島市瀬上町
48	内藤歯科医院	福島市野田町	108	福島ダイハツふくしま矢野目店	福島市北矢野目
49	サーパス腰浜	福島市腰浜町	109	飯野町コミュニティステーション	飯野町飯野
50	グランコート福島駅前	福島市太田町	110	吉倉歯科クリニック	福島市吉倉
51	セブンイレブン福島山口店	福島市山口	111	霊山三育保育園子育て支援センター	伊達市霊山町
52	老人保健施設まゆみの里	本宮町青田	112	やすらぎ斎場松川ホール	福島市松川町
53	メガネの相沢福島	福島市南矢野目	113	篠木歯科医院	福島市旭町
54	済生会川俣病院	川俣町鶴沢	114	済生会福島総合病院	福島市大森
55	セブンイレブン福島宮下町店	福島市宮下町	115	チサンイン福島西インター	福島市成川
56	もとみや斎場	本宮町仁井田	116	ホリスティカ鎌田	福島市鎌田
57	福島県男女共生センター	二本松市郭内	117		
58	Vチェーン・フレスタ保原店	伊達市保原町	118		
59	おの整形外科クリニック	伊達市梁川町	119		
60	特別養護老人ホーム川俣ホーム	川俣町鶴沢	120		

3 介護保険における市町村別要介護(要支援)認定者数(平成20年3月末日現在)

	第1号被保険者									第2号被保険者									全被保険者								
	要支援 1	要支援 2	経過の 要介護	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5	合計	要支援 1	要支援 2	経過の 要介護	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5	合計	要支援 1	要支援 2	経過の 要介護	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5	合計
福島市	1,013	1,747	0	1,738	1,963	1,774	1,409	1,188	10,832	19	39	0	43	86	81	50	61	379	1,032	1,786	0	1,781	2,049	1,855	1,459	1,249	11,211
二本松市	188	308	0	273	487	436	338	308	2,338	12	20	0	12	21	22	13	12	112	200	328	0	285	508	458	351	320	2,450
伊達市	272	358	0	327	541	390	341	522	2,751	1	19	0	8	22	14	8	26	98	273	377	0	335	563	404	349	548	2,849
本宮市	70	95	0	159	153	156	139	100	872	9	7	0	2	5	6	1	6	36	79	102	0	161	158	162	140	106	908
桑折町	49	48	0	47	90	103	66	79	482	1	2	0	2	3	2	0	0	10	50	50	0	49	93	105	66	79	492
国見町	12	55	0	59	87	103	70	88	474	2	1	0	0	7	1	4	3	18	14	56	0	59	94	104	74	91	492
川俣町	41	66	0	116	130	103	118	126	700	0	8	0	2	3	3	4	6	26	41	74	0	118	133	106	122	132	726
飯野町	27	29	0	61	63	37	44	50	311	0	1	0	3	0	1	1	2	8	27	30	0	64	63	38	45	52	319
大玉村	12	23	0	37	43	44	45	32	236	1	1	0	0	4	4	2	3	15	13	24	0	37	47	48	47	35	251
合計	1,684	2,729	0	2,817	3,557	3,146	2,570	2,493	18,996	45	98	0	72	151	134	83	119	702	1,729	2,827	0	2,889	3,708	3,280	2,653	2,612	19,698

4 管内市町村各老人ホーム入所状況

施設名	(1) 特別養護老人ホーム																				(2) 養護老人ホーム										(3) 経費老人ホーム (A型)				(4) ケアハウス				平成20年4月1日現在												
	飯坂ホーム	陽光園	愛日荘園	さわやかアイリス	ロング・ライフ	あづまの郷	聖・輝きの郷	ハッピー愛ランド	ひまわり苑	アリヴァーレ宝生園	生愛ガーデン	すこやかかみ	はなしのぶ	みず和の郷	まちなか宝生園	信夫の里	あつかし荘	コクーン	伊達すりかみ荘	梁川ホーム	ファミーユ	星風苑	川俣ホーム	南東北シルクロード館	安達ヶ原あだたら荘	うつくしの丘	羽山荘	みどりの郷	ぼたん荘	しらさわ有寿園	陽だまりの里	合計	福島恵風園	緑光園	桑折緑光園	川俣光風園	合計	エデンの園	合計	吾妻園	輝きの郷	ハッピー愛ランド	土湯宝生園	田沢の里	すこやかかみ	はなしのぶ	一風館	ケアハウス広瀬	ケアハウス芳菊苑	ケアハウスなごみ苑	合計
定員	100	80	50	50	50	80	80	80	50	50	30	50	50	50	64	80	50	90	80	80	80	85	60	50	80	100	80	80	80	60	70	2,119	100	50	100	75	325	60	60	30	30	60	50	30	30	30	40	30	30	19	379
福島市	82	73	30	42	41	72	67	66	45	46	26	46	48	34	55	64	4	30	10	7	31	52	6	14	1	4	0	0	1	1	0	998	81	10	29	8	128	31	31	21	22	43	20	13	22	22	26	3	2	1	195
二本松市	0	1	0	1	1	1	0	0	0	0	1	0	0	10	0	0	0	0	0	0	0	0	0	8	71	84	72	53	13	7	34	357	3	4	3	15	25	1	1	0	0	0	4	1	0	0	1	0	19	3	28
伊達市	5	1	17	2	0	2	8	2	2	0	2	1	0	1	1	7	13	16	53	68	42	26	14	2	0	1	0	0	0	0	286	4	2	39	13	58	7	7	0	1	2	2	1	3	2	1	20	0	0	32	
本宮市	1	0	0	1	1	0	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	0	1	7	5	3	7	53	33	17	134	3	1	1	3	8	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5	8	13	
市計	88	75	47	46	43	75	75	71	47	46	29	47	48	45	56	71	17	46	64	75	73	79	20	25	79	94	75	60	67	41	51	1,775	91	17	72	39	219	39	39	21	23	45	26	15	25	24	28	23	26	12	268
桑折町	1	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	12	28	9	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	55	1	0	8	1	10	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	2	0	0	5	
国見町	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	21	13	3	3	5	1	0	0	0	0	0	0	0	0	53	2	1	12	0	15	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1	0	0	2		
川俣町	3	1	0	2	4	0	1	0	2	2	0	0	0	2	1	0	0	0	2	1	0	2	32	20	0	0	1	7	0	0	84	0	2	2	21	25	7	7	0	1	2	5	4	1	0	0	0	0	13		
飯野町	0	0	0	0	2	0	0	1	1	0	0	0	1	2	0	0	0	0	0	0	0	0	8	3	0	0	2	4	0	0	24	0	0	2	9	11	0	0	0	1	0	2	0	1	0	1	0	0	5		
大玉村	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	3	1	0	13	2	13	35	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	2	0	0	3	6	
町村計	9	3	0	2	6	0	1	2	3	2	0	1	1	4	1	3	33	41	14	5	5	3	40	24	1	3	4	11	13	2	14	251	3	3	24	31	61	7	7	0	2	3	7	5	3	0	5	3	0	3	31
管外市町村	0	2	2	1	1	1	0	3	0	0	0	0	1	0	2	3	0	1	1	0	0	1	0	0	0	3	0	7	0	16	48	3	23	2	4	32	7	7	0	0	3	6	4	1	2	2	1	1	1	21	
県外	1	0	0	0	0	0	1	2	0	1	0	0	0	0	1	1	0	2	1	0	1	2	0	0	0	0	2	0	0	16	0	4	0	0	4	7	7	3	2	7	10	2	1	4	3	1	2	3	38		
合計	98	80	49	49	50	76	77	78	50	49	29	48	50	49	60	78	50	90	80	80	79	85	60	49	80	100	79	80	80	59	69	2,090	97	47	98	74	316	60	60	24	27	58	49	26	30	30	38	28	29	19	358

二六

5 県北管内における指定居宅介護支援事業所の状況

指定居宅サービス関係(県知事指定)

事業所数		居宅介護支援	計	訪問介護	訪問入浴	訪問看護	居宅療養	訪問リハ	通所介護	通所リハ	短期入所	短期療養	特定施設	用具貸与	用具販売	合計
	H19.4.1現在	122	377	93	20	29	3	2	68	31	30	19	6	42	34	499
H20.4.1現在	125	381	93	14	29	3	2	74	32	34	20	7	40	33	506	
増減	3	4	0	-6	0	0	0	6	1	4	1	1	-2	-1	7	

(注) 訪問入浴:訪問入浴介護 居宅療養:居宅療養管理 通所リハ:通所リハビリテーション 短期入所:短期入所生活介護 短期療養:短期入所療養介護
 特定施設:特定施設入所者生活介護 用具貸与:福祉用具貸与 用具販売:福祉用具販売
 休止事業者を含む。

指定介護予防サービス関係(県知事指定。介護予防支援は市町村長指定)

事業所数		介護予防支援	計	介護予防訪問介護	介護予防訪問入浴	介護予防訪問看護	介護予防居宅療養	介護予防訪問リハ	介護予防通所介護	介護予防通所リハ	介護予防短期入所	介護予防短期療養	介護予防特定施設	介護予防用具貸与	介護予防用具販売	合計
	H19.4.1現在	28	361	90	20	28	3	2	66	30	29	18	6	35	34	389
H20.4.1現在	28	366	91	14	28	3	2	72	31	33	20	6	33	33	394	
増減	0	5	1	-6	0	0	0	6	1	4	2	0	-2	-1	5	

(注) 休止事業者を含む。

指定地域密着型サービス(市町村長指定)

事業所数		夜間対応	認知症通所	小規模多機能	認知症共同生活	密着特定	密着福祉施設	合計
	H19.4.1現在	0	26	2	33	0	0	61
H20.4.1現在	0	26	4	33	0	1	64	
増減	0	0	2	0	0	1	3	

(注) 夜間対応:夜間対応型訪問介護 認知症通所:認知症対応型通所介護 小規模多機能:小規模多機能型居宅介護
 認知症共同生活:認知症対応型共同生活介護 密着特定:地域密着型特定施設入居者生活介護
 密着福祉施設:地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護

指定地域密着型介護予防サービス(市町村長指定)

事業所数		介護予防認知症通所	介護予防小規模多機能	介護予防認知症共同生活	合計
	H19.4.1現在	25	0	32	57
H20.4.1現在	25	0	32	57	
増減	0	0	0	0	

6 平成19年度老人保健事業実施状況

		福島市	二本松市	伊達市	本宮市	桑折町	国見町	川俣町	飯野町	大玉村	実 施 市 数	実 施 率
健康手帳	医療対象者	○		○	○	○	○	○		○	7	78%
	上記以外	○	○	○	○	○	○	○	○	○	9	100%
健康教育 (個別)	高血圧										0	0%
	高脂血症										0	0%
	糖尿病										0	0%
	喫煙		○		○					○	3	33%
(集団)		○	○	○	○	○	○	○	○	○	9	100%
健康相談	重点	○	○	○		○		○		○	6	67%
	総合	○	○	○	○	○	○	○		○	8	89%
健康診査	基本健診	○	○	○	○	○	○	○	○	○	9	100%
	歯周疾患	○			○		○				3	33%
	骨粗鬆症	○	○	○	○	○	○	○		○	8	89%
	健康度評価	○									1	11%
	受診指導	○	○	○	○	○	○	○	○	○	9	100%
機能訓練	A型										0	0%
訪問指導		○	○	○	○	○	○	○	○	○	9	100%

は、12年度からの新規事業である。

(平成19年度保健事業国庫負担金の実績より転記)

IX 障がい者保健福祉

1 障がい者施策実施状況(県実施のものを含む。また、施設関係施策を除く)

事業名	福島市	二本松市	伊達市	本宮市	桑折町	国見町	川俣町	飯野町	大玉村
障がい者小規模作業所支援事業									
(精神)	●		●				●		
(身体・知的)	●		●				●		●
地域活動支援センター運営事業	●		●						
地域生活支援事業	●	●	●	●	●	●	●	●	●
障害者自立支援対策臨時特例基金事業	●	●	●	●	●				●
重度障がい者支援事業									
重度心身障がい者医療費補助事業	●	●	●	●	●	●	●	●	●
在宅重度障がい者対策事業	●	●	●	●	●	●	●	●	●
人工透析患者通院交通費補助事業	●	●	●	●		●	●	●	●
居宅介護、重度訪問介護、行動援護、重度障害者等包括支援等									
居宅介護	●	●	●	●	●	●	●		●
重度訪問介護	●		●			●			
行動援護	●			●					
児童デイサービス	●	●	●	●	●	●			●
短期入所	●	●	●	●	●		●		●
共同生活援助	●	●	●	●	●	●	●		●
療養介護(医療を除く)	●		●	●	●		●		●
生活介護	●	●	●	●	●	●	●	●	●
共同生活介護	●	●		●		●			●
施設入所支援	●	●	●	●	●	●	●	●	●
自立訓練	●	●			●	●			●
就労移行支援	●	●		●					
就労継続支援	●	●	●	●	●	●	●		
旧法施設支援	●	●	●	●	●	●	●	●	●
サービス計画書作成	●								
自立支援医療費(更生医療)	●	●	●	●	●	●	●		●
療養介護(医療)	●		●	●	●		●		●
補装具費	●	●	●	●	●	●	●	●	●

2 身体障害者手帳所持者数

(平成20年4月1日現在)

障害種別 市町村別	視 覚	聴 覚 平 衡	音声・言語・ そしやく機能	肢 体	内 部	合 計
福 島 市	895	1,013	131	6,830	2,704	11,573
二 本 松 市	217	225	18	1,719	556	2,735
伊 達 市	229	321	35	1,627	665	2,877
本 宮 市	53	106	11	641	274	1,085
小 計	1,394	1,665	195	10,817	4,199	18,270
桑 折 町	33	60	7	323	145	568
国 見 町	28	56	2	228	87	401
川 俣 町	57	73	6	510	202	848
飯 野 町	27	36	5	160	54	282
大 玉 村	27	31	10	199	98	365
小 計	172	256	30	1,420	586	2,464
合 計	1,566	1,921	225	12,237	4,785	20,734
平成19年4月1日	1,571	1,916	214	12,045	4,597	20,343
平成18年4月1日	1,580	1,992	215	11,893	4,370	20,050
平成17年4月1日	1,591	1,979	216	11,698	4,218	19,702
平成16年4月1日	1,577	1,971	199	11,543	3,999	19,289
平成15年4月1日	1,553	2,002	202	11,213	3,664	18,634
平成14年4月1日	1,561	2,024	193	10,846	3,358	17,982
平成13年4月1日	1,590	2,047	183	10,684	3,207	17,711
平成12年4月1日	1,596	2,057	176	10,540	3,026	17,395
平成11年4月1日	1,604	2,056	170	10,170	2,820	16,820

3 療育手帳所持者数

(平成20年4月1日現在)

区分 市町村名	児 童		児童以外		計		合 計
	A	B	A	B	A	B	
福 島 市	208	314	457	745	665	1,059	1,724
二 本 松 市	33	47	164	233	197	280	477
伊 達 市	34	50	139	242	173	292	465
本 宮 市	16	35	81	96	97	131	228
小 計	291	446	841	1,316	1,132	1,762	2,894
桑 折 町	4	7	26	51	30	58	88
国 見 町	3	7	20	38	23	45	68
川 俣 町	5	22	51	71	56	93	149
飯 野 町	4	2	12	17	16	19	35
大 玉 村	8	8	36	32	44	40	84
小 計	24	46	145	209	169	255	424
合 計	315	492	986	1,525	1,301	2,017	3,318
平成19年4月1日	310	464	964	1,471	1,274	1,935	3,209
平成18年4月1日	300	426	944	1,426	1,244	1,852	3,096
平成17年4月1日	283	415	920	1,379	1,203	1,794	2,997
平成16年4月1日	261	422	892	1,330	1,103	1,752	2,855
平成15年4月1日	227	448	876	1,277	1,103	1,725	2,828
平成14年4月1日	222	412	874	1,261	1,096	1,673	2,769
平成13年4月1日	203	396	820	1,202	1,023	1,598	2,621
平成12年4月1日	164	380	793	1,138	957	1,518	2,475
平成11年4月1日	246	516	718	950	964	1,466	2,430

4精神保健福祉手帳所持者数

(平成20年4月1日現在)

種別 市町村別	所持者数	1級	2級	3級
福島市	979	192	637	150
二本松市	161	31	95	35
伊達市	226	54	132	40
本宮市	57	13	30	14
桑折町	41	10	23	8
国見町	33	8	17	8
川俣町	69	18	36	15
飯野町	26	3	18	5
大玉村	11	3	7	1
合計	1603	332	995	276
平成19年3月31日	1459	286	917	256
平成18年3月31日	1,433	317	871	245
平成17年3月31日	1,276	302	753	221
平成16年3月31日	1,050	276	607	167
平成15年3月31日	886	249	505	132

5 自立支援医療受給者証(精神通院)所持者数

(平成20年4月1日現在)

種別 市町村別	交付数	所持者数	返還数
福島市	2625	2595	30
二本松市	546	544	2
伊達市	605	604	1
本宮市	219	216	3
桑折町	111	111	0
国見町	96	96	0
川俣町	172	170	2
飯野町	53	51	2
大玉村	51	51	0
合計	4478	4438	40

6 特別障害者手当等受給資格者数

(平成20年4月1日現在)

市町村名	特別障害者手当	障害児福祉手当	経過の福祉手当	計
桑折町	8	5	0	13
国見町	11	2	1	14
川俣町	14	3	1	18
飯野町	7	2	2	11
大玉村	3	7	1	11
合計	43	19	5	67

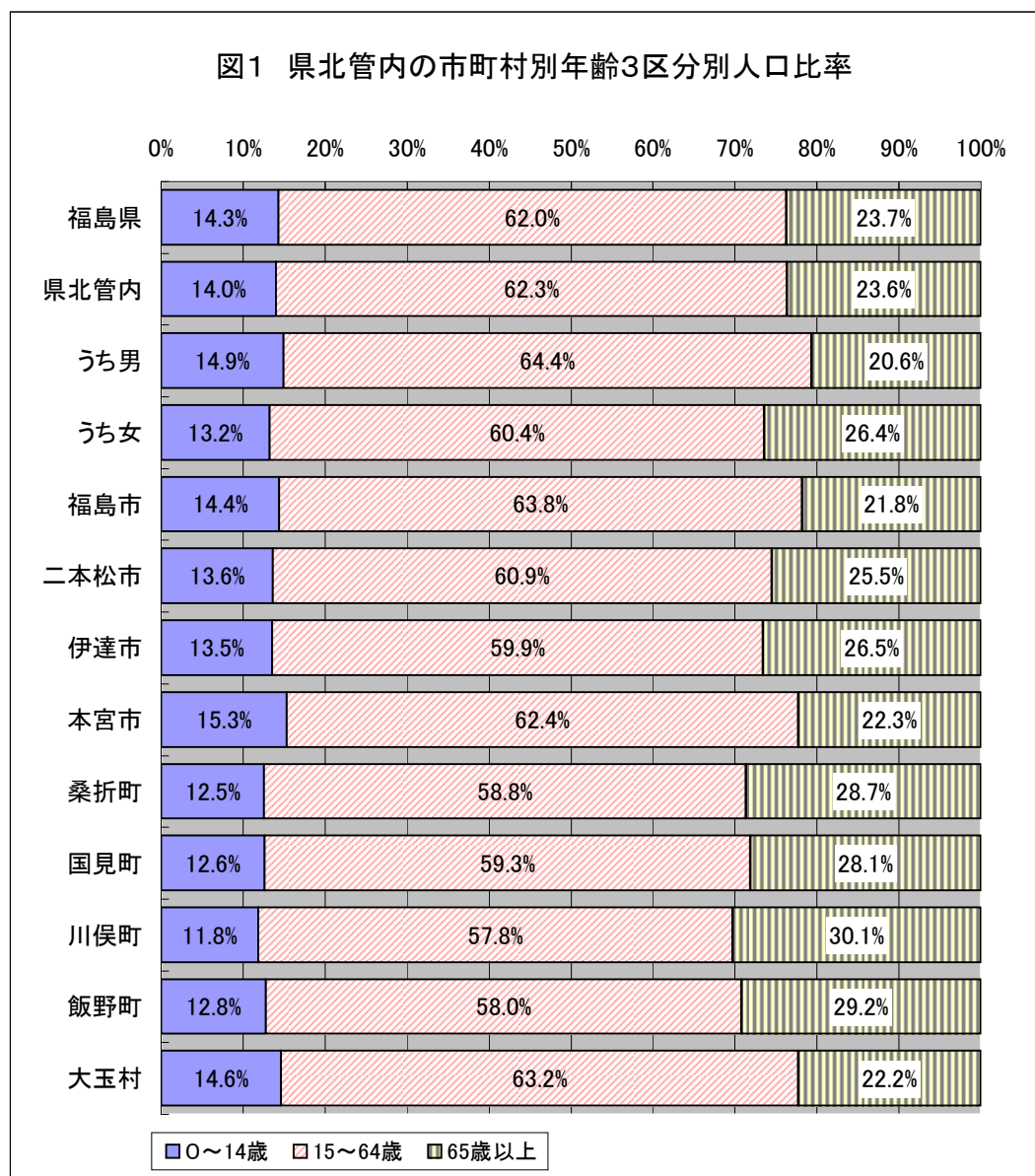
X 人口動態

1 年齢別人口構成の概要

管内の年少人口(0～14歳)、生産年齢人口(15～64歳)、老年人口(65歳以上)の3区分人口構成は図1のとおりです。

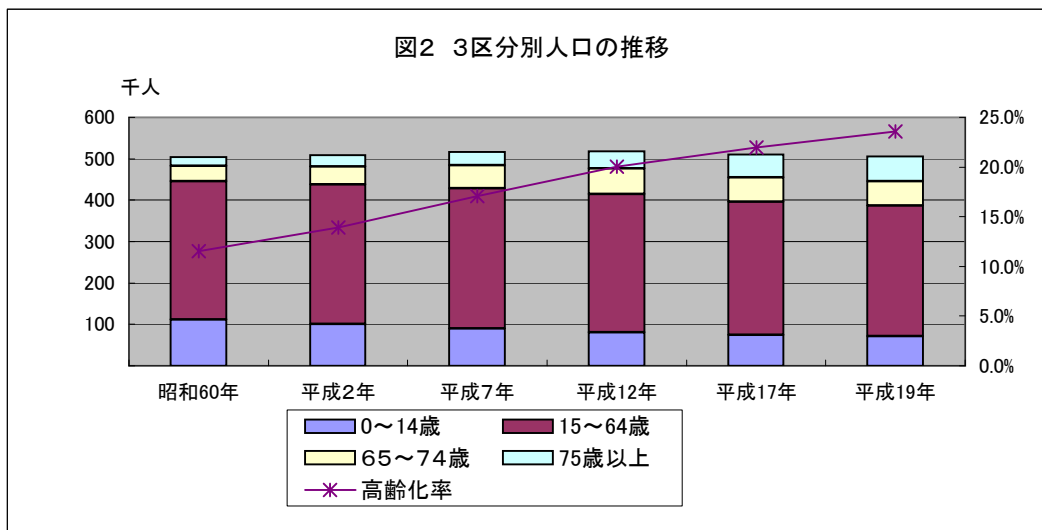
老年人口割合が年々増加し、75歳以上の後期老年人口割合は管内で12.3%となっています。市町村別では、川俣町、飯野町で高齢化が進んでいます。

また、年少人口は、本宮市では15%を超えています。川俣町11.8%、桑折町12.5%、国見町12.6%、と少なくなっています。



(平成19年10月1日現在の福島県の現住人口より)

3区分別人口の推移をみると、高齢者人口(特に75歳以上の後期高齢者)が増加し、年少人口が減少しています。



2 出生の概要

県北保健福祉事務所管内における昭和50年以降の出生率(人口千対)は、平成7年まで年々減少を続け、その後9.2から9.5と横ばいで推移してきましたが、平成16年に8.1と減少し、平成17・18年も同値で経過しています。

全国及び県と比較すると、昭和60年に県、平成7年に国・県より低率となり、その状態が続いています。

市町村別に見ると、高い地域が、本宮町(現本宮市)10.2、福島市8.8、二本松市8.2であり、低い地域は国見町5.0、飯野町5.1、川俣町5.8でした。

また、管内における出生数は、平成6年の5,160人をピークに減少しており、平成18年は4,131人となっています。

合計特殊出生率は、年々減少しており、県より低い状況が続いています。

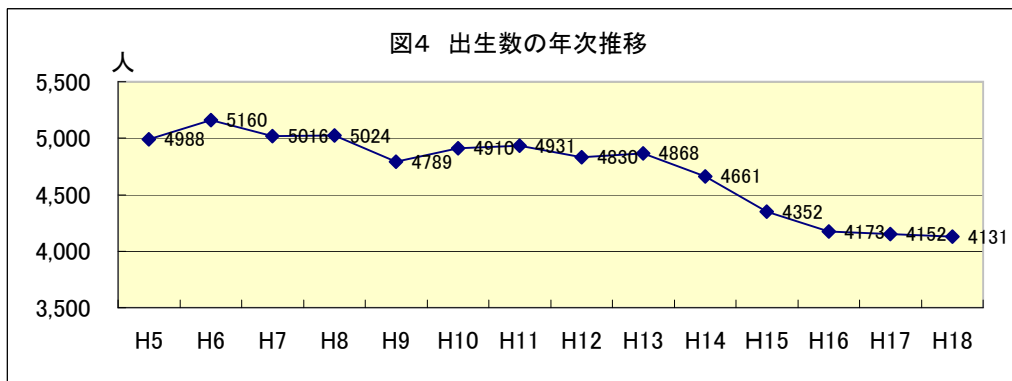
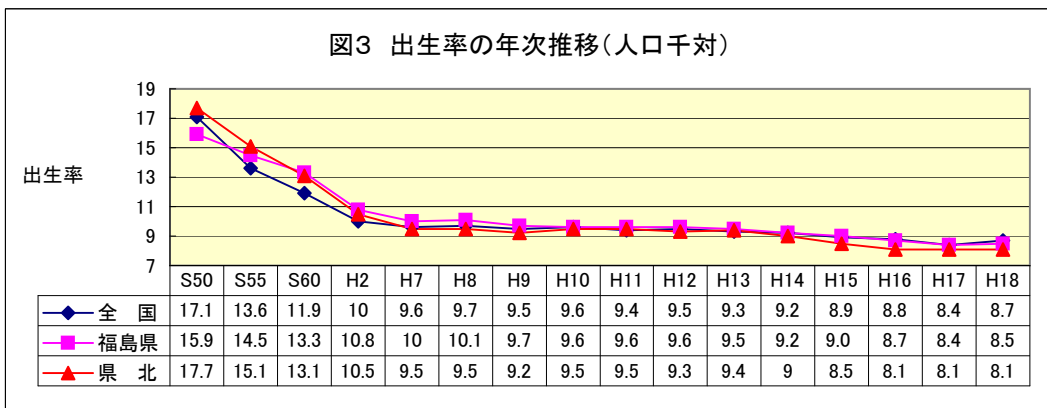
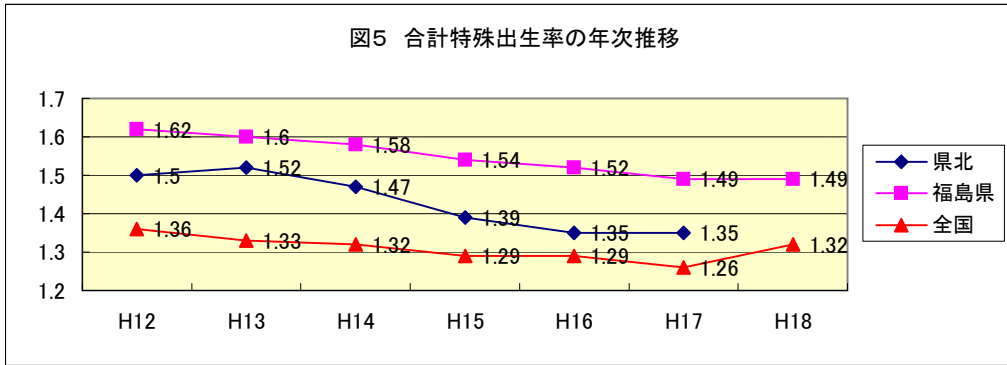


図5 合計特殊出生率の年次推移



3 死亡の概要

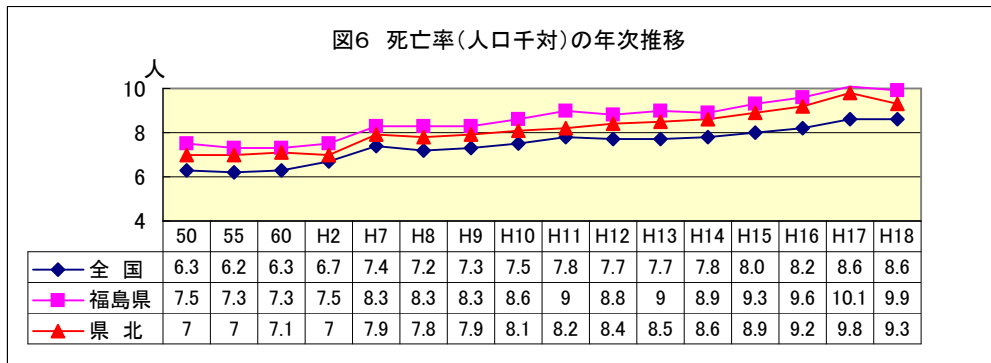
(1) 年次推移

県北保健福祉事務所管内における昭和50年以降の死亡率(人口千対)の推移をみると、平成17年度までは全国及び県と同様に増加傾向にありましたが、平成18年は9.3で前年より0.5ポイント減少しました。

県平均と比較すると、50年以降、県を下回っており、平成18年は0.6ポイント下回っています。また、全国平均と比較すると、昭和50年以降全国を上回って推移しており、平成18年は0.7ポイント上回りました。(図6)

また、市町村別では、川俣町13.1、伊達市11.4、飯野町11.4と高く、福島市8.2、本宮町(現本宮市)8.5、白沢村(現本宮市)8.8と低い地域になっています。

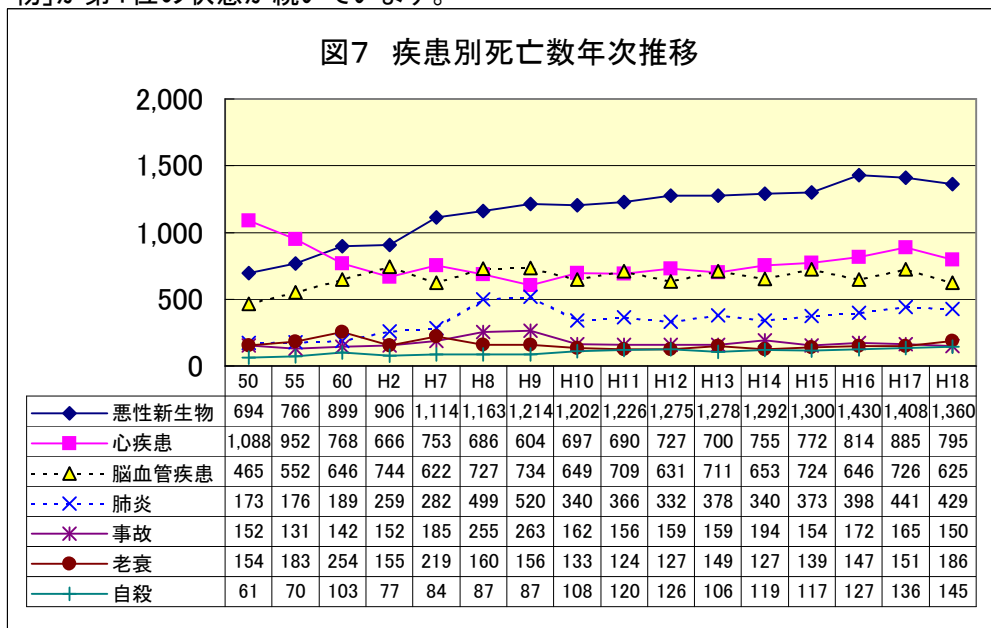
図6 死亡率(人口千対)の年次推移



(2) 主要死因

管内における主要死因を昭和50年からの推移でみると、昭和55年までは「心疾患」が死亡順位の第1位を占めていましたが、昭和60年以降では「悪性新生物」が第1位の状態が続いています。

図7 疾患別死亡数年次推移



(3) 標準化死亡比(平成8年～平成17年)

県北保健福祉事務所管内の標準化死亡比(SMR)を見ると、男性では急性心筋梗塞が高く、大腸がん、心疾患、脳血管疾患がやや高くなっている。女性では、脳血管疾患、急性心筋梗塞が高く、胃がん、心疾患がやや高くなっている。

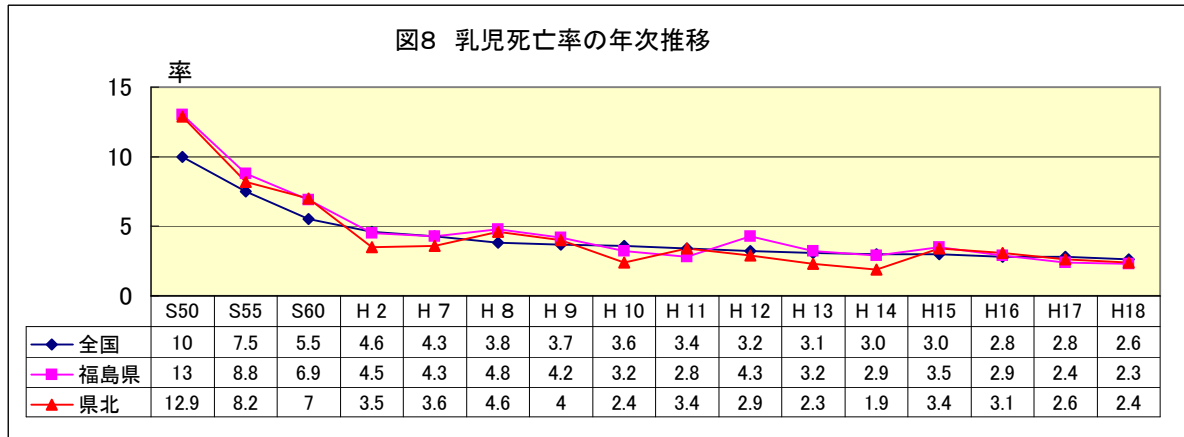
市町村の全死因では、男性の旧二本松市、二本松市でやや高く、女性では旧月舘町、国見町で高く、二本松市、旧安達町、旧東和町、旧伊達町、大玉村がやや高くなっている。

	全死因		悪性新生物		胃		大腸		肝及び肝内胆管		気管、気管支及び肺がん		乳	子宮	心疾患		急性心筋梗塞		脳血管疾患		糖尿病	
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	女	女	男	女	男	女	男	女	男	女
	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100
全国	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100
県	104.3	105.1	98.7	98.1	108.7	106.1	103.8	100.5	73.7	79.3	95.9	92.4	88.1	81.0	111.2	105.6	119.4	128.1	116.1	118.4	113.1	113.7
県北	98.1	102.9	92.3	97.4	104.8	108.5	105.7	104.7	55.4	68.1	91.5	87.7	91.3	65.3	107.3	105.2	115.0	116.9	109.4	118.3	90.9	101.6
福島市	96.1	101.4	93.1	99.4	102.9	104.9	112.1	112.7	59.5	83.4	90.3	95.9	100.9	76.0	109.9	105.2	122.4	125.4	105.5	106.3	98.4	105.1
新二本松市	105.1	106.9	90.8	98.4	107.8	114.9	101.6	107.2	52.6	46.5	86.0	76.3	78.7	25.8	109.0	99.2	93.3	99.3	112.3	129.7	92.0	101.6
二本松市	108.9	104.2	97.3	102.6	129.7	120.0	103.2	124.4	50.4	51.1	98.6	77.5	78.4	50.2	111.8	94.7	102.9	90.2	108.3	108.8	96.7	118.1
安達町	102.6	110.4	85.2	98.9	80.6	147.7	79.7	112.6	77.1	69.1	79.1	105.4	104.4	0.0	120.0	111.5	112.3	123.2	115.5	157.6	71.8	88.9
岩代町	106.6	104.5	87.0	102.9	104.2	94.6	128.5	83.2	33.4	27.0	68.2	78.3	49.2	0.0	106.6	92.4	72.5	82.2	118.7	135.9	116.8	45.7
東和町	95.4	113.7	81.7	80.2	76.4	84.5	92.2	72.2	53.2	28.0	75.9	39.8	105.4	0.0	92.7	106.8	68.1	116.9	113.6	155.7	73.9	121.2
伊達市	98.3	103.9	0.0	98.9	109.0	108.3	97.2	97.9	57.9	65.5	92.8	89.8	76.3	81.0	83.2	91.3	105.7	115.2	125.7	144.3	92.7	97.3
伊達町	98.6	107.0	93.7	99.0	110.8	84.4	90.3	125.9	53.5	56.2	73.0	86.8	107.9	77.0	78.4	103.1	69.7	119.7	115.1	126.8	58.3	160.0
梁川町	98.7	104.4	95.7	93.3	106.1	77.0	97.2	96.3	63.2	74.9	108.4	97.2	77.6	75.8	75.5	95.3	103.9	124.1	105.1	103.4	92.2	102.9
保原町	96.4	99.6	96.6	99.3	103.1	133.4	114.1	95.8	69.8	67.4	94.4	74.1	70.9	55.0	80.1	78.6	105.4	89.7	129.7	167.3	123.2	62.5
霊山町	97.5	103.0	79.2	103.0	103.5	141.8	68.7	59.4	40.2	66.7	82.3	65.3	66.4	147.5	100.0	88.5	129.4	126.6	163.9	187.4	56.2	55.3
月舘町	104.7	115.0	95.5	112.1	151.2	111.3	98.0	142.5	31.9	35.3	84.7	180.6	47.9	80.2	100.8	107.3	133.5	148.2	134.6	166.9	109.0	182.8
桑折町	101.4	103.3	91.8	89.9	94.8	136.7	109.3	87.4	31.1	25.9	108.6	64.5	32.7	27.9	117.0	128.4	110.0	96.5	109.5	138.2	151.1	75.6
国見町	99.3	115.0	99.6	101.3	130.9	134.3	71.4	82.4	40.7	33.5	112.8	78.6	61.1	0.0	115.2	149.0	121.3	146.7	104.0	117.9	89.9	159.7
川俣町	100.2	104.4	88.6	84.6	91.3	79.8	118.9	88.2	41.2	52.5	78.6	65.5	213.7	106.1	133.4	120.3	201.6	161.0	127.1	138.4	39.5	89.5
飯野町	103.1	100.8	86.7	111.2	96.7	124.8	105.7	91.4	29.3	64.4	83.7	82.8	165.2	280.2	102.1	77.0	144.5	91.2	172.3	158.2	60.6	21.5
大玉村	100.3	105.8	91.6	73.0	98.7	106.1	40.3	97.3	69.5	36.9	101.2	35.7	154.4	53.3	117.6	150.1	57.3	166.9	73.3	93.7	20.6	127.2
本宮市	92.5	97.1	93.6	90.5	110.7	114.8	107.2	83.5	50.8	54.1	102.3	87.6	160.8	149.5	111.5	106.5	67.8	46.9	70.9	90.2	51.7	98.2
本宮町	93.7	95.7	98.3	96.0	106.0	112.3	114.0	93.6	67.2	68.4	106.6	108.1	166.6	191.9	115.5	105.3	58.2	49.3	61.4	82.4	51.0	106.9
白沢村	90.1	100.3	83.8	77.8	120.4	120.4	92.9	60.5	15.5	22.9	93.5	41.7	175.9	100.1	119.9	120.1	91.5	47.4	94.5	112.9	53.1	79.0

※ 標準化死亡比が基準値(100)より大きいということは、その地域の死亡状況は全国より悪いことを意味し、基準値より小さいということは、その地域の死亡の状況が全国より良いことを意味します。

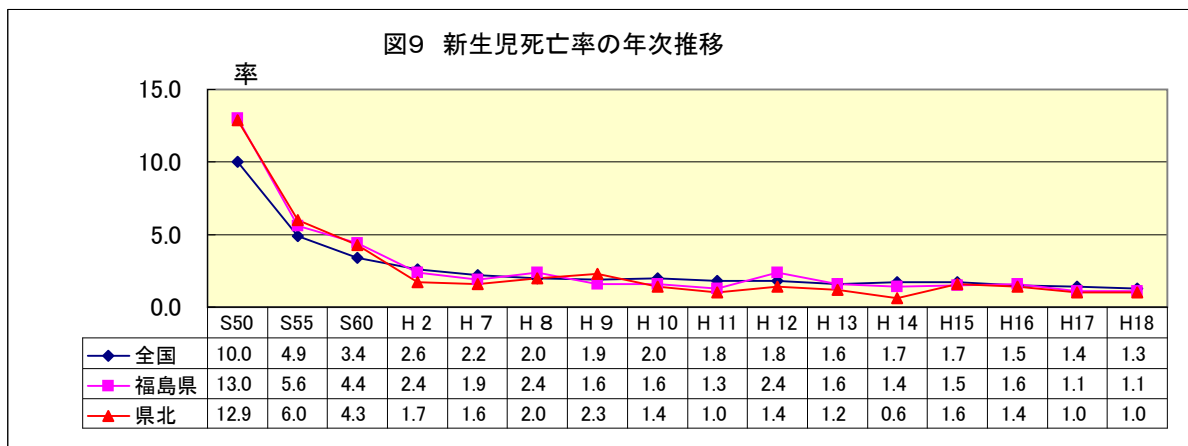
4 乳児死亡率の概要

管内における乳児死亡率(人口千対)は、昭和50年の12.9から平成14年には1.9へと減少しました。しかし、平成15、16年は3ポイント台と再び増加・横ばいの状況となり、平成17年には2.6と再び減少に転じました。平成18年は県データよりは0.1ポイント高くなっています。



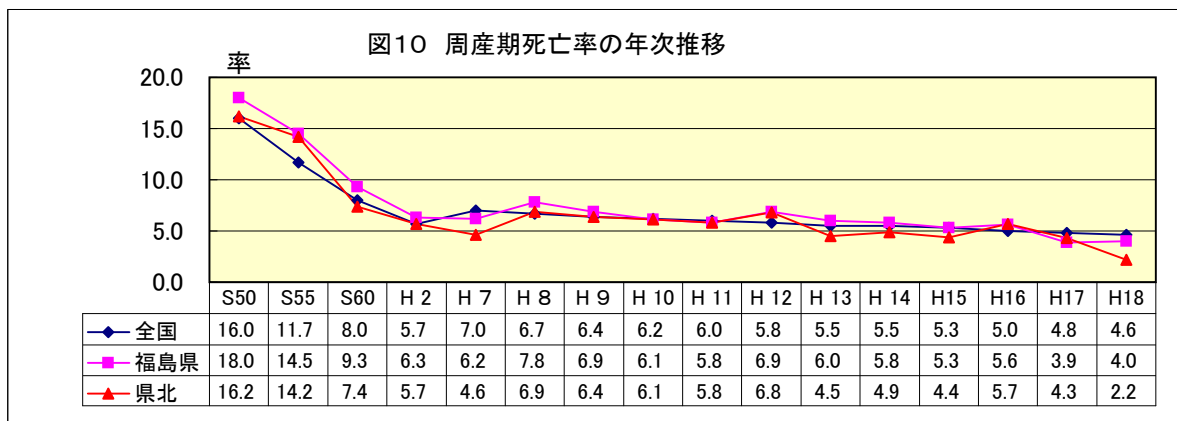
5 新生児死亡率の概要

管内における新生児死亡率の推移をみると、平成7年までは年々減少を続け、その後、1ポイントから2.3ポイントの範囲で推移しています。



6 周産期死亡率の概要

管内における昭和50年以降の周産期死亡率は、平成7年までは年々減少してきましたが、その後は4.3から6.9の範囲で推移しています。平成18年は前年より大きく低下し、2.2となっています。



X I 調査研究

調査研究テーマ	研究者(○は発表者)	発表学会等
保健医療福祉関連資料のデータベース化による市町村支援機能の	○古山綾子、花積めぐみ、長澤脩一	第65回日本公衆衛生学会(平成19年10月24～26日、愛媛県)
地域・職域連携による社員食堂を利用した働きざかりの生活習慣病予防教室	○佐藤順子、渡部智子、佐藤理恵子、玉川佳代子、花積めぐみ、橋本恵子、長澤脩一	
地域・職域連携による働きざかりの生活習慣病予防に向けた取り組み(第1報)～職域と連携した健康推進体制～	○渡部智子、佐藤理恵子、佐藤順子、橋本恵子、長澤脩一 福島哲仁(福島県立医科大学医学部衛生学講座)	福島県保健衛生学会(平成19年8月28日、郡山市)
地域・職域連携による働きざかりの生活習慣病予防に向けた取り組み(第2報)～働きざかりの生活習慣の実態について～	○花積めぐみ、新井里美、古山綾子、佐藤理恵子、渡部智子、佐藤順子、橋本恵子、長澤脩一 風間聡美(県保健福祉部自立支援領域)	
地域・職域連携による働きざかりの生活習慣病予防に向けた取り組み(第3報)～事業所における栄養・健康管理部門の連携による食環境整備～	○佐藤理恵子、佐藤順子、渡部智子、玉川佳代子、橋本恵子、長澤脩一 風間聡美(県保健福祉部自立支援領域) 鈴木秀子(会津大学会津大学短期大学部)	
地元野菜を使用した料理による過疎・中山間地域活性化の試み	○玉川佳代子、石川栄子、佐藤理恵子、新井里美、橋本恵子、長澤脩一	
小児慢性特定疾患児療養支援の充実に資するための実態調査	○逸見京子、佐藤ひさ子、橋本恵子、長澤脩一	第17巻福島県保健衛生雑誌 第2号(平成20年3月1日)
犬及びねこの譲渡事業について	○半杭祥子、食品衛生チーム	平成19年度 福島県食品衛生環境衛生業務研修会
メイガ類の食品への混入事例について	○遠藤公子、衛生推進グループ	

平成20年度 業務概況 (平成20年5月発行)

編集・発行 福島県県北保健福祉事務所
〒960-8012 福島市御山町8番30号
電話 024-534-4104(代表)
FAX 024-534-4105
E-mail: kenpoku.hokenfukushi@pref.fukushima.jp
URL: <http://www.pref.fukushima.jp/kenpokuhofuku/>